

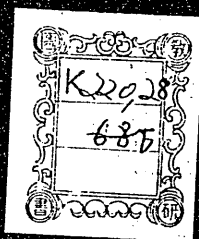
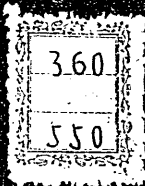
著 雄 美 荒 屋 守
理 地 選 新

部 之 國 帝

用 表 乙

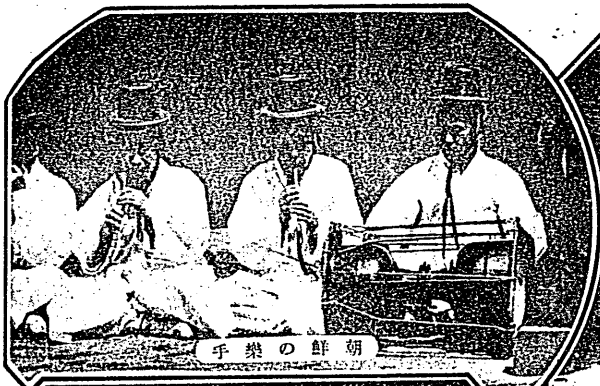
版 訂 再

社 會 式 株
院 書 國 帝



K220.28

82b



手樂の鮮朝



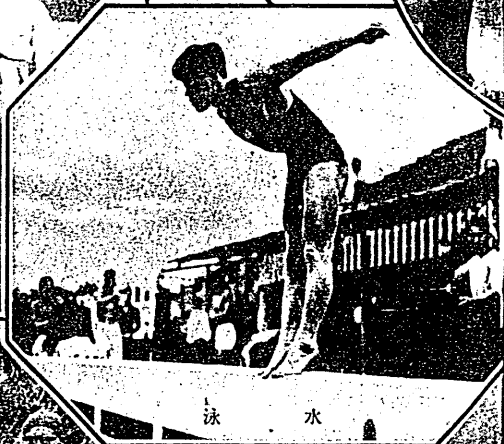
女のり歸摘茶



屋家のコロオ



女少の鮮朝



泳 水



の族民和大

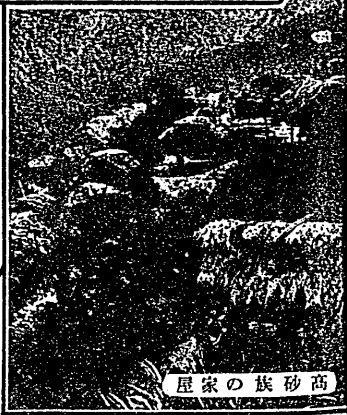
女少と屋家



長笛の族ヌイフ



者若の族砂高



屋家の族砂高

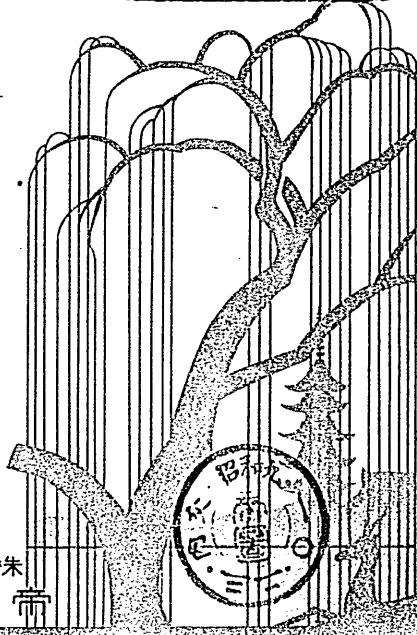
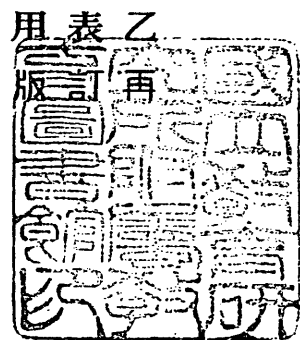


女の島大豆伊



族カナカの島ンバイサ

著 雄 美 荒 屋 守
理 地 選 新
部 乙 國 帝



社 會 式 株
院 書 國 帝

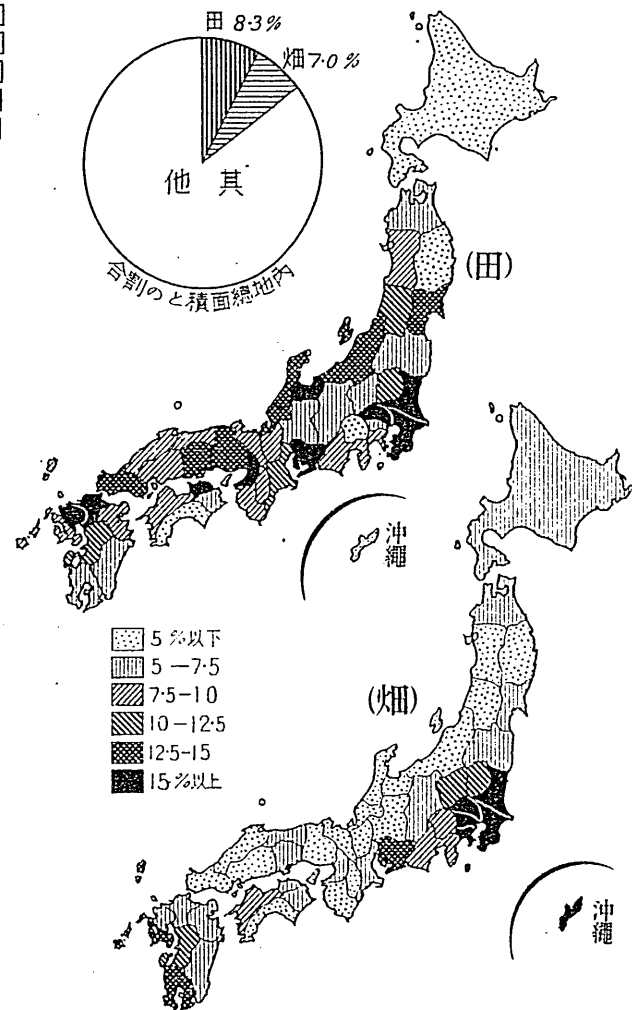
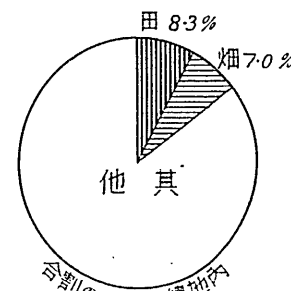
北海道 青森県 岩手県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 徳島県 香川県 高松市 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 大分県 熊本県 鹿儿岛県 沖縄県

較 比 積 面 地 耕 別 縣 府 道

耕 地 總 面 積 五 八 六 方 八 千

畑 田

總 面 積 268909ヘクタール 總 面 積 317722ヘクタール

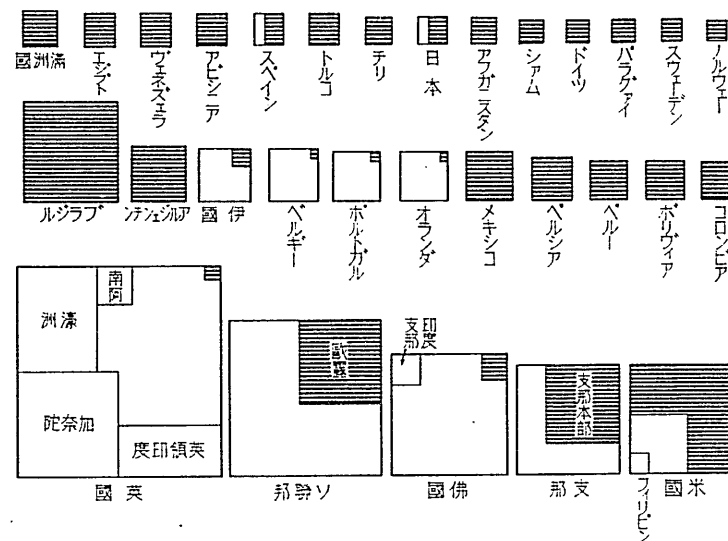


例言

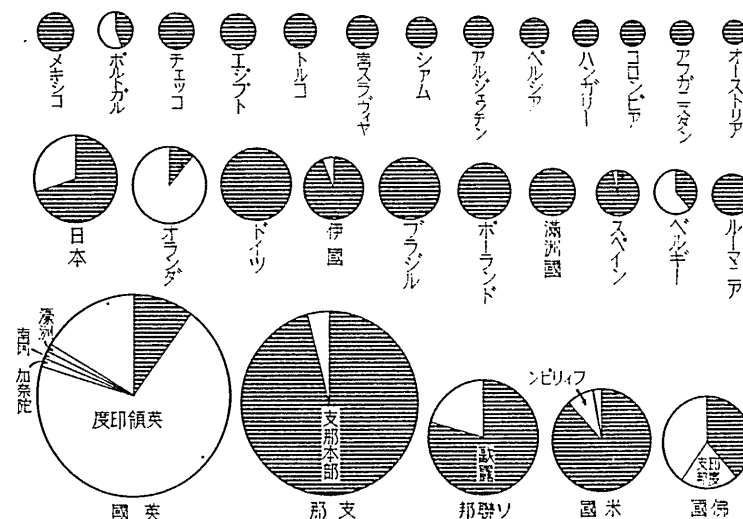
一 然るに最近の時勢と、地理教育界の現状とは著者の信念の大部を實行するも、妥當を缺かずと認むるに至つた上に、一部の私見の如き、今にして實行せざれば、邦家教育の一缺陷を生ずるやうに思はれるので、茲に従來の教科書に對し、根本的の改修を行ふことにした。

一 かくて本書は著者の胸中に多年鬱積せるものを率直に披瀝した爲從來の教科書の型を破り、種々の新機軸を出した諸點を認識せられんことを熱望する。今左に、其の主要な特色を列舉することとする。

國本は



國本は



1. 記述を推究的にしたこと 地理科が推理的であつて、暗記學科でないことは夙に唱導せられたことである。然るに教授の現狀は依然として暗記羅列の憾みがある。是れ一は教科書の記述が當を得ない結果と信ずるから、本書は此の缺點を救ふべく左の如き記述方法を取つた。

(イ) 概観 先づ位置を調べて、之より來る影響を概見せしめ、其の地方の地理を學ぶに就いての着眼點を發見せしめるやうにした。

(ロ) 地體・氣候・關係・産業 徒に山川湖沼平野海岸産物等に分類して記述するは、地理教授を暗記的にし、學習知識を個立的にする最大原因である。本書は、先づ地形區を分ち、次に其の各區の地形に就いて、何々あり何々ありと羅列することを極力避け、地質を觀察して成因的に地形を推究せしめ、更に斯の如き地質地形の處に、如何なる鐵産物があるかを説き、次に海流を調べて水産物を考へ、斯の如き

地形・海流が如何に氣候を決定したかを研究し、かかる氣候・地質・地形の處に、如何なる農・牧・林産があり引いて如何なる工業が起つたかを考察せしめた。要するに地體わざと地勢又は地形といはず、氣候と産業とを、因果的・有機的に記述するやうに努めた。

(ハ) 交通・商業・聚落 地體産業より引いて交通機關がそれに支配されて發達した有様を研究せしめ、かかる交通機關を利用して、如何なる商取引が行はれるかを推究せしめることに留意した。最後にかかる地體・氣候・産業・交通に支配されて、人口の分布が如何になつたか、従つて、聚落は如何なる分布と特色とを以て形成されて居るかを調べ、要するに如何なる人文景觀であるかを歸納せしめるやうにした。

2. 欄外に適切な考察問題を掲げたこと 如上の順序は、從來の型を破つた組織であるが、之に依つて記述的・羅列的であつた地理教授を、

初めて推理的・科學的にする道を開いたもので、地理教科書に、一新時期を劃するものと信ずる。其の上本書は、欄外に多くの適切な考察問題を配して、一事項を教授する毎に、推究考察するの便に供した。是れ又從來の教科書に類例を見ない所であることを認識されたい。

3. 生徒をして興國的氣魄を振起せしめる様記述したこと 滿洲事變を契機として、旺盛なる興國的氣魄は、今や蔚然として勃興した。本書は隨處にこの氣魄を表明した生氣ある記述を試み、以て教授を躍動せしめんことを期した。書中各所に、皇室中心の記述を見、各地の現狀と舊狀とを對照し、各地方民活躍の有様を書き加へた如きは、則ち此の爲に外ならない。

4. 讀圖指導に對して新考案を施したこと 精確な地圖を生徒に與へて、マブリーディングを爲さしむることは、觀察眼を練り、地理的識見

を養ふに、極めて重要なことである。本書は、地文・人文に關する標式的な地形について、各所に此の種の地圖を挿入した外、更に要所には、一頁大の別圖を掲げた上、ブロックダイアグラムを添加して、二者を對照し、讀圖の正鵠と、教授の趣味化とに留意した。加之、讀圖には、上欄に讀圖問題を掲げて、巧みに誘導し、生徒をして案出せしめる様にした。

5. 郷土地理を重視したこと 地理教授に、郷土地理を重視すべきことは論を俟たない。本書は、卷初に郷土地理の研究法を掲げ、又處誌(聚落は府縣單位と地理區による分類とを併用して、其の便宜を計つた。

6. 實習を重視したこと 今や中等學校に於て、日本地理の時間を多くし、又其の程度を高めんとする機運に向つたのは、徒に事實その者を多く授くるに非ずして、實習と考察との爲に備へんとするものと信ずる。本書が、卷頭に實習方法及び實習例を示し、又書中の隨處

に實習問題及び精密な等高線圖を附し尙卷末に統計表を一括して掲げたのは、何れもこの趣旨から來たものである。

7. 小學校との連絡に注意したこと 本書は國

定の小學地理書を參照して、之と聯絡的有機的に統合せんことを努めた。

8. 行文を平易ならしめたこと 出來るだけ行文を平易にし、振假名を多く用ひ難解の個所には側註を施した。

9. 挿畫挿圖の豊富 本書は極度に餘白を利用し、且斬新の挿畫挿圖を多くし、又多數のドット

一本書は、九年版を補訂したもので、新選地理世界之部、概説之部の再訂版と姉妹篇をなすものである。これに關し、種々援助を與へられた中等學校教官諸賢に對し、滿腔の謝意を表する次第である。又本書中には、五萬分の一地圖を採用了たる所多し、謹んで陸地測量部に敬意を表する。

昭和九年初秋

著 者 識

マップを入れて、觀察と理解とに努めた。

10. 産業其の他の統計に留意したこと 産業其の他の統計は能ふ限り正確最新な材料を用ひ、全部適當な分類を施し、圖表化して之を卷末に配し、教授の都度必要に應じて直に檢索參照し得るに便した。

11. 欄外の附説をなくしたこと 欄外に多くの餘説を記することは、教授の系統を亂し、生徒の頭腦を混亂せしめるから、本書は之を全廢した。此の一事は、一見事小なるが如きも、大いに教授の能率を促進する事であると信ずる。

新選地理 帝國之部

再訂版

目 次

地理を學ぶ準備

一 地圖の讀み方と地理の實習

二 郷土地理の研究

第一編 緒 論

第二編 地方誌

第一章 關東地方

一 概 觀

二 地體氣候と關係産業

三 交通商業聚落

第二章 奥羽地方	六
一 概 觀	六
二 地體氣候と關係産業	六
三 交通商業聚落	六
第三章 中部地方	七
一 概 觀	七
二 地體氣候と關係産業	七
三 交通商業聚落	七
第四章 近畿地方	七
一 概 觀	七
二 地體氣候と關係産業	七
三 交通商業聚落	八
第五章 中國地方	九
一 概 觀	九
二 地體氣候と關係産業	九

三 交通商業聚落	九
第六章 四國地方	二
一 概 觀	二
二 地體氣候と關係産業	二
三 交通商業聚落	二
第七章 九州地方	三
一 概 觀	三
二 地體氣候と關係産業	三
三 交通商業聚落	三
第八章 臺灣地方	四
一 概 觀	四
二 地體氣候と關係産業	四
三 交通商業	四
四 住民政治聚落	五
第九章 北海道地方	六

一 概 觀	一六
二 地體氣候と關係產業	一六
三 交通商業	一七
四 住民政治聚落	一七
第十章 樺太地方	一七
一 概 觀	一七
二 地體氣候と關係產業	一七
三 交通商業	一八
四 住民政治聚落	一八
第十一章 朝鮮地方	一八
一 概 觀	一八
二 地體氣候と關係產業	一九
三 交通商業	一九
四 住民政治聚落	一九
第十二章 關東州地方	一九

一 概 觀	一〇二
二 地體氣候と關係產業	一〇二
三 交通工業商業	一〇五
四 住民政治聚落	一〇五
第十三章 南洋諸島地方	一〇六
一 概 觀	一〇六
二 地體氣候と關係產業	一〇六
三 交通貿易住民政治	一一〇
四 處 誌	一一一
第三篇 總 括	一一三
第一章 自然地理	一一三
第一節 地 形	一一三
第二節 海 洋	一一六
第三節 氣 候	一二八
第四節 生 物	一二九

第二章 人文地理

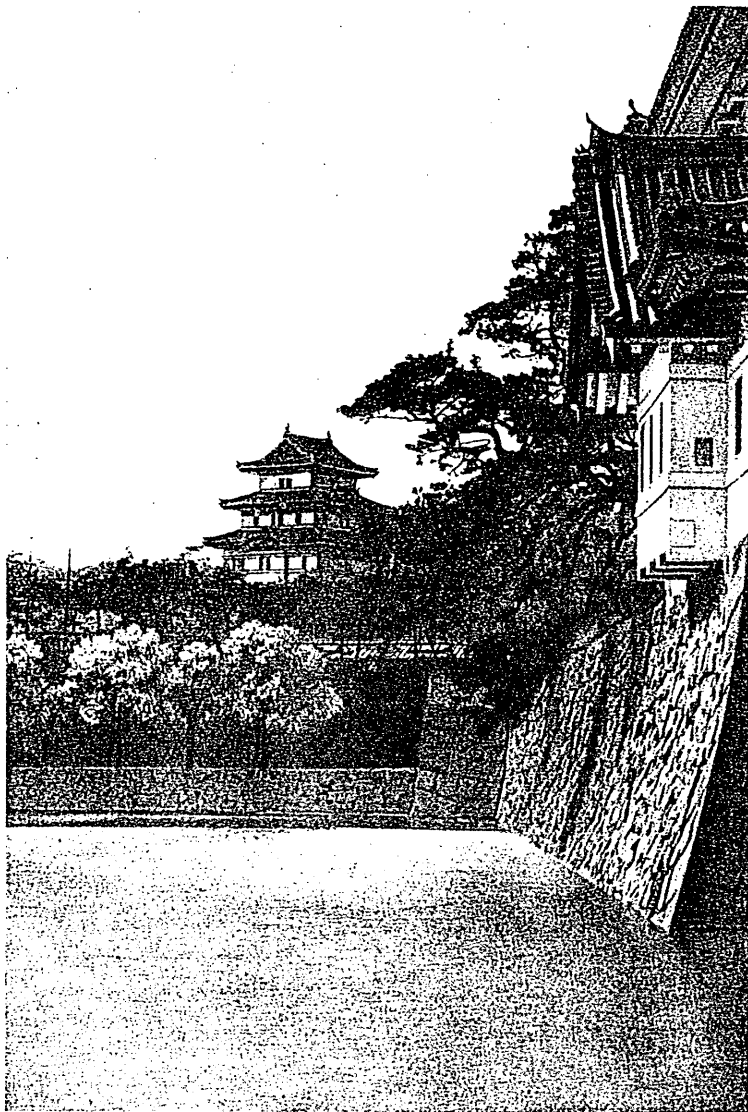
第一節 産業

一 農業	三三
二 農林業	三三
三 牧畜業	三四
四 林業	三四
五 鑛業	三四
六 水産業	三五
七 工業	三五
八 商業	三六
第二節 交通	三六
一 道路	三六
二 鐵道	三六
三 水運	三七
四 空運	三七
五 郵便	三七

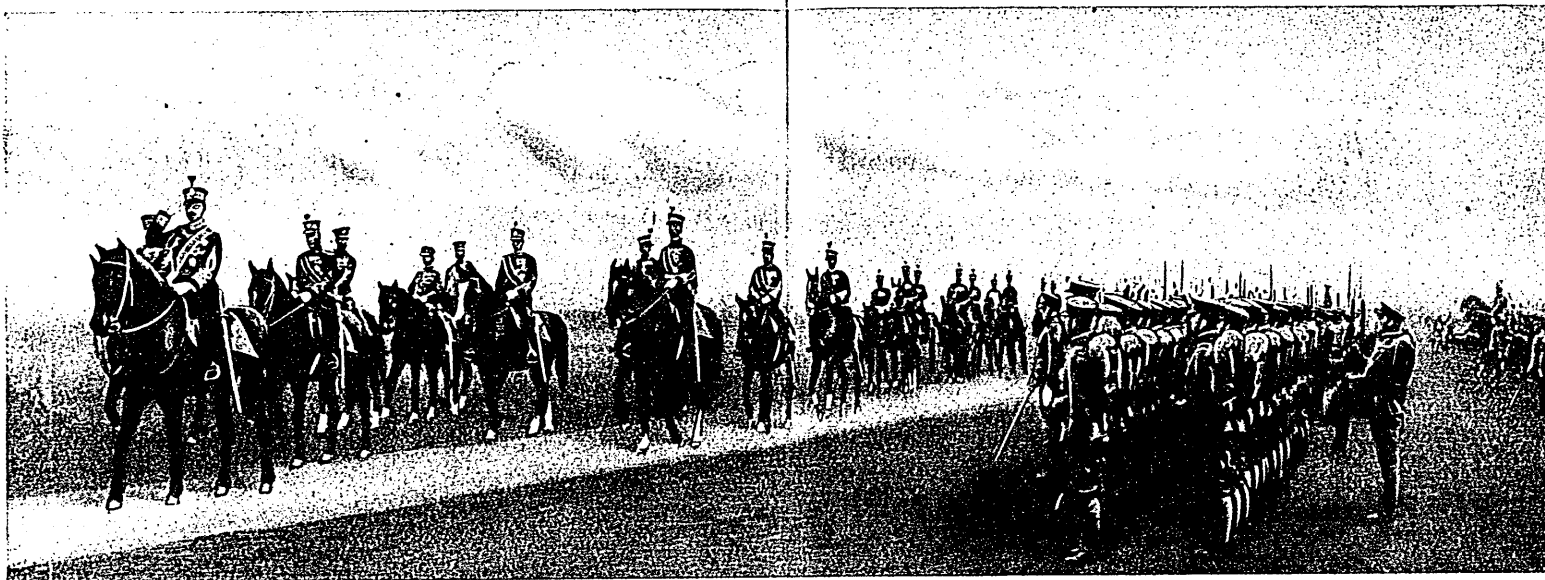
第四篇 結論

附錄 日本の地體構造	一六
日本地理統計	一六

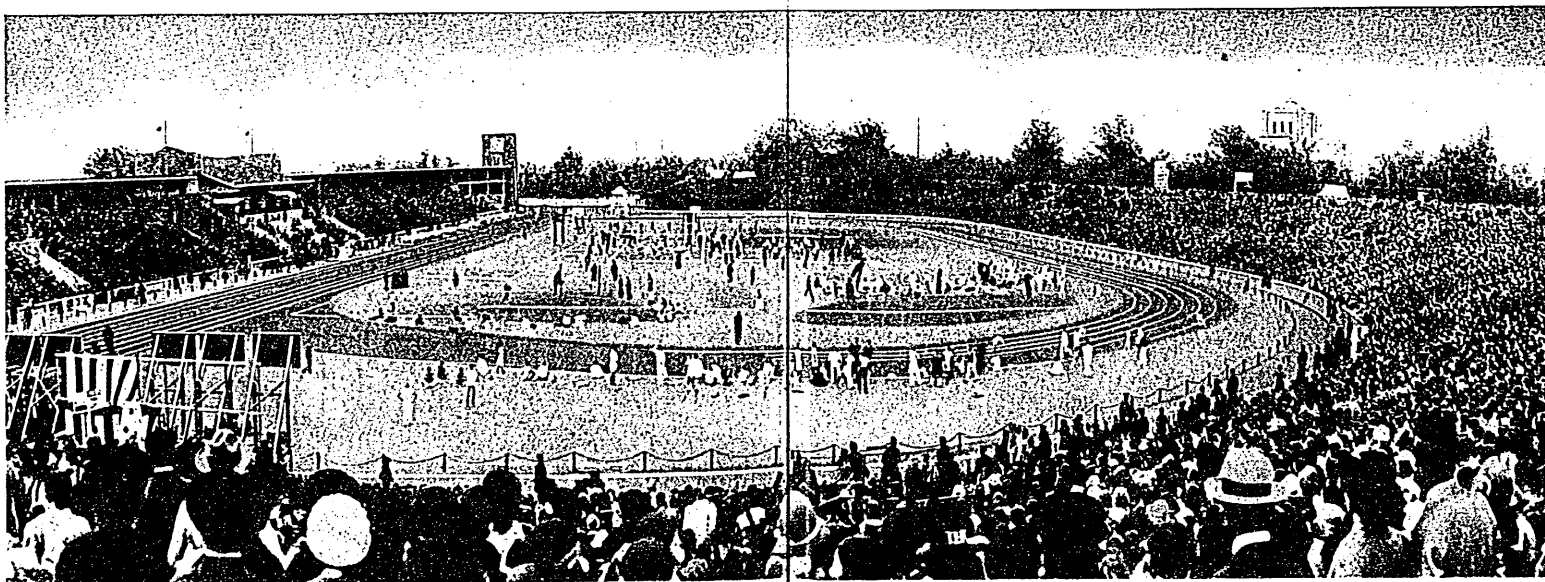
六 電信	三四
七 電話	三五
第三節 住民	三五
一 種族	三五
二 人口	三五
三 言語	三六
第四節 都市	三六
第五節 政治	三六
第六節 軍備	三六
第七節 財政	三六
第八節 教育	三六
第九節 神社と宗教	三六



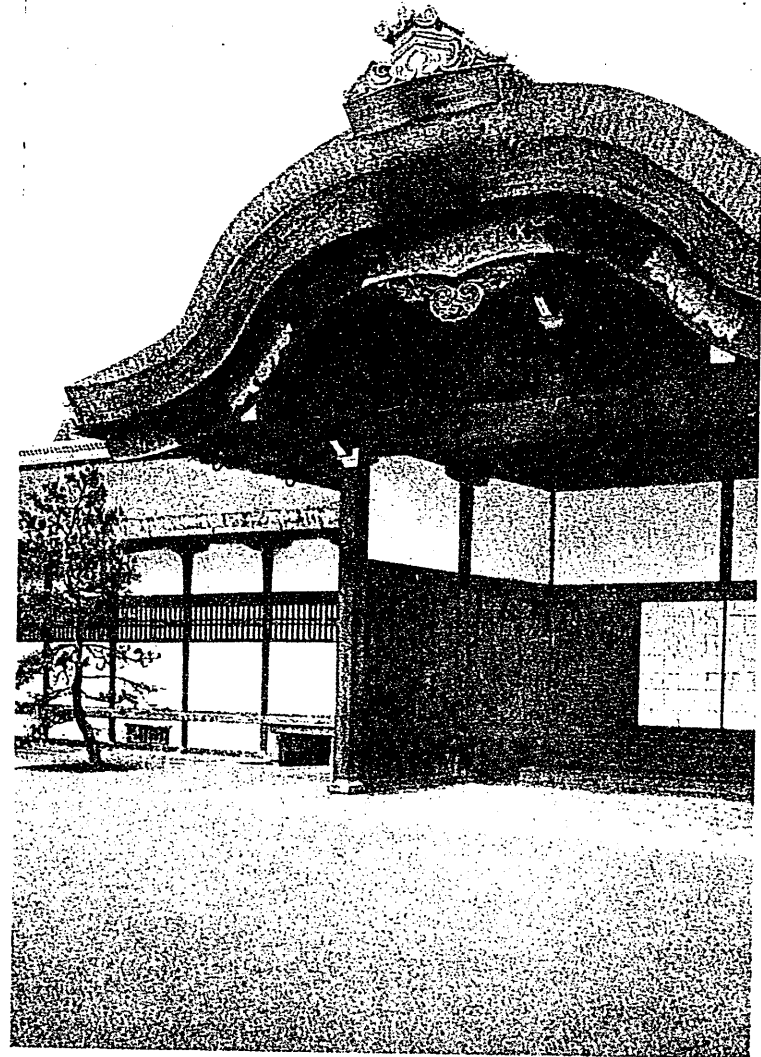
城 宮



兵精の野に共と調の歌國るた曉！ 一つ満に州神風仁し壓を荒八威武でん踏を砂と々蹴取龍！ ふ給し閨を旅軍くし親に頭原木々代子天聖 日八月一く輝日旭 一の其景情の本日國興
(照參括總・觀臨の本日)るあで景情の本日國興いしまぐ涙致一下・體一臣君ゝあ ふ賜を禮答御くし腕御顔慈御亦下陛 ばれ奉し表を誠忠の身渾に勢姿の銃捧



仰に空の碧紺を築建大る奉びのしを徳偉御の帝大等館念記法憲・館畫楯念記徳聖 るあで地の緒曲たれらせは行を儀葬大御の帝大治明はゝこ クラト苑外宮神治明 二の其景情の本日國興
るあで館畫楯はのるえ見にか遙 るれらくつでクラトのこ亦はと力體と氣意の隆興本日新 たれらくつで場動運のントーイは因の勝戦ーロールテフ！人若るす躍跳つづ

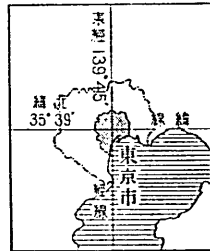


所御都京

地理を學ぶ準備

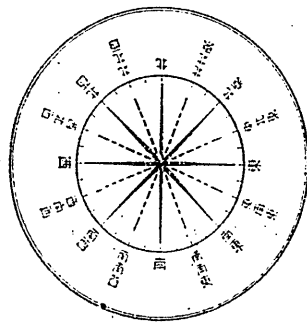
一 地圖の讀み方と地理の實習

經緯度による
東京市の位置

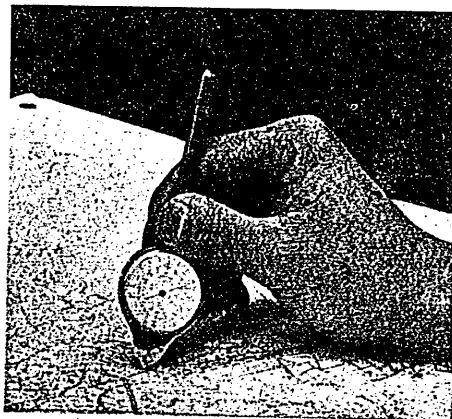


方位

ととして、南北各九十度に達する。
方位の見方 普通は地圖の上方を北とするが、然らざる場合は、矢じるし又は經緯線によつて知る。



② 曲線計による距離の測り方
柄を操り、曲線を測らんとする地図にのせて回轉させる。と針が回つて數字を示すその回轉數だけ地図の一回轉計つてゐる縮尺計の上を逆に回轉させるとその距離が知れる。

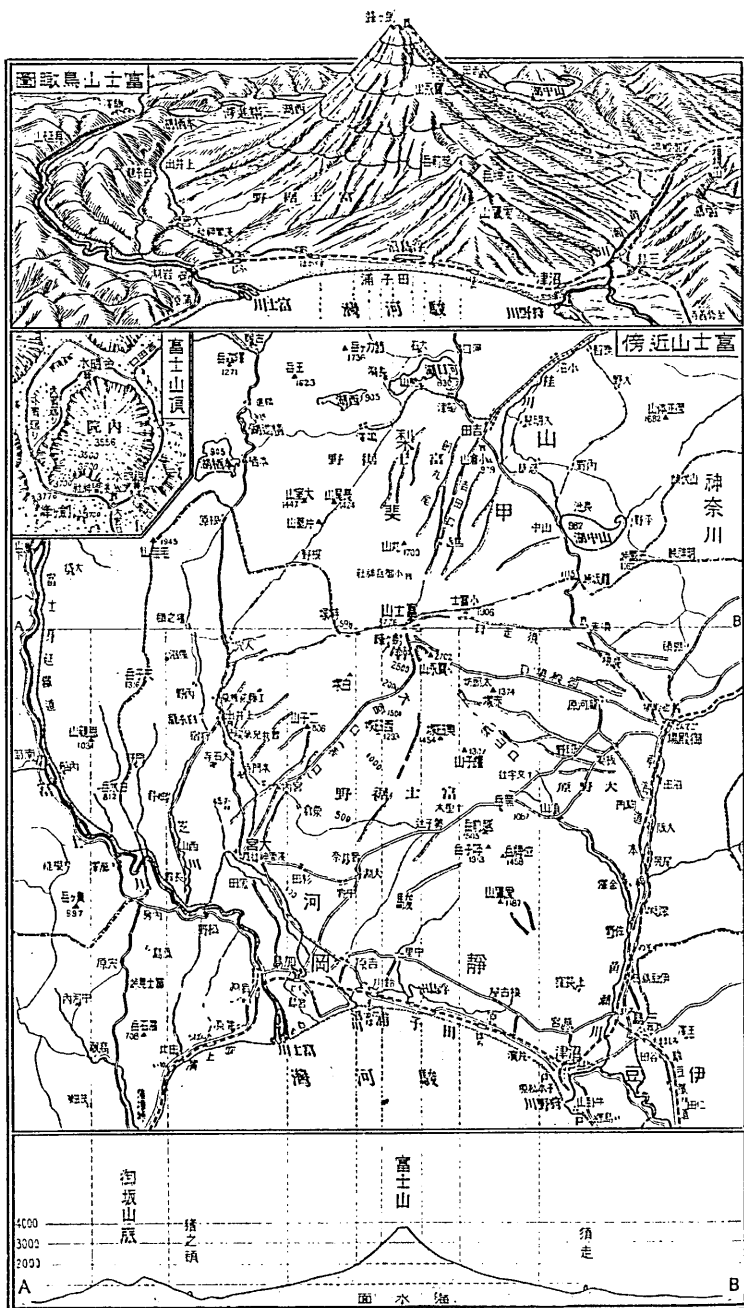


距離の測り方 糸や物差で、圖上の二點間をはかり、それを地圖の縮尺に合はせて見る。縮尺がない場合には、圖上の距離を、縮めた分數で割つて出す。又曲線計でも測られる。

面積の測り方 測らうとする地圖と、同じ縮尺で方眼紙を作り、圖上に置いて測る。

高低の見方 等高線(曲線)は、海面から等しい高さにある地點を連ね、之を或る割合に縮めて、圖に描いたものである。

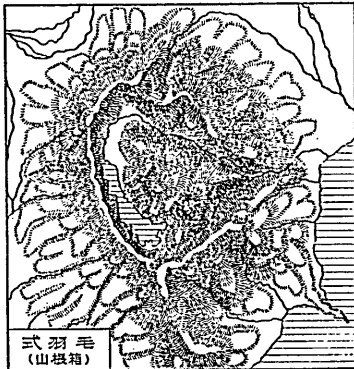
等高線の描き方 例へば富士山の周囲には、一千米二千米の高さを有する地點がある。それを結ぶと、その線が山を一周する。之を自分の望む比例で縮め、それから真下に線





富士山 富士山は甲・駿に跨る大火山で水蝕が少い為美しい圓錐形を呈する。裾野は草原が遠く連なりついで深い森林となり中腹以上は噴出物におほはれて草木がない。頂上の火口は直徑七百米内院といはれる。寄生火山三十九。有史以來の活動の記録は實に二十九回で中にも延暦十九年の如きは熔岩が四十杆の猿橋に達した。頂上は八つに分れ最高の釧ヶ岳は三七七六米に達し。眺望雄大。眼界の半徑約二百五十杆十數州を望むことが出来る。登山口は大宮・御殿場・吉田・須山・須走で御坂山脈との間の裾合谷に本栖・精進・西・河口・山中の裾野湖があつて夏は避暑冬はスケートで賑ふ。南麓はその伏流利用の發電事業が起り製絲・製紙等の工業が盛である。

毛羽で表した箱根山の地図



を下せば別圖の下の様な同心圓圖が得られる。之が等高線で描いた富士山附近の地形圖である。
毛羽(筆)は等高線間に等高線と略直角になるやうに、多くの線を描いて、土地の高低を示し、暈滯は、色の濃い淡いによつて、土地の凸凹を表すものである。

断面圖の作り方 断面圖を作るには、先づ水平線をもととし、五百米千米二千米等の線を引く。次ぎに高さを調べて之に書き入れ断面圖を作る。高さの距離は、少くとも水平距離の數倍以上にしなければ、地形の特徴が表れにくい。

模型の作り方 土地の高低は、模型を作ると一層よく分る。模型は、等高線に沿うて厚紙を切り、之を重ね新聞紙を煮て附けたり、鍍ですつたりして角をとり、紙をはつて色をぬるのである。

二 郷土地理の研究

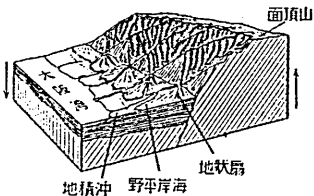
郷土は、我等の住んでゐる土地であるから、之を研究する事は、他の地方の地理を学ぶに、大きな助となる。地理の學習は、結局他の地方と比較して、郷土をよく理解するの目的である。

研究法 本書の地方誌を參考にして、その順に色々な材料をあつめ、種々な觀察實驗を試みて、地圖模型圖表、模式圖等を作り、段々に進んで行くがよい。

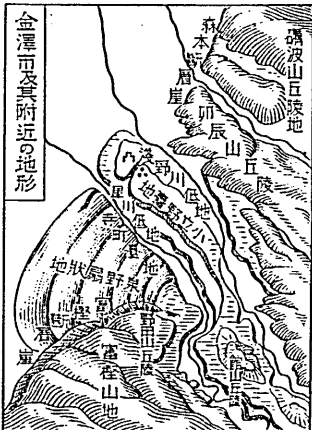
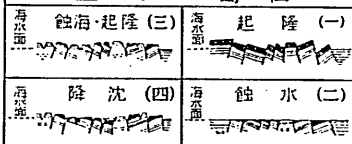


郷土地理研究參考表			
位置	要目	調査	
特に位置の爲にどんな不幸をうけてゐるかを考へる。	順 序	調 査	實 習
隣りの土地、經緯度、標準時と地方時との差。		位置圖	經緯度標

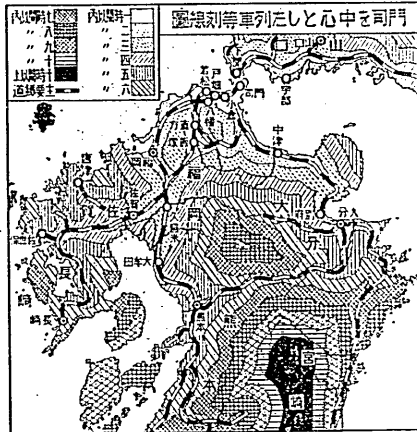
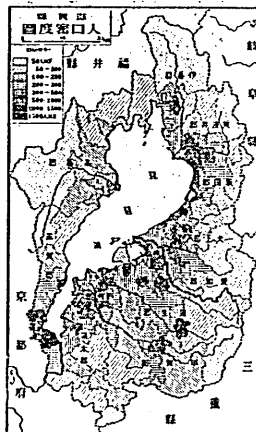
圖式模野平阪大と脈山剛金



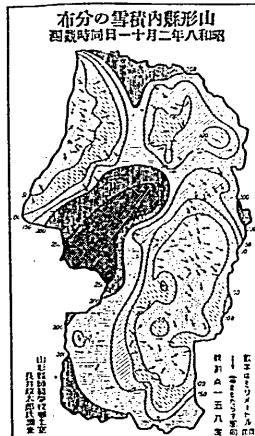
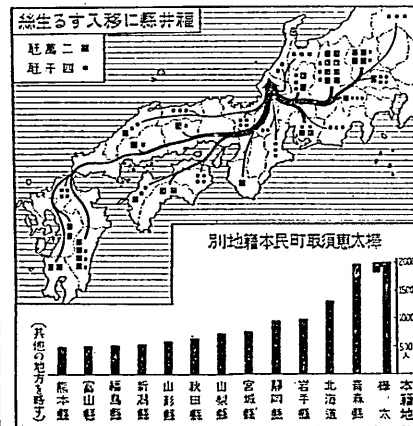
因 成 の 島 松



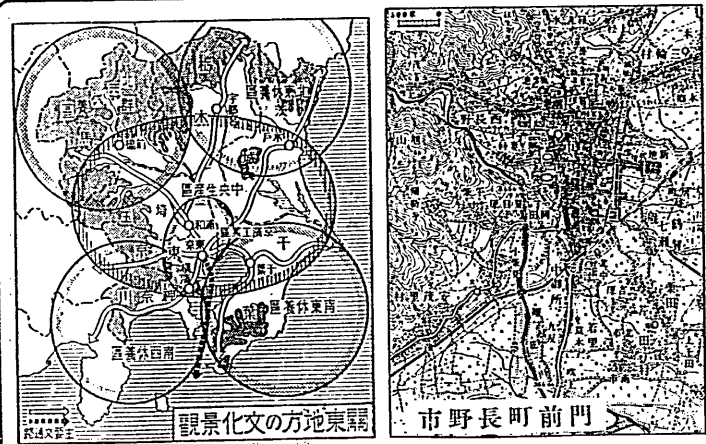
地 體	氣 候	と	關 係	産 業
① 先づ地形を調べ、次に地形區を分けよ。 ② 地質圖なども參考にして、地形の成因を考へよ。	③ こんな地質地形の所にどんな鑛産物があるか。	④ 海流潮汐干満の差はどうなつてゐるか。	⑤ こんな海流のある所にどんな漁業が起つてゐるか。	
山脈、川、湖、平野、海岸の狀態。 地盤、丘陵、盆地、扇狀地、河蝕崖、海蝕地、三角洲、砂洲の模様。 昔の地形と今の地形	鑛産物は、どんな岩石中にあるか。	夏と冬の海流潮汐干満の差のしらべ。	魚族漁法のしらべ。 養殖されるものの檢べ。	地形區圖 地形のスケッチ、島嶼圖、模式圖 化石の採集 石材、鑛石の採集 夏と冬の海流の溫度 魚貝の採集



人口	商業	交通
① そんな人文状態の所に、どんな風に住んでゐるか。	② その交通を利用して、どんな風に商業が行はれてゐるか。	③ かうした位置地形、産業状態の土地に、どんな風に交通路が出来たか。
人口人口分布種別動態密度。 地方語風俗習慣教育の状況。	商品商圏輸移出入品輸移出入先。 金融機関産業組合商業會議所。	交通機關の種類。 鐵道國道縣道等の起點終點。 自動車自轉車の數。 一分間の交通量。 通信ラヂオ航空等の状況。
人口分布人口増減のグラフ。 學校の分布圖。	商圏圖。 輸移出入經路圖。	鐵道圖。 交通量圖。 可航水路圖。 列車等刻線圖。 航空路圖。



地體	氣候	關係	産業
④ こんな地形海流は、どんな氣候を作つてゐるか。	⑤ さうした氣候の處に、どんな農牧林産があるか。	⑥ こんな位置地形氣候産物の處に、どんな工業が起つてゐるか。	⑦ こんな位置地形氣候産物の處に、どんな工業が起つてゐるか。
氣溫雨量の毎日毎月、毎年の最高最低極數、積雪の状況、氣候の豫知法。	農牧林業等の主要産物の價格。 郷土の需要を満たしてゐるかどうか。 灌漑排水開墾等に關する先輩の事業、農牧の方法。 林相樹種の檢べ。	工業の種類。 労働者の數性別出身地其の他の状況。 原料の輸入。	工業都市分布圖。 労働者出身縣別圖。
氣溫表、等溫線圖、雨雪量の分布圖。	土地類別圖。 家畜分布圖。 森林分布圖。 農產物分布圖。	工業都市分布圖。 労働者出身縣別圖。	工業都市分布圖。 労働者出身縣別圖。



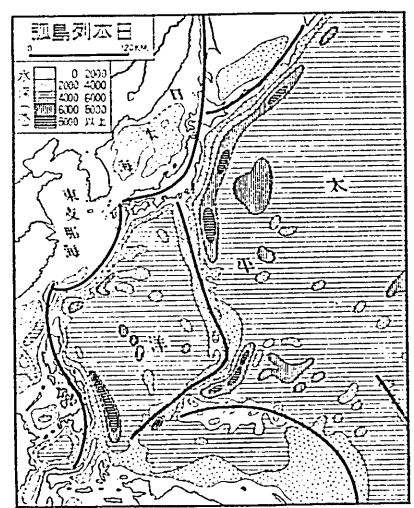
考察	總括	人口	
		聚落	(續)
⑤ 郷土の將來について考察せよ。	④ 要するにどんな地理的景觀になつてゐるか。	② 聚落はどんなに出来てゐるか。	聚落型。 街村集村散村城下町・門前町市場町 生産別による聚落の分類。 田地村田畑村畑地村兼農村・蔬菜村・混合村 生産都市か。 消費都市か。 名所舊蹟神社とその由来。
		③ 人のこんな活動地	神社佛閣の分布圖 石器包含 厨の分布 圖
		① 要するにどんな地理的景觀になつてゐるか。	地名の起原。 地形區・産業圖等を對照して、地形と人文とが如何に關係してゐるかを考へよ。 作文と連絡して郷土の將來郷土人士の責務等について論文を作れ。

新選地理

帝國之部

乙表用
再訂版

第一編 緒論



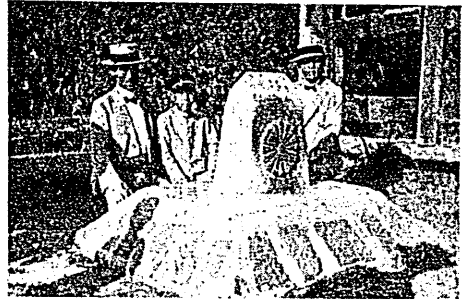
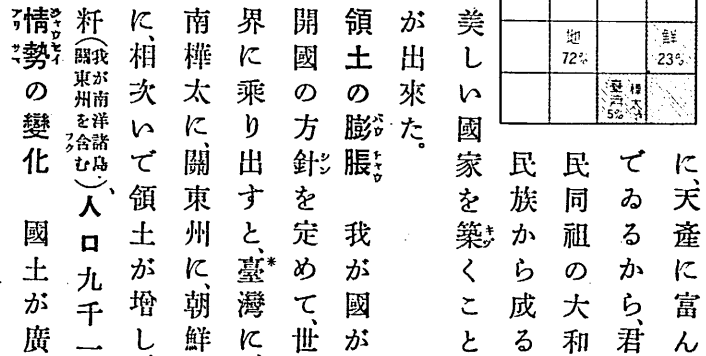
境域 我が大日本帝國は、太平洋の北西にあつて、三個の弓形をした日本列島と、朝鮮半島とから成り、別に租借地の關東州と委任統治地の南洋諸島とがある。
本土 日清戰役以前の領土を、本土(内地)といふ。海國である上

租借地とはどんなところか
委任統治とはどんなことか

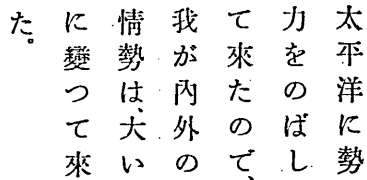
日清戰役以來
領土となつた土地
をあげ其の領土と
なつたわけを述べ
よ

國策 朝鮮國境の警備
一旦事あれば國境
警備の警官一家は
皆武器をとつて立
たればならぬ國は
警官家族のピスト
ル練習の狀である

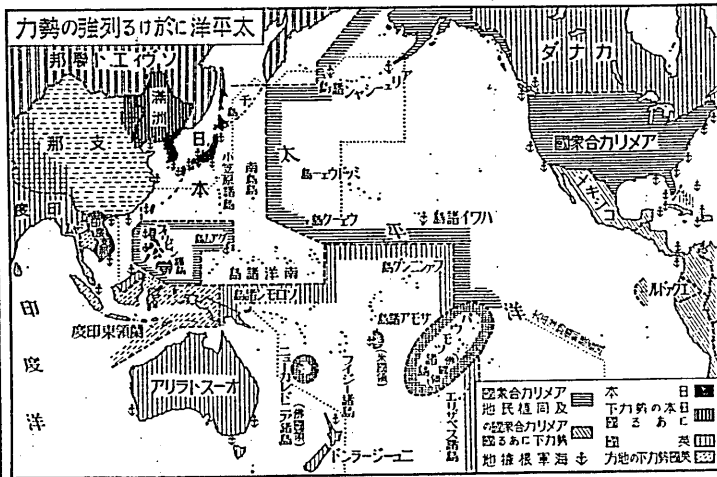
	内		餅
	地 72%		餅 23%
		海苔 5%	糯米 2%



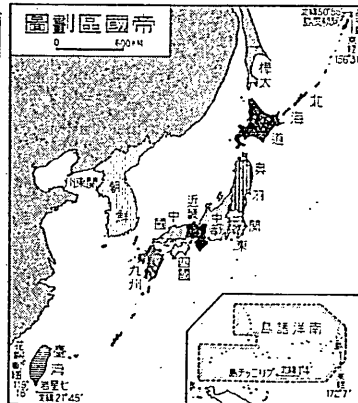
情勢セイセイの變化 國土が廣くなつた上に、列強も



即ち北は國情の著しく異なる大きなソヴィエト聯邦と、西は新興滿洲國及び内亂の絶えない支那と隣し、東は太平洋を隔てて、世界第一をほこる米國と南は廣大な英國の領土と相對してゐる。その上内には新附民族の問題、人口食糧の問題などがあるから、決して油斷してはならぬ。



● 國を見て十三
地方の名をいへ

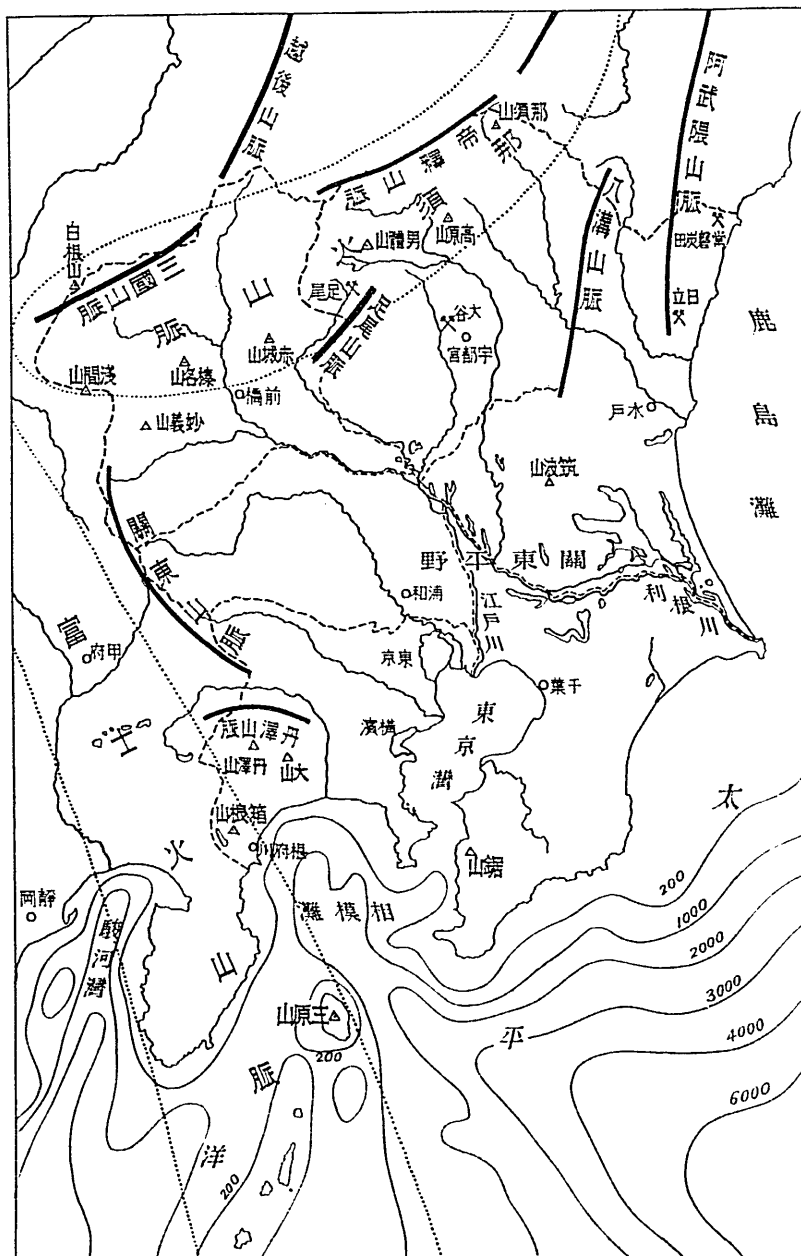


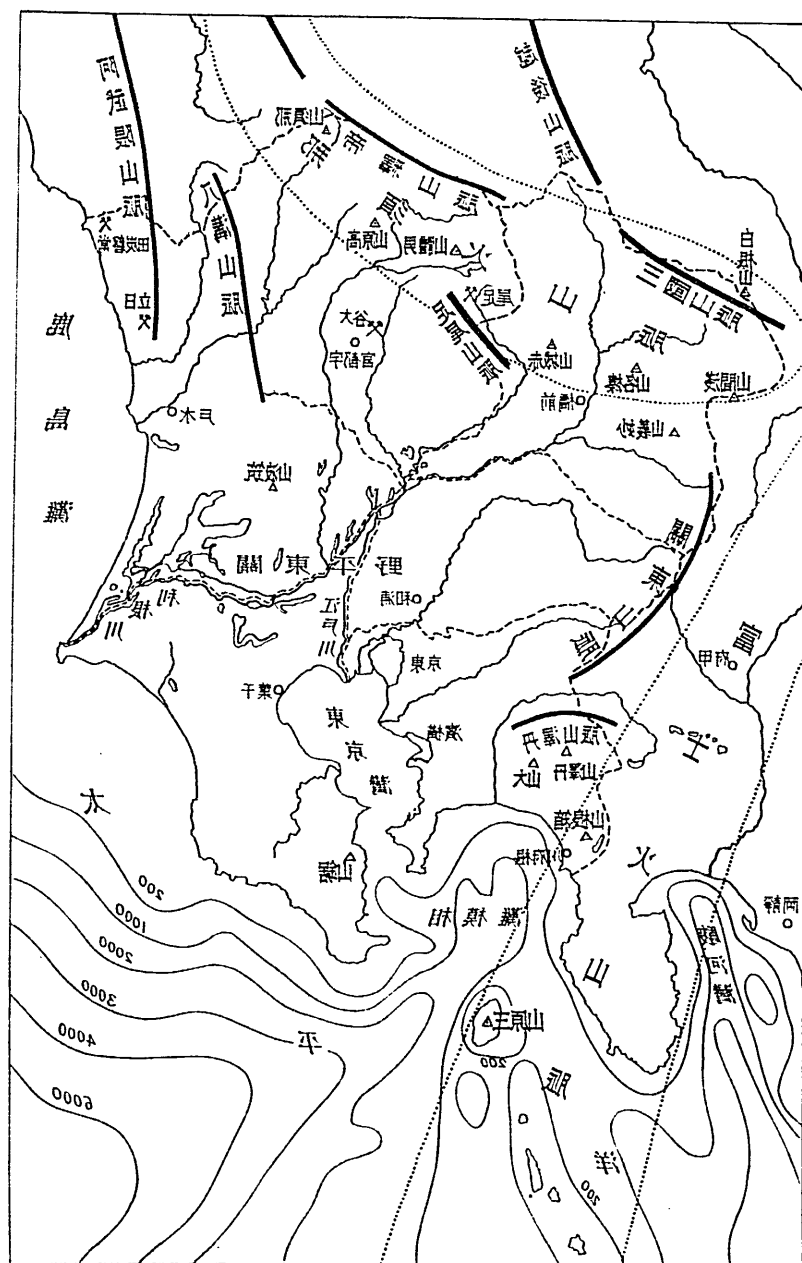
地理の學習 日本地理は、かうした大切な問題を理解して、國民の務を知ると共に實際生活に必要な知識を得る爲に、學習するものである。

我が國はもと畿内八道即ち八十五ヶ國であつたが、今は一道三府四十三縣五植民地に分れてゐる。しかし本書は、之を十三地方に分つて學習する。

畿道國別表

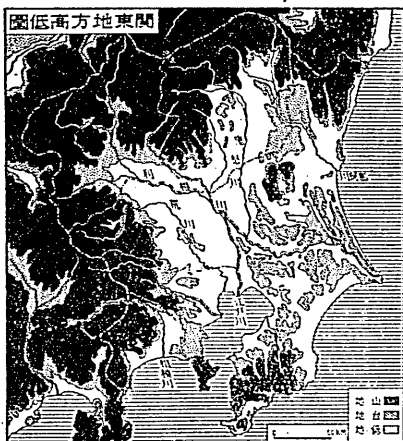
畿内	東海	東山	北陸	山陰	山陽	南海	西海	北道
山城 大和 河内 和泉 攝津	伊賀 伊勢 志摩 尾張 三河	近江 美濃 飛騨 信濃 上野 下野 磐城 岩代 陸前 陸中 陸奥 羽前 羽後	若狹 越前 加賀 能登 越中 越後 佐渡	丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆 出雲 石見 隱岐	播磨 美作 備前 備中 備後 安藝 周防 長門	紀伊 淡路 阿波 讃岐 伊豫 土佐	筑前 筑後 豊前 豊後 肥前 肥後 日向 大隅 薩摩 鹿兒島 對馬 琉球	渡島 後志 石狩 天鹽 北見 釧路 日高 十勝 釧路 根室 千島





⑤ 關東平野がこの地方のどれ位あるか目で測れ

⑥ 「關八州の勢を以て全國に對す」といふ言葉があるのは何故か



第二編 地方誌

第一章 關東地方

一 概観

面積 三、五方軒 (人口一、五萬人) (人口密度 四七人/平方軒) (密度は一方軒につきてのもの、以下之に倣ふ)

本州島の南東部を占め北西の二方は山地によつて奥羽中部と境し、南東の二方は廣い太平洋に面してゐる。日本最大の關東平野がわたり早くから政治の中心となつた。特に江戸幕府の頃から著しい發展をとげ、今は帝國文化の代表的地方である。行政上、一府六縣に分れる。

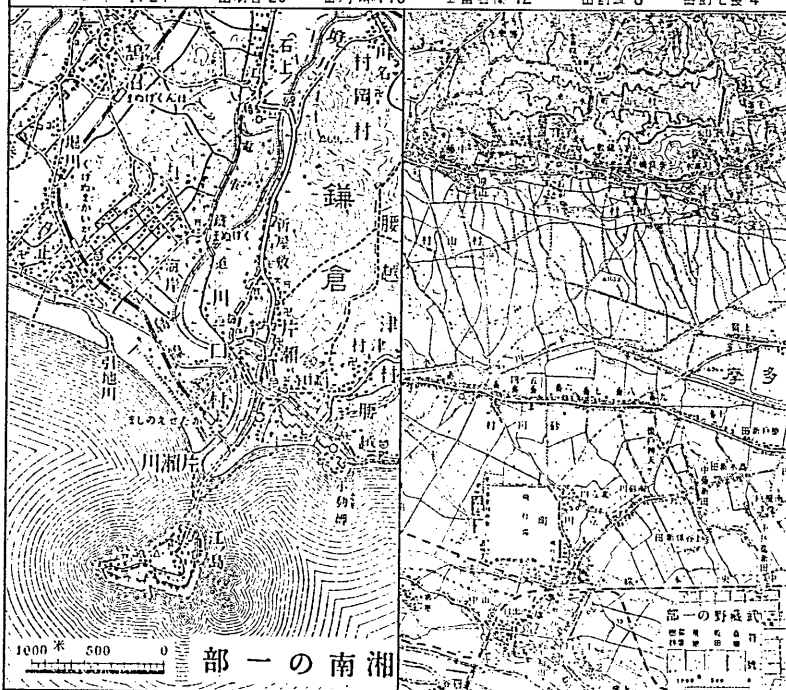
二 地體氣候と關係産業

地形上北部山地西部山地關東平野及び半島部の四區に分れる。

赤城山附近模圖



山名	21	17	13	9	5	1
山名	22	18	14	10	6	2
山名	23	19	15	11	7	3
山名	24	20	16	12	8	4

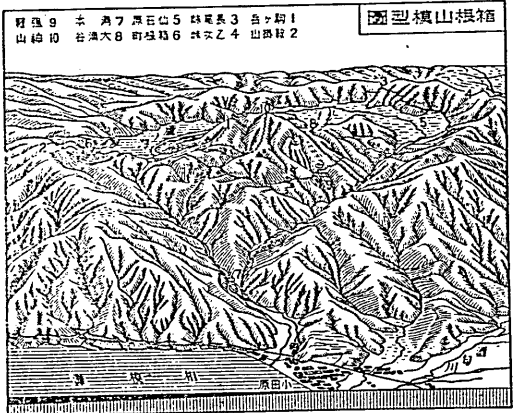


妙義山 餘程古い時代に活動した火山の残址で、全山幾塊岩からなり、永い間の風雨の侵蝕のために、幾塊岩特有の奇岩を遺つたものである。圖中近くの岩を左から説明すれば、第一石門・第二石門・ローンク岩、遠くに立つのがツラギ岩である。



をも産する。北部山地には、又鹽原伊香保草津等の温泉、日光妙義等の勝地があつて、遊覽保養に適する。

西部山地 地。壘の關東山脈が西境にわたり、箱根山三原山(大)を連ねる富士火山脈は、豆南諸島から遠くマリアナ諸島に及ぶ。根府川石は、この火山岩の石材である。



④ 地圖を見て清水トンネルの長さを計れ

⑤ 下 清水トンネル島嶼圖

⑤ 下の断面圖でトンネルが幾つあるか数へよ

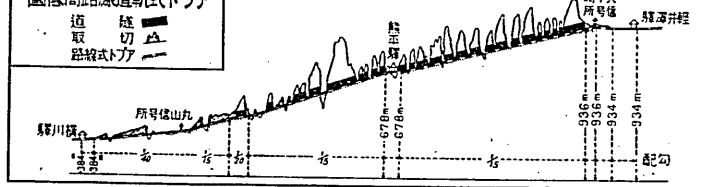
⑥ 大吹崎
古い土地の残片で燈臺が見えてゐる



方に出た者は、天氣清朗、麥畑連る景観の變化に驚くであらう。勿來、白河三國、碓氷小佛足柄箱根は古來、他地方との連絡點で交通上軍事上重んぜられた。世界を驚かした丹那隧道、碓氷峠のアプト式軌道、世界屈指の清水隧道は、人力が此の自然の大障壁を征服したものである。

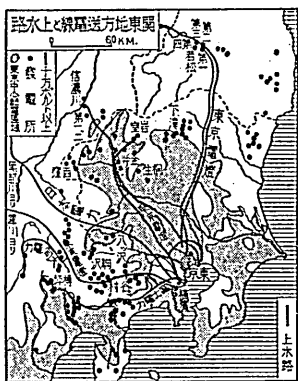
關東平野 帝國最大の隆起海底平野で、臺地と低地とに分れ、太平洋に向つて緩やかに傾いてゐる。東京市東半の如きは、近代まで水底にあつた。北浦霞浦の海跡、湖、鹿島灘、九十九里濱及び相模灘の地形は、土地の隆起を示してゐる。

圖 高低路線軌道式トプ

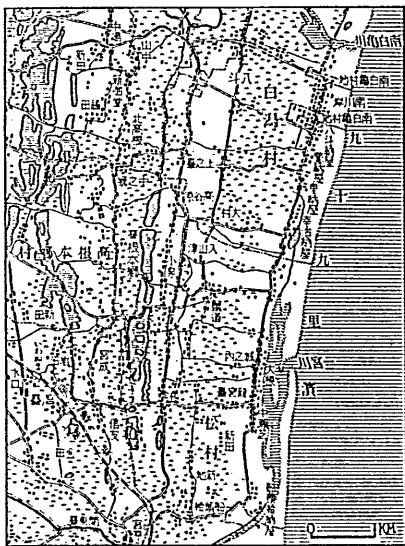


⑦ 九十九里ヶ浜の地形
砂丘列が海岸と並行し、其の列の間に潟湖が南北に細長く並んで、もと海岸であつたことを示す道路も、聚落も殆ど之と並行してゐる。海岸に納屋といふ聚落が多く見えるのは漁村である。平野の周に發電事業が起つてゐるのは何故か

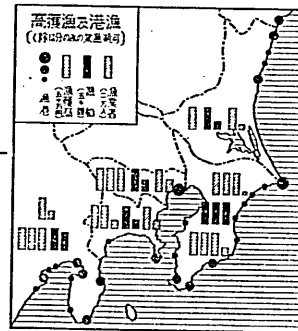
東京灣岸も著しく三角洲が生成し、淺草海苔(全國總産)は、この淺海に養殖せられる。那珂利根荒(多摩六馬入)酒匂等の諸川の上流は、急流や瀑布が多く、發電に利用せられてゐる。



利根川は、北西隅に發し、渡良瀬、鬼怒、小貝等の支流を扇狀に集めて、關東平野を斜に流れ、銚子に至つて海に注ぐ。その分、流の江戸川は、東京灣に入る。長さ三二二軒流域の總面積一五七六〇方軒(日本)流れが緩やかで水量が多い。河道は屢變遷し、末流は戰國時代までは隅田川で、後に江戸川となり、



所 身怒川發電所



● どんな漁港や軍港があるか

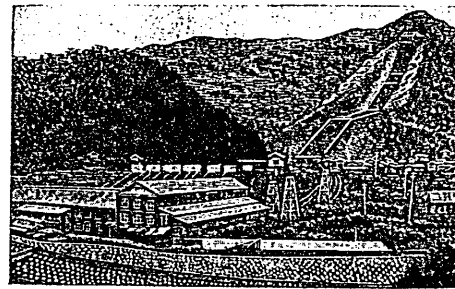
更に今の流路となつた。印旛沼手賀沼などの湖沼はこの河道の激變を物語つてゐる。上流の發電、中流の灌漑、下流の水路網は本地方の人文に大關係があつて、人口は此の流域が一般に密である。
多摩川は東京に馬入川は横濱に飲料水を供給し、荒川は東京市の中を流れて大いに利用されてゐる。

半島部 房總・三浦兩半島は、若い地層の丘陵で、浦賀水道の陥没によつて離れ、關東平野の隆起の爲陸続の半島となつた。

房州石(硯灰)は、鋸山の石材である。

斷層の岩石海岸は、漁港や軍港に利用されてゐる。

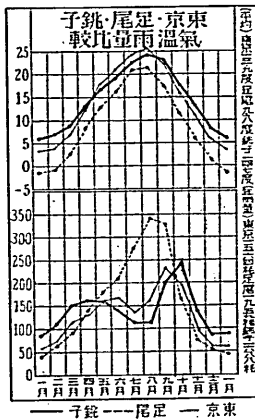
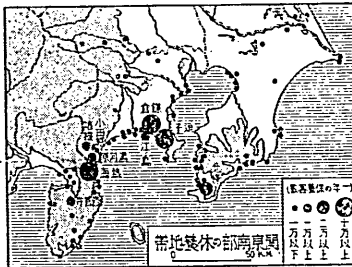
近海には、日本海流(潮黒)が流れ、御藏八丈二島間では黒瀬川の名がある。この暖流は、魚族に富み、且つ京濱の大需要地を控へてゐるから、漁業が盛で、銚子・館山・三崎等



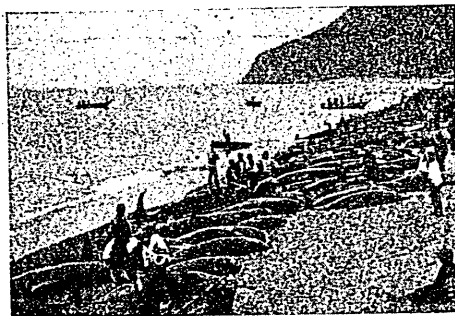
● 九十九里ヶ濱と房總・三浦兩半島との漁法の異なるのはなぜか

● 房總半島の鮎漁

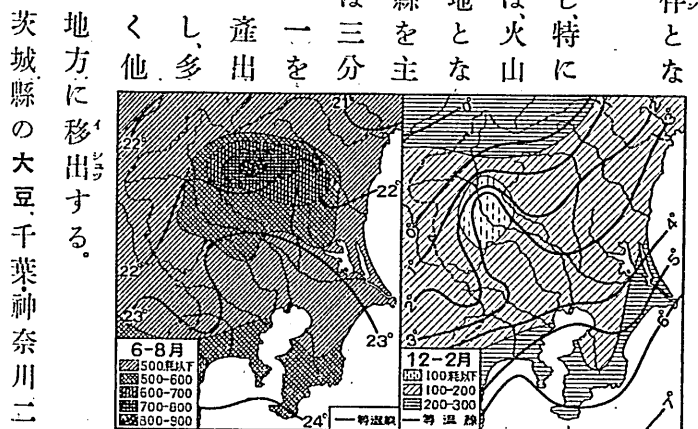
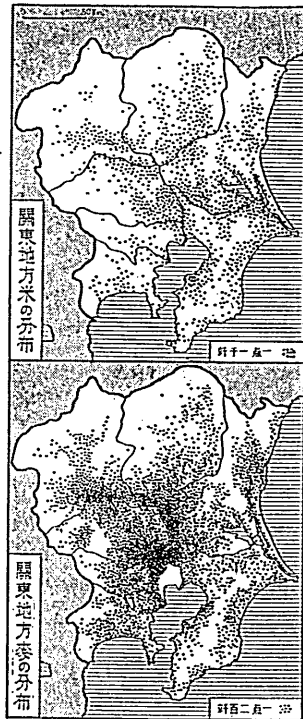
● 何故保養客数は房總南部よりも湘南に多いか



の漁港が發達した。漁獲物は、九十九里ヶ濱の濱、漁業の鰯、銚子及び房總三浦兩半島を根據とする沖漁業の鰹、鰯が多い。
氣候 暖流は北西の山地と共に、此の地方の氣候に影響する沿岸は、表日本溫暖地帯の東端となり、北條鎌倉小田原等の保養地が多い。夏季に南東季節風の送る暖流上の濕氣は、之と直角に走る北西山地に遮られて雨となり、北西季節風の吹く冬季は、本地方は風下となつて雨雪が少い。上記の地形氣候は、京濱の大消費地を



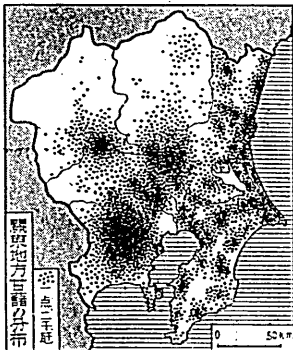
氣候圖



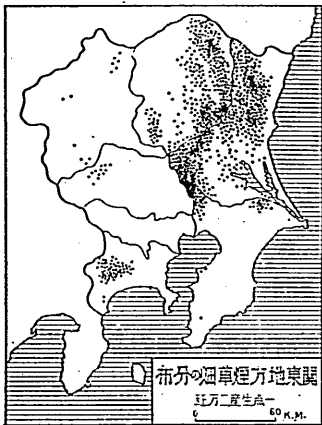
地方に移出する。
茨城縣の大豆、千葉、神奈川、二

もつことと共に、産業發達の絶好條件となつてゐる。
灌漑至便な河筋の低地は、米作に適し、特に千葉、茨城兩縣の産額が多い。臺地は、火山灰を含んだ土地で、水を透すから、畑地となつて、麥作が行はれ、茨城、埼玉、栃木三縣を主として、大麥は全國の約二分一、小麥は三分

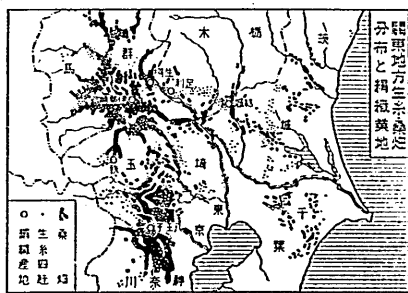
● 武蔵野臺地に甘藷が非常に多いのは何故か



縣の落花生、武蔵野常總臺地の甘藷、狹山附近の茶は、共に臺地の産である。又常總臺地の南部は、雜木林が廣くて、京濱に薪炭を供給する。北西部の山麓帶は、火山灰におほはれた畑地が廣く、那珂川流域の茂木、烏山、太田



神奈川縣秦野を中心とした煙草は、全國産額の四割を占める。栃木縣の山麓帶は、大麻の多産地で、製麻業(鹿沼)が起り、群馬、埼玉、東



⑤ 南市場・製絲
地・機業地をあげ

⑥ 野田醤油合
社醸造工場 資本
金〇〇萬圓従業員
〇〇〇人工場敷三
造石敷五萬坪
園は第十七工場
大正四年竣工し工
我〇〇萬圓我が國
第一の醤油工場
である。
⑦ 安房は何故促
成栽培が盛なか
があるか

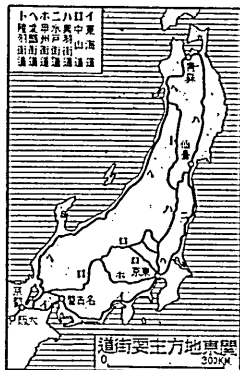
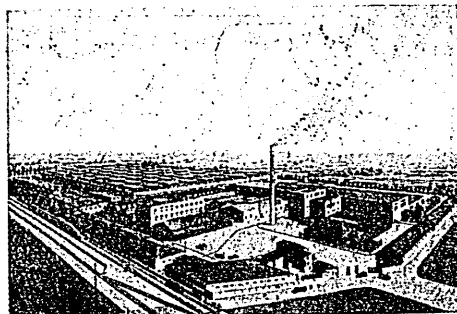
⑧ どんな醸造地
があるか

京神奈川四府縣の山麓地方は、桑畑が多く、本邦中主要の養蠶地帯で、繭取引製絲機業が發達してゐる。

平野は、かかる大生産地であるから、その中心に京濱工業地帯が出来た。東京横濱三十軒間は、實に一大工業市で、綿絲、綿織物、機械、肥料、洋紙、麥酒、セメント、藥品、印刷物等の産が、巨額に達する。この大聚落のまはりには、その需要を充たす爲、野菜栽培(安房には養蠶、養豚の業が起り、水質のよい、原料の豊かな利根、江戸、兩川の下流地方(銚子)は大醸造地帯となつた。

三 交通商業聚落

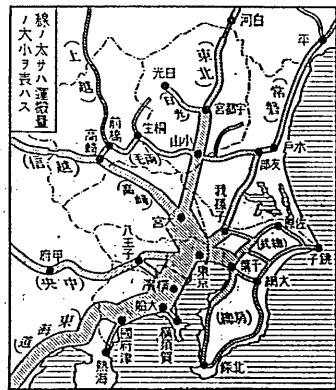
交通 本地方は、帝國主要の大生産地で、帝都・大貿易港をも控へて、



古來濱(来)奥羽(白)越後(青)中山道(米)甲州(小)東海道(根)等の諸街道は、四周の山地を突破してこの地方に入り、以て東京に集中した。今も常磐(東京)東北(京)上越(新潟)高

東海道線は帝國六大都市を連ねて山陽線に連絡し、本州縦貫の幹線の一部は電化せられた。速轉回数が多い速力の速き我國中第一である。

崎(大宮)信越(新潟)中央(東京)東海道(神戶)の諸線は、略この街道に沿うて東京に集る。土地が平坦で、總



武(東京)房總(蘇我)成田(千葉)水戸(水戸)兩毛(小山)など、平野内の鐵道も縦横の水路と共によく備はり、鐵道網の密度は、我が國第一である。



海運は、横濱を中心として内外の諸港に通じ、利根川・江戸川・霞浦・北浦は、本邦第一の内陸水路である。

電信電話も發達し、海底電線は、小笠原諸島中の父島で、米國線と接続する。無線電信局は東京（送信所）栃木縣小山（千葉縣阿岩根）横濱、銚子、父島、箱根、那須川にある。ラヂオ放送局は、東京（放送所）埼玉縣新郷（埼）前橋にある。

定期航空路には、東京^(羽)・大阪間、東京^(羽)・大連間、東京^(羽)・清
水間、東京^(立)・新潟間^(郵便用)の四線がある。

商業 商業は、整備した交通機關を利用して、頗る活潑に行はれ、東京は、大阪と對立して内地の東半を商圏とする。（商業ノ發達結構） 横濱は、東京の門戶、生絲絹織物の大輸出港で、神戸と共に帝國の二大貿易港である。

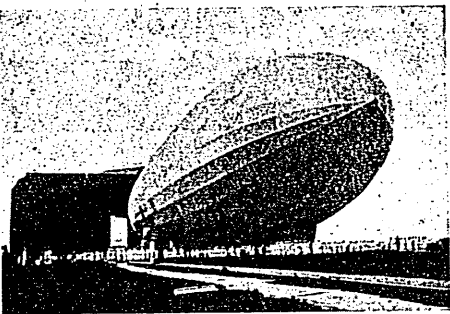
聚落 人口密度は、帝國中最大で、その重心は京濱地方
人々集つて住む所



横濱の生絲

問 横濱は何故生
絲の大輸出港とな
つたか

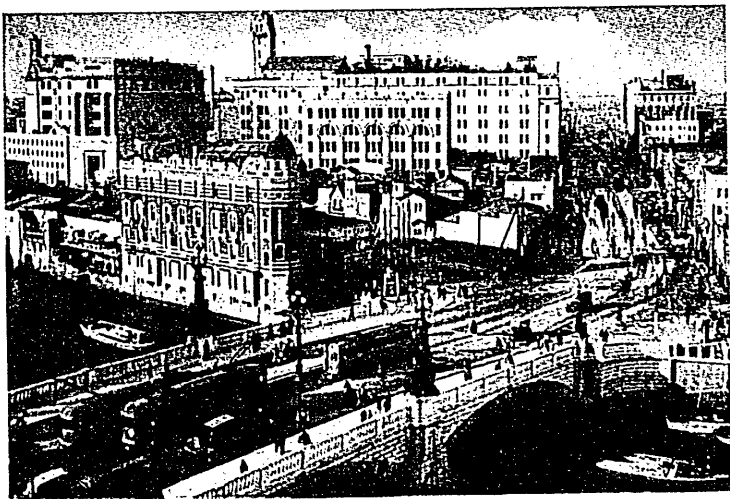
 官ヶ浦飛行
 隊の飛行船格納庫
 間口空米奥行三
 米丸ノ内ビルチン
 米も二個はれり三
 万人を入れられ東
 洋一の大建築であ
 る今引出された飛
 行船はツエペリ
 ン伯號である
 ㊦ 故東京に通
 ずる街道には街村
 が多いか



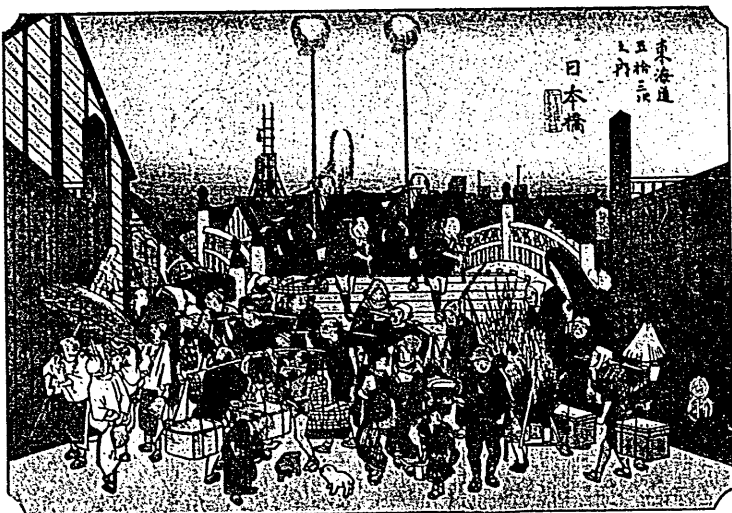
である。東京府は、府縣中の第一位、神奈川縣は大阪府について第三位にある。重心を遠ざかるにつれて疎となるが、山麓の養蠶絹織業地は又密である。都市密度は、甚だ大きく、人口一萬以上の都邑が七十二個もある。東京の周圍に、野菜栽培の聚落^{ムラ}、其次に米麥栽培の聚落があり、海岸に漁村、山麓に機業聚落があつて、中心の地に衣食を供給し、京濱人士の爲、房總湘南及び火山地方は、休養地帯となり、京濱の重要工業地を護る軍事市も諸所にあつて、互に深い關係を保つて發達してゐる。

(管轄) 武藏一部、伊豆七島、小笠原諸島、南島、(地方廳所在地東京市)面積 二、一五方杆人口 五、四萬八千方杆人口二、五三三人(以下之に準ず) ⑤ 山ノ手と下町とは何故景観の相違を見たか

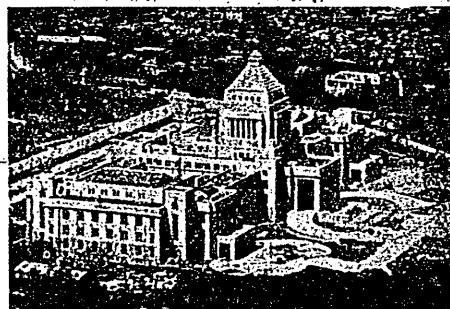
東京府東京市 帝國の首府、經濟、學術、交通の中心で、人口五百萬、ニューヨークに次ぐ世界第二の大都である。舊市部は、武藏野臺地の東端と、隅田川に沿うた低地とを占めて、山、手には役所、學校、住宅が多く、下町には商家、工場が多い。市街は、宮城を中心として、略



橋本日の今現
と基を之は離距る至に地各國帝りよ京東) 標元路道市京東はに央中の上橋き如がる
姿の本日興新もにこ民市るす階横てつよに號信車諸の行通側左 るえ見が(るす
るえ見が



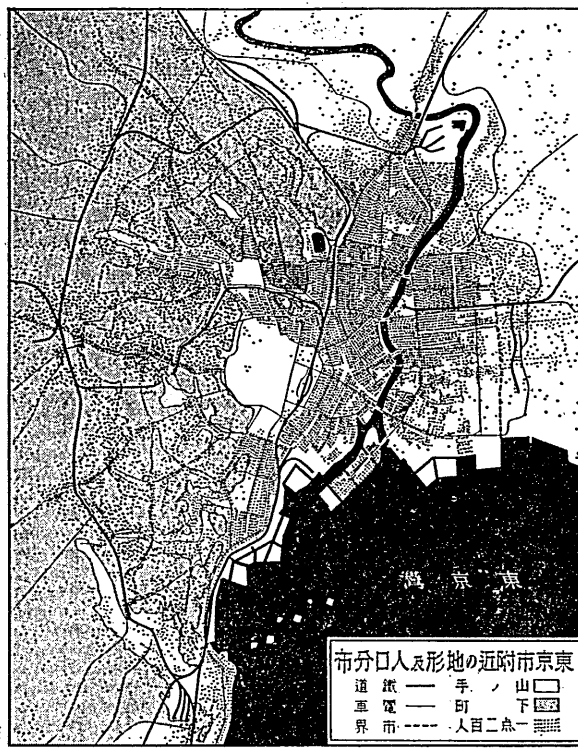
人行通いの制統橋本い狭 るあで家盡の間年政安・永嘉は重廣藤安 橋本日の昔
るあで橋本日の前紀世に僅がれこ 列行名大の姿ゲマンヨテ



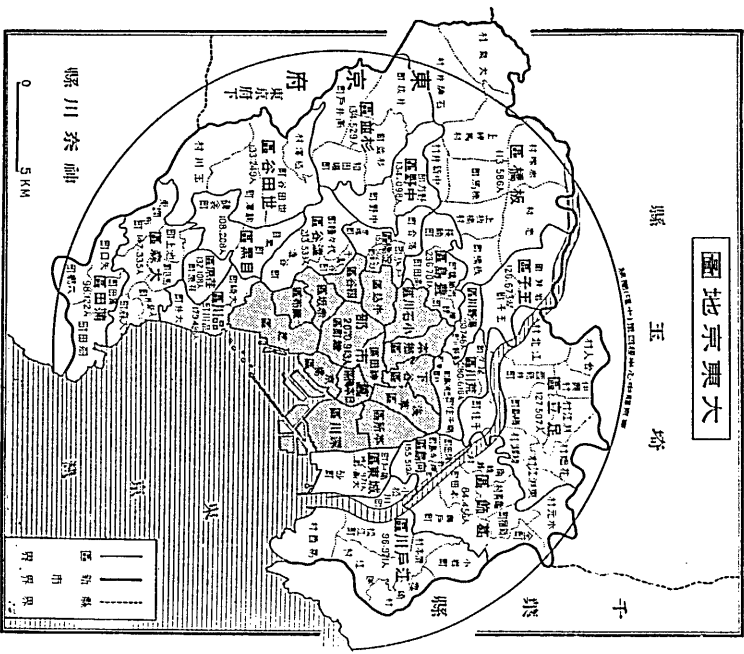
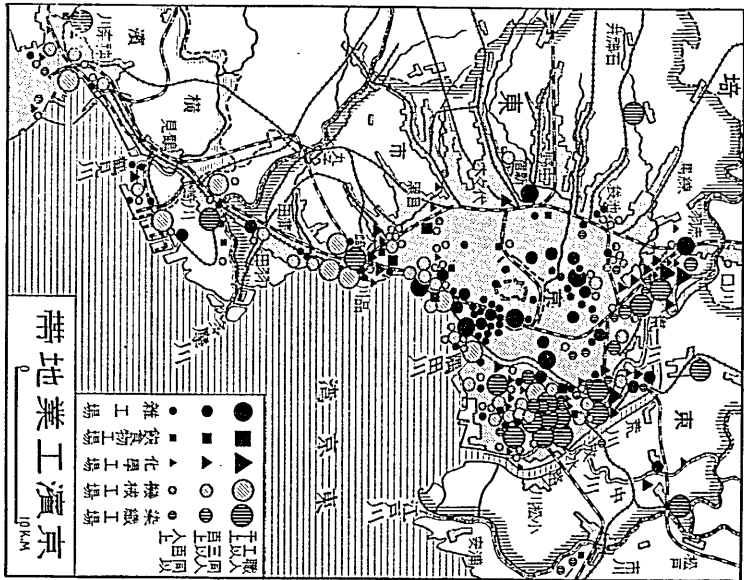
新築中の帝
國議會議事堂

放射狀に發達
した大城下町
である
中心部の丸内

グが多い。その他内閣諸官省近衛第一兩師團司令部大
審院控訴院帝國議會議事堂外國大公使館帝國大學等が



市分口人及形地の近附市京東
道鐵——手ノ山
重電——町下
界市——人百二点一里



●なぜ東京は西方に延びるか

明治神宮

武蔵一部相模
(横濱市)
面積 二、五〇方
人口 一、三〇萬人
密度 六八人

あり、公園・社寺も多く、内外の遊覧者が集る。

大正十二年の大震災^{シノ}によつて舊市部の下町は殆ど全滅したが、忽ち復興して面目を一新し、住宅地として西方に伸びる傾向が著しく、今は行政上三十五區となつた。又、立體的發達が著しく、高層鐵骨の建築が続々起り、地下鐵道も次第に延長された。市域の擴張と共に、市電自動車網の發達も目覺しく、上水^{ジョウスイ}を羽村村山より仰いでゐる。

中央線・地方・立川には、飛行聯隊がある。

梅は、機業が盛で、附近より石灰石を出す。八王子市は、大絹織地として著れ、淺川に大正天皇の御陵がある。

神奈川縣 横濱地方 川崎市は、東京・横濱を兩翼とした工業地帯

の中心に位する新式の工業市である。横濱市は東京の外港で、東

日本の大關門である。

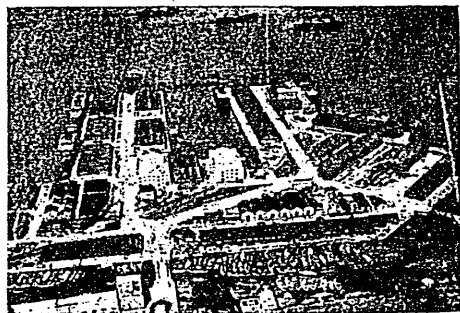


明治神宮

● 横濱の繁
船岸壁

● 三浦半島には
何故良港が多いか

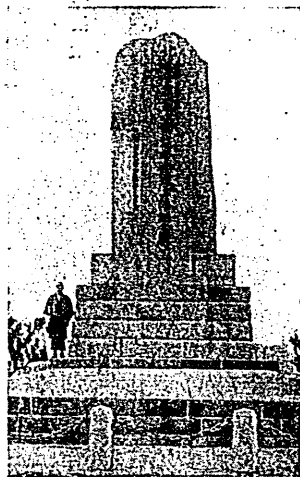
● 横須賀は何故
軍港となつたか
● 浦賀は、
陸記念碑



横濱市は、幕末までは一漁村に過ぎなかつたが開港と共に急激な發達を遂げ、鴻は埋立てられて工場・商館・倉庫が密集し、繁華の一角には、歐米航路の巨船が横着けになる。生絲絹織物の大輸出港で、米英支を主な取引先とし、輸出生絲の九割は米國に送られる。在留外人の多いことは、帝國中第一である。

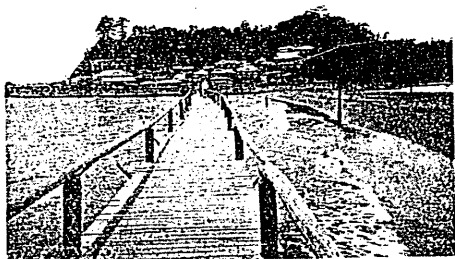
三浦半島 浦賀水道に面して、良港が多く、要塞地帯である。

横須賀市に、第一海軍區の鎮守府、海軍工廠がある。附近の追濱に、海軍航空隊がある。浦賀は、江戸時代には、東京灣岸第一の



● 鎌倉小田原
は歴史上どんな處か
● 江ノ島

下總大部・上總安房（千葉市）
面積 五、七九方軒
人口 一五萬人
密度 二・九人
● 三里塚の
牧場と櫻



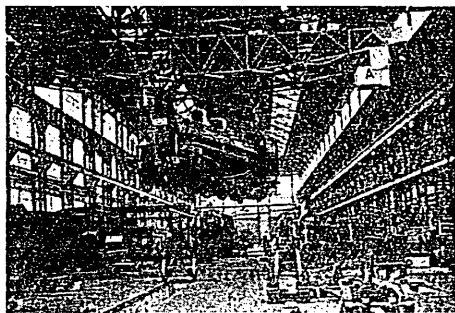
港であつたが、今は船渠會社で著れる。久里濱は、ベリーの土陸地として名高い。湘南地方。京濱に近く、史蹟に富み、夏は涼しく冬は暖くて、鎌倉・葉山・逗子・江ノ島・平塚市・大磯・國府津・小田原・箱根など、保養地が多い。

千葉縣 利根川・下流地・方 下總の臺地は、麥類・甘藷の栽培が多く、原野は牧場（三里塚）軍用地（下志津飛行學校、國府臺、兵隊團、有志野、騎兵旅團等）となり、低地は米を出す。市川市は東京通勤者の住宅地、千葉市は交通の要地である。佐倉は城下町、成田は不動堂の門前町である。佐原は、水



工場 大宮の鐵道
武蔵一部(浦和)
面積 三八〇方
人口 一四六萬人
密度 三八人

● 川口市は男が女より多く熊谷市は女が男より多い何故か

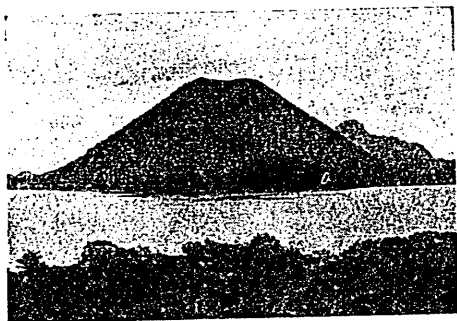


運の要地で、又酒の産地として、醬油産地の野田・銚子市、味噌産地の流山と共に名高い。
佐原の東方に軍神経津主神を祀る香取神宮がある。
房總地方 木更津館 山北條(海軍航空隊がある) 小湊(日蓮上人は、漁港休養地として知られてゐる。
埼玉縣 東部地方 沃野が遠く連り、農業が盛に行はれ、人口が稠密で、家内工業が多く、大都會が少い。 川口市は、東京に近く、鑄物、ビール（三九）の産が多い。 浦和市は東京勤務者の一住宅區である。大宮は、交通の要地で、鐵道工場がある。 川越市は、農産物の市場で、製絲が行はれ、南方の所澤には、陸軍飛行學校がある。
熊谷市は、繭生絲の集散が多い。
秩父地方 長瀬(秩父赤壁)を経て盆地に入れば、銘仙産地の秩父がある。

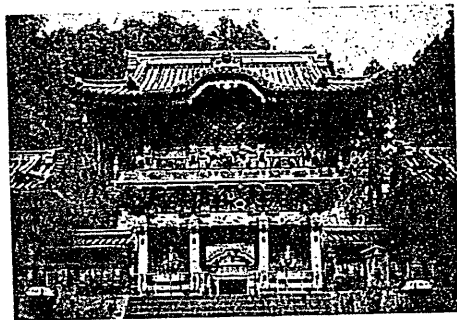
上野(前橋市)
面積 六三〇方
人口 二九萬人
密度 一八人

● 上野の三山とは何か
● 上野の三山とは何か

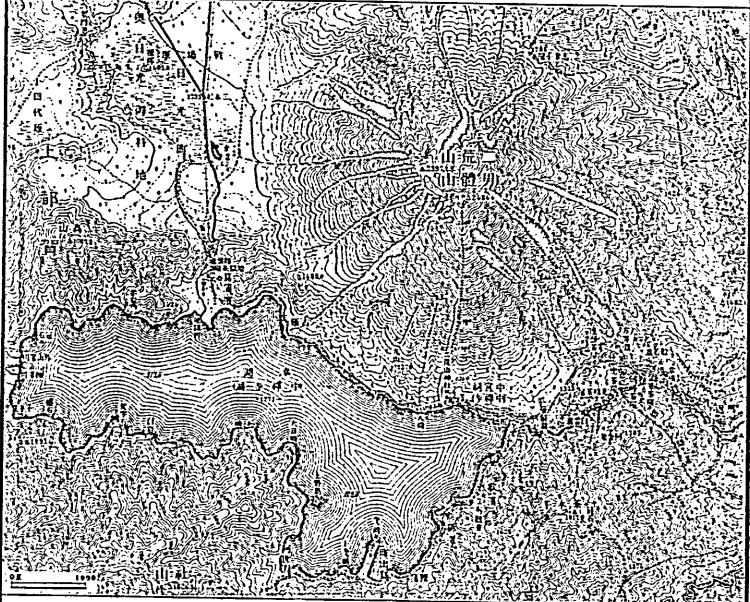
下野(宇都宮市)
面積 六三〇方
人口 二九萬人
密度 一八人



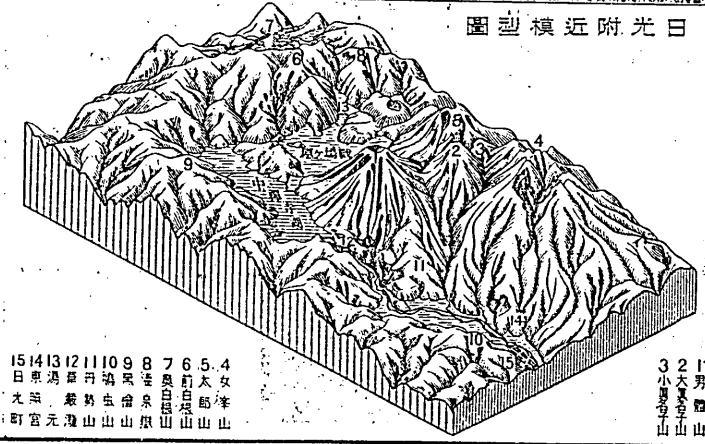
群馬縣 南部平野 高崎市は、交通の要地で、前橋市は繭生絲・絹織物の取引が盛である。
伊勢崎は銘仙、桐生市は羽二重・上州絹（西陣織と並稱）の産地である。 富岡は、製絲で名高い。
山間地方 景色のよい火山や温泉(伊香保・草津・四萬)があつて夏は浴客キャンプに、冬はスキーに賑ふ。



- 近 中禪寺湖附
1. 湖の南の山地と北の山地とで等高線の様子が違つてゐるのは何故か
 2. 男體山は若い火山か古い火山か
 3. 中禪寺湖はどうして出来たものか
 4. 大谷川の峡谷はどうして出来たか
 5. 華嚴湖は現今湖からどんなに隔つてゐるか
 6. 華嚴湖が湖まで達したらどうなるか
 7. 湖は海抜幾米位か
 8. こんな地形は人文上何に利用されてゐるか



日光附近模範圖



日光は東照宮の門前町で海抜六百米、中禪寺湖は之から數百米上つた所にあり、湖の懸る華嚴湖は風光壯麗で大谷川峡谷はその後退したもの、湖は今湖を距ること僅々半軒に過ぎない。

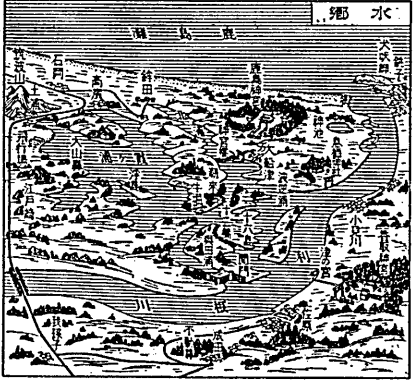
常陸下總大部(水戸市)
面積 一〇九方軒
人口 一四九萬人
密度 一三四人



ある。鹿沼は大蔵大谷は石材を産する。
北部山地。名勝地の日光、鎌山町の足尾温泉地の鹽原、那須がある。
那須野原には、

新式大農場が開けて來た。
茨城縣 南西部。結城は結城紬の産地で、土浦(油懸)石岡(酒)は醸造地、阿見は海軍飛行場の所在地である。

氷郷地方 著しい低地で河川の氾濫を防ぐ長大な堤防地盛をして建てた家屋、洪水時に備へた家毎の舟田仕事に出掛ける舟上の一家、開門式の横利根運河、さては長い鹿島神宮(祭神武甕槌命)橋。

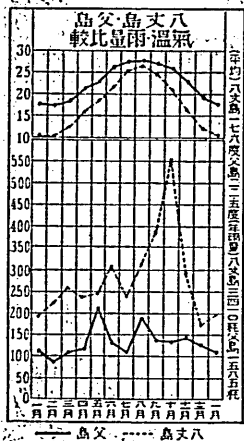


● 徳川氏は何故水戸に親藩を置いたか

● 波浮港

● なぜ小笠原諸島は高温多雨の亞熱帯氣候か

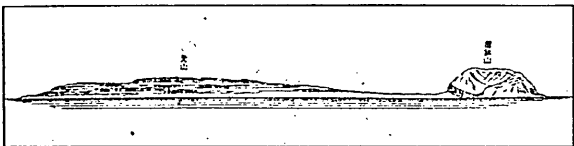
凡そ水郷の景観は集つて豊かである。
水戸地方 水戸市は、濱街道の城下町で、常磐公園・弘道館があり、剛健な民風が残つてゐる。
北部地方 常磐炭田の一部が亘り、又鑛山町の日立がある。
南方諸島 小笠原マリアナ弧に、火山を伴つて生じた伊豆・小笠原の諸島、硫黄列島(以上豆・南鳥島等八十餘島の總稱で、東京府に屬する。高温多雨の亞熱帯海洋性氣候である。



伊豆・諸島(伊豆)
大島・利島・神津島
三宅島・御蔵島・八丈島の七島が主である。



● 小笠原島の海運
● 硫黄列島は北・中・南の三硫黄島から成り附近には時々海底火山が噴出する中硫黄島は形によつてパイプ山と呼ばれる
● どんな事から軍備制限地となつたか



大島には、三原山(山活火)があつて航海の好い目標となり、その裾野で牧牛が行はれ、バターを産する。爆裂火口港波浮は良港である。
最大島八丈島は、東山・西山・雨火山が合したもので昔は流人島の一であった。養蠶牧牛が盛で、八丈絹椿油を産する。
小笠原諸島 低緯度にある爲、熱帯性氣候で、甘蔗・甘藷・バナナ・鳳梨が生育し、海龜・信天翁・大蝙蝠がある。冬期蔬菜を作つて之を東京に送る。軍事上大切な處(要地帯で海軍無)であるが、今は軍備制限地である。大村は、太平洋海底電線の中継所、奥村に歸化人の子孫がある。



第二章 奥羽地方

面積、 $22,247$ 平方
人口、 $5,570,000$ 人、人口密度、 249 人

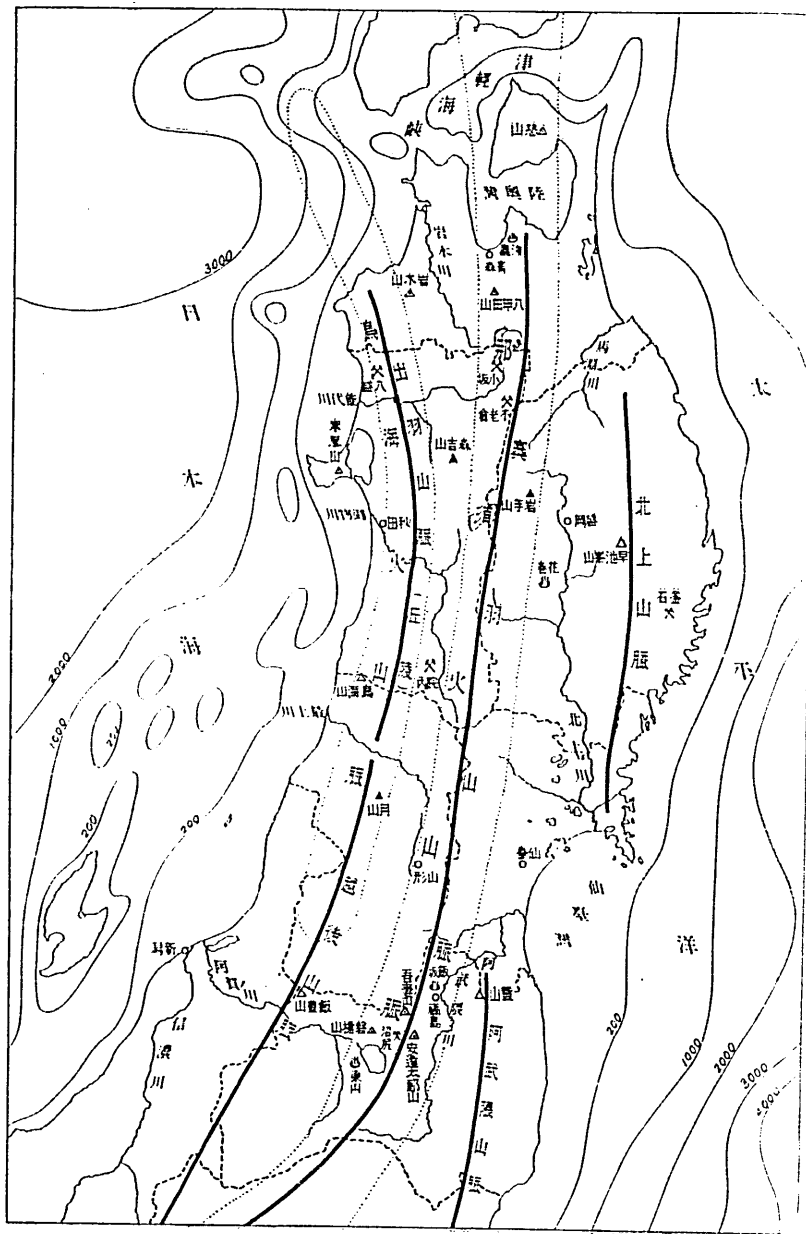
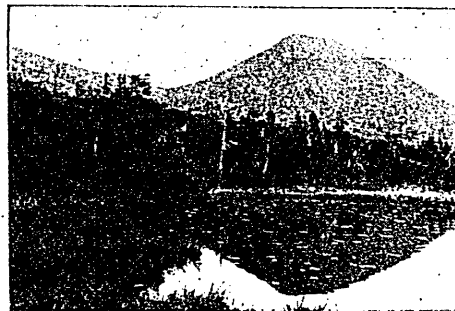
一 概観

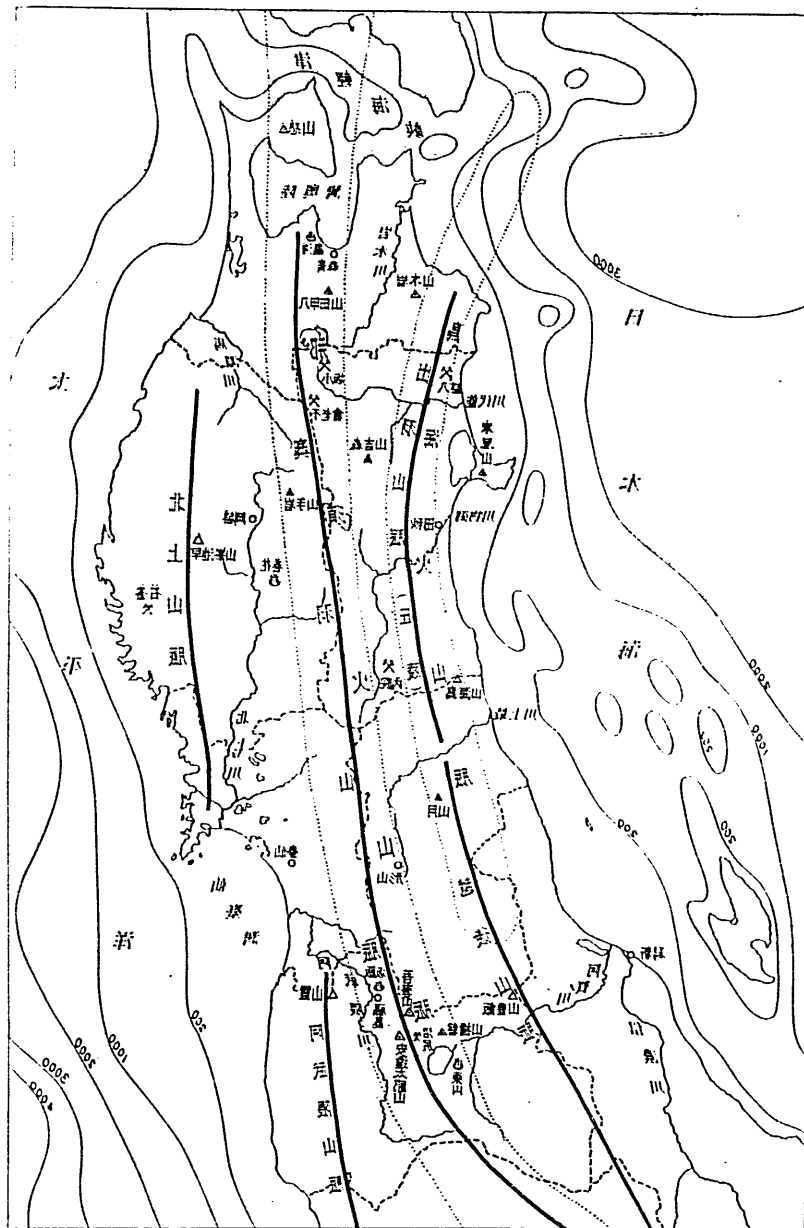
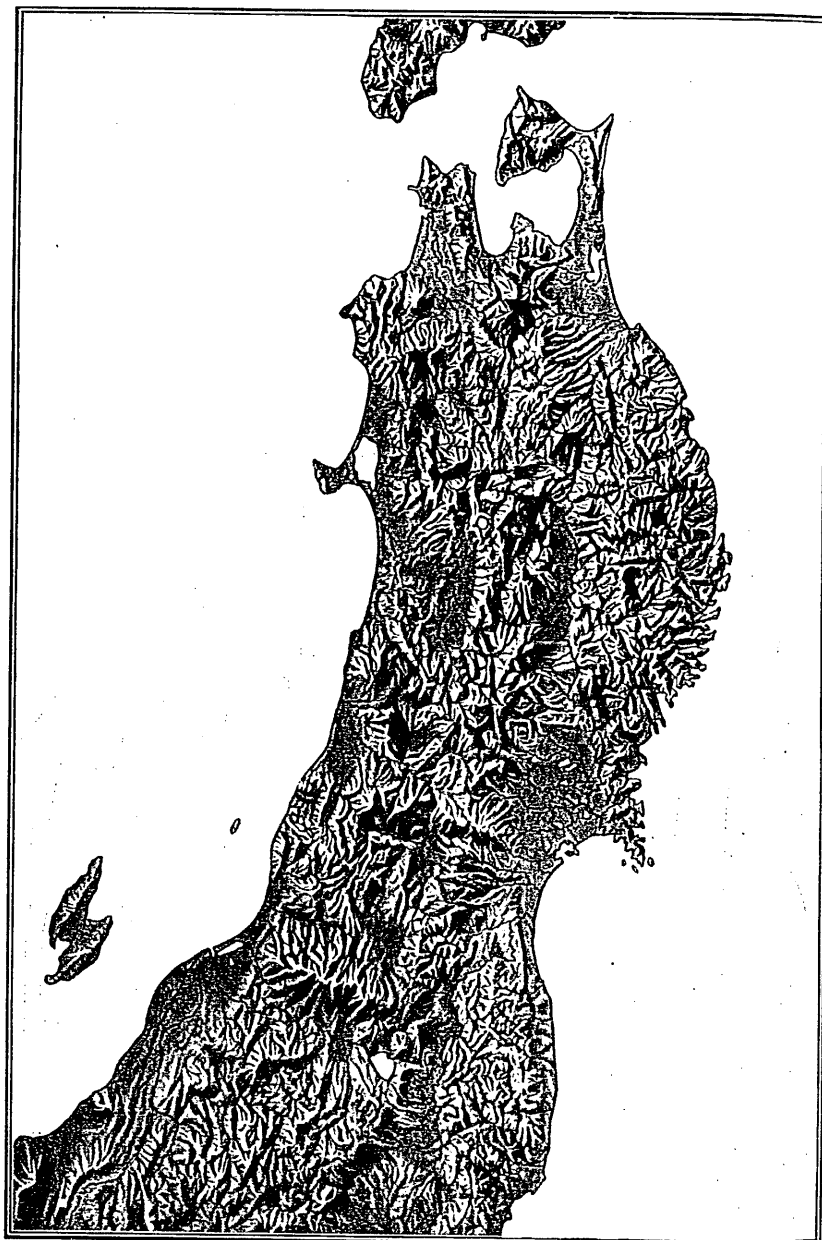
⑤ 関東地方と餘り遠くないのに急に氣候が變るのは何故か

⑥ 上 蔵王沼
下 八甲田山

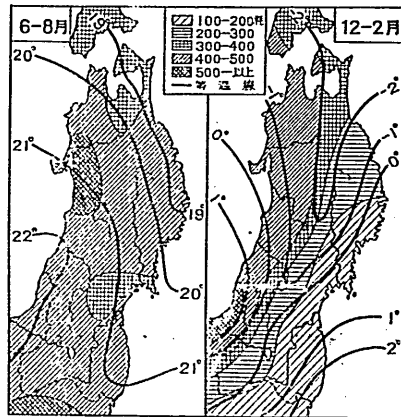
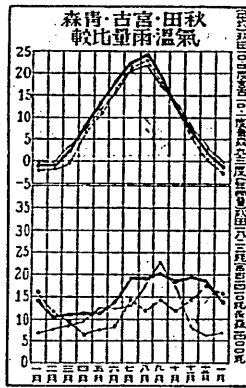
昔の陸奥出羽の地で本州の北東部を占め東北日本^{*}の冷涼氣候帯に属し、北するに従つて

寒く、植物も樺帯である。氣候が寒い上に、文明の中心に遠かつたから開發がおくれた。南部は関東地方と北部は北海道と關係が深く、地文、人文上、右二地方の中間地帯となつてゐる。行政上、六縣に分れる。





④ 地形圖・地質圖を開き縦に並んだ三列の山脈と二列の低地とを見出し其の名をいへ
 ⑤ 奥羽氣候圖
 ⑥ 花巻温泉

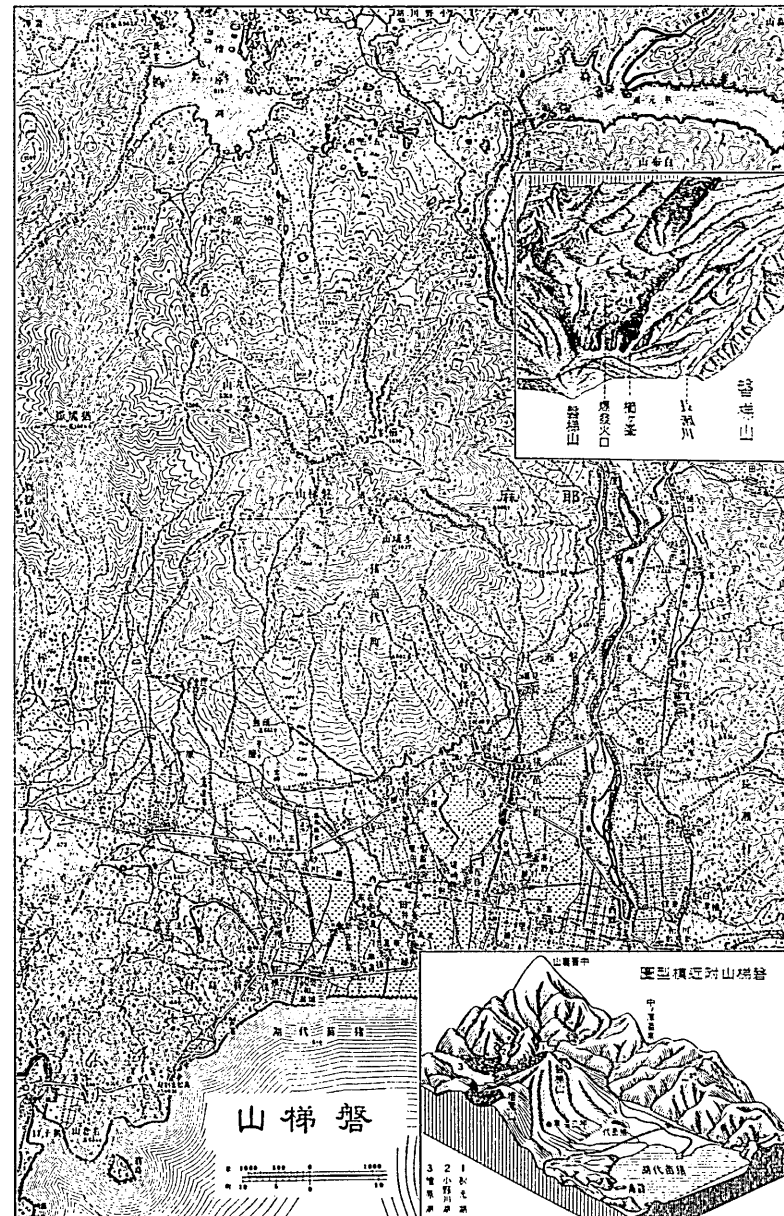


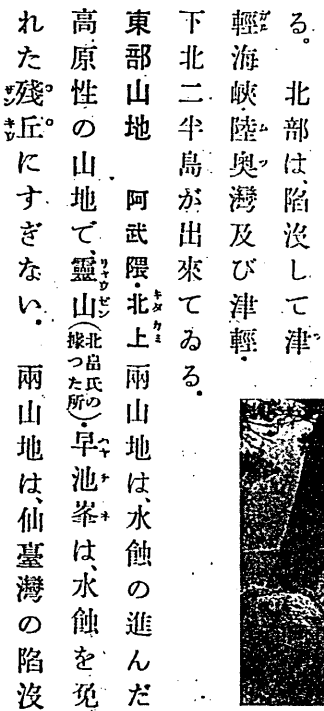
地形上、中央山地、東部山地、東部縦谷、出羽丘陵、地西部盆地帯の五區に分れる。

二 地體氣候と關係産業

中央山地 若い地層の低い奥羽山脈に、那須火山脈が噴出したもので、恐八甲田岩手、吾妻、磐梯

（明治二十年爆発）の火山を起して大分水嶺となり、又表日本、裏日本の兩氣候區の境となつてゐる。浅蟲、花巻、鬼首、飯坂、東山の





⑨ ガスはどうか
て發生するか
⑩ リアス灣内の
漁港をあげよ
⑪ 金華山はなぜ
捕鯊地となつたか
⑫ 松島
凝灰岩地が隆起に
つれて海蝕を受け
更に沈降して所謂
八百八島の勝景が
出来た近時は地盤
が隆起しつつある
富山・新富山の
眺は特によい
⑬ 松島
1.宮戸島の酒谷は
どうして出来たか
2.この圖を見て土
地の隆起する様は
何て分るか
3.陸上に上つた島
の名をいづてみよ
4.運河（野蒜）はど
んな地形を利用し
て造られたか

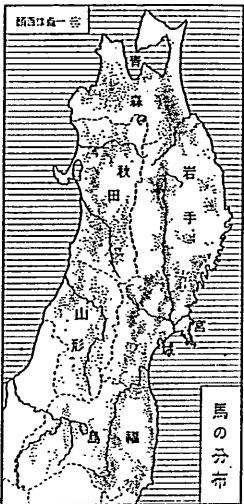


南東季節風の吹く夏は濃霧が發生し、氣溫も低く、時に飢饉に襲はれる。しかし北西季節風の吹く冬は、雨雪が少い。寒暖二流は、魚族を齎らし、リアス式灣内に好漁港があるので、鰯、鮪、鰹、節、搾、粕等の水産が多い。金華山沖は捕鯨で著れ、鮎川は其の根據地である。

東部縦谷 北半は北上馬淵、二川、南半は阿武隈川によつて、中央東部



兩山地間に、細長い平野が出来てゐる。仙臺平野は、東部山地を兩斷した陥没部の隆起作用と、諸川の混合・三角洲との爲に出来た。

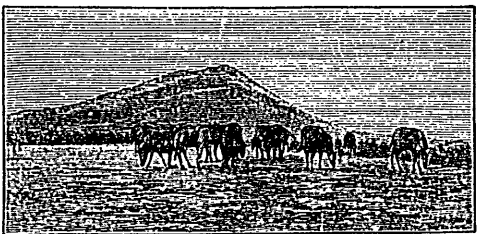


⑭ 岩木山と
牧場
⑮ どんな牧場が
あるか
⑯ 阿武隈河谷の
繭生・絲羽二重の
市場をあげよ

⑰ 上 鳥海山



諸低地は、水田が多く、米産に富み、温度の低い岩手縣には、種（種）大豆の産が多い。兩側の斜面は牧馬に利用され、古來南部馬、三春駒の名が高く、主要な軍馬供給地である。阿武隈河谷は、養蠶・機業地帯で繭生・絲羽二重の産が多い。



出羽丘陵地 若い地層の低い山脈で、最上川より南は高い越後山脈となる。岩木山（岩木山）森吉山、鳥海山、月山等、鳥海火山脈の諸火山が之に噴出し、荒川、八盛等の銅山が、この中にあ

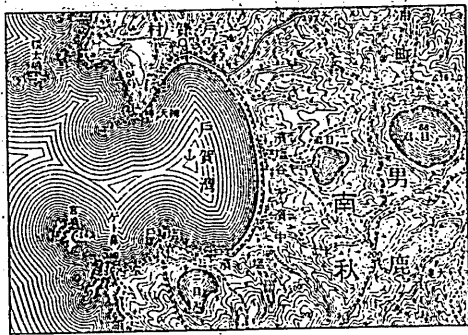
④ 何故若い地層に石油があるか

⑤ 青森縣の森林

- ① 湖や戸賀湖はどんな形であるか
- ② これ等はどのように出来たか
- ③ 海岸の島はどうして出来たか
- ④ 波が侵蝕した土地はどこに何の力で運ばれるか
- ⑤ 太平洋岸と日本海岸との氣候を比較せよ



る。若い地層の秋田地方には、黒川、豊川、旭川、由利等の油田があつて、石油の産額が多く、新沼に送油管で土崎に送つて製油する。横谷を造つて出た能代御物最上諸川の下流に秋田、庄内等の平野がある。沿岸には砂丘が多く出入が少い。航海の好い目標である寒風火山も砂洲の爲に陸続きとなり、八郎潟の潟湖を造つてゐる。冬季の北西季節風は、對馬海流の水分を送つて、雨量を多からしめる。津輕半島には羅漢柏、能代川流域には杉の大美林があり、能代青森で製材す



⑥ 何故漁業は西岸が東岸に劣るか

⑦ 奥羽西部地方地形盆地の縦列に注意せよ



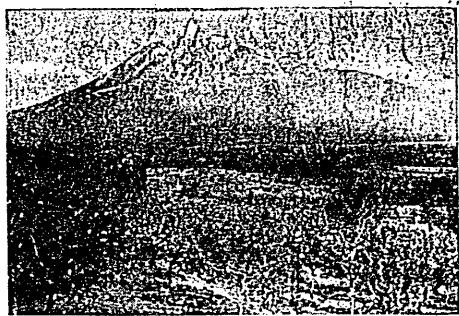
る。漁業は、東岸には及ばないが、鮭、鱈を産する。西部盆地帯、奥羽山脈と、出羽越後山地間の谷には、大館

⑧ 岩木山と華果園

⑨ 何故西部は東部より横谷が多いか

⑩ 盆地は何故米産が多いか

横手、新庄山形、米澤、會津の諸盆地が並んでゐる。岩木川の作つた津輕平野は此の地方の重要生産地である。冬季の北西季節風は低い西部丘陵や横谷を通じて、奥羽山脈下の此の地帯を本邦屈指の深雪地帯とした。併し永い冬があけると、急に暖くなつて、梅、櫻桃、李が、一時に満開する。夏は高温で、米の産が多く、餘米は、京濱、北海道、樺太に移出する。盆地

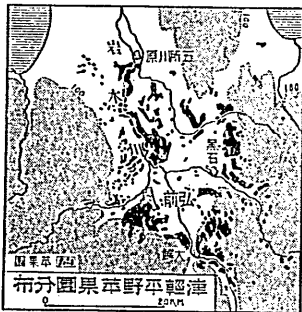


は、又良い果樹園地帯となり、質量共に全國第一の津輕苹果、山形盆地の櫻桃、會津盆地の柿が名高い。米澤、會津盆地は、阿武隈河谷に對する養蠶地帯である。

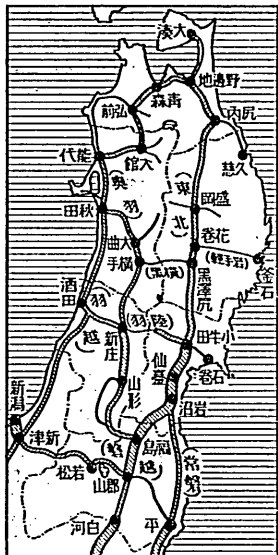
三 交通商業聚落

何故縱貫線が早く開通したか

交通 鐵道は、地形に支配されて、常磐(東京)東北(東京)奥羽(青森)羽越(新津)の縦貫線が早く開通し、各線は東京青森又は神戸青森間に直通列車を、北海道に青函聯絡船を通ずる。横黒(黒手)陸羽(余目)磐越(新津)等の横斷線は遅く發達した。



交通圖

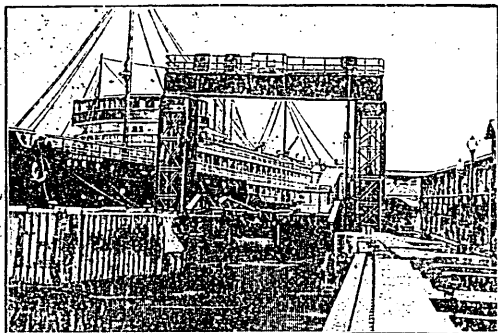


海運は、良港が乏しく、北東海

何故、濱は何故鹽釜にまけるのか
青函連絡船就航船は五(五)噸級の四隻で、各船共乗客廿(八)人、五噸貨車二輛を限度とし、四時間半で航行する

青森港

なぜ開港場が二しかないか



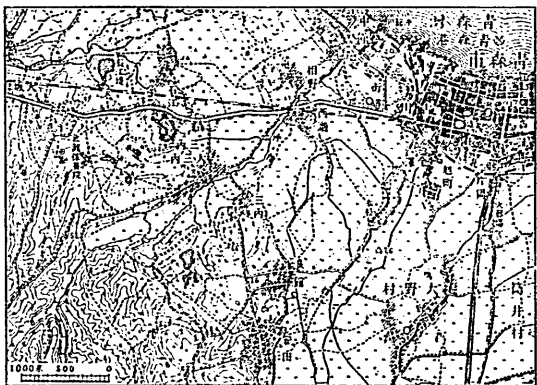
つて、大阪の勢力も侵入した。青森は、兩市の商品を吞吐して、盛に北海道樺太と取引し、船川と共に開港場である。

面の濃霧(夏)西方海面の吹雪風浪の爲に振はない。北門の青森と、東門の鹽釜とは、稍活氣を呈する。特に鹽釜は築港が完成して、秋濱の繁華を奪ひつゝある。

ラヂオ放送局は、仙臺秋田にある。

商業 東京の商

圈内にあるが、羽越線の開通によ



② 奥羽地方の人々は今後どんな方面に注意して進んだらよいのか
 ③ 雪國風俗 モンペイをはいてゐる女である

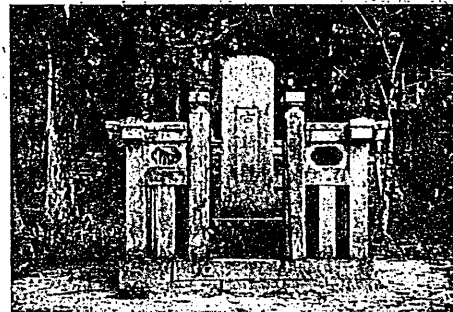
④ 米澤市 城下町の特色を現し人家の密な町人町と疎な土族町とが対照してゐる
 ⑤ 白河關址

磐城大部・岩代（福島市）
 面積 三、七五〇方軒
 人口 二、五萬人
 密度 二、〇人

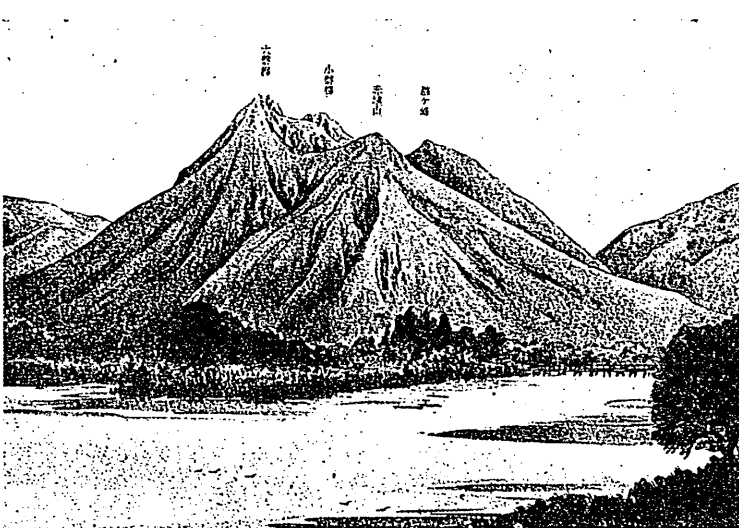


市が僅に活氣を見せてゐる。人口一萬以上の都市は五一個で、一〇萬以上の都市は仙臺がただ一つである。
 福島縣 東・部・縦・谷（通） 入口の白河は關址に
 近き處で、須賀川三春と共に、牧馬で著れる。

聚落 地形氣候産業が上述の有様で、經濟生活が困難であるから、福島秋田地方では東京方面に出稼し、又青森秋田地方では定期漁民として北海道や樺太の方面に出稼する者が多い。面積は關東地方の二倍あるが人口は二分一に過ぎない。密度も本州中最少で特に北部が疎である。生産地の縱谷盆地は、



山形縣の今現るあでのいな來出 圖下 同方方向か望らのも 小磐梯は今は永久を妻に見るところ



山形縣の磐梯前 明治十年高北島海書伯が寫したのも 猪苗代湖北の中松村か

青森縣の苹果

秋の頃津軽平野を尋ねるものは枝もたわいに實つた苹果の美果に酔つてしまふであらう。さうして驛といふ驛の山なす苹果の箱に驚く。かくして京濱・京阪は勿論遠く支那・南洋にまで送られるのである。



白鳥の渡來地
青森縣夏泊半島の頭部には白鳥の渡來地があつて天然記念物となつてゐる。

小坂鑛山

大阪藤田鑛業株式會社の經營。文久元年發見。明治十七年創業。銅・金・銀を産する。町は圖の左下方にあつて人口は一萬四千を算する。



⑤ 中通はどんな産業地帯か
⑥ 郡山市は何故福島市を凌いで急に發展したか

⑦ 福島盆地の阿武隈川

⑧ 仙臺市
1. 市は如何なる地形の處に出たか
2. 伊達氏はどんな城下町としてどんな史跡があるか
3. 學術・軍事の中心として如何なる施設が見えるか
4. 陸前大部・磐城一部(仙臺市)面積七、三〇四平方
人口二、四萬人
密度二七・一人



郡山市は交通の要衝で二本松と共に製絲が盛である。川俣は羽二重の産が多く福島市は繭生絲の取引で賑ふ。中村は相馬焼を産し原町富岡は曾て無線電信局のあつたところであり、平は常磐炭田の中心で南に勿來の關址がある。



會津盆地 中心の城下町若松市は、陶器漆器を産し、その近くに東山温泉がある。宮城縣 阿武隈流域 白石には養蠶が行はれ、岩沼は濱通中通の會點にある。

●何故仙臺市は
發展したか

●石巻港

●鳴子の堀
裂火口湖沼沼

●陸奥大部・陸奥陸
奥各一部(盛岡市)
面積 二五、三三〇方
人口 九八、八
密度 四



馬の中心地、鬼首、鳴子は温泉地である。

岩手縣 北上・縦谷 南門の一關は、石巻より舟を
通じ、平泉は藤原氏三代榮華の地で、水澤に緯度觀
測所がある。●黒澤尻・花巻(温泉地)は、交通の要地であ

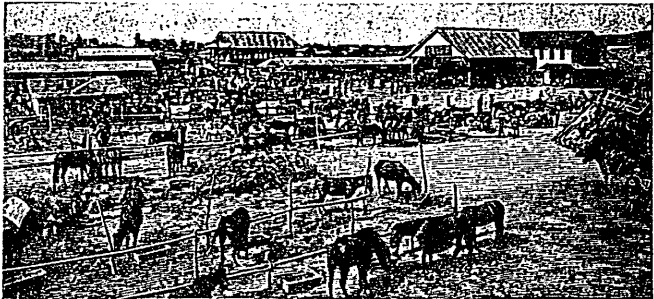


中央部 仙臺市は、伊達氏の舊城下町で、東北
地方の學術(東北帝國大學)軍事(第二師團司令部がある)の中心、
地埋木細工の名産がある。外港鹽釜は漁港
を兼ね、其の前面に松島の勝地がある。

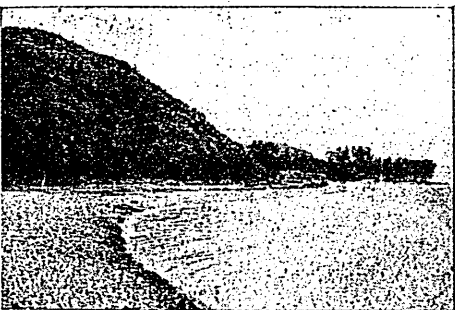
北・上・流・域 北上川口の石巻市は、米の集散地
であるが、港内が浅いので、大
船は、荻濱に寄泊し、荷物は鐵
道によるが多くなつた。

●小・牛・田は交通の要地、鍛冶屋澤は牧

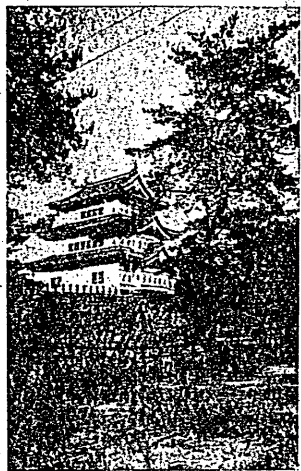
●盛岡の馬
市
陸奥大部(青森市)
面積 九、三二〇方
人口 八八、八
密度 九
●下 夏泊半島
の棒山



る。盛岡市は城下町で、南部鐵瓶の特産があ
り、牧馬地方の中心である。岩手山の裾野に、
小・岩・井・農・場がある。
太・平・洋・岸 良い港が多いが、後背地がないの
で、發達が望まれない。
大・船・渡・宮・古は漁港、釜石
は鐵の製鍊地である。
青森縣 馬淵・縦谷・接續
地帯 八戸市は、水産物
木炭を集散し、小河原沼
西方の三本木・七戸は、好
い牧場である。
●陸・奥・灣・沿・岸 大・湊は、海



● 弘前城

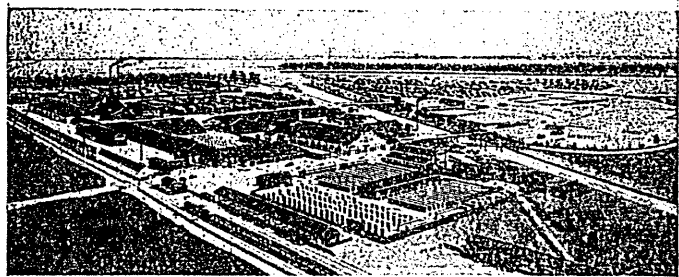


軍の要港である。夏泊半島北端の棒山は、棒の名所で、こゝから男鹿半島に引いた一

● 能代港の秋田木材株式會社
● 青函・青蘭連絡船はどことどことを連絡するか

● 北部盆地の特色ある産業は何か
● 羽前・陸中各一部
● 羽後大部(秋田市)
● 面積二、三萬方軒
● 人口二〇萬人
● 密度 五人

線は棒の北限界である。青森市は交通の要地で、青函青蘭連絡船の發着地である。津輕平野・城下町弘前市は第八師團司令部があり、米苹果産地の中心、津輕塗木道細工を出す秋田縣北部盆地。大館は盆地の中心で杉の製材地、毛馬内盆地は大鑛業地區である。日本海岸 能代港は大製材地である。秋田市

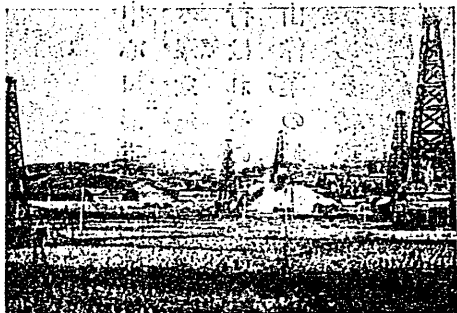


● 豊川油田
● 金澤棚址は何で名高いか

● 羽前・羽後一部
(山形市)
● 面積 九三三萬方軒
● 人口 二八八萬人
● 密度 二六人

● 酒田市の国立米倉庫

● 奥羽の三関とはどこどこか



は石油米の産で榮え、土崎港はその外港で、船川港は又其の土崎港の補助港である。本庄は米産地である。横手盆地 横手は米産地の中心で、交通の要地をなし、附近に金澤棚址がある。山形縣 庄内平野 河川の分流縦横に通じ、灌漑の便がよいので、米産に富む。酒田市は古來米の積出して知られたが、發達が著しくない。鶴岡市は生絲を移入して羽二重を産する。余目には陸羽羽越二線の分岐點で、縣境に念珠關址がある。



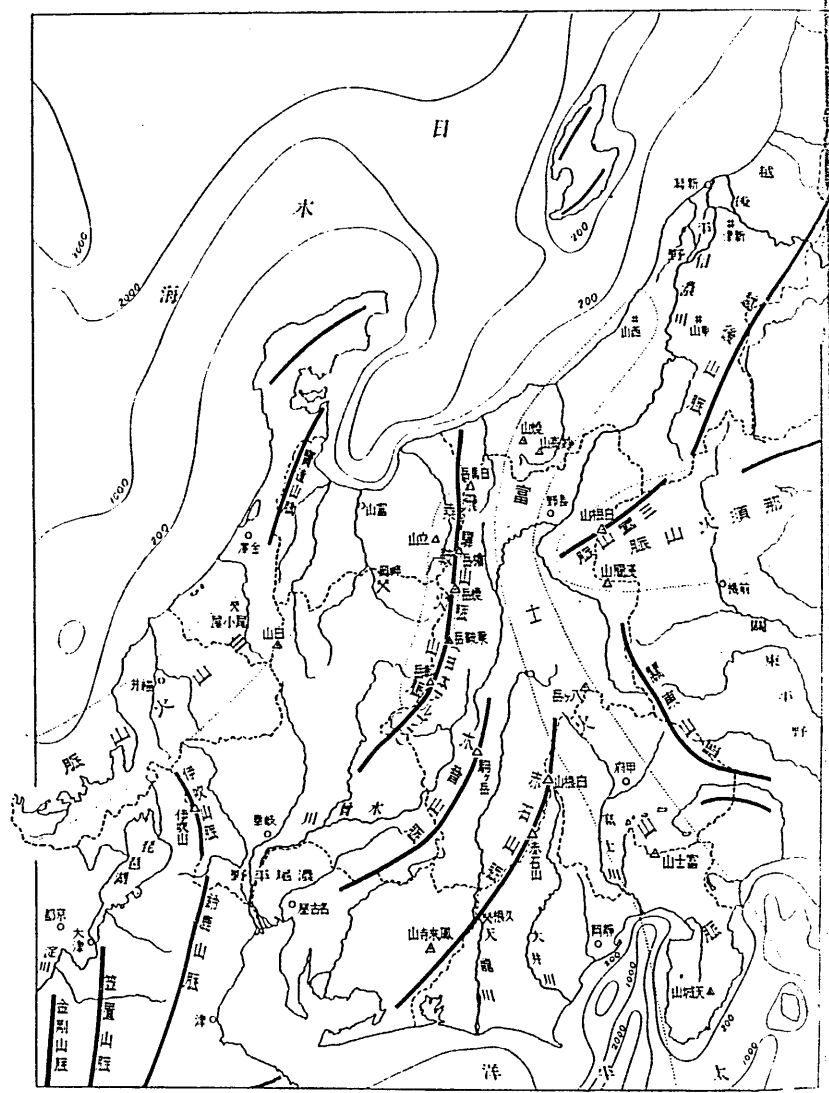
●尾花澤は何故
深雪地であるか
●山形縣の櫻
桃
●西部盆地帯の
大きな産物は何か

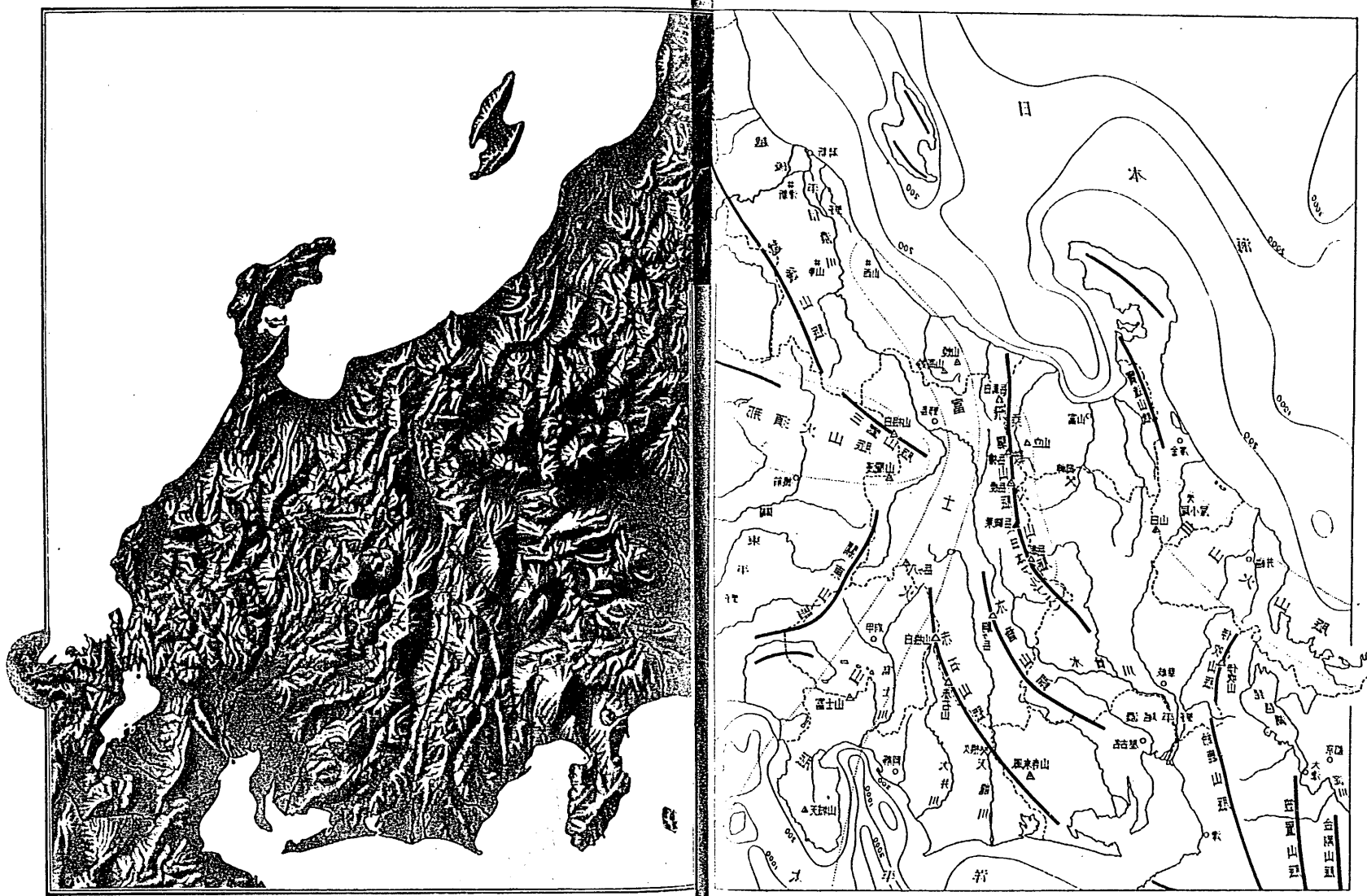
●山形盆地
1.市はどんな地形
の所に開けたか
2.水田はどんな所
に開けてあるか
3.市の養蠶の盛な
ことは何で分るか
4.桑畑はどの邊に
あるか

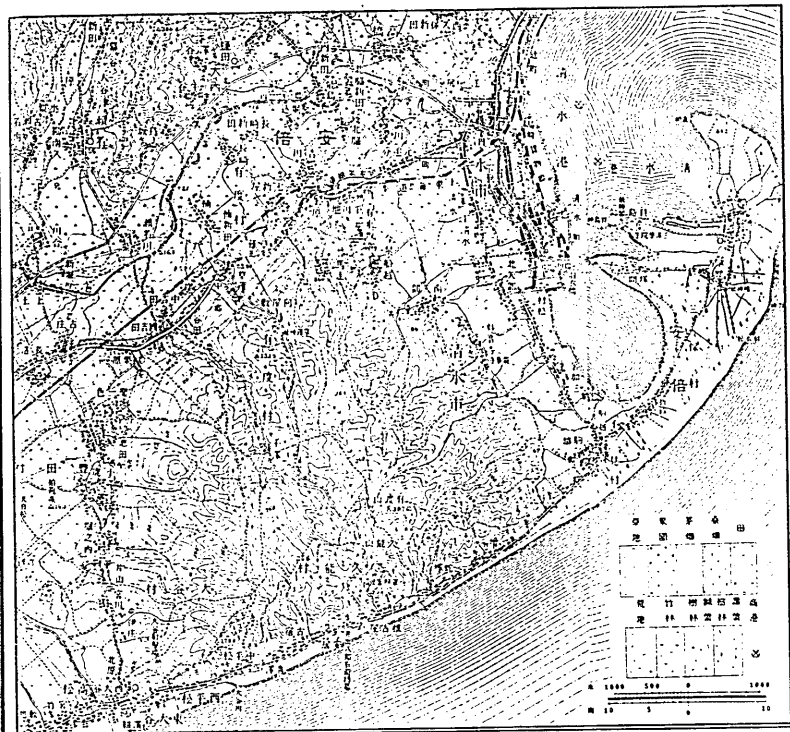


中心山形市は銅器鐵器を産する
米澤盆地(地方)養蠶米作が盛に
行はれ、その中心米澤市は上杉應
山偉業の城下町で、今尙其の遺風
がある。特産の米澤織も、鷹山の奨
励によつて出来たものである。ま
た本邦の人絹は、こゝに起つた。

●新庄盆地(最上) 新庄は米産地の
中心で、尾花澤は深雪で名高い。
●山形盆地(村方) 養蠶櫻桃に著れ







久能山と三保模圖

第三章 中部地方

面積 33,400 平方千米
人口 2,900 万人
人口密度 86 人/平方千米

一 概観

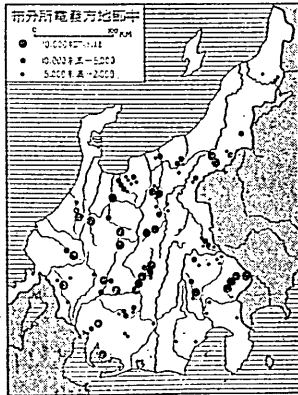
本州の中央部に位し、南・西・日本と北・東・日本との結合部である。舊帝都のあつた近畿地方と、新帝都のある関東地方との間に挟まり、産業交通其他文化の混合地帯となつてゐる。

二 地體氣候と關係産業

南・北・東・西・小笠原マリアナの三弧狀山脈がここに會合して、本州中幅が最も廣い。山脈も大規模で高く發電事業を起すによく、又その方向が急に變り、特色ある地形をなしてゐる。中央高地東海地方北陸地方の三地形區に分れる。

中央高地 更に東部山地、中部山地、西

● 日本列島には多くの弧狀山脈があつて、弧と弧との會合ふことを會合といふ。この會合をあげて見よ。

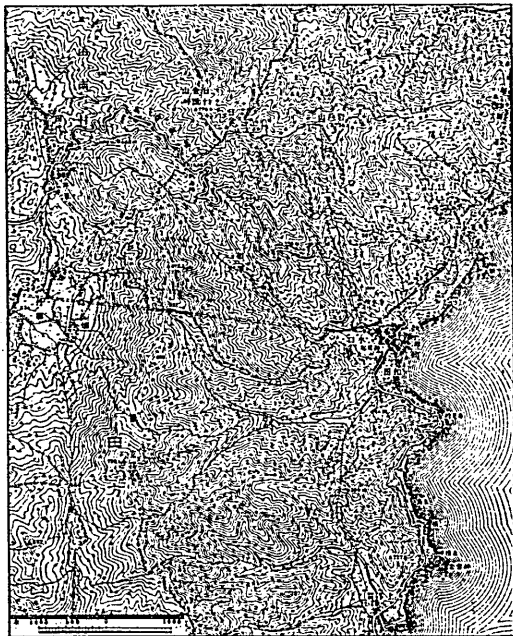


● 圖上 淺間山
 Ⅰは黒斑山(第一外輪山) Ⅱは剣ヶ峰(第二外輪山) Ⅲは前掛山(第二外輪山) Ⅳは中央火口丘である

● 圖下 富士川
 ①能佐海溝と相模灣の深海とは何故相對するか
 ②等高線圖により富士山・愛鷹山の何れが水蝕が多いか何れが古い火山か比較せよ



部山地に分れる。
 東部山地 北彎山系の南端で、越後・三國・關東の三山脈及び淺間山の峙てる那須火山脈が連なつて、自然人文の一大境界をなしてゐる。
 中部山地 荒川・善光寺平・佐久平・郡内盆地より相模灣に出る低地と系、魚川・松本平・諏訪盆地・府盆地・富士川に連る低地との間に挟まれた土地で、能佐海溝と相模駿河兩灣の深海とが、之を挟んで相對してゐる。
 もと南北兩彎の會合部は、富士灣及び相模駿河兩灣が相



通じてゐたが、天城・愛鷹・富士・八ヶ岳・妙高・等富士火山脈の諸火山が起り、前記二條の低地を残して、ここを埋めた、兩側が古い土地であるのに對し、火山岩が著しく多く、諏訪・増富(冷・泉)・伊東・修善寺・熱海等の温泉冷泉が多い。



● 圖 熱海
 熱海は熱海火山の西半だと云はれる其の外輪山はどれか丹那盆地・丹那隆起を觀察せよ

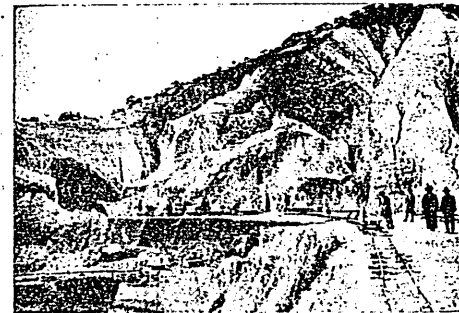
西部山地 南彎山系の東端で、飛騨山脈は、東に大斷層崖を向け、西に傾いて飛騨高地となる。御岳・乗鞍・岳・燒岳(硫黄・活火山)の

④ 上 経見床
花崗岩の水蝕を受けた絶壁である
⑤ どんな密業地があるか

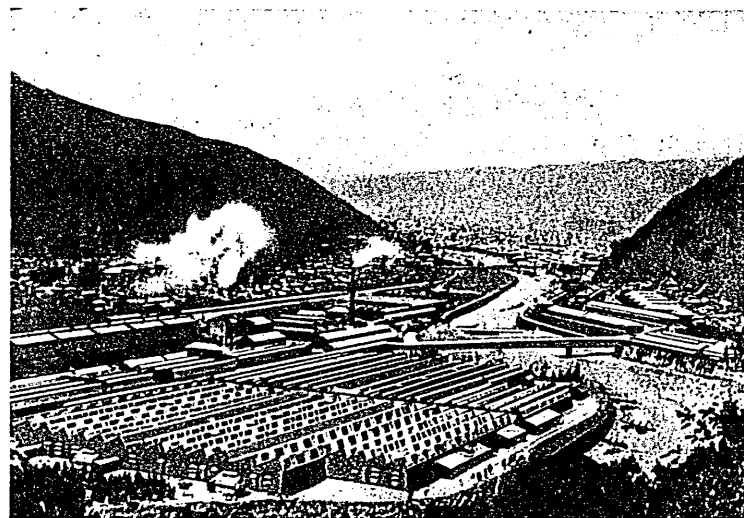
⑥ 下 瀬戸焼陶
土探掘所
図の如き花崗岩の風化した處に瀬戸の密業地が起つた



ある乗鞍火山脈が之に沿うて噴出してゐる。亜鉛鉛の産地神岡は、この西部山地にある。木曾山脈は高い地壘で中に駒岳がある。その南部は花崗岩風化の悪地であるが、よい陶土があつて大窯業地帯が發達してゐる。赤石山脈は、高い地壘で地層が古く、紀伊山脈と對應し、中に白峯山・赤石山が聳え、富山・石川兩縣の境には、若い地層の寶達山脈があつて、白山及び和倉山中山代の諸温泉を有する白山火山脈が、この地方から、近畿・中國・九州の北部に及んでゐる。



底口火てつあ米二十二百二から上頂の峯ヶ劔は底口火 米百七約徑直は口火 口火土富し示を事なし落陷が分部一の口火てつあが階段に面壁内の口火 米十七約は徑直のるあつつし出噴を氣蒸尚はに嶺豆伊の上壁口火一の方東 るゐて



ぎ過に村寒一るあに岸の川澤鮎北の山柄足は山小 場工績紡山小の流上川匂酒と山土富るゐてめしき起を場工績紡火一に地のこは量水な富豊の山土富がたつかな

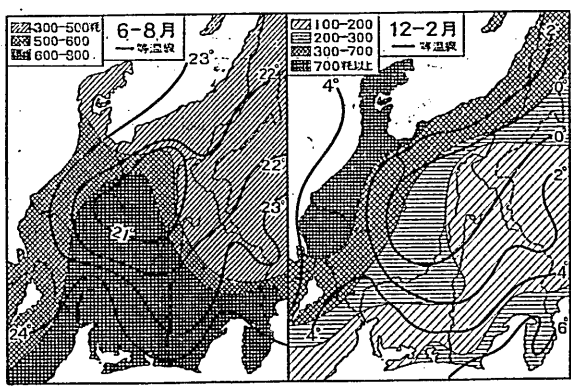
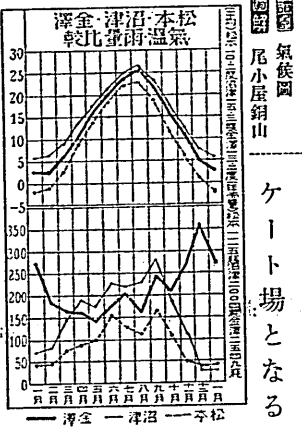
飛騨山脈 飛騨山脈は内地最前の山脈で南水倉川の谷から北斐不知の海岸まで南北百六十軒ある。山勢極めて雄大で日本アルプスといはれ三千米以上の高峰が相連り、峰道も尙二千五百米の高所にある。鈴ヶ森は出峰をなし御嶽・乗鞍嶺は大山である。麓は森林が深く、遶るに從つて夏季は御花畑にあふ。山頂附近は山脊があらはれ盛夏も尙大雪候がある。所々にU字形の谷があつて氷河の跡といはれ北黒部川の大峽谷を距てて立山連峯がある。これ等の雄大な山脈と鈴ヶ森の湖と遶る温泉とは若人のあこがれとなつてゐる。圖中の當時は鈴ヶ森である。



る。こゝに尾小屋の銅山、九谷焼の窯業地がある。

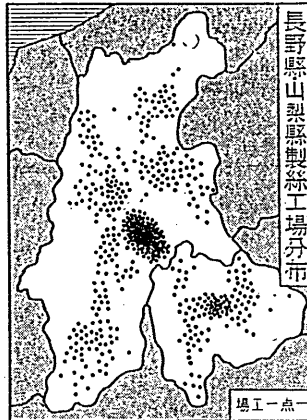
中央高地は、此の地方の氣候を裏日本表日本の兩氣候區に分ち、延いて人文上にも大きな相違を來さしめた。高地内の諸盆地は、稍大陸性氣候を

帶び、寒暑の差が比較的甚しく、冬季にスキー、スケート場となる



- ① 図上 中央高地のスキ
 ② 図中 養蠶池
 ③ 盆地の湖沼・水田は養蠶が盛で佐久
 ④ 蠶は特に名高い
 ⑤ 養蠶の盛な理由を述べよ
 ⑥ 何故岡谷に製絲業が起つたか
 ⑦ 岡谷下 勝沼の葡萄園

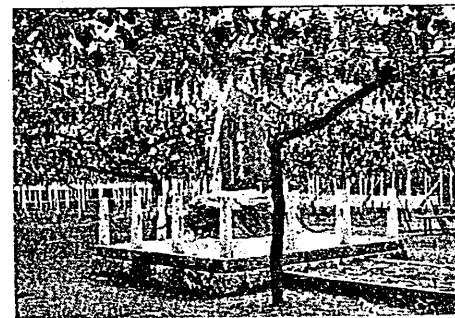
長野縣山梨縣製絲工場分布



善光寺平は果を甲府盆地

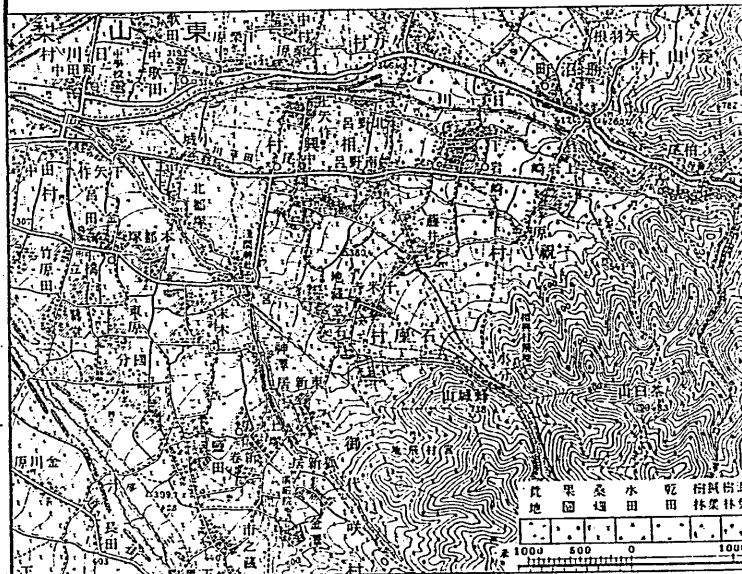


の生絲産額は、全國中の第一位に居り、岡谷はその大中心である。

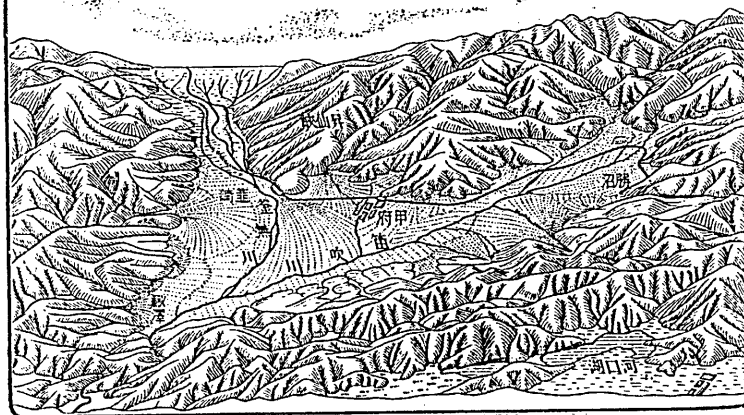


處が多く、諏訪盆地には、寒天が製造される。盆地は、夏季高温であるが、高原は冷涼で、輕井澤富士見などの好避暑地がある。一般に桑園が多く、養蠶（蠶利川）製絲が盛で、長野縣

- ① 甲府盆地はどうして出来たか二つの図を見て考へよ
 ② 上の圖で斷層・扇狀地はどこに現れてゐるか
 ③ 石段村の扇狀地を例として見れば扇狀地には何が作られてゐるか
 ④ 水田はどんな處にあるか
 ⑤ 葡萄園・桑園・水田がこんな狀態に分布したのは何故か
 ⑥ 勝沼はどんな處にあるか
 ⑦ 盆地の聚落はどんな形か



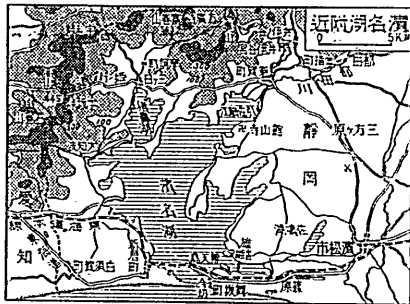
甲府盆地模圖



● 甲府盆地に葡萄長野に華果が出るのは何故か

● 温泉地熱海

● 瀧名湖 瀧名湖は沈降で出来湖岸に溺谷が多いと淡水湖であつたが津波の爲今切の湖口が出来て外海と通じた湖遂は幾の榮枯が盛である

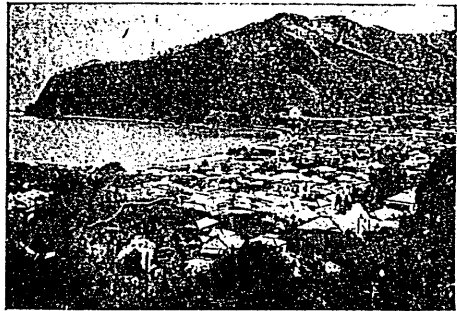


の扇状地は葡萄を産出する。山地は森林に富み、木曾天龍の上流は扁柏、飛騨山脈は花柏、太平洋斜面は榎を産し、木曾天龍大井諸川で筏として流したが、近來は鐵道で送るやうになり、木曾山中には森林鐵道も設けられた。

島田名古屋は木材集散製材が盛である。

東海地方 伊豆半島から静岡愛知岐阜三縣の丘陵地及び海岸低地をいふ。

東部 伊豆半島は、富士火山脈の火山岩地で、火山温泉が多い。富士、安倍、大井、天龍の諸急流は、發電の利はあるが、所謂東海道式の荒川



● 瀧美半島の先端

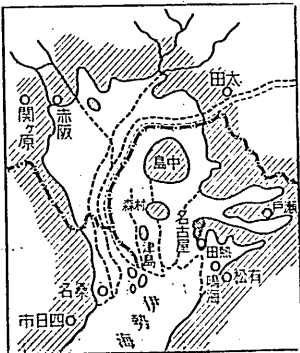
赤石山脈に次第に低くなつて瀧美半島となり伊勢海に沈むが尙岩礁が連つて神島や志摩半島に及んでゐる遠景の島は神島である

● 木曾川 千年前の濃

伊勢の海は北方深く海入し岐阜・大垣は水底にあつた名古屋・熱田は半島先端の漁頭築落であつたであらう附近に海に因んだ地名がある



伊勢海の陥没部と低い瀧美知多二半島がある。豊矢作(矢)木曾、長良の諸川は扇状

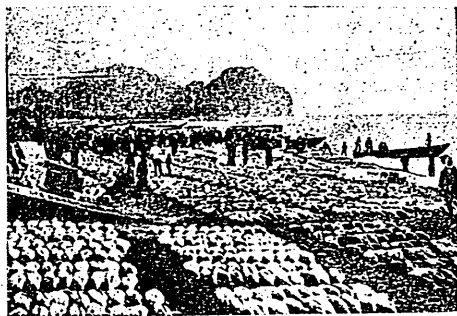


で臺地丘陵の間を流れ下流に海岸平野を作つてゐる。駿河灣は石廊崎御前崎間の深海で、田子浦の三日月濱や三保松原の砂嘴がある。出入のない遠州灘の方面に瀧名湖がある。西部 瀧美灣知多灣



図上 焼津の鯉

図下 静岡縣の茶園



にこの陷沒部に集まり肥沃な三河濃尾二平野の大農業地帯を作つてゐる。
近畿との境に養老伊吹の二地嶺がある。關原の通谷は關址と古戰場とで世に知られてゐる。

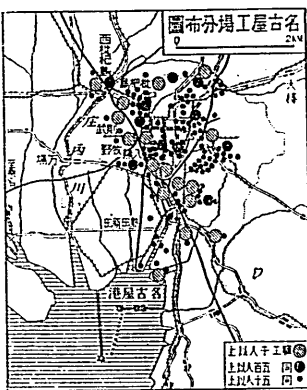
沿岸には日本海流が流れ、鯉の漁獲が多く、特に焼津は全國第一の鯉遠洋漁業の根據地で、鯉節の製造が盛である。

此の暖流の爲一帯は表日本温暖地帯の一部となつて、保養避寒地が多い。又二毛作が行はれて、尾張米・美濃米・麥の産が多い。排水のよい臺地や丘陵では、茶（静岡縣の茶は全國産の四割）蜜柑の栽培が



●なぜ地峽部は工業・商業の發達に都合がよいか

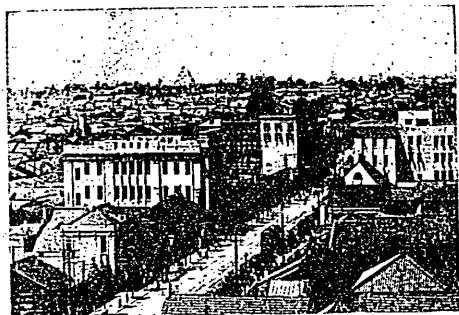
●名古屋市の



行はれる。富士の裾野、美濃の山地は三椏楮を栽培し古來駿河半紙・美濃紙を産する。濃尾平野周囲の山麓臺地は養蠶・製絲地帯となつてゐる。濃尾平野は、東京大阪の中間に位し、本

州の地峽部を占める上、原料勞力が得易いから我が國四大工業地區の一となり、餘勢は遠く伊勢海沿岸濱松方面にも及んでゐる。

綿工業は、藩侯の保護獎勵で發達し、三河の綿を原料とした家内工業であつたが、世の進むにつれて、近代的組織となり、原料も名古屋四日市を通じて外國より輸入し、名古屋濱松岡崎（以上綿絲）有松鳴海（以上絞）で製品とする。名



古屋は車輪時計機械飛行機陶磁器七寶燒を出し、一宮岐阜大垣は毛織物濱松は樂器帽子の産が多い。

大工業地帯で人口の密集してゐる名古屋附近は、食料品の産出が多く、枇杷^{ヒナ}島^{シマ}（名古屋西部）の野菜は、舊幕時代から知られ、耕地の利用が進歩してゐる。安城^{アキ}附近は、野菜、養雞地帯で、殊に三河卵の名が高い。知多半島は、醸造業（^麹酒、^麥酒、^醬油）が盛である。

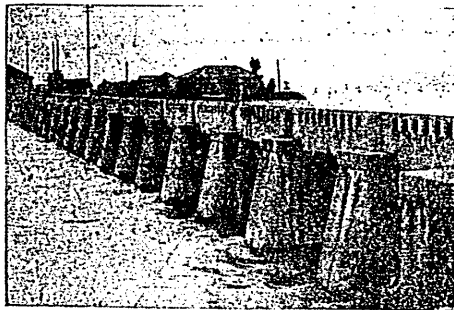
北陸地方 日本海に傾いてゐる丘陵地及び低地で、東部の越後平野は、信濃川、阿賀川、の堆積し

信濃川は本町の最長流道(三才)で、可利根水路(三才)も利根川につき本邦第二位である。河口の土砂堆積は洗堰放水路の開設で免れた。

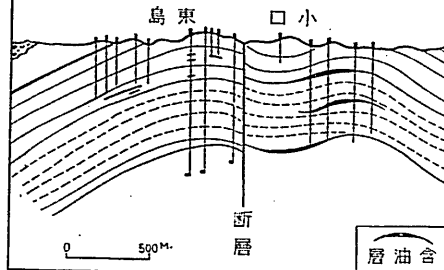
新津油田断

面図

地層の亂れてゐない若い土地に油田のある理を考へよ



圖面斷面方口小田油津新



Topographic map of the area around Tsuruoka, Japan. The map shows the Tsuruoka River (津路川) flowing through the region, with labels for 'Tsuruoka' (津路) and 'Tsuruoka Mountain' (津路山). A scale bar indicates 0 to 10 km. An inset map shows the location of Tsuruoka within Japan.

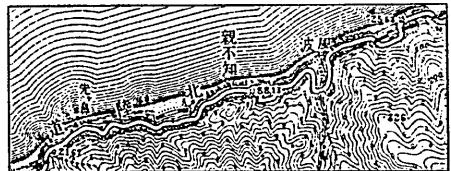
の富山平野となつた。

これ等の河川は、多く發電に利用されてゐる。

親不知は飛騨山脈北端の海岸で、古來交通の難所とされ、俱利伽羅峠は、各戦地である。

能登には、羽咋地溝がある。加賀平野は、手取^{テリ}犀^{サイ}諸

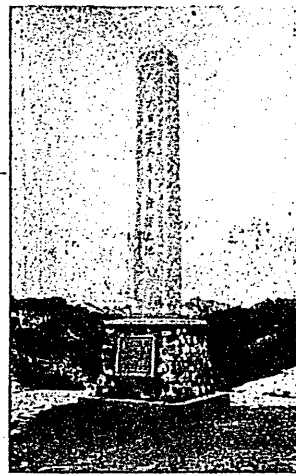
1. 川の兩岸の斷崖は道の下にあるか
 2. 道より上の斷崖はどんな處にあるか
 3. 似合谷の等高線のない處はどんな状態か
 ④ 断崖上 黒部峡谷の鐘釣温泉
 ⑤ 断崖下 俱利迦羅峠



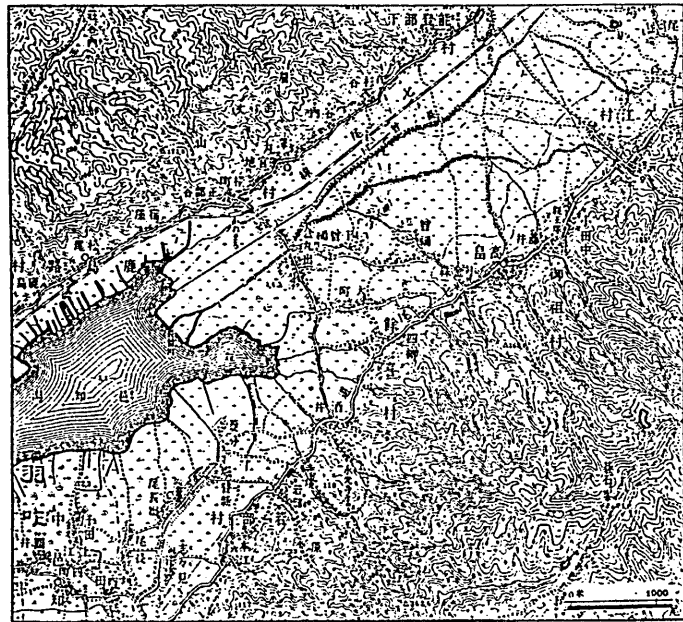
たものである。若い地層の東山・西山兩丘陵には、大油田がある。富山灣陷沒部の一部は、大峽谷斷層崖を下る黒部神通（氷射）諸川の混合三角洲によつて、良耕地

⑦ 羽咋地溝
七尾・邑知溝を
含み長さ約三
約四百里に海溝を
距てて遙に佐賀の
國中地溝に對する
兩側は約百米の美
しい斷層崖で崖下
に七尾線北七尾
街道南が通じて
ある和倉温泉はこ
ゝにある

⑧ 高田のスキ
ー發祥の碑



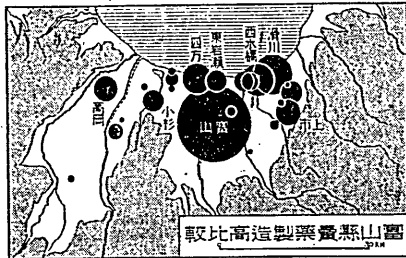
敦賀は好地である



⑨ 中部地方の氣候を北・中・南の三方面に分つて比較して見よ

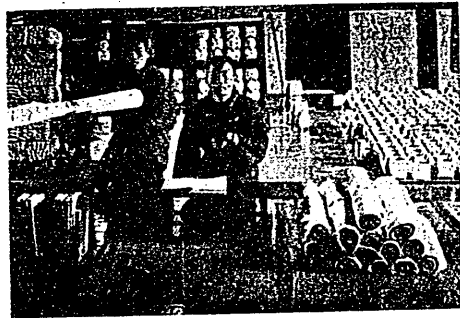
⑩ 二毛作が東海地方に行はれ北陸地方に行はれないのは何故か

⑪ 福井縣勝山地方の羽二重工場



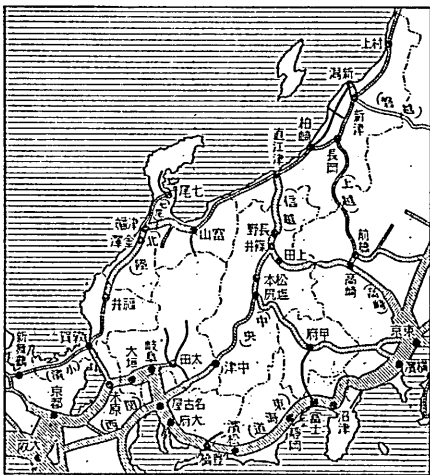
近海には對馬海流が流れて、鰯・鰺・烏賊・鰯を産する。冬は、北西季節風の風上になり、分水山地に近づく程雪が深く、裏日本深雪地帯を代表する。越後・富山・加賀・福井の諸平野は、米産が多い。二毛作が餘り行はれない故、深雪の農閑期を利用する必要から、福井・石川・富山の輸出向羽二重を始め、一般に絹織業が發達した。また新潟・石川兩縣の酒・杜氏を始め、冬期に出稼する者が多い。富山の賣薬行商も、之が原因で發達し、今は遠く、支那南洋に勢力を伸ばしてゐる。

三 交通商業聚落

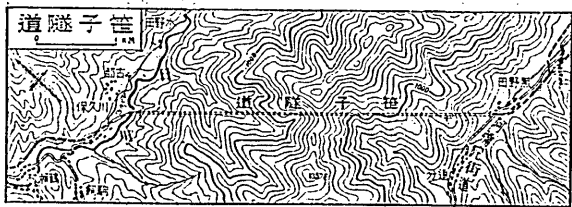


鐵道 中部地方

鐵道下 笹子隧道
1. 隧道の長さは何
米あるか
2. 汽車一時間の速
さを何米とすれ
ば幾分て通過する
か

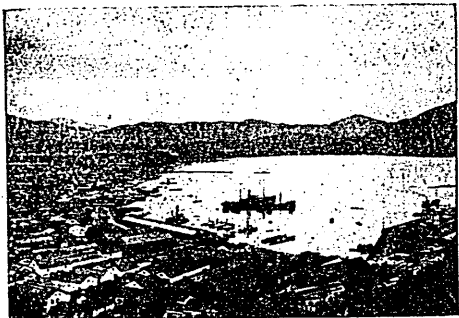


交通 東西兩京の中間を占め、東海道・中山道・北陸道が設けられた。主要鐵道は、街道河谷に沿ひ開通してゐる。東海道線は、表日本の幹線で、名古屋で關西線(名古屋)に連る。中央線は、小佛・笹子二隧道を經、名古屋で東海道線に接續してゐる。信越線(新潟)は、南北に通じ、篠井線(篠井)は、之を中央線につなぐ。小濱(敦賀・新)・北陸(米津・直)・信越羽越の各線は、連絡して裏日本の大縦斷線をなし、深雪地帶を通ずる爲、雪よけトンネル、除雪車等が備つは



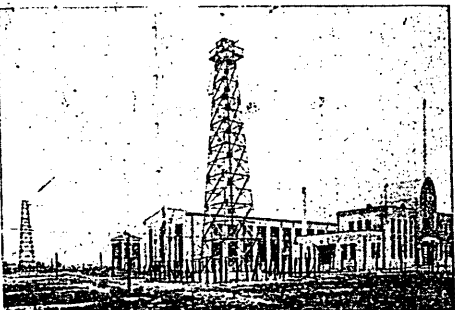
鐵道上 敦賀港

鐵道下 名古屋無線電信局依佐美送信所



じ、北朝鮮諸港へも汽船を通じてゐる。

名古屋無線電信局は、歐洲と通信し(受信所は三重縣四日市、にあり有線で名古屋、若狭(久々)、金澤、新潟にも、無線電信局がある。名古屋、福井、金澤、新潟、長野、静岡、浜松に、ラヂオ放送局がある。JODK JOFG JOIK JOJK JOKE JOKE JOKE



伏木港



航空路は東京新潟間東京伊東下田清水間に開かれてゐる。商業整つた交通機關を利用して來た東京大阪の商圖は本地方で混戦し名古屋も亦漸次兩者の間に勢力を展べつつある。

鹽尻は糸魚河谷から來る鹽の終點で其の名が起つたといはれるが今は松本諏訪と共に東京大阪名古屋三商圖の接觸地である。名古屋清水武豊敦賀七尾伏木新潟夷等の開港場があるが外國貿易は尙横濱神戸の後背地たるに過ぎない。滿洲國の獨立は今や日本海方面の諸開港に活氣を與へてゐる。

中央山地の生絲北陸の羽二重富士絹人絹は横濱から世界各地に送られ綿織材等の工業材料は多く神戸から輸入される。

聚落 氣候良好産物多き東海地方には多くの都市が發達し濃尾の大生産地大工業地は人口が最も密である。北陸の平野は之に次いで比較的に密に中央高地は最も少い。

伊豆大郡駿河・遠江・（静岡市）
面積 七七〇方軒
人口 一〇〇萬人
密度 三三一人
密度 三三一人
静岡上 下田港

國下 久能山の
春作り



街道の要地には雄藩山間盆地には多數の小藩が割據した爲城下町が多い。街道に沿うて發達した都邑（宿場町の三）の中には交通の變革で衰微したものもある。

静岡縣 伊豆・半島 火山地で熱海・伊東・修善寺等に温泉が湧き、休養地帯が出來てゐる。

漁港下田は、安

政最初の開港

地である。

富士山麓 伏

流利用の工業が興り、小山に富士瓦

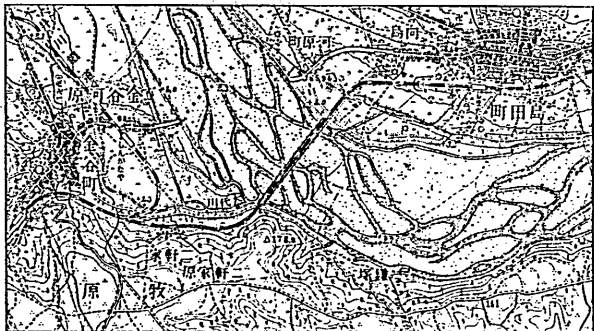
斯紡績大官附近に富士製紙（原料は北

アルバ）の二工場がある。

駿河灣岸地方 田子浦は絶景で、沼



- 尾張三河(名古屋)
屋敷
面積 五、六方軒
1. 大井川の流れの特色を述べよ
2. 牧ノ原はどんな性質の土地か
3. 舊東海道の渡しはどれか
4. 島田・金谷が交通上の意義を失つたのはなぜか
5. 牧ノ原には何が作られてゐるか

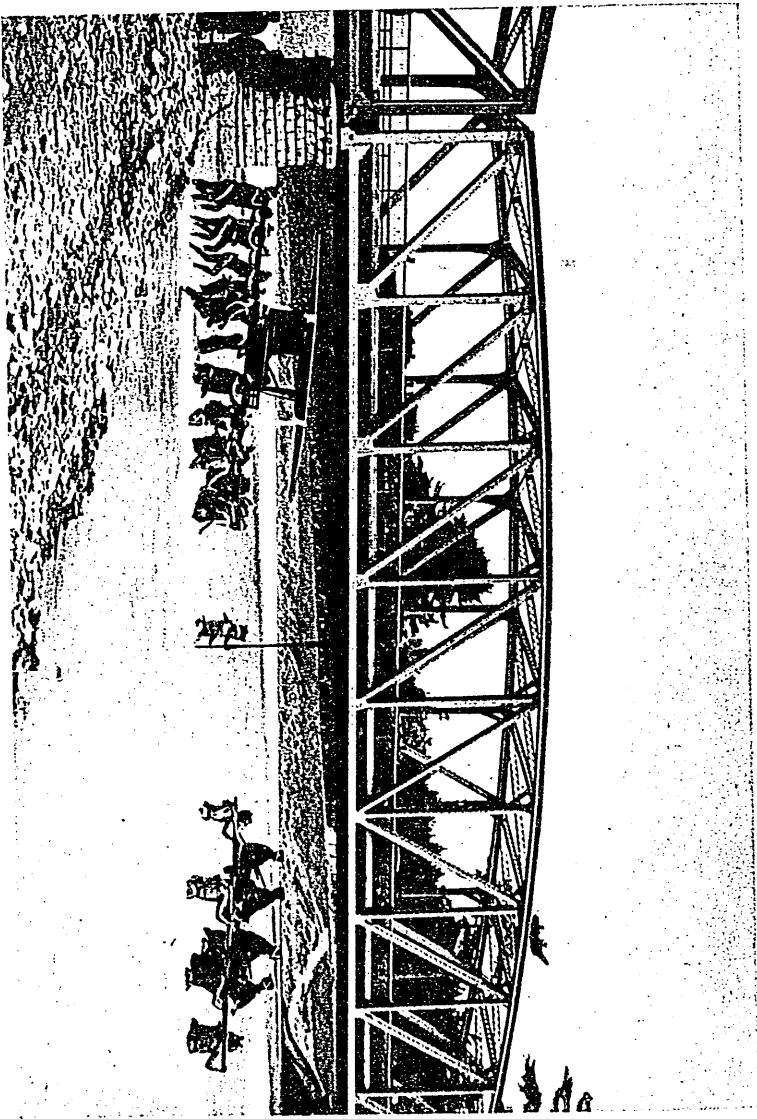


津市・興津は保養地である。三保松原の砂嘴を控へる清水市は、静岡の外港をなす開港場で、茶の輸出が多い。静岡市は、京濱名古屋間の重要都市で、輸出向の茶を精製し漆器と竹細工とを出す。久能山は、東照宮と菫の栽培とで著れる。

島田金谷は大井川の段丘上に出来た双子聚落である。昔は渡頭町として川止等に難着したが今は交通上の意義を失ひ、島田は製材、金谷は茶の集散で若返つた。

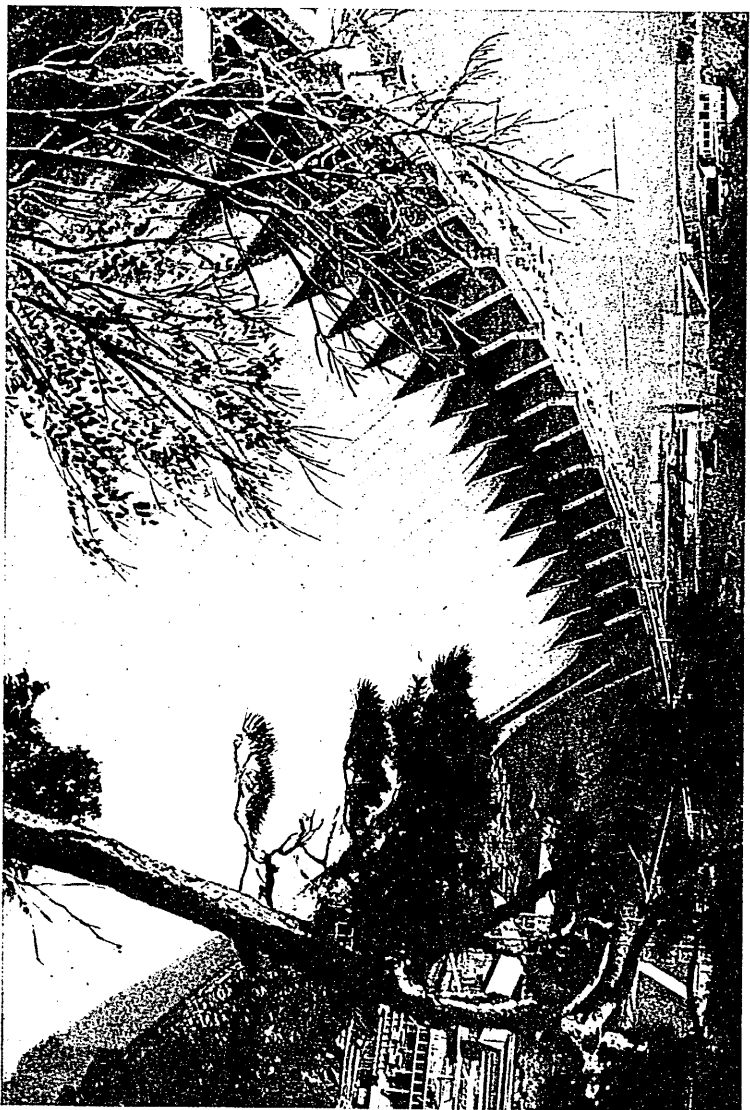
遠江灘方面、濱松市は、新進の工業市で、綿織物の外、楽器帽子・ベニヤ板の特産がある。

三方原の隆起臺地は、古戦場で飛行聯隊が置かれてゐる。
愛知縣 三河平野 豊橋市は豊川流域の中心市場で、製絲が行は



大井川の合流 上は東海道を前に九時間で走破する汽車を一時にして通過せしめる大鐵橋 下は氷蚕をしてこの海道の旅をした當時の大井川荒廢の情景で圖は昭和五年天皇陛下崩御御幸に際し島田・金谷の若人が天覽に供した時のもの 一世紀を閉てる世相を一幅の圖にまとめて誠に意味深いものがある

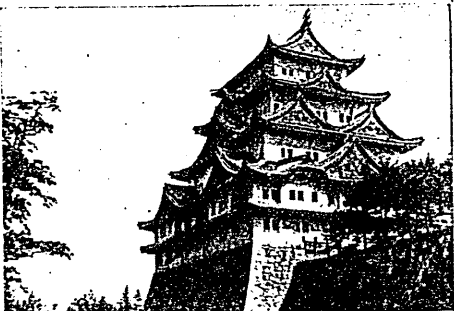
庄川水力発電所小牧堰堤 原始部落のある飛騨の白川は飛越の岡を越えて庄川となる
 庄川の水は小牧の大堰堤によって堰かれ上流に大湖を湛へてゐる 富良野は東洋にその雄
 を誇る小牧大堰堤を下る渾水の雄観である



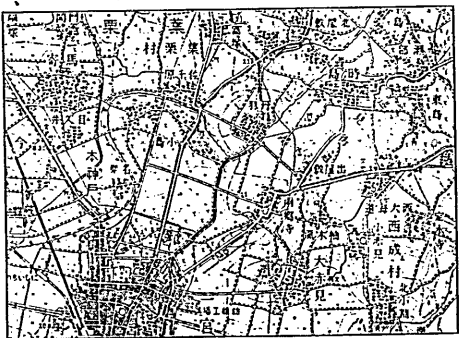
人口 三三万人
 密度 五五五人

名古屋 名古屋城
 何故愛知縣は
 農工が盛になるか

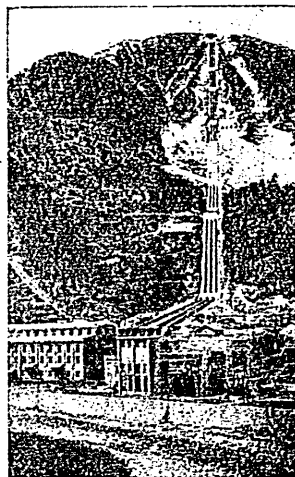
一宮市
 一宮市を中心とし
 適度の開闢を遂げ
 て農産地を背景に
 した市場町が集村
 型に同心圓を描い
 て並んでゐる



れる。豊川は豊川稻荷の門前町である。長
 篠は、天龍河谷から豊川河谷に出る要衝に當
 る戦蹟である。岡崎市は、矢作川流域の中心
 で、綿織製絲が榮え、徳川氏の發祥地である。
 名古屋工業地帯
 名古屋市は、濃尾三河平野の
 中心で、本州の地峡部に
 位する爲、交通、軍事の要
 地となり、徳川親藩の城
 下町として發展した。熱田を開港場とし、近時
 機械工業が著しく發達した爲、新經濟中心地
 となり、名高い熱田神宮(大幣)と、難攻金鯨を世
 に誇つた名古屋城がある。一宮市は機業地



④ 瀬戸市
1. 地質は何か
2. 陶土探掘場・製陶窯はどこにあるか
3. 窯業地としての設備にどんなものが見えるか
美濃 飛騨 岐阜市
面積 二五五方軒
人口 二八万人
密度 二三人



④ 中津發電所

瀬戸市は陶磁器の大産地、龜崎・半田は醸造地である。

岐阜縣 西濃地方 濃尾平野の北半を占

め、農業が盛で、又愛知縣に續く工業地である。岐阜市は、鶉飼に名高い長良川に臨む

城下町で、絹織物紙製品（傘・提灯）の産がある。

紙製品原料の美濃紙は、北方の美濃から出

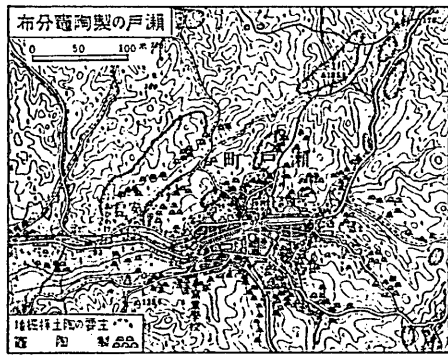
る。大垣市は、毛織物を産し、又米を集散する。

通路に當り、史上に著れる。養老瀧は、養老山

脈の斷層崖にかかり、孝子の傳説に名高い。

各務原には飛行聯隊がある。

東濃丘陵地 多治見は、瀬戸に續く窯業地帯

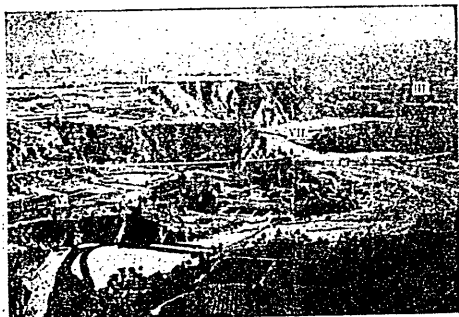


瀬戸市製陶分佈

④ 下 白川郷の農家
庄川上流の白川郷は大家族制で知られてゐたが今は他に出稼者が多い。

⑤ 高山・京都はどこが似てゐるか

⑥ 上 桂川段丘
甲斐（甲府市）
面積 四四万方軒
人口 三萬人
密度 一四一人



て、美濃焼の産が多い。中津附近は、發電によいので、近年製絲製紙の工業が起つた。

飛騨高地 南は濃尾平野、北は富

山平野と關係が深く、中

央盆地の中心高山は、生絲・春慶塗・永松細工（山

梨縣 郡内地方 桂川は、急流で發電に利

用され、流域は甲斐絹の主産地で、谷村・上野原

は其の中心である。吉田は富士の登山口で、

湖沼地帯の中心に當り、夏は登山客で賑ふ。

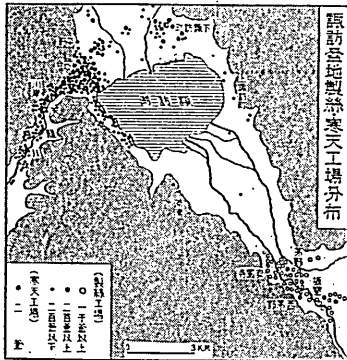
甲府盆地 陷沒地に、笛吹釜無諸川の作成し



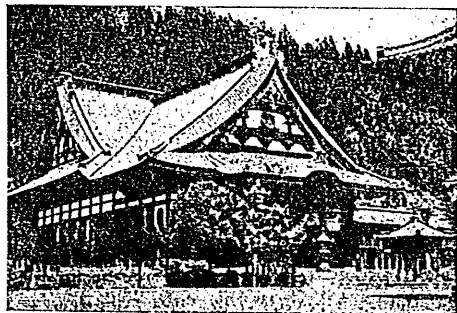


① 諏訪湖 上 諏訪湖 下
身延山久遠寺

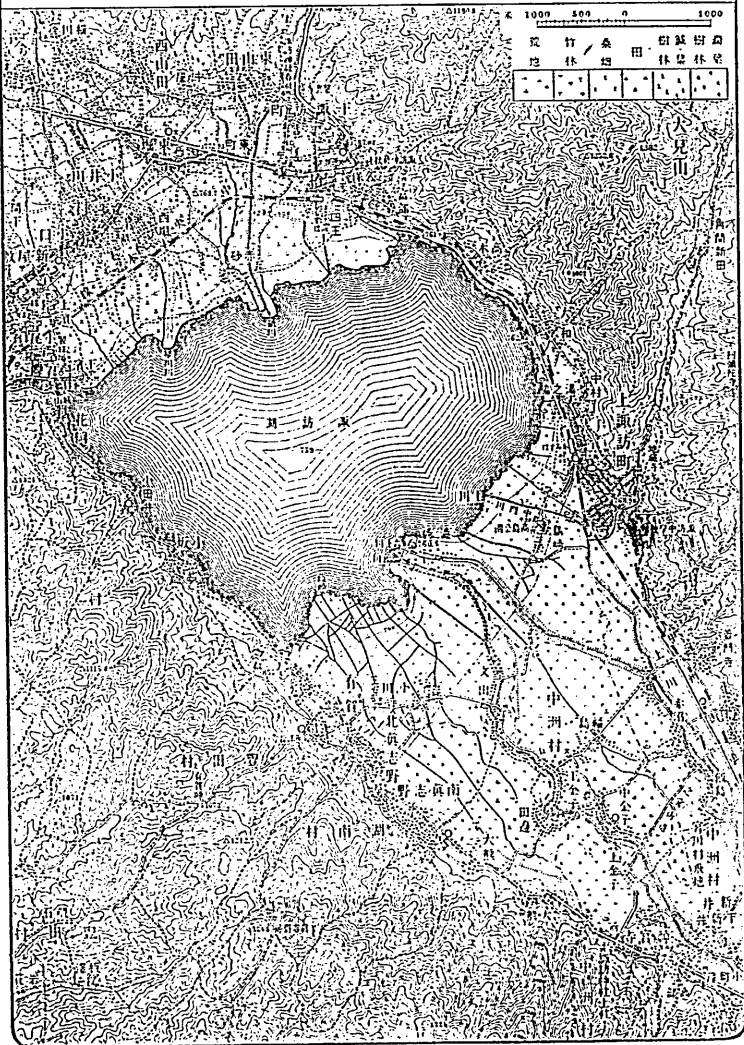
信濃（長野市）
面積 三三六方
人口 三三万人
密度 二六人



た混合扇状地。東半の
葡萄地帯の中心に勝沼
がある。桑園が多く、中
心の甲府市は生絲葡萄
酒水晶細工を出す。
延は高地に發達した宗
教聚落で、日蓮宗の
總本山久遠寺があ
る。身延は富士川
舟運の起點であるが、鐵道開通の爲不振
になつた。
長野縣 諏訪盆地 諏訪湖は陸化の途上
にある。上諏訪 下諏訪は、斷層崖下の溫泉



1. 諏訪盆地はどうして出来たか圖を
見て考へよ
2. 斷層崖はどこに
現れてゐるか
3. 盆地の方向が南
東北西に向つてゐ
るのは何故か
4. 盆地の方向に反
して諏訪湖が東西
に長いのは何故か
5. 聚落はどこに發
達してゐるかそれ
は何故か
6. 田はどこに開け
てゐるか
7. 桑畑はどこに開
けてゐるか
8. 諏訪湖の吐口は
どこにあるか



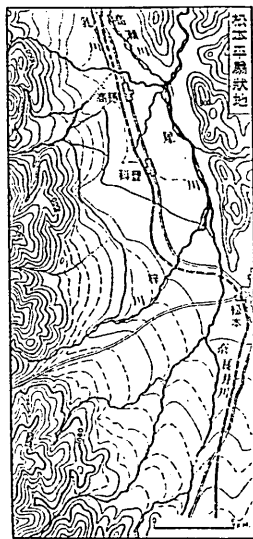
諏訪湖の神
渡し

松本平扇狀

1. 飛驒山脈の斷層崖はどこか
2. 聚落は何故崖下に南北に並んでゐるか
3. 高瀬・犀二河谷は地盤構造上どこにあるか



宿場町として發達し、岡谷の大製絲業地が、これ等と對立してゐる。
伊那谷・飯田は、其の中心、南方に天龍峽がある。木曾谷・美林が深く閉ざし、福島で製材する。木曾川に、寢覺床の奇景がある。
松本平・飛驒山脈斷層崖下の扇狀地には、養蠶が行はれ、松本市は、其の中心で、繭生絲蠶卵紙を多く取引する。

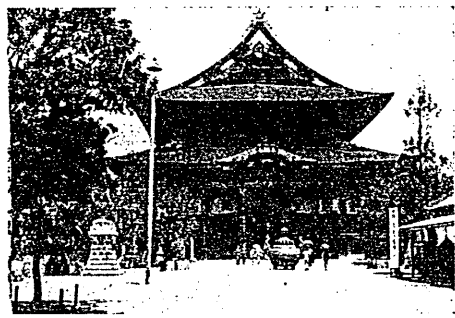


佐久平・輕井澤は淺間山の裾野に位する高原避暑地で、小諸は、製絲養蠶が著しい。
上田盆地・養蠶製絲が盛で、上田市は其の中心である。

下・善光寺
中・長岡市街
越後佐渡新潟市
面積 二三萬平方
人口 九萬八千人
密度 一五八人
上・高田の深

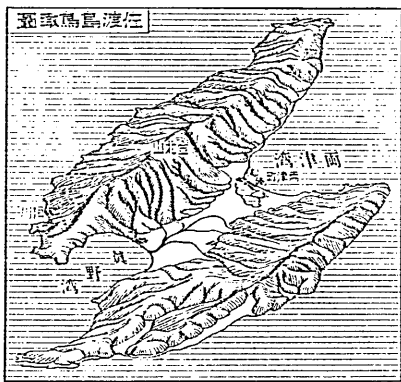


善光寺平・千曲・犀二川間の川中島は、甲越兩軍の古戰場である。長野市は、善光寺の門前町として發達した。この附近には、苹果杏の産が多い。
新潟縣 上越地方
荒川流域の中心、高田市は、城下町で、妙高山



麓の赤倉と共に、深雪で名高い。直江津は、交通の要地である。

中越地方 東山・西山兩油田間の長岡市は、石

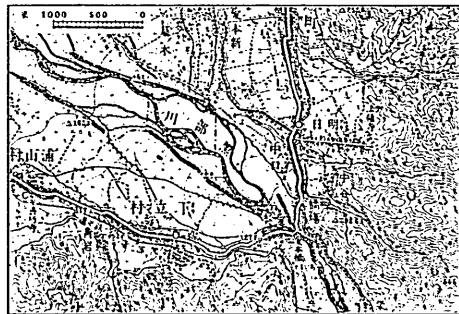


加賀湾の概観

越中(富山市)
面積 四二五七方
人口 七五万人
密度 一七五

越中(富山市)
面積 四二五七方
人口 七五万人
密度 一七五

なり、新潟の補助港である。相川は、古い鑛山町で金を産する。
富山縣 富山灣には、漁利が多く、魚津・滑川は、氷見と共に漁港である。山地から急に平野に下る河川は、縦横の分流となるので、水害を



油米の取引が多い。三條市は、十日町・小千谷等山麓の都邑と共に絹綿織物を産し、商業が盛である。

下・越・地方 新津は交通の要地、油田の中心で、新・田は城下町である。新潟市は舊五港の一であるが、

天然の障害が多く、貿易が振はない。信濃川の下流地方には、

花卉が栽培される。

佐・渡 夷は、湊と共に、兩津町と

なり、新潟の補助港である。相川は、古い鑛山町で金を産する。



越中(富山市)
面積 四二五七方
人口 七五万人
密度 一七五

越中(富山市)
面積 四二五七方
人口 七五万人
密度 一七五



及ぼすが灌漑用水路網が発達し、越中米の産が多い。伏木は、米の積出港である。富山市は、中央丘陵より東の平野の中心で、製薬が盛である。西の平野の中心は高岡市で、銅器漆器を産する。南部の山麓地方には、養蠶行はれ、城端は、羽二重の産で名高い。

石川縣 能登・半島 丘陵性の土地で、羽咋地

溝に開港七尾

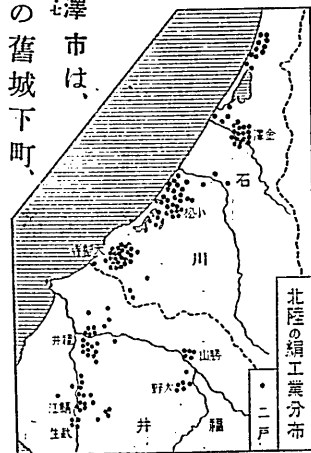
和倉温泉がある。

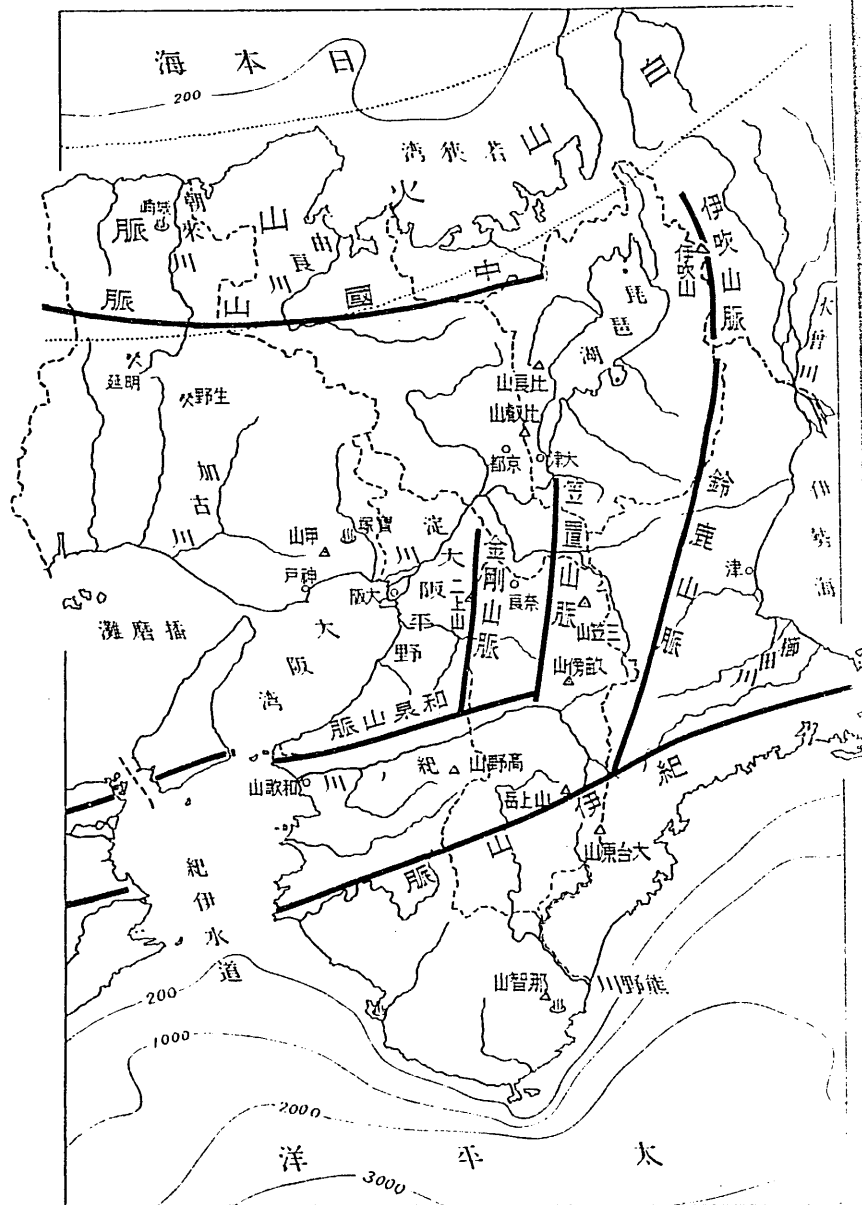
輪島は、漆

器を産する。

加賀・平野 金澤市は、

前田氏百萬石の舊城下町、





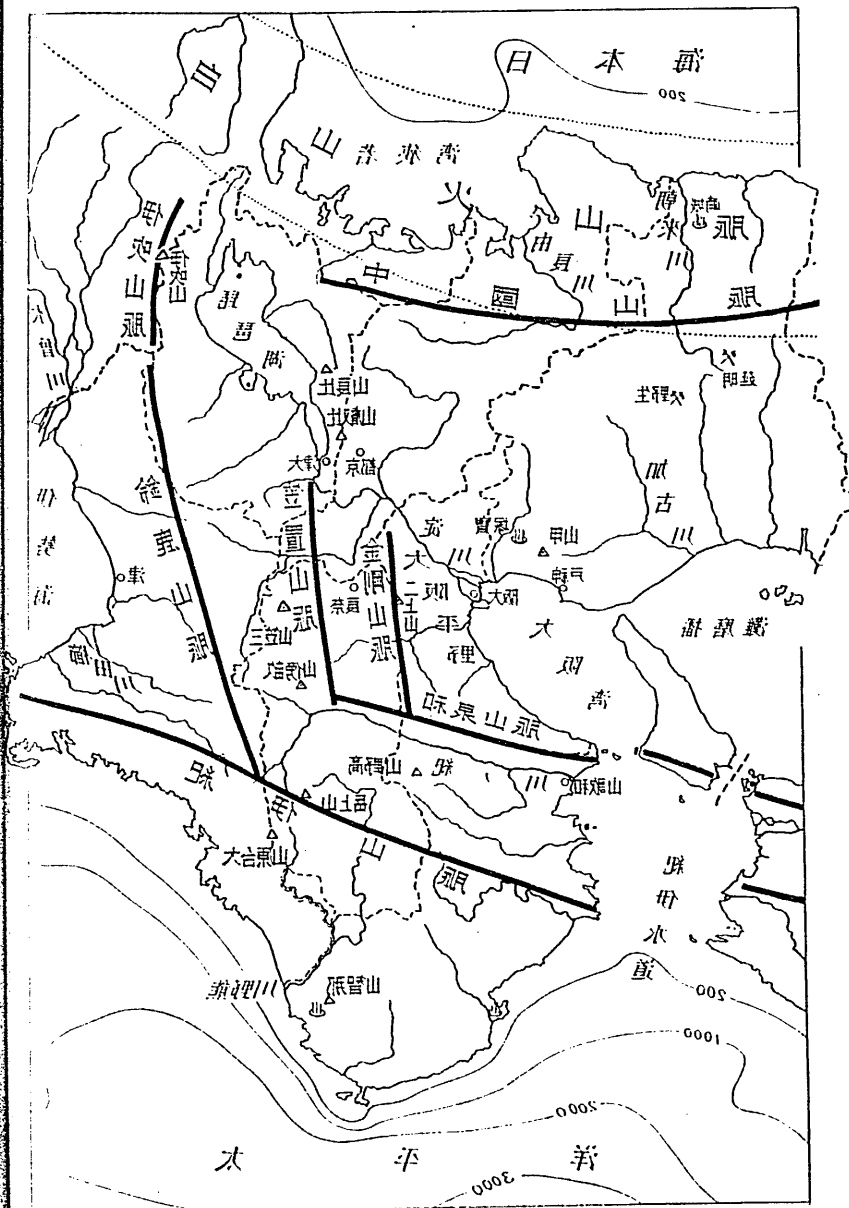
九谷焼作業
 1. 海岸に等高線が
 密なのは何故か
 2. 海岸に直角に一
 線を引いて断面圖
 を書け
 3. 断層崖の高さは
 どれ位か
 4. 敦賀はどんな所
 に開けた港か
 越前若狭(福井也)
 面積 四〇六方杆
 人口 三萬人
 密度 一萬人



北陸第一の大都会、兼六公園と美術工藝品の
 産とに昔の面影がある。
 白山火山麓は深雪地で、附近に、山中・山代等の
 温泉が多い。小松・九谷・大聖寺は、古來、九谷焼
 の産地である。
 犀川・手取川の河口附近の海岸
 は潮流に侵蝕され、其のため安
 宅、開趾も今は数軒の沖合にな
 ったと稱せられてゐる。

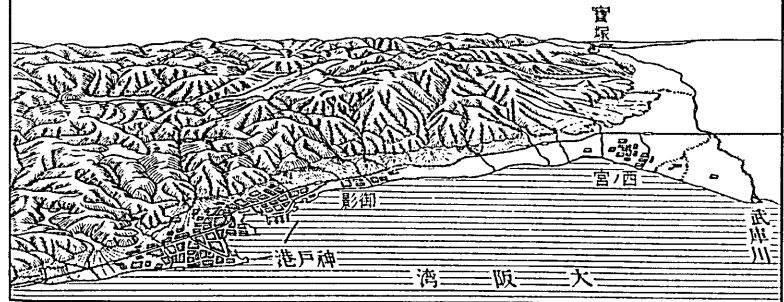


福井縣 福井・平野 帝國第一の羽二重富士
 絹人絹の産地で、城下町・福井市(藤島神社附近)、盆地内の大野・勝山は、
 その中心である。日野河谷の武生は、和紙(奉書紙)蚊帳を産する。
 若狭・灣岸 陥没後沈降したリアス式海岸で、敦賀・小瀨・二港がある。





神戶附近模圖



第四章 近畿地方

面積三万六千平方キロメートル
人口二二〇万人
人口密度六一人

一 概観

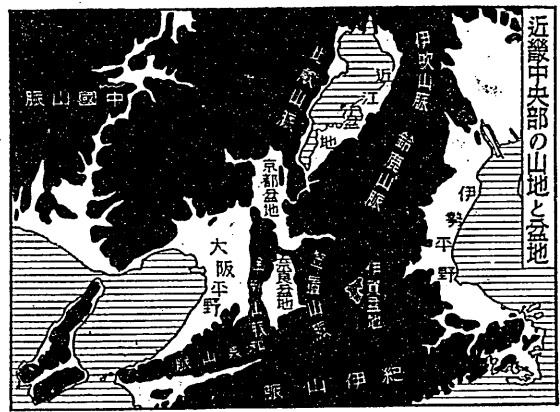
◎ 本州の地峡部にあることは近畿地方にどんな影響を與へてゐるか

◎ 本州の地峡部で人口分布の重心である。永く帝都の所在地文化の中心であつたが、今も商工業の大中心である。行政上二府五縣に分れる。

二 地體氣候と關係産業

地形上、北部中央低地南部の三に分れる。

北部 中國山脈の東部を占め、朝來山、良保津等の河谷によつて、比叡丹波奥丹後(半與)但馬、六甲等の山地に分れ、龜岡、豐岡の盆地がある。白山火山脈が

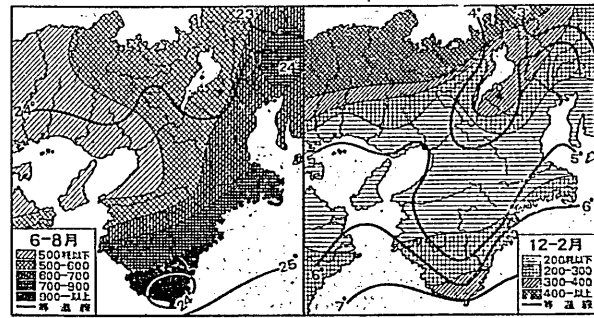
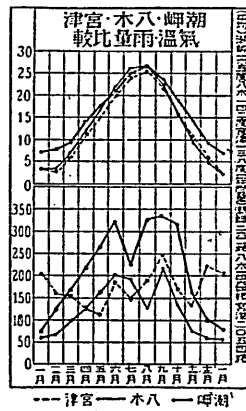




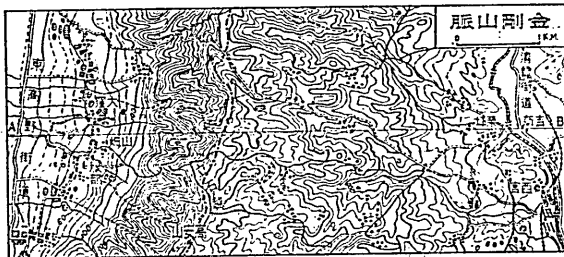
玄武洞
玄武岩の柱形に注意せよ
氣候圖

東西に走り、城崎温泉玄武洞がある。銀銅産地の生野、錫産地の明延（明延（明延））も、この北部山地にある。海岸は、リアス式で良港が多い。對馬海流が流れてゐるから、鰯、烏賊の漁獲が多く、又この地は、裏日本式氣候となつた。丹波高原は、牧牛（牛（神戸））が盛んで、ここから奥丹後にかけて、養蠶製絲が榮え、峯山は縮緬を産出する。

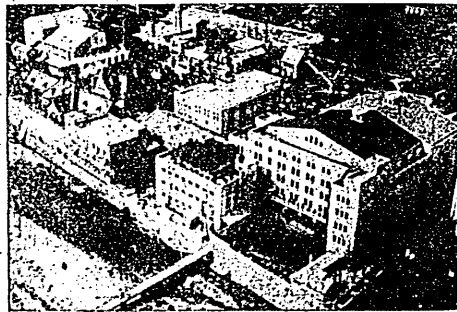
中央低地
層によつて、伊吹・鈴鹿・比叡・笠置・金剛・六甲・淡路



金剛山脈
1. 西側に等高線が密で東側に疎なのは何故か
2. 圖中A・B二點間の断面圖を描けばどんなになるか
3. 何故西側と東側とで聚落の分布に差があるか
④ 寶塚温泉向つて右の大きな建物は歌劇場で温泉の設備もある

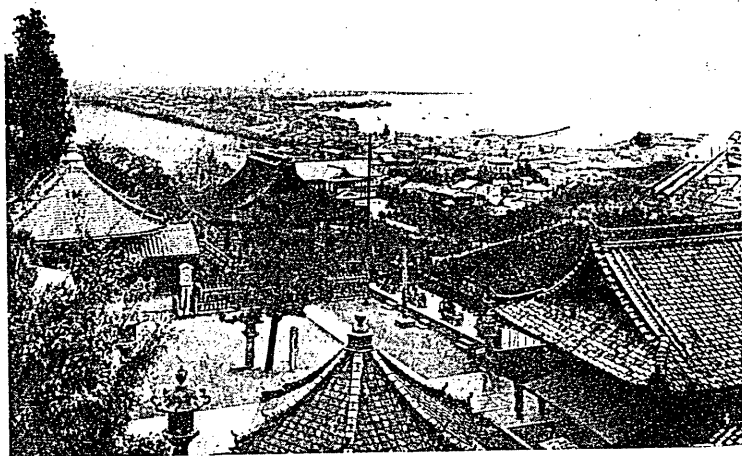


路の七地壘と、伊賀・近江・京都・奈良・四盆地と、伊勢・大阪・播磨・三平野と、大阪灣・播磨灘となり、三笠畝・傍二上甲の諸火山、有馬寶塚の温泉も、此の地變部にある。近江盆地の琵琶湖は、日本の最大湖であるが、野洲川・愛知川等によつて狭められ、京都盆地の巨椋池は、保津木津淀諸川の爲、滅失に逼り、大阪港は、新淀川の開通で保護されてゐる。奈良盆地は湖の死滅した跡である。大和川は淀川と共に、大阪平野を造つたが、今は堺に出て、そこを淺くしてゐる。加古川市





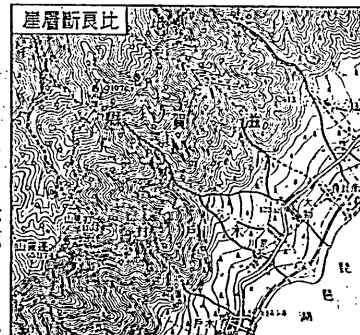
線白るえ見に問の木部一の山傍畝は景近 のため眺らか山傍畝端南の地盆 地盆和大
こ山火舊山成耳はのぶ浮にうやの夢く遠町木八は央中の野平 道拜参の陵御皇天武神は
るあでのな地の業創國建が我が地土な麗秀和平の



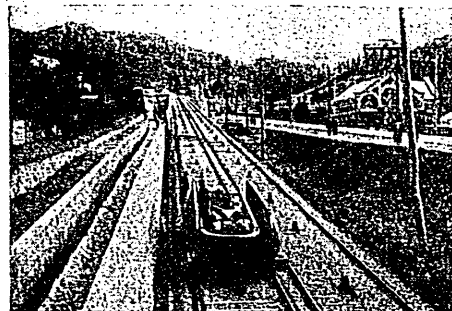
てめ收に下の望一を景風の江近國湖でのるあに腹中の山等長……寺井三は景近 寺井三
のるえ見に手右 るあで場泳水崎柳は處た出き突に中湖方左 るめしせ喜驚に景絶のそ
るあでのる出に上蹴の都京てけ拔を下の寺井三は水疏 で口入取一第の水疏は

1.中央に横線を引
いて断面図を作れ
2.なぜ等高線の疎
密が三度變つてゐ
るか
3.断面線はどこを
通つてゐるか
4.琵琶湖・比叡山
脈の成因をいへ
（図解）
インクライ

比叡山脈断面図

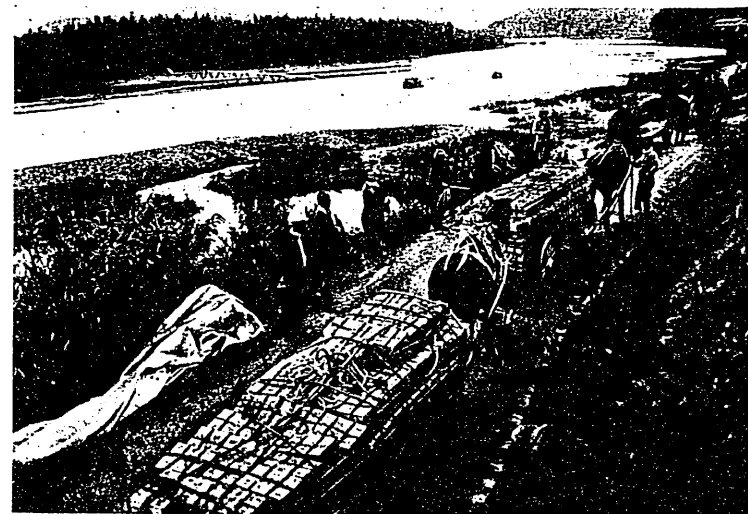


川・揖保川は、播磨平野を作り、雲出・櫛田・宮諸川は、陥没し
た伊勢海の西部を埋めて、伊勢平野を作つた。
琵琶湖は、近江断層盆地に湛へ、竹生・島・彦根・城・丘等は、殘壘である。周圍
二三五呎水深、北部は九〇米、面積六七五方呎（位）、滋賀縣の六分一を
占め、近江八景等の勝景が多く、湖上汽船は、
今は遊覧が主である。湖面は海拔八五米、
溢れて勢多川となり、洗堰以下は、宇治川の
急流をなす。疏水は、三井寺の下から蹴上に至り、一舉四
五米下の京都盆地に落下し、船荷引上装置がここにある。
全長一二呎、一九萬圓の工費と、四年十月（明治二八年六月）
の日敷とを費して完成したもので、宇治川と共に發電に
利用される。湖岸平野の肥沃、湖中の水産（鯉・鮒）は、盆地
住民の天恵で、又清く豊かな水は、湖南地方をして、帝國人
絹工業の大中心たらしめた。





氣香の有固ばれすと材櫛 し皇を色紅淡いし美はのたし燥乾の杉野吉 燥乾の材櫛
 滲が酒に材き防を敗腐味變且 しくよを味の酒 けつを香芳な妙微屑一に酒清てし有を
 るゐてれる用賞に家造醸の神販來古てといなま

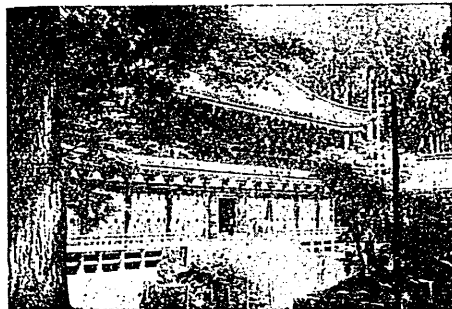


候氣な暖温と味地な好良は方地たしと心中を域流川田有 し出積るよに力馬の柑蜜州紀
 満とるなに期後收の秋年毎 るゐてつなと地産大の柑蜜の田万百数額年 てれま恵にと
 すをり送ラバ 山の柑蜜たれま積く高堆に端軒の家農 果黄のりかばる滴に間の葉緑山
 るす喫満を色方地の州紀は人旅 々等力馬のり送箱 船機動發る

◎ 近江盆地が裏
 日本式伊勢海方面
 が表日本式氣候で
 あるのは何故か

◎ 比叡山延暦
 寺

◎ 米の取引の盛
 な處をあげて見よ



比叡地畠は、近江京都兩盆地を俯瞰し、險要眺望で名高い。
 近江盆地は略裏日本式伊勢海方面は表日本
 式氣候で、他の盆地は稍寒暑の差が大である。
 瀬戸内海岸は瀬戸内式で、保養遊覽地が多い。
 永く文化の中心であ
 つた上氣候が好く、又
 人工灌漑進歩の爲地
 形に比して耕地が多
 く、米作が盛で、播州米
 伊勢米、江州米が名高い。其の他播磨平野
 の麥、近江盆地伊勢平野の菜種、京都盆地三
 重奈良二縣傾斜地の茶、大都市近郊の蔬菜、
 大阪平野南部の蜜柑、葡萄、京都盆地の筍、
 材竹





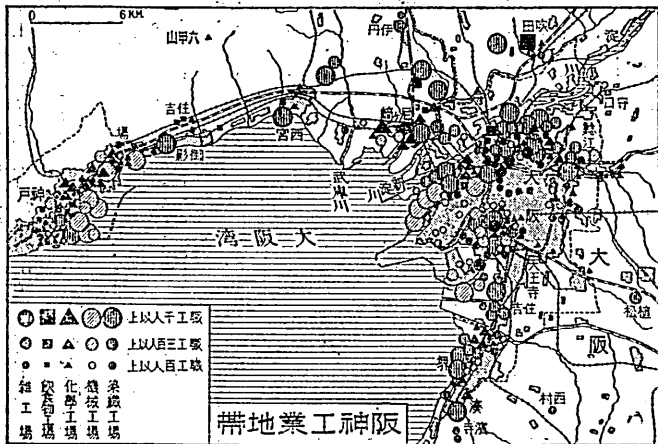
④ 京都府竹
林 下 赤穂鹽田

⑤ 阪神附近は石
炭の産地がないの

ずもる産
は瀬戸内製鹽地帯の東端



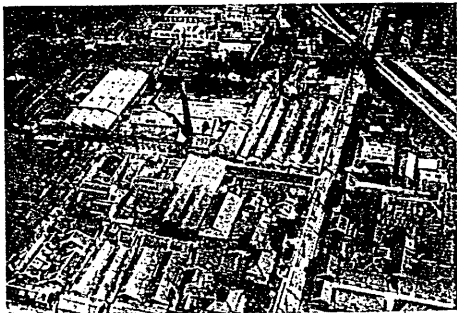
諸盆地諸平野
を後背地とし、
瀬戸内海の好水路を控へた阪神は、
京濱と並ぶ大工業地帯で、その餘勢



⑥ 何故工業が発達
したか

⑦ 神戸の一
工場(工場)

⑧ 下 瀬入丁



が四隣に及び、綿絲(大阪神戸尼)
物(大阪・メリヤス(大阪)の製造が多く、燐寸(神戸)
料藥品麥粉麥酒精糖(大阪)硝子(大阪)石鹼(大阪)
セルロイド刃物(大阪)が之に次ぐ。特に大阪は、
黒煙天を掩うて「煙の都」といはれる。伊勢海
の沿岸は、名古屋工業地帯のつぎきて、綿絲綿
布の製造が盛である。

南部 高い

紀伊山脈は

赤石・四國二山脈に對し、山上嶽大

臺原山等の高峯が聳えてゐる。

熊野川には、瀬八丁の深淵があり、

此の川の横谷は、南部山地の南北



志摩半島の
眞珠養殖
主に英虞灣・五所
灣で行はれ御木本
眞珠は世界に名高
い圖は海女の眞珠
貝採集の景で採
集した眞珠貝に入
工を加へて吊籠に
入れ前登に見える
装束で養殖する
眞珠養殖
先志摩
1.この邊の山・海
岸の特色はどうか
2.こんな地形はど
うして出来たか
3.海岸に平地がな
いのは何故か
4.この入江はなぜ
眞珠養殖によいか
5.生業は何か



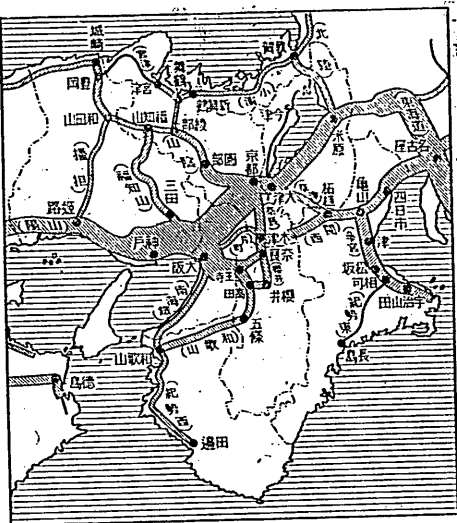
を連絡する。和泉山脈との間の紀川の谷は、
橿田川の縦谷と共に、東西横斷の交通路であ
る。海岸は沈降性でリアス式を呈する。
暖流が流れて、
鯉・鰯・鯨の漁獲が
多い。眞珠養殖
は東部の溺谷に
起つた日本獨特
の産業である。



紀伊山脈は、又氣候の大きな境となり、
此の地方を、表日本温暖多雨地帯の一
としてゐる。紀川(高野)熊野川の流域
に杉、有田川の流域は蜜柑を産する。

三 交通・商業聚落

交通 本州の地峽部で、政治の中心であつた
爲、交通の焦點となり、街道(中山・山陰)は京都に、東
海道・山陽(神戸)・關西(大阪)・福知山(神戶)・南海(大阪)・片町(大阪)の諸鐵道



は阪神に集中してゐる。其の外山陰線(京都)は、北部の諸盆地を
經て京都に來り、小濱
(新舞鶴)・舞鶴(中津)二線は、北陸山陰の兩線を、
播磨線(和歌山)・山陰山陽兩線を連絡する。
其の他、參宮線(名古屋)・草津線(草津)・奈良線(京都)や、阪急參宮電車等汽車電車の四通八達は、



⑤ なぜ紀伊に沿岸航路が発達したか
 ⑥ 下 木津川尻の飛行場

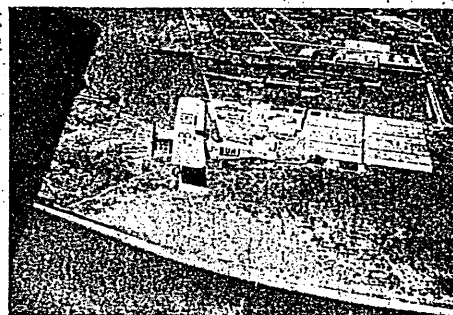
⑦ 上 湖岸



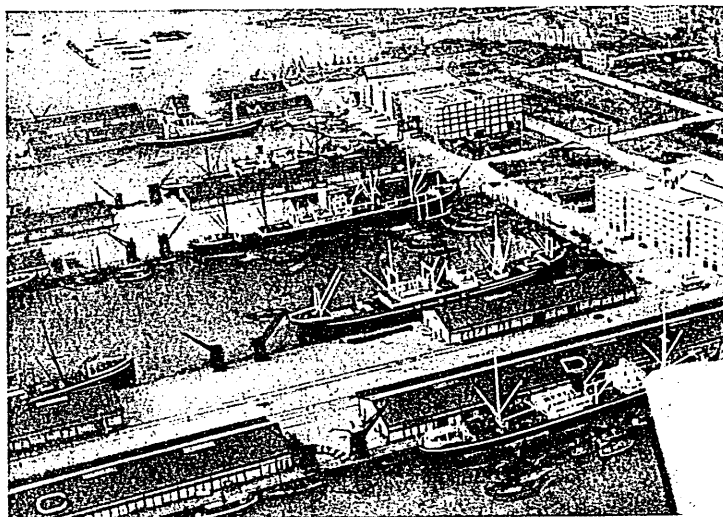
遙かに京濱地方を凌いでゐる。海運は概ね大阪神戸を起點とし主として大阪は近海航路神戸は海外航路の中心である。紀伊半島岸琵琶湖疏水淀川の水運はよく発達してゐる。

定期航路は大坂(木津)松山に通じ又東京から大阪太刀洗朝鮮大連に至るものがある。

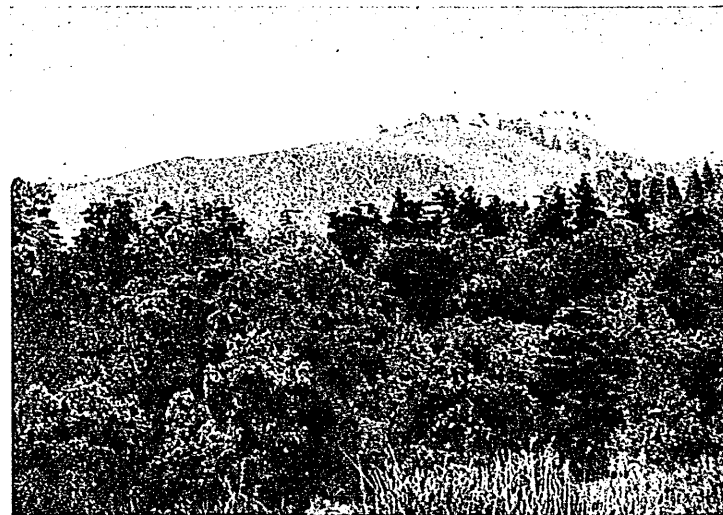
無線電信局は大坂(所在平野郷と通信)四日市(名古屋)潮岬山(航空にラヂオ放送局は大坂都にある)。



商業 よい位置整つた交通機關安價で實用的な商品は、大阪をして斷然東京を壓し、全國

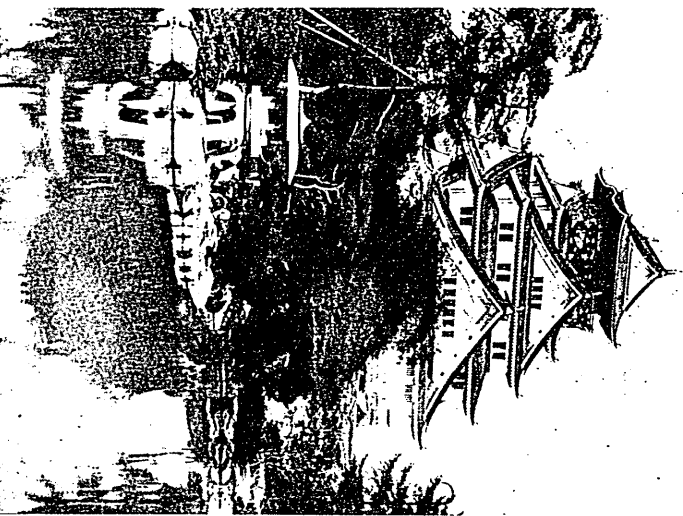
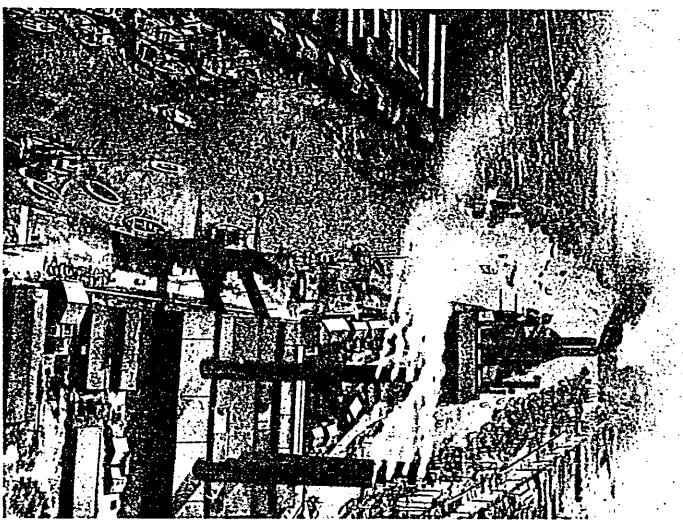


波防大の米十五百六 るあで觀偉の港戸神るた開玄大の海港易貿の一第國が我 港戸神三應慶 るす吐吞を客船の外内人万百年ケーび及にルータクへ百九は域港たれま國に堤過に千三万二計万二庫兵千三町戸神は口人の年元治明でのもたつま定と場港開てめ初年るゐてれら語物が展發の國帝るな大偉もにここ たつかなぎ



だなで一の其も山笠三 る見を出噴の山火てつ五に西東はに都役路の方地幾近 山笠三を情詩の人都の樂寧き如がふ匂の花く咲 は草若た出ひ匂にかやごな 斜傾の山ながら忘を物風の郷故ともか月して出に山の笠三るな日春 うら有で事たつゝそに上がやいいまるあはでみの呂麻仲人一は者いな得れ

大阪の一部 豊太閤に礎を据る徳川三百年の永きに亘つて日本の経済を司つて来た
 沿岸の地は明治大正を経ていよいよ實力を培ひ今日では單に我が國經濟の中心であ
 る計りではなく世界經濟界に於ける有力な地位をしるに至つた



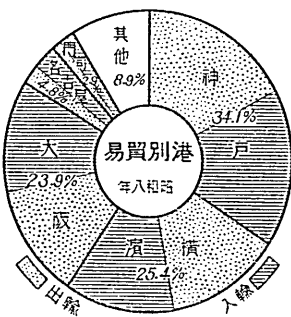
大阪城もと石山と稱し戰國時代に一向宗徒が之に據つて以茶臼城となり豊太閤が代つ
 てから其の榮華を現した天下の名城が作られた 徳川時代に天守閣が残り 明治政府の
 役又兵火にかつて荒廢したが近年復舊事業のよりの圖の如き天守閣が建造された

四日市



一の商業市たらしめた。尙近年大阪
 の商圏は、著しく滿洲方面に延びた。
 神戸は、南西日本を後背地として、
 綿の輸入が多く、横濱と東西相並ん
 で二大貿易港をなし、大阪は、之に次
 いで綿製品の輸出が多い。右三大港
 は、實に内地貿易額の八割を占めてゐる。 四日市は、繰綿を輸入し、
 綿絲・綿布を輸出する。 日本海岸の開港宮津

は、商勢が振はない。
 聚落 地體歴史交通産業の關係から、中部平野の人口は關
 東平野よりも稠密で、人口一萬以上の都邑は六十八を數へ、
 城下町遊覽市工業市が多い。 關東平野は散村が多いが、奈
 良近江京都盆地の村落は、條理の正しい集村で、中央低地の
 工業地帯には新興都市が續々起つて來た。



なぜ關東平野に散村本地方に集村が多いか

近江 (大津市)
面積 四、五方軒
人口 六萬人
密度 一七二 人

⑧ 下 大津の東
洋レヨン會社の
人絹工場

⑨ 大津市は何故
人絹・麻の大工業
市となつたか

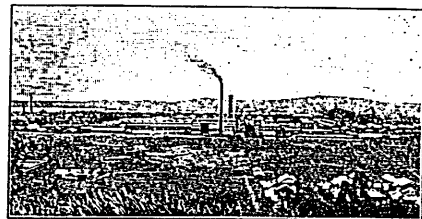
⑩ 上 皇大神宮
伊賀伊勢志摩紀
伊一部 (津市)
面積 五七、五方軒
人口 二六萬人
密度 三〇 人



滋賀縣 湖北 北部は養蠶が盛である。長濱は縮
緬の産地で、米原は交通の要地である。
湖東 米菜種の産が多い。城下町の彦根、蚊帳産地
の八幡、近江商人の故地日野、交
通市の草津がある。

湖南 中心の大津市は、水陸交
通の衝に富み、人絹の大工場が
ある。

三重縣 伊勢平野 桑名は、濃尾伊勢兩平野
中間の名邑で、四日市市は、開港場で紡績製陶
が盛である。津市は綿絲綿織物を、松阪市(本
生地)は綿織物を産する。明野原に、飛行學校
がある。神都宇治山田市は、皇大神宮で賑ひ、



山城丹波一牛丹
後(京都市)
面積 四、三二方軒
人口 一五、五萬人
密度 三六 人

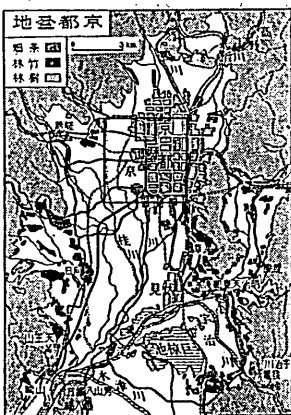


嵐山

附近に三見浦、朝熊山の勝地がある。
志摩半島 瀬谷の入江に鳥羽、波切などの漁港
が多い。

京都府

京都盆地 南東の臺地は茶
を産する。其の中心の宇治
は玉露茶の産で名高く、宇治
川が平野に入る所にあるので、大發電所が設けられ、盆地
出口の山崎と共に、屢戰亂の巷となつた。
京都市は盆地の北部に位し、帝國第三の大都、直交式の舊
都である。

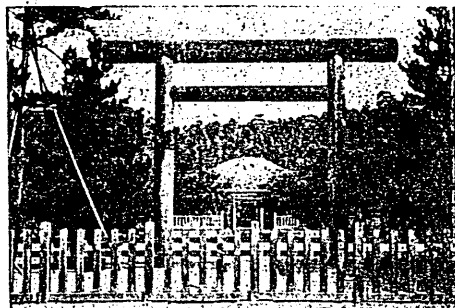


京都市は青山、四圍自然の要害で、桓武天皇以來一千七十餘年間の帝都であ
つた。元は盆地北部の中央に南面して建設されたが、其の西半は荒廢し、今
は神社佛閣の多い東郊に發展した。清水寺、圓山公園、知恩院、銀閣寺、東西本

⑤なぜ荒廃したか(前頁参照)

⑥上 桃山御陵

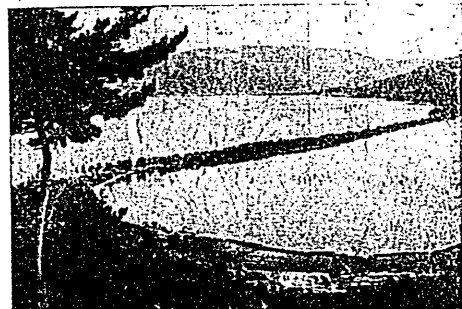
⑦下 天橋立



願寺金閣寺等に、日本舊文化の名残を止め、嵐山高雄の勝地もある。西陣織友禪染清水焼蒔絵京人形は純日本美術工藝の特色を表してゐる。又關西學術の中心で帝國大學府立醫科大學など幾多の學校がある。市の一部の伏見は清酒を産し、桃山御陵がある。

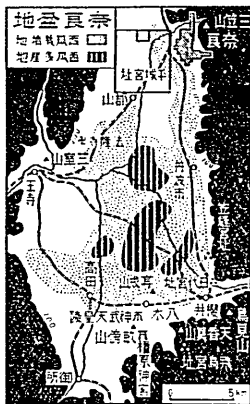
丹波高地 奥丹後地方と共に、水蝕の進んだ低い山地で、古い地層から成り、牧牛養蠶が行はれる。龜岡・綾部・福知山は、

各同名盆地の中心で、製絲が行はれる。奥丹後地方 若狹灣の副灣の灣頭には、海軍要港新舞鶴・中舞鶴・舞鶴開港・宮津等の良港が多い。附近に、天橋立の砂嘴、縮緬産地の峯山



大和 (奈良市)
面積 三、六九方
人口 三〇萬人
密度 一三八人
⑧奈良が京都其のまゝの町であるのは何故か

⑨上 東大寺
⑩下 吉野山
森林美と門前町とに注意せよ

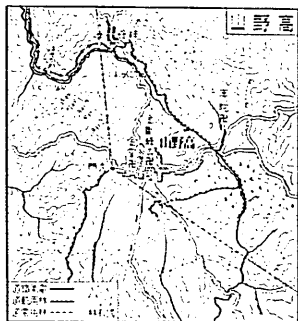


がある。
奈良縣 奈良盆地 奈良市は盆地の北部に設けられた平城都が、東大寺興福寺の門前町として、東の方三笠山方面に移動した直交式の遊覽都市で、墨人形等の名産がある。郡山は綿絲金魚、法隆寺は古刹、高田は綿織物で著れる。御所は大和郡の本場で、附近は富山に比肩すべき新興製藥地である。盆地の南部は東部は上古歴



1. 川はどこを中心
に流れてゐるか
2. 高野町は海拔幾
米位か
3. 附近にどんな種
類の木があるか
紀伊大部(和歌
山市)
面積 四三三平方
キロメートル
人口 二五万人
密度 一五八人
平方キロメートル

那智山は四十八瀧
で名高い其の一
瀧は遠く海上から
見られる流紋岩の
幅広い絶壁に懸る
が瀧壺は小さい
舞津一平・河内・和
泉(大阪市)
面積 一八四平方
キロメートル
人口 二五万人
密度 一五八人
平方キロメートル



代の帝都があつた地方で、畝傍山(神武天皇御
武峯(談山神社)がある。

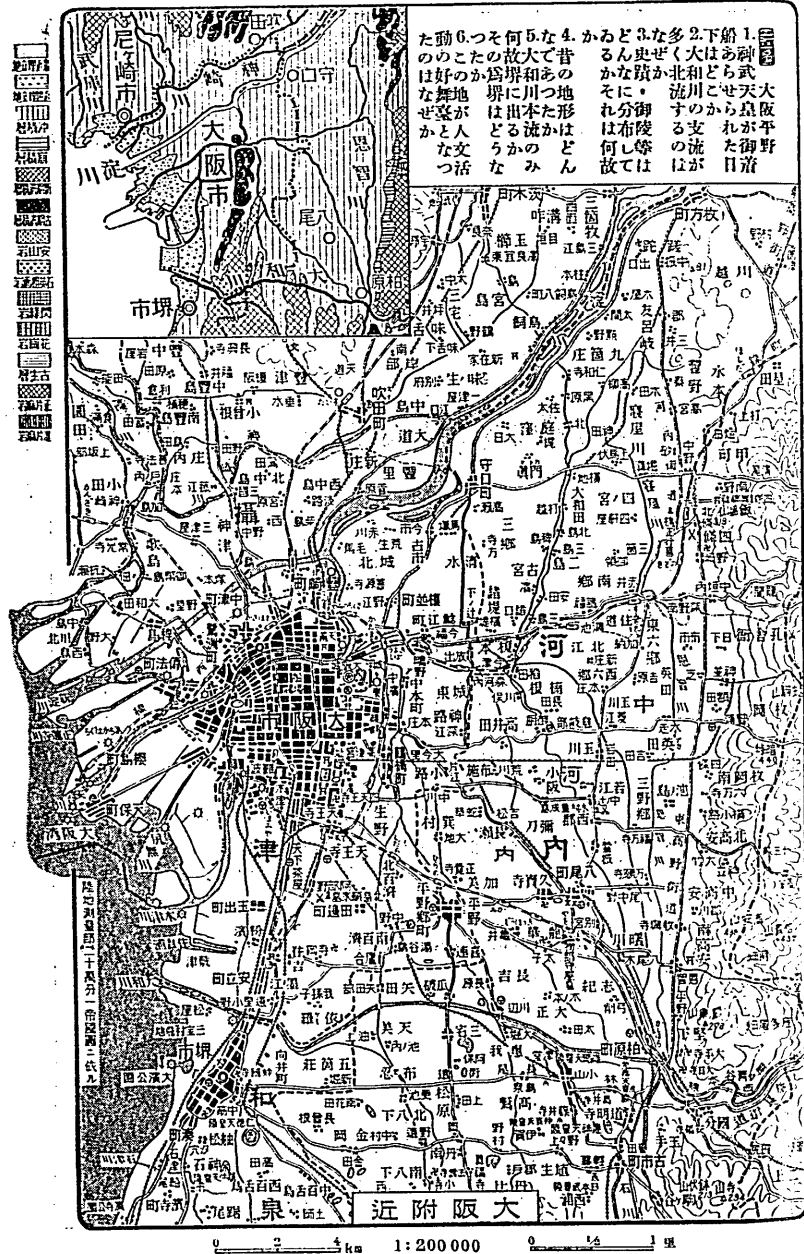
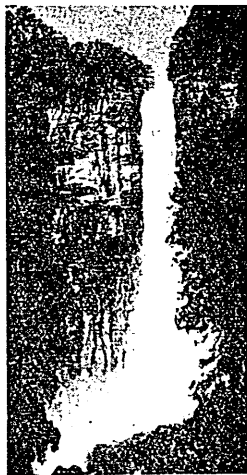
南部山地 杉(瀬酒)の美林が多く、吉野(櫻の
賀名生十津川は政變時の避難所となつた。

和歌山縣 高野山は、金剛峯寺で知られ、吉
野に連る美林が茂り、熊野山地と共に、良材

を出す。新宮市は、熊野材を集散し、近くに那智瀧がある。大島串
本は捕鯨の根據地で、田邊附近に、白濱温泉がある。箕島は蜜柑を
集散し、海南市は漆器を産出する。

和歌山市は、紀川口の城下町で、紀
州ネルを産し、杉の取引が多い。

大阪府 沿岸は、兵庫縣に續く一
大工業地區で、大阪市は、その中心



大阪が發展した理由を述べよ

堺市

大阪の造幣局内部
攝津丹波一牛但馬・播磨・淡路・神戸市
面積 八三三万平方尺
人口 二五八万人
密度 三八人

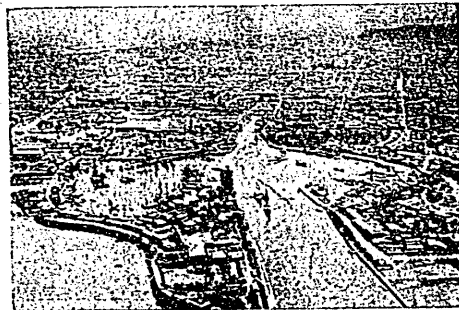


をなし、岸和田市、堺市は、綿絲綿布の産が多い。

大阪市は、仁徳天皇以來の古都で、豊臣氏以來發展が著しく、高津宮址、四天王寺、大阪城は南方から突出た臺地にある。市の生命たる商工業區は、淀川の三角洲上に開

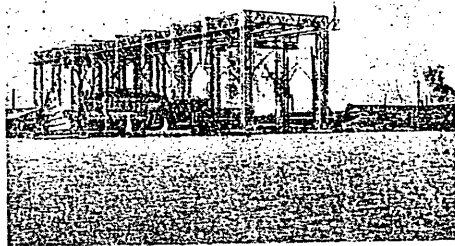
け、水の都橋の都、大工場は二萬安治川口以東が貿易港である。帝國大學等の學校が多く、教育都市ともなつた。附近の吹田はビールを産し、濱寺、箕面は勝地である。

兵庫縣 六甲・山麓 溫暖で温泉(寶塚)もあり、阪神人士の別荘地、郊



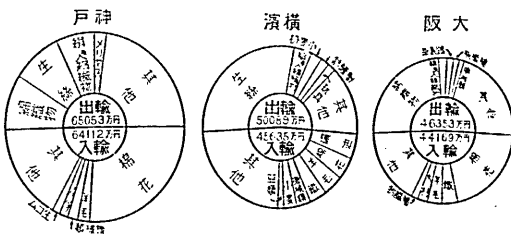
神戸の川崎造船所

阪神間の交通が整つてゐるのは何故か



外住宅地である。尼崎市は、硝子工業で著れ、伊丹・西宮市、御影は、醸造地帯である。神戸市は、六甲山の斷層崖を下る天井川の扇狀地と、和田岬とに發達した天然の良港で、人工的設備がよく整ひ、我が國の貿易港中、出入船舶が最も多い。

阪神間には東海道線の外に、阪神急行阪神の兩電車がある上に、阪神國道が改修されて之に電車さへ通じ、兩市は、恰も一港一都市の感がある。兩市の輸出品は、生絲、絹織物(羽織等)、綿織物、綿絲で、神戸港は右貿易の大部を行ひ、其の兵庫港は内國航路船の發着港である。又神戸市は、綿絲、寸樟、腦麥粉、ゴム、砂糖機械の大工業市で、神戸・川崎の大造船所もある。



尙阪神間には、甲子園の大運動場がある。

須磨(神戸市)舞子(舞子市)明石市は、淡路島を目前に望み
休養地帯である。又明石市は、綿織物を出す。

淡路島

温泉 油工場 上城ノ崎



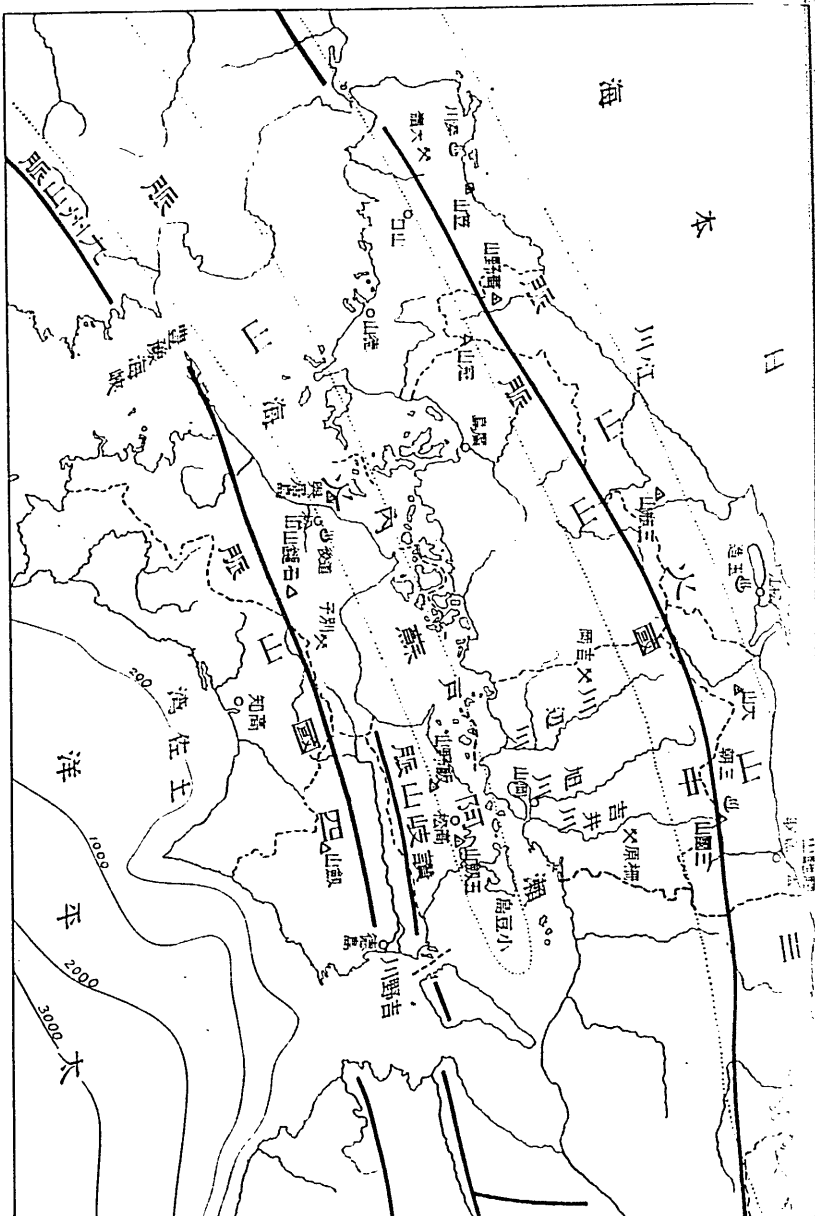
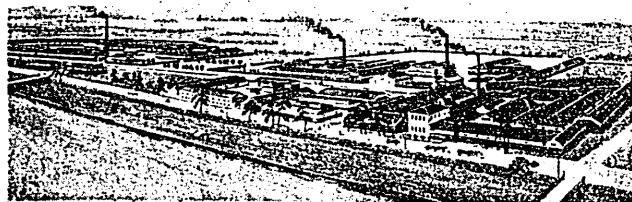
播磨平野 山陽式の景觀を備へ、米麥
 の産が多い。姫路市は、その中心の城
 下町で、革細工毛織物を産する。龍野
 は、醬油の産地である。室津以西は、多
 島の瀬戸内式となり、千種川三角洲上
 の赤穂は、製鹽の中心である。

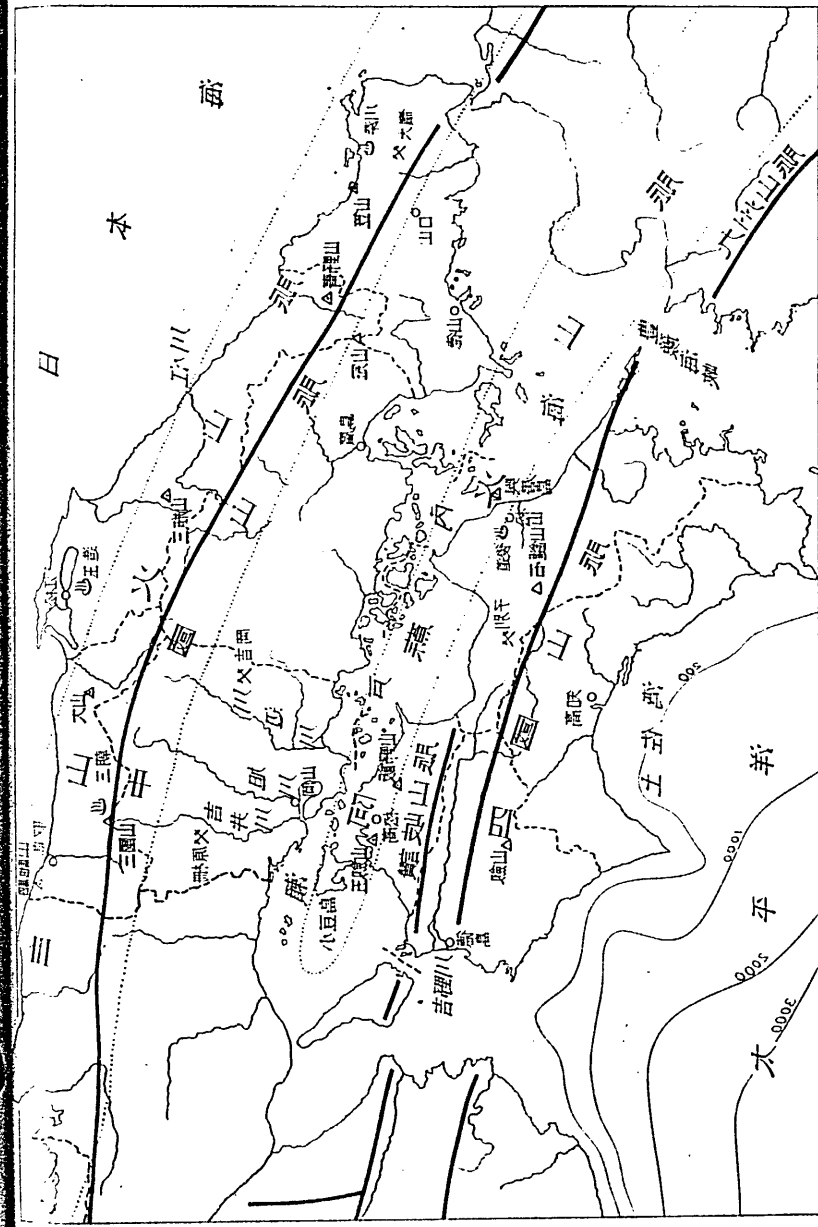
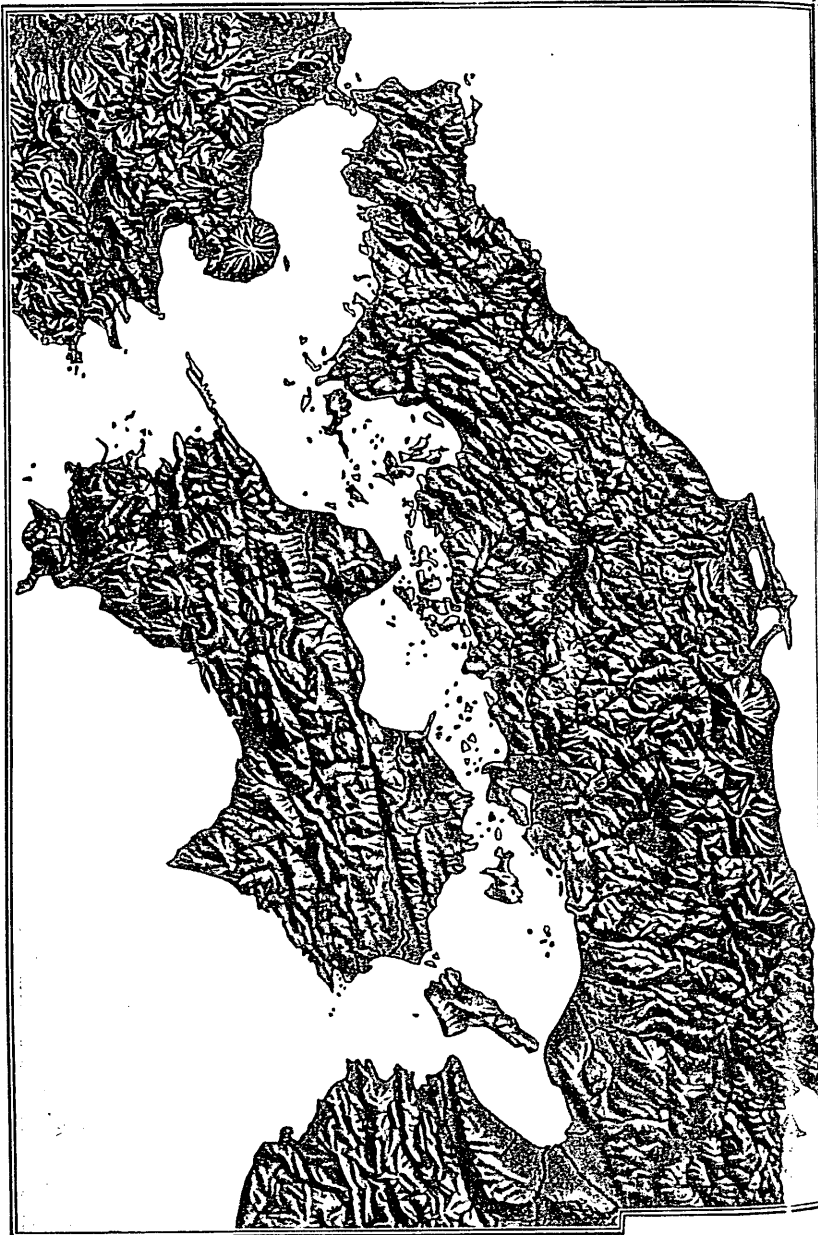
の赤穂は、製鹽の中心である。

但馬地方

銀銅山の生野、陶器の出石

柳^{ヤナギカワ}行^リ李^リの^ニ豊岡^{トヨオカ}、温泉^{オンセン}の^ニ城崎^{シロサキ}陸橋^{リクキョウ}の^ニ餘部^{アノベ}等^ニがあつて、景觀^{ケイガン}は山陰式^{サンインシキ}である。







秋

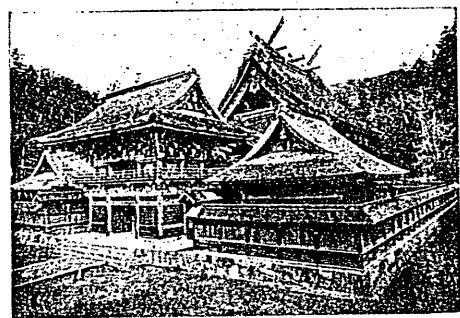
第五章 中國地方

面積三、六三〇方里
人口一、五〇〇萬人
人口密度二九人

一 概観

◎ 中國地方の長さと幅とはかれ

◎ 出雲大社
大社造りといふ神代の造り方で出雲文化の面影がある
◎ 高梁川支流の成羽川
1. 北東から南西に断面を作れ
2. こんな地形はどうして出来たか
3. なぜ山地の上に聚落が發達したか
◎ 中國地方と中部地方との地形、地質の相違点をあげよ

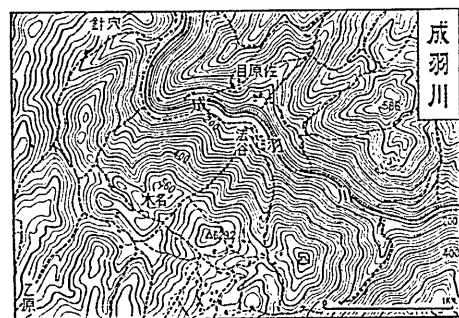


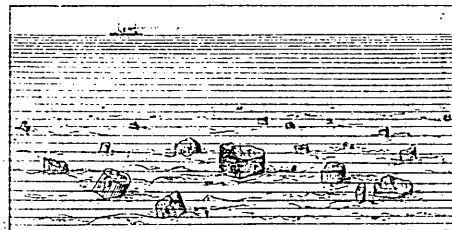
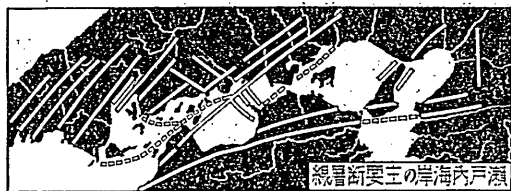
中國山地 中國山脈は、古い山地で、水蝕の

本州南西部の半島で北半と南半との地文・人文は著しい對照をなし、古來、山陰・山陽の名がある。山陰は出雲・古文明の地であるが今は山陽の繁榮に及ばない。行政上、五縣に分れる。

二 地體氣候と關係産業

* 地體上、中國山地、山陽地方、山陰地方の三區に分れる。





爲に平原状となり、再び隆起した高原で、平均千二百米に止まり、諸處に元の平原面がある。山地には著しく花崗岩が露出して、鹽田・禰山・砂川及び白砂青松の海岸が多い。此の特種の地體は、近畿の西部より四國九州の北部に及び、元一續の陸地であつたことを示す。實に瀬戸内海の陥没は、中國・四國九州を分離せしめたものである。内海地方の小島・河川・盆地は、この斷層線に従ふものが多い。山陰には、白山・火山脈が走り、大山(中國の最高山)・三瓶山・青野山を起し、三朝玉造の温泉がある。

圖 上下關海峡の海底森林址、海峡隧道工事調査の際に見られた大山遠望

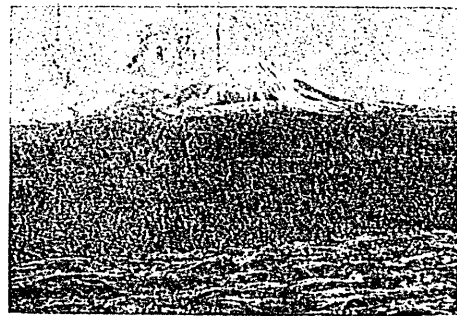
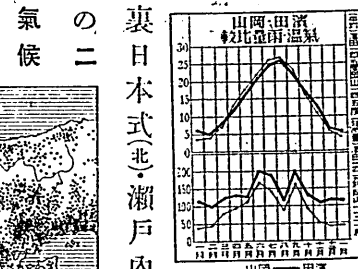
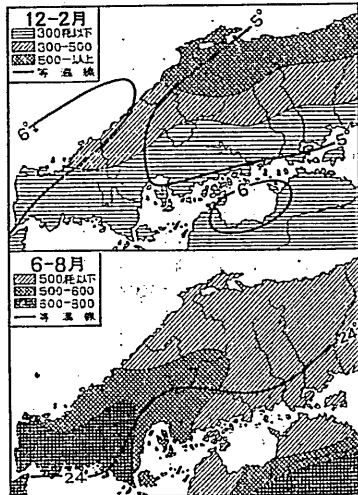
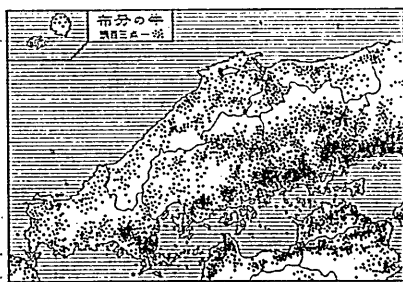


圖 青野山の氣象圖、何故花崗岩や石英粗面岩が多く露出してゐるか



山地は、この地方を

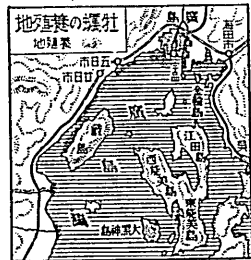
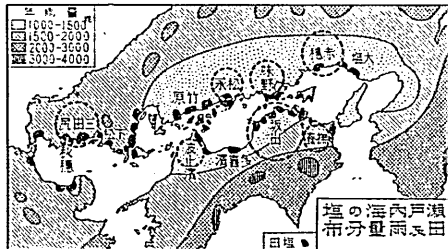
區に分ち、水蝕を受けて砂鐵を出し、吉岡は銅・柵原は硫化鐵、日野川上流はクローム鐵鑛を産する。花崗岩や石英粗面岩地が廣いから、花崗岩材・陶土を産し、三石に耐火煉瓦、石見に赤瓦(萩縣山口)に萩焼の産がある。高原性の爲、牧牛が行はれて、牛肉を阪神に送り、廣島



圖解

綱要

⑤ 圖を見て海の名をあげて見よ



作り、三平野とも、人文活動の好舞臺となつてゐる。

瀬戸内海は東は淀川琵琶湖の陥没地帯に連り、又西は阿蘇水の道に連つて九州を兩斷してゐたが、今は紀淡鳴門豊豫下關の四海峡によつて僅に外海に通じてゐる。この内海は縦横の斷層線で分斷された土地が沈降したもので更に火山作用や沖積作用が加はり遂に現今の状態となつた。多くの小地塊は多島海を作り、稍廣い海面を瀬といふ。一般に



では、罐詰として海外にも出す。山陽地方 中國山脈の南斜面で、吉井、旭、高梁、三川は岡山平野、蘆田川は福山平野、大田川は廣島平野を

- ④ 一航海遠略の民を生ぜしめた「貨」例をあげて見よ
- ③ 我國最大の工業地・貿易港・軍港はどこか
- ② 瀬戸内海は何故「鹽」に適するか氣候・地質・地形の上から考察せよ
- ① 岡山平野の稲作



浅く、瀬でも深度五十米に達するものは少い。よく頂上まで耕された島嶼變化極りない水路白砂青松の海岸青い海朗かな空は眞に世界海上の公園である。海峡は潮流が急で鳴門海峡の如き一時間十八杆に上るが概して波が静かで古來交通に利用され沿岸に航海遠略の民を生ぜしめた。現に帝國最大の工業地貿易港軍港はこの沿岸にある。

この氣候地體は所謂十州(播磨・備前・備後・安藝・周防)の鹽田を發達せしめ、味野・松永・防府等を中心として全國製鹽額の九割を占める。春夏の交産卵の爲に魚族が來集し特に鯛・鰯の産が多い。又廣島灣兒島灣では牡蠣を養殖する。

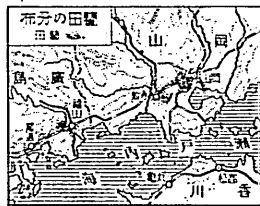
氣候よく平野と山地の階段・農耕地とは米産に富み、下關は米の集散地として知らる。二毛作が行はれて、麥の産が多く、少雨の岡山縣



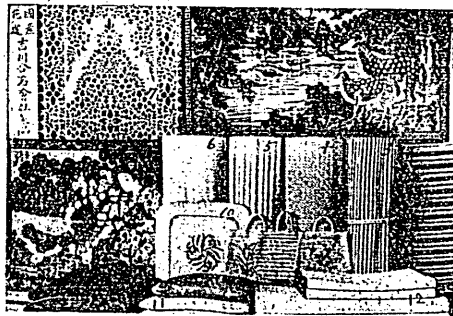
岡山地方
の間の刈取

花筵

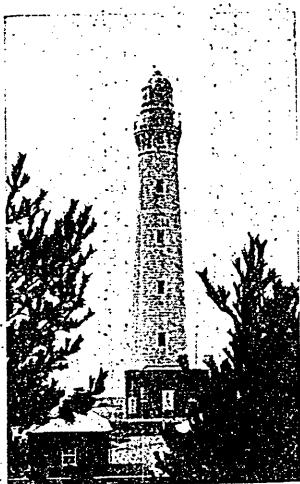
京濱・名古屋
阪神・広島地方の
醸造地をあげ其の
起因を考へよ



培して壘表・花筵を織り、
花筵を海外にも輸出す
る。其の外岡山・広島
の桃梨・蜜柑は、温暖な氣候
の賜である。交通至便、人口多き岡山・広島二
縣に、紡織業が起り、岡山地方では備後・緋を産
し、水質佳良の西條では清酒を醸造する。
山陰地方 山脈が北に偏してゐるので、山地が

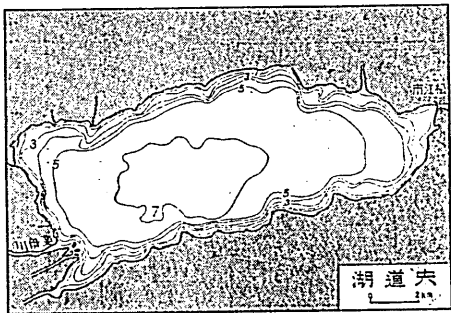


島根半島の
西端日御崎燈臺



多い。江川(中國の最長流)は三次盆地から蛇
行して横谷を作るが、平野を開か
ない。千代川・天神川・日野川の流
域には、それ／＼鳥取・倉吉・米子の
小平野がある。海岸

は砂丘が多く、出入が少いが、地壘の島根半島
と本陸との間の宍道地溝帯には夜見濱の砂
嘴に隔てられた中、海の潟湖・宍道湖・斐伊・神門
二川の合成三角洲の簸川(雲出)平野がある。對
馬海流があるため、隠岐群島・鳥取・島根の沿岸
地は、烏賊・鰯の漁利が多く、山口縣民は朝鮮近
海にまで出漁する。下關は、内海・外海の漁獲物



● 山陰の米質が
軟いのは何故か

● 隠岐の鍋乾
製

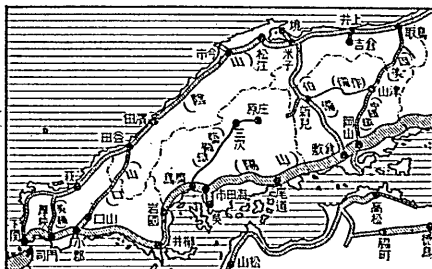
● 鐵道圖



を集散し、帝國の最大漁港である。
鳥取・簸川の二平野では米^{*}作が行はれ、山地に
楮砂丘地に桑を植ゑて、和紙^(石見牛紙)製造養蠶が副
業的に行はれる。

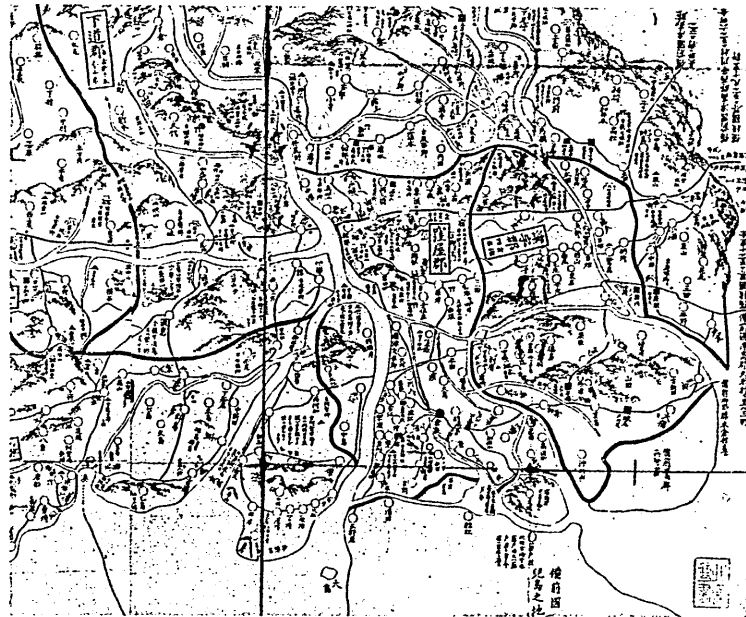
三 交通・商業・聚落

交通 山陽線^(神戸・下関)・山陰線^(京都・小倉)は二大幹線で、山口^(小郡)・美禰^(正明市)・伯耆^(倉敷)・因美^(津島)・中國鐵道^(山手・山陽)等の南北線は、主に斷層谷又は河谷に建設された。宇野線^(宇野)の終點宇野は、高松との間に連絡船を通ずる。瀬戸内海は内外の航路に當り、中國・四國間、阪神工業地・北九州産炭地間の交通

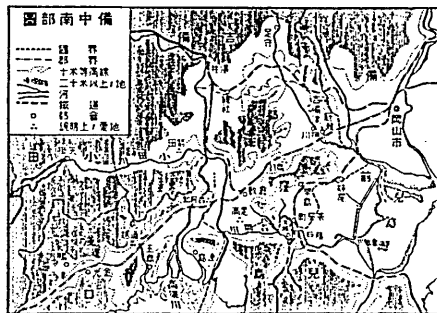


坂市 毛利氏の舊城下町哉……幕末以來幾多の名士叱咤を出した哉、夏蓋柿の狀、開港場の狀、米の名はかくして我等の深い夢をさそふ、近景は玄武岩の墓、地蔵江流、其の下に橋のかゝれるは阿武川の分流松本川、左下隅から松本川に続くは運河、白波瀾る運河の砂濱は街々濱米街場、陸奥灣は指月山、麓は舊城址、其の西部に運河が見える、運河の向ふは阿武川分流松本川、三角洲上に開けた市街は蓋柿畑の爲自然に緑化されてゐる平和な景……しかし底強く防長精神をもちし坂市は再興の日を待つ

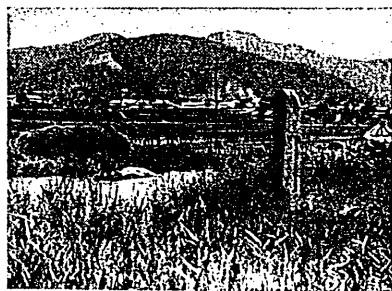




上圖 嘉永七年備中倉敷より發行した備中國巡覽大繪圖の一部
天城が児島海岸にあり児島半島は一條の水路によつてまだ島となつてゐる
中圖 現今の備中南部
下圖 藤戸石
佐々木盛綱先陣の地に殘る石 昔の水路は今はこのやうに水田となつた



児島は元一島で神武天皇はこの島と本陸との間の水道を通つて今の児島灣口の高島ノ宮にお着き遊ばされたものと考へられる 平家が西海に落ちた時佐々木三郎盛綱が藤戸の海に先陣の功を立てた史實はこの時代まで児島が離れ島であつた事を物語るものである 今も海岸はこの埋積作用を利用して盛に埋立てられてゐる



● 日本海方面の海運の振はないのは何故か

● 尾道港 遠景は向島で千光寺よりの眺が特に美しい

● 備前焚

美作・備前・備中 (岡山市) 面積 七〇平方軒



口の四分三を有し人口一萬以上の都邑實に三十五内海の感化を受けて海外發展の者が多い 山陰地方は人口が少く一萬以上の都市は只六個あるのみである

岡山縣 岡山平野 舟阪峠を越せ



路である。日本海方面は海運が振はない。海底電線は下關附近釜山間島根半島元山間の二線が著しく、下津井廣島角島に無線電信局がありラヂオ放送局は廣島岡山松江にある。商業 交通路が悉く近畿に向つてゐるので、商業は大阪の商圏内にある。境濱田萩下關徳山尾道絲崎宇野は開港場であるが、外國貿易は阪神の後背地たるに過ぎない。聚落 山陽地方は本地方總人口の四分三を有し人口一萬以上の都邑實に三十五内海の感化を受けて海外發展の者が多い 山陰地方は人口が少く一萬以上の都市は只六個あるのみである

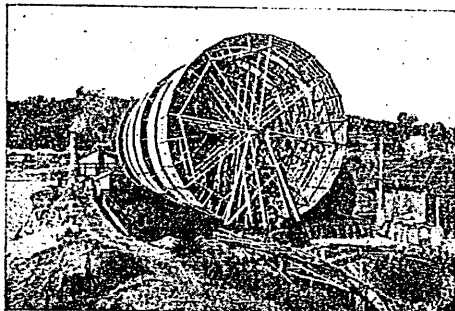
人口 二五萬人
密度 二三八人

ば人文景が著しく中國色を帯びる。三石(耐火瓦火)伊部(備前)は窯業地である。平野の中心岡山市は池田氏の舊城下町で、後樂園があり、綿絲・綿布を出す。倉敷市は新進の商工業地で、玉島笠岡と共に紡績業が盛である。

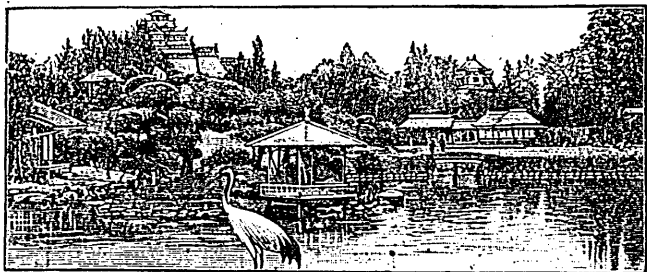
圖下 後樂園

圖上 兒島半島の鹽田海水の鹽分を増す装置である

備後安藝(廣島市)面積 八四五方呎
人口 二五萬人
密度 三三八人



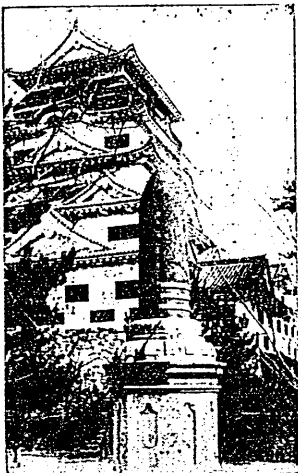
兒島半島 宇野は四國との連結地で、味野は製鹽地である。北・山地 牧牛地帯で、津山盆地の中心津山市は、板紙生絲を産し、高粱は麥稈眞田を出す。廣島縣 福山・平野 中心の福山市は、綿絲を産し、鹽



圖上 福山城

圖下 瀬戸内海中風指の勝景地である

*宇品港は廣島港と改めらる



鋼所廣島工場(兵)がある。呉市は第二海軍區の軍港で、海軍工廠(兵艇)がある。廣に廣海軍工廠(飛行機)江田島に海軍兵學校がある。廣島市は大田川の三角洲上に開けた城下町で、中國の最大都である。宇品港を控へ、日清日露の兩戰役で、急に發展した。人造絹絲罐詰を産する。地壘の嚴島は、彌山の眺と、殿堂廻廊

表を集散する。新市は備後緋の産地、鞆は風光のよい漁港、尾道市は肥料・蠶表の取引地である。廣島灣・斜面 西條は、和酒の産地



廣島

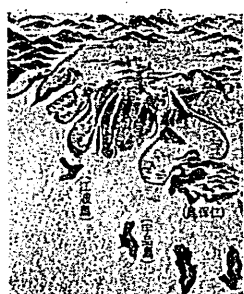
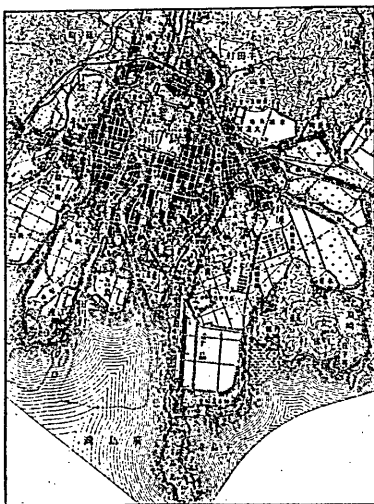
地形二圖

1. 伊能忠敬の測量した古図(一)と現在の陸地測量部図(二)とが違ふかそれは何故か
 2. 伊能忠敬は今から何年前頃の人か
 3. 廣島市はどんな所に出来た市街か
 4. 毛利氏は何故ここに城を築いたか
- 周防長門(山口市)面積 六〇〇方キロ
人口 二四萬人
密度 一七人



に映ずる翠黛の美とて
名高い
三次盆地 霧海と麻の
産とて名高く中心に三
次がある附近は牧牛(東
神石牛種七坂
原縣管種牛場)
が盛であ
る
山口縣

瀬戸内海方面
岩國は錦帯橋
で名高い城下町で附近の麻里
布に人造絹絲工場がある 開
港徳山は海軍燃料廠の所在地



錦帯橋

徳山海軍燃料廠煉炭製造所

秋吉臺地

1. 谷は深い浅いか

2. 谷は多いか少ないか

3. 谷の所に何があら

4. 石灰岩臺地の上

5. 臺地上に小さい

6. 臺地はなぜ演習

地となるか

7. どうして秋吉臺

8. 石灰岩臺地の上

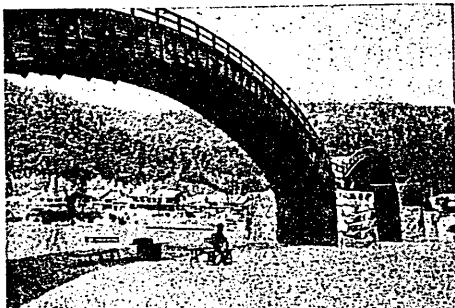
9. 生へてゐるか

10. 九い穴が無数にあ

11. るのは何故か

12. 臺地はなぜ演習

13. 地となるか



で附近の下松(船造)と共に
新興工業市である防府
は製鹽の中心である
山口市は城下町で防長
精神を残す静な一教育
地である 秋吉臺はカ
ルスト地形(秋吉臺はカ
ルスト地形(大理石)で名高
い 宇部市は急發達の



④ 秋芳洞洞内
石筍・鐘乳石の合
した黄金柱である
山口線は、排野川・
阿武川上流・高津
川を連れた断層谷
を通じて、陽を連
絡してゐる。元阿武
川は高津川に注い
だが火山が噴出し
て湖水となり或時
は排野川に或時は
佐波川に注いだ併
し著しく荻方面が
侵蝕されて之に向
ひ長門峡の奇景を
造つた

出雲石見隠岐
(松江市)
面積 六六八方
人口 廿萬人
密度 二三
人



望素工業造船が盛である。

日本海斜面 開港萩市は毛利氏の舊城下町で、維新前後に偉人が輩出した。附近に長門峡がある。

島根縣 石見地方 和紙・赤瓦を産し、開港場

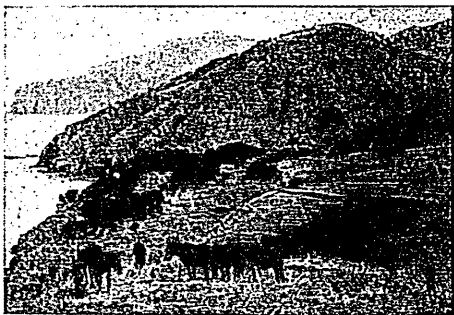
濱田は其の中心である。

出雲地方 出雲文化の故地で、大社は、由緒の



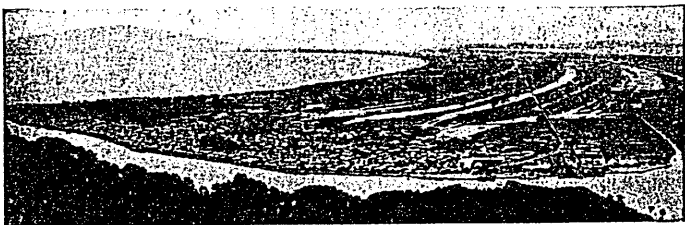
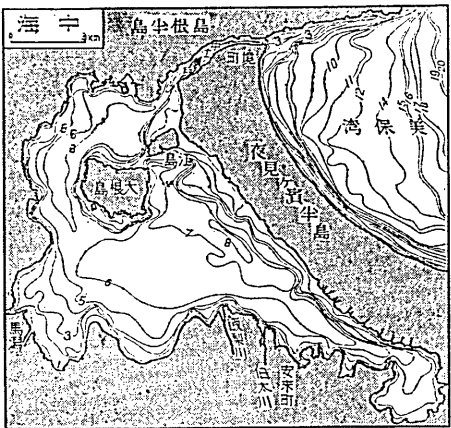
④ なぜ美保関は
境に繁栄を享はれ
たか

④ 上 島の牧畑
畑に熟畑と牧畑と
がある牧畑は耕・
牧に交互使用され
る近景は牧場の畑
で向ふの山は耕作
中の畑である
④ 隠岐に流され
られた方をあげよ
④ 下 夜見ヶ浜
隔てて深い所が對
應してゐるのは雨
方の海が横いてゐ
た證である
④ 四郷港はどん
な船をする港か

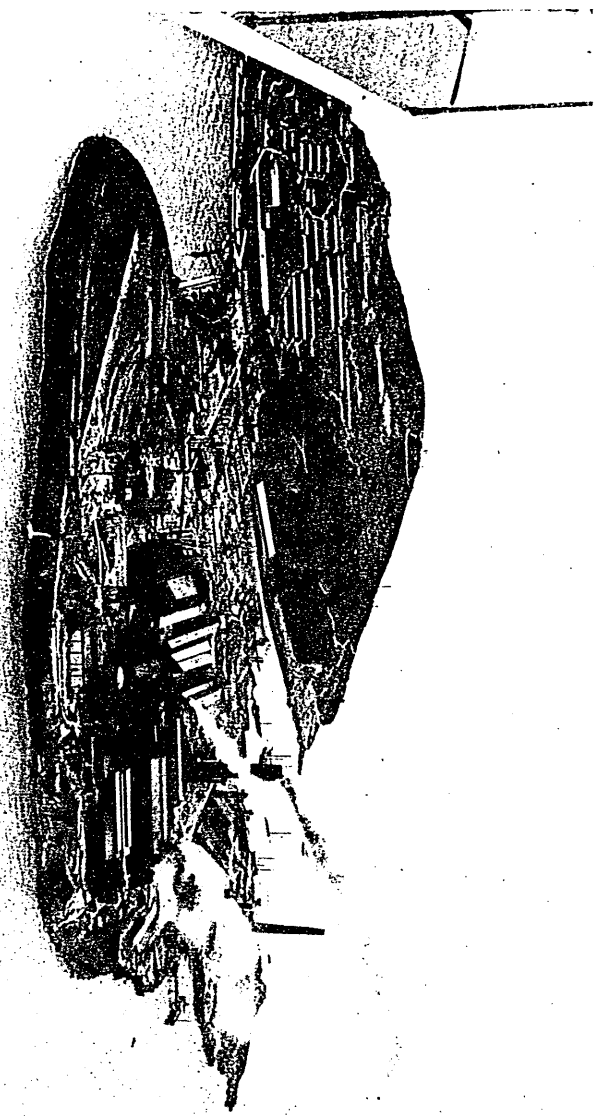


隠岐は流謫地として史上に著れる。島前は火山岩が海蝕を受けたもので、牧牛が行はれ島後には西郷がある。

深い神都である。水郷の中心松江市は、景色のよい城下町で、瑪瑙細工・出雲焼を産する。美保関は今は振はない。



四國島鐵道 明治二十九年佐安家が伊豫油の四島を買収して四景島と命名し、ここに設けた製鐵所がこの製鐵所の核である。近代工業の精華をまつ内海の一景観をなしてゐる。前景は家々島其の向ふは三ノ島



第六章 四國地方

面積 八五七平方千米
人口 三〇五萬人
人口密度 二五八人

一 概観

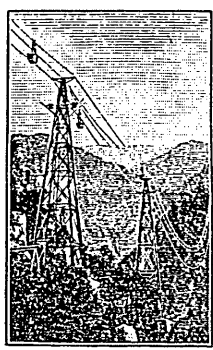
北は瀬戸内海を隔てて中國と相對し、南は太平洋に臨む。
北四國は、山陽に似て人文が榮え、南四國は紀伊半島九州南東部に似て稍遅れてゐる。行政上四縣に分れる。

二 地體・氣候と關係産業

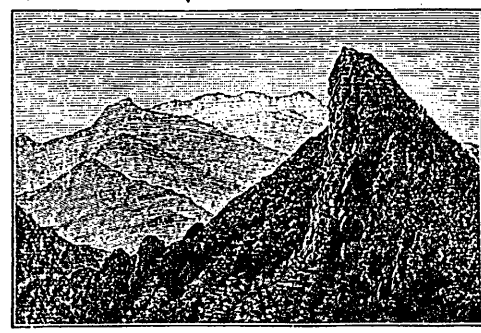
地體上、四國山地、北四國、南四國の三部に分れる。

四國山地 高い四國山脈が東西に連り、其の

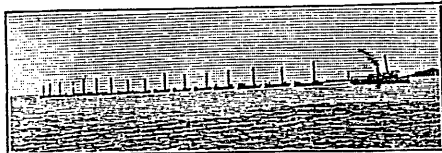
*地體は、紀伊・九州兩山脈と照應し、脈中に、劍右鎚(五、四、國の最高峯)の高峯がある。陥没した紀伊水道・豐後水道は、リアス式をなす。別子の銅は、



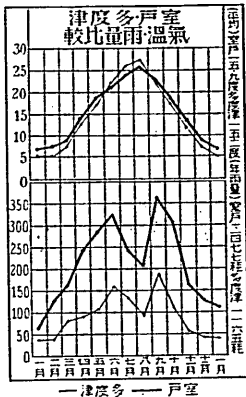
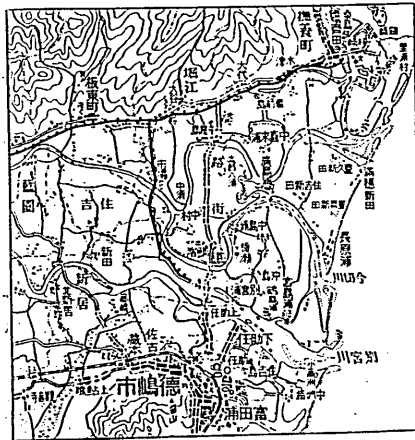
④ 中國・四國兩地方の文化狀態を比較せよ。
⑤ 四國・讃岐二山脈が近接し、九州兩地方と照應してゐる點をあげよ。
⑥ 別子運鐵鐵索上



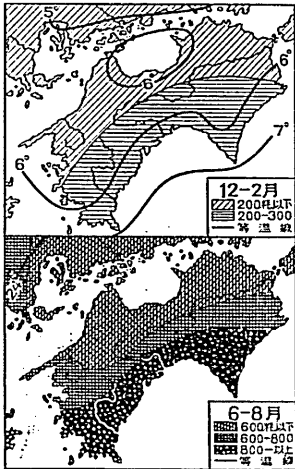
- ① 別子銅鑛を四坂島に運ぶ船
② 吉野川三角洲
③ 讃岐山脈が東西に一直線をなしてゐるのは何故か
④ 吉野川はどんな風に流れてゐるか
⑤ 街道・桑落鐵道の開け方はどうか
⑥ 海に關する地名の多いのは何故か
⑦ 徳島城はどんな地形の處にあるか



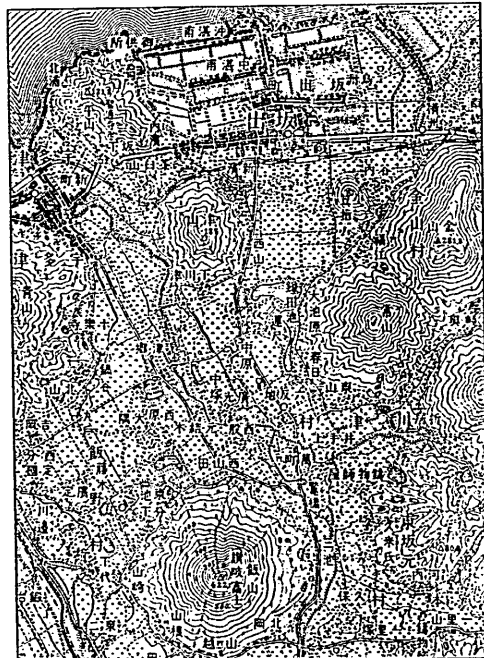
此の山地から採掘される。北側には、吉野川地溝から、松山平野に及ぶ著しい斷層崖がある。吉野川は、此の地溝部に發達し、中流は大崩壊・小崩壊の横谷を作り、下流に徳島平野、河口に大三角洲を作つてゐる。



讃岐山脈は、淡路島南部及び紀伊山脈と對應する砂岩の低い山脈である。四國山地は、南北交通の大障害で、本地方を表日本式瀬戸内式の兩氣候區に分け、各異つた産業を起してゐる。



北四國 中國に連續してゐた土地で、花崗岩山地と讃岐・松山二平野の如き沖積地から成り、阿蘇火山脈が東西に走つてゐる。五劍・屋島・熔岩臺・飯野山・道後温泉は、此の部にある。



- ① 上 氣候圖
② 讃岐平野 同形火山群・瀨田・瀨田がある
③ どんな製鹽地があるか

小豆島は花崗岩材を産し、集塊岩の奇景・寒霞溪がある。溫和・快晴の爲北四國は瀬戸内製鹽地帯の主要部となり、平野に、米・麥が作られ、小豆島（香川）に

④ 室戸崎

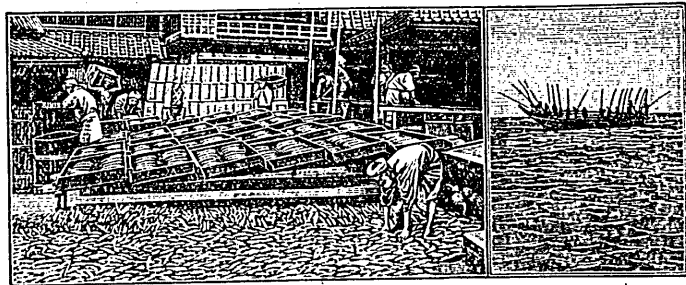
⑤ 高知縣の
鯉魚船と鯉魚製造



醬油、香川縣に夢稗眞田を産する。愛媛、徳島二縣の綿絲、綿布、瀬戸内海の鯛、鱈の産は、山陽に似てゐる。

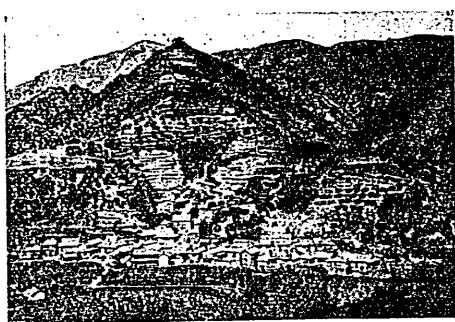
南四國 陥没した土佐灣は、大弓形を描いて蹠蹠(しつしつ)岬、室戸崎間に彎入し、四國山脈の餘派が、この灣岸に延び、仁淀川、四萬十川は、この山地を蛇行してゐる。

近海は、日本海流が流れて、鯉、鰯、鮪、鯨の水産に富み、高知縣は、土佐節を産出する。近年、遠洋漁



⑥ 南四國と北四國との氣候を比較せよ

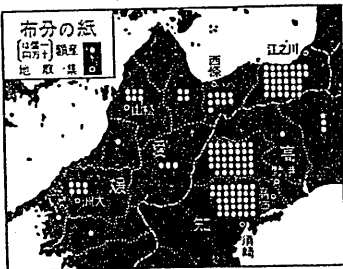
⑦ 宇和島の蜜柑山



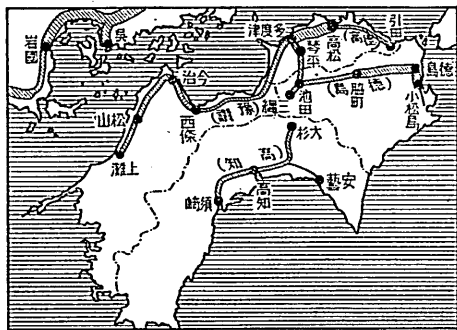
て木臘を製する業が起り、現今に及んだ而して今は、高知、伊野、川之江等に機械漉の大工場が出来た。

三 交通・商業聚落

交通 鐵道は、隔つた小平野に別々に設けられ



何故沿岸の水運が割合に便利か
⑨ 鉄道

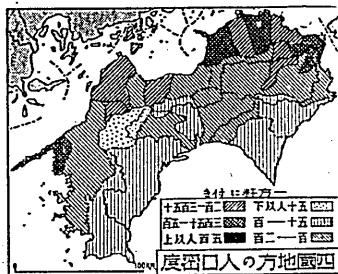


たが、豫讃支線(池田)の完成により、豫讃(高松)・高徳(高松)・徳島(徳島)三線は連結された。更に他日、大崩壊小崩壊の横谷を経て、高知(須崎)線に連絡する豫定である。

沿岸各港間、及び各港と阪神中国との水運は、割合に便利である。

商業 其の中心は、高松・松山・徳島・高知の四市で、阪神の商圏に属する。今治市は、本地方唯一の開港である。

聚落 内海方面は開けて人口が多く、殊に香川県人口密度



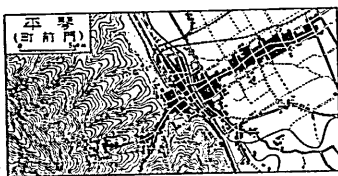
は本邦の第六位で、縣外に出る海員出稼人海外移住民が多い。南四國は、久しく隔絶されて、人口密度が最も小さい。南北兩方面とも小平野のみがあるので、大都市の發達を見ることがおそい。

香川県 讃岐・平野

灌溉用貯水池(養殖・養殖)が多く、耕地がよく開けて農産が多い。又農家の副業として麥稈眞田を産出する。

引田は製糖地である。

高松市は交通・商業の中心をなす城下町で、栗林公園がある。坂出は帝國第一の製鹽地、丸龜市は城下町である。多度津は、要津で鐵道工場がある。善通寺は、軍事町(第十師)である。琴平は、象頭山腹の金刀比



琴平町 象頭山中腹の金

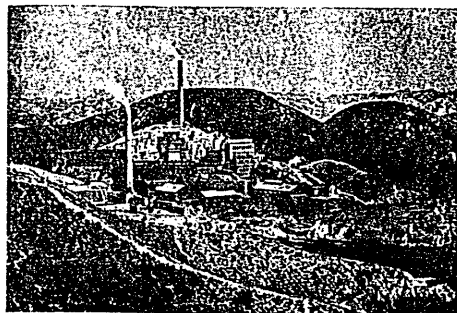
刀羅宮に及び儀式
的階段的門前町で
ある山裾から直ぐ
平野であるので社
殿からの眺望は一
望千里の感がある
伊豫 (松山市)
面積 五、六至方軒
人口 二、三萬人
密度 三三〇人
④ 直島の製
錬所
生野等の鐵石を製
錬する

④ 松山市街



羅宮によつて發達した階段的門前町である。
諸島 小豆島は寒霞溪で著れ醤油花崗岩材を産する。
直島には製錬所がある。鹽飽七島は昔時海上活躍者の
一根據地であつたが今も海員となる者が多い。

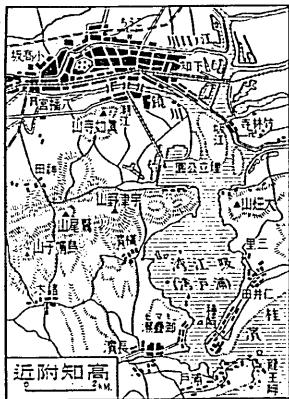
愛媛縣 東・地方・新
居濱は、別子銅鑛の積換
港で、四阪島には製錬所
がある。西條は綿工業
で榮え開港今治市は、來
島海峡に近く、綿ネル・タオルを産する。
濱は製鹽の一中中心である。
北・地方・松山市は、松山平野の中心をなす
城下町で、伊豫緋綿ネルを集散する。附近の



④ 宇和島市

土佐 (高知市)
面積 七、〇〇方軒
人口 三萬人
密度 二〇〇人

④ 吸江灣が深
く灣入してゐる圓
の下方に宇津野・
大畑等の山列が横
走し此の山列と四
國山脈との間の高
知平野に高知市が
ある従つて河川は
東西流が多い

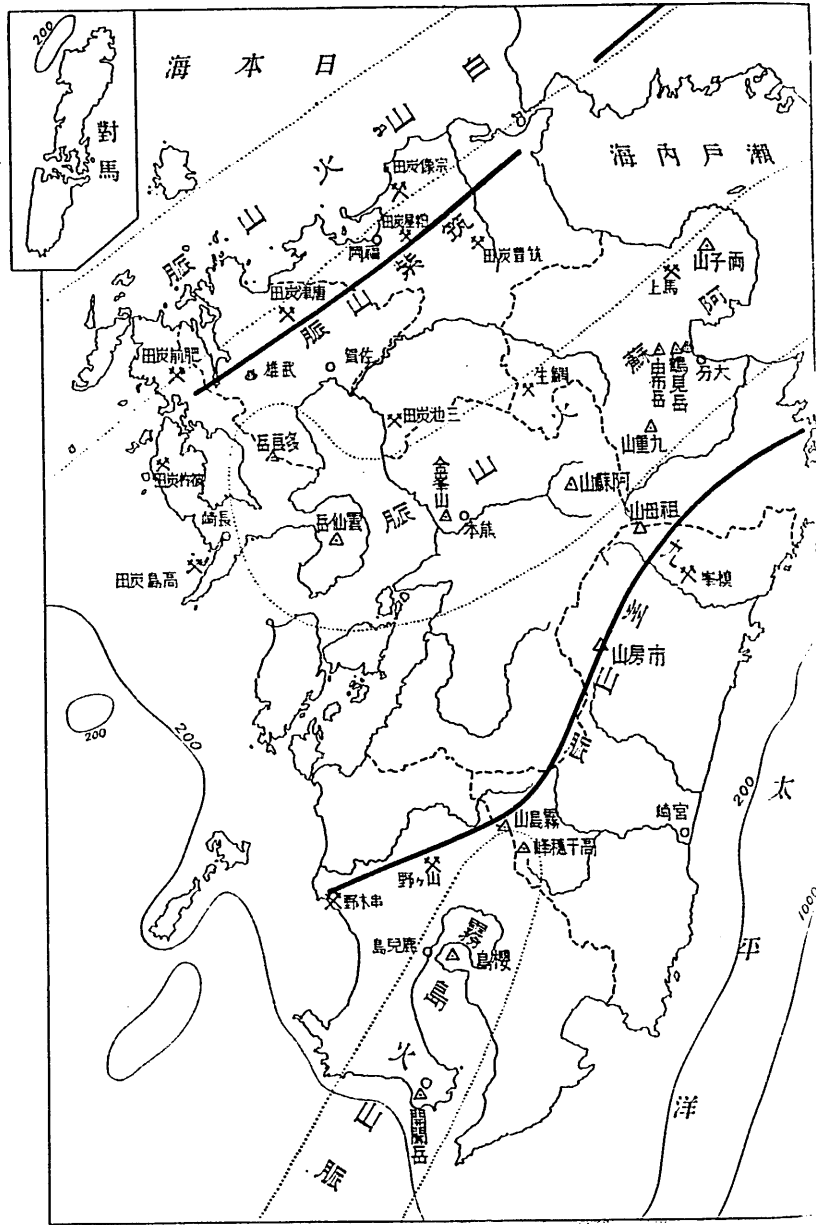


道後は、古く開けた溫泉地で、三津濱は、平野の
門口である。
南・地方・肱川流域は、木蠟和紙を産し、大洲
は、其の中心である。佐田岬以南のリアス灣
内に、八幡濱・宇和島市等、地方的中心の聚落が
ある。

高知縣 足摺・崎・方面・宿毛・清水(製鹽)は、漁港

である。
高知・平野・須崎
は、良港で水産物を集散し、伊野は、製紙
が盛である。高知市は、城下町で今尚
海南健兒の剛風が残つてゐる。
室戸・崎・方面・室戸岬(港)は、漁業の根據





地方誌 四國地方(交通商港繁栄)

1110

阿波 (徳島市)
面積 四二〇平方
人口 三万人
密度 一七人

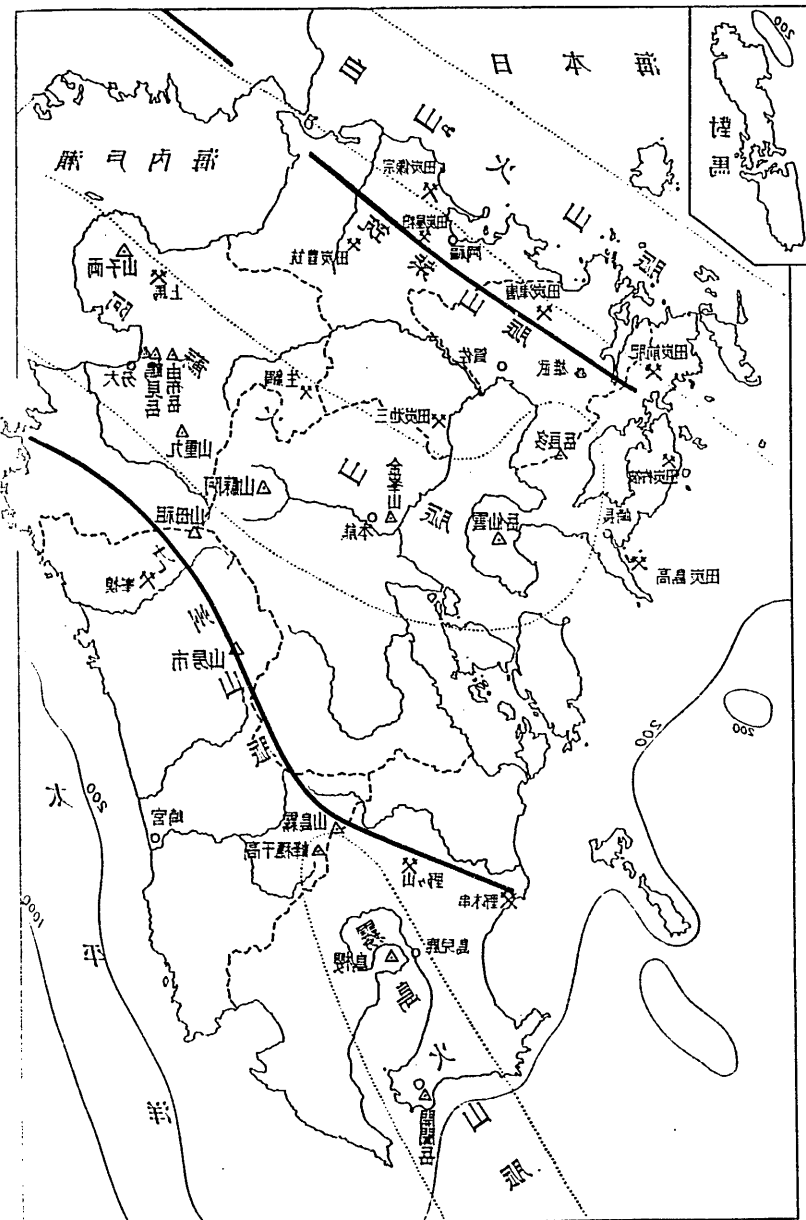
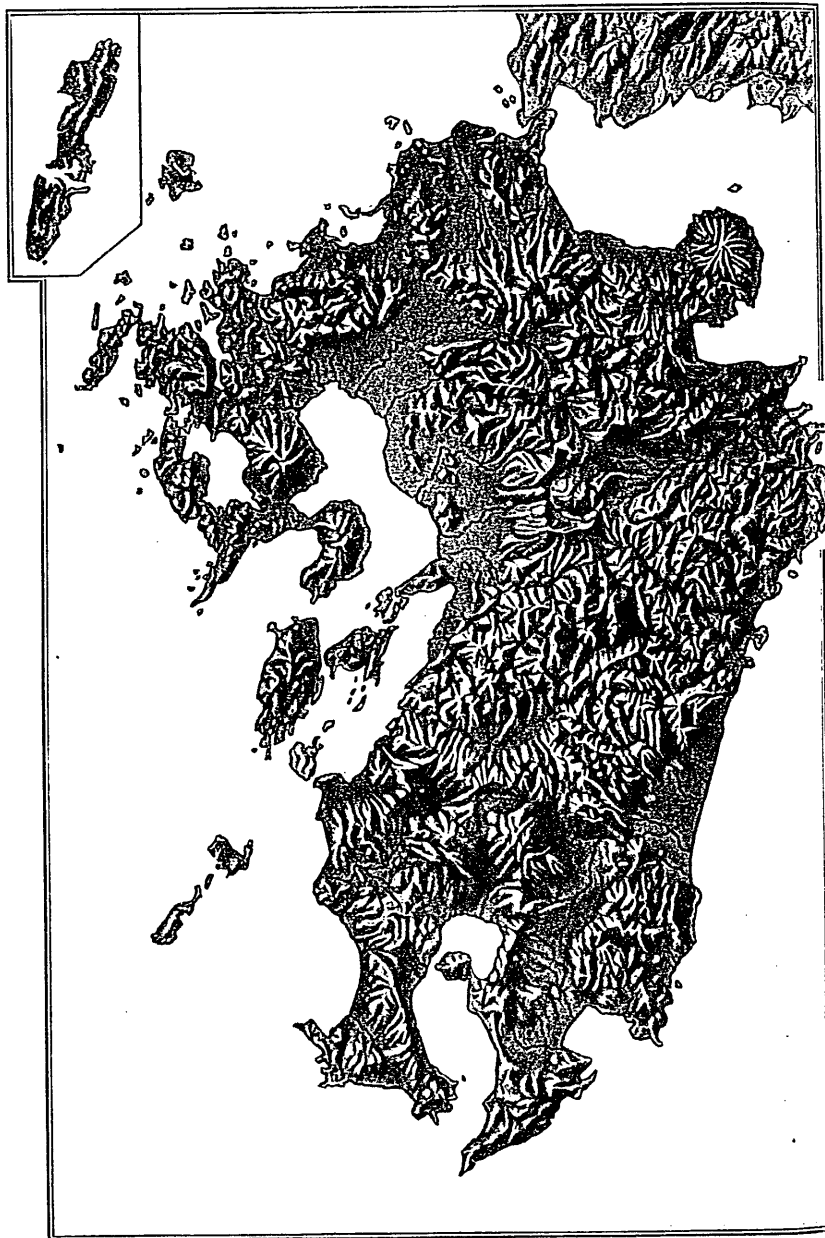
徳島市

吉野川の
長橋



地、室戸崎は豪壯な海岸美で著れる。
徳島縣 吉野川・地溝帯 吉野川の主流には、大崩
壊小崩壊の峡谷(祖谷谷)の別天地(最近自動)がある。
徳島平野は、礫層が廣く發達して、水田が少く、
池田は、煙草を産する。
脇町附近の藍畑は、近來
多く桑園となつた。
島市は、吉野川の三角洲
に開けた城下町で、綿織
物を産する。小松島は、其の外港で鐵道小松島
線を通じ、大阪・神戸・和歌山との間に、連絡船を
通じてゐる。撫養は製鹽地である。
南方平野 那賀川流域の平野で、富岡が其の中心である。





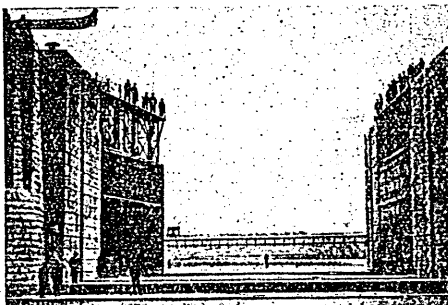
① 水繩山脈は久留米市の東方にあつて筑紫平野に斷層崖を向けてゐる。2. 百米等高線は何處を通つてゐるか。3. 幾米の等高線から急に平地となつてゐるか。4. 水繩山脈の頂上には凡そ幾米位か。5. なぜ水繩山脈を屏風山脈といふか。6. 崖下に水車列がある。其の實を砕いて木炭にする。家内工業が行はれそこに聚落が發達した。② 有田北東、泉山の陶土採掘場。石英粗面岩が風化された陶土である。



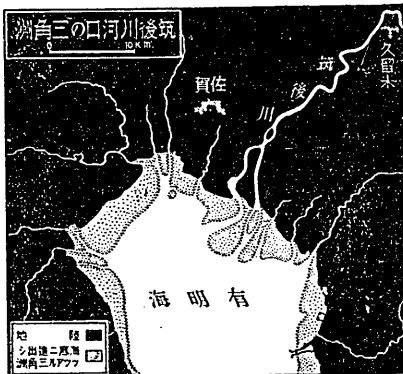
③ 松浦川流域（唐津）の若い地層は、夥しく石炭を埋藏し、我が國産炭の過半を出して、北九州を發達させた。響灘方面には門司半島洞、海玄海灘方面には海中道、博多灣、糸島半島、唐津灣、北松浦半島、伊萬里灣、壹岐對馬、東支那海方



④ 三池港開門。有明海は西方に廣い東支那海を控へ、又筑後川等の堆積作用の爲遠淺となつたので潮汐干満の差が六米に達する。三池の開門式築港は之が爲に作られ十三ヘクタールのドックを有し、干潮時にも深さ八米半の水を貯へる。繫船岸壁の前面は常に九米の水深を保ち、満潮時は更に二米半の深さを加へる。又灣内では牡蠣、鰯を養殖してゐる。

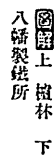


面には平戸島、五島列島、大村灣、西彼杵半島、有明海等がある。つて、肥前のリアス式小灣入と共に、海岸の屈曲が帝國中無比である。



對馬海流が流れて、氣温を高め、烏賊、鰯、鯖、鯨、鰺などを誘ふ。特に對馬、五島は、漁業が盛で、鰯を産する。これ等の海産物は、長崎、博多、唐津に集まり、京濱支那に送られる。筑紫平野を始め諸平野には、米産が豊かだ。久留米、佐賀、門司は其の集散地である。二毛作が行はれて、麥、菜種の産が多い。筑紫平野の丘陵には、櫨が多くて秋色麗しく、

A black and white photograph of a large, open-air classical building, possibly a temple or a large hall. The structure features a series of tall, fluted columns supporting a heavy entablature and a pediment. The building is surrounded by a low wall, and the foreground shows some architectural details and a paved area. The image is grainy and has a high-contrast, almost stencil-like appearance.



（柳川）の清酒、長崎・佐世保の造船、大牟田の人造肥料も名高い。

鶴見岳・由布岳・九重山・阿蘇山



蘇山ウンペン雲仙ウンセン岳タテ多良岳タラ等の火山、別府・雲仙等の温泉、鯛生タイナマ馬ウマ上ジョウの金山は、此の地帯にある。

阿蘇火山は、噴出後陷没によつて東西一六



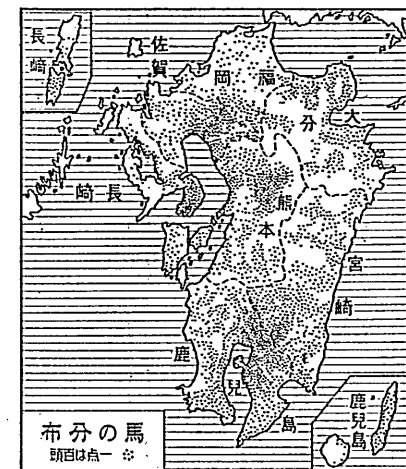
圖解
下
別府溫泉

上
九重山

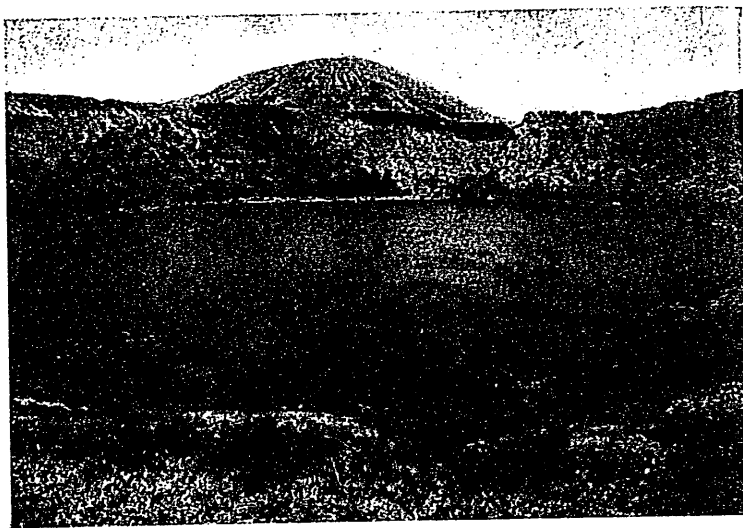


1. 阿蘇山 2. 阿蘇山 3. 阿蘇山 4. 阿蘇山 5. 阿蘇山 6. 阿蘇山 7. 阿蘇山 8. 阿蘇山

岩は中部九州の大部を掩ひ、筑後池田、白緑五箇瀬、大野大分など、本地方の主要河川は之を中心として放射状の河系を作り、街道は右諸谷を通じて、十字形に火口原に集まり、鐵道豊肥線は、阿蘇谷を経て九州を横斷してゐる。



杆南北二四杆の大火口が出来、其の中に、中央火口丘群即ち阿蘇五岳（根子岳、高岳、中岳、現岳、鳥嶺岳）を噴出し、外輪山との間に、火口原湖を作つた。湖は立野火口湖の生成につれ、坦々たる南郷谷、南阿蘇谷北の火口原となり、今は三十四箇町村約五萬の住民がある。熔

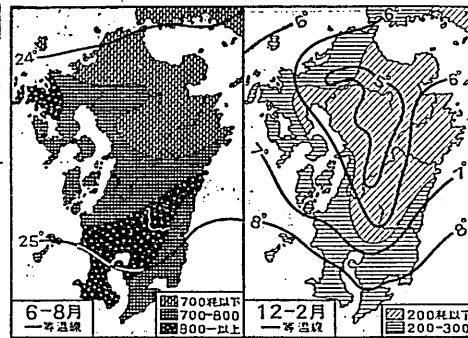


山火期舊る來出がところけ分に群二舊新を之は群山火島霧む望を岳國韓らか池浪大土と積堆の物出噴の其し動活てしと山火底海め初で群一たしと心中を池浪大・岳國韓は積洪で群一たしと心中を燃新・峯穂千高は山火期新たれ現に上陸てつよにと起隆の地るあでのもたし始開を動活め初の世

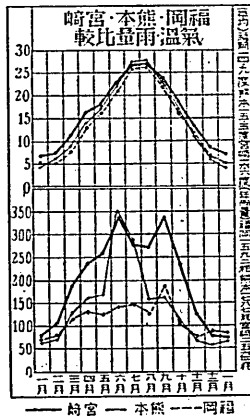


内の其るあでのもたし出噴に上線裂の西東は岳五の丘口火中央中蘇阿口火噴岳中蘇阿かけだ岳中で難複も造構るあてしを動活い凄物に現でのもるゝかに出噴の新最は岳中るあてし示にから明を造構のこは圖上で山火の式重二もてつら

● 氣候圖
 ① どうして稍内
 陸的氣候であるか
 ② 上 栗畑 下
 阿蘇山地の牧牛



に適し、肥後米は、良質の
 譽が高い。熊本平野周
 圍の火山灰臺地は、粟の
 産が多く、養蠶も盛にな



本平野、大野川、大分川下流
 の大分平野等は、主要農業
 地である。大分平野方面
 は、瀬戸内式氣候で、別府温
 泉を

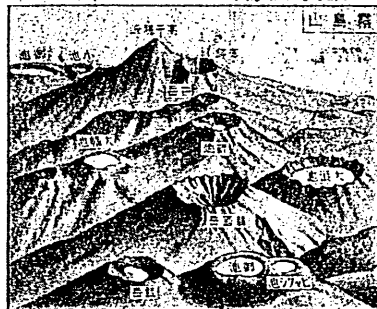


しに嚴壯端てしに壯優は容山 るあてせ見を地盆い窪は嶺山の米四二九抜海 岳開開
 嶋・野入は落部の麓 崎瀬花はるな前手 崎ノ田はるな先りたあふ洗を裾波白 大雄て
 るあでのもす表をとるな式重二が山火本はるあ部出突に僅に目合八 るあて村二浦



北南が島櫻は頂山のつ三の廣幅 るあて島櫻と市島兒鹿に見るか山城 島櫻と市島兒鹿
 の頂平に岸海の麓 るあてし示をとこたつなと山火一てし體合が嶺山火の嶺三だん並に
 流の熔い凄物迄後背及び側南の山小のこは際の大噴年三正大 で腰袴はのるえ見が丘小
 るあでのた來てけかし押が

● 鎗倒し
球磨川の徒敵した
奇勝で人吉侯が鎗
を倒して通つた故
この名が起つたと
いふ



つた。
南九州 高い九州山脈は、四國山脈に照應し、
豐豫海峽から飯列島方面に斜走し、祖母山市
房山等起してゐる。豊後水道、豐豫海峽方
面は、リアス式海岸で、佐賀、關半島、白杵灣、佐伯
灣がある。西の方には、地溝狀の八
代海を隔てて、天草島がある。日向
灘方面は、五箇瀬川・一瀬川・大淀川等
が、三角形の日向海岸平野を作つて
ゐる。西海岸には、球磨川がある。其の上流に五箇莊の
別天地、中流に人吉盆地、下流の横谷部に鎗倒しの奇勝が
あり、川口には、大三角洲がある。
南部は、鹿兒島灣の地溝によつて、大隅薩摩の二半島に分



● 霧島山
高千穂山・御鉢火
口が遠くに見える
● 大製鍊所が出
來たのは何故か
● 山川陥没火
口港

れ、この地變部に、霧島火山群、櫻島半島、開聞岳、川邊十島、霧
島指宿の兩溫泉池、田山川兩陥没火口を連ねる霧島火山
脈がある。串木野、春日山、野の金谷山の錫は、此の山地に
産し、槇峯の銅と共に名高い。九州・四國の鑛産地の中心
にある佐賀、關に、金銀銅の大製鍊所がある。一般に山麓
の廣原では、牛馬の牧畜が行はれてゐる。

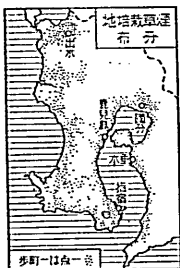
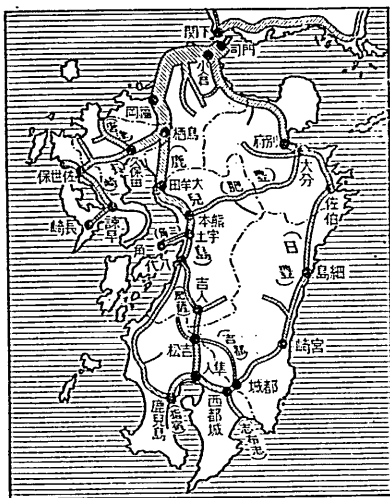
琉球地方 二〇〇米以内の浅い支那海と、數千米の深海を有する太平洋
との間に隆起した列島で、大隅薩摩二半島を経て、九州山脈に會する。其
の内外兩側は、陥没して、外側の琉球
海溝は、七五〇〇米に近い。屋久島の八重岳（八重岳）
は、九州地方の最高峯である。

南方にある上に、黒潮の影響を受ける
爲、高温多雨の表、日本式氣候で、樟が多



① 上 鹿美大島
の自生の蘇鐵
② 下 枕崎の鯉
流

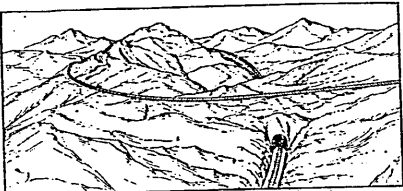
鉄道圖



く、青島に
は、熱帯性
植物を見
る。従つ
て大分宮崎兩縣には、杉、檜
の良材や薪炭椎茸の産が

多く、
又屋
久杉
の名も高い。鹿兒島縣の甘藷煙草（國分）黒砂糖
業種（經名高い）等は、此の暖流と高温との賜で
ある。

三 交通商業聚落



① 上 矢岳のル
ープ線 下 筑後
川の鐵橋



に連り、三太郎越の難所を通過して、南北九
州を連絡してゐる。

肥薩線（八代）は、矢岳のループ線で九州山脈
を越え、日豊線に連る。日豊線（鹿兒島）は、東
岸の各地を連ねて、鹿兒島線に連り、以て九州
の環狀線をなしてゐる。豊肥線は、鹿兒島、日
豊兩線を結び、長崎線（長崎）は、北部九州の産炭
工業地と、開港長崎とを結んでゐる。
門司は、瀬戸内海の咽喉を扼し、且つ石炭積込



圖上 太刀洗港
行場

圖下 三角港



地で、長崎と共に、北九州工業地の門口であるから、出入の船舶数は、神戸に次いで多く、鹿児島は、琉球臺灣航路の要港である。

定期航空路には、大阪福岡（名）線があり、東京大連線は、太刀洗に着陸する。海底電線は、北九州より浦鹽斯德上海大連青島臺灣に通じてゐる。

無線電信局は、福岡（航空）佐世保長崎附近鹿児島久慈（大）那覇南大東島ラサ島にあり、ラチオ

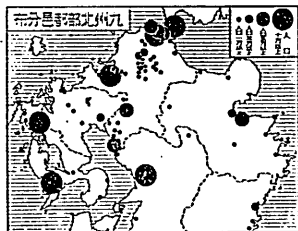
放送局は、福岡長崎熊本小倉にある。

商業 北九州は、頗る活氣を呈し、遠く阪神東京滿鮮支那と取引をなし、城内商業は、福岡（北）熊本（中）鹿児島（南）が中心である。外國貿易は、



何故振はない

筑前・筑後・豊前一
半（福岡市）
面積 〇・九〇万
人口 三三〇万人
密度 五二・八



阪神に従属せず、獨立して行はれ、門司長崎が二大門戸で、綿絲綿布精糖石炭を輸出し、綿豆粕を輸入する。右の外、若松三池唐津博多住江口津三角、

嚴原鹿児島那覇の十一開港がある。

聚落

北九州は、夙に外國との交通が開け、近年各種の工業が發達して人口を吸集し、新興都市が續生した殊に筑豊炭田の炭坑聚落又之を後背とした洞海附近の工業都市群は顯著である。早く神代に開けた南九州は、全く北九州に反し、人口が疎で、農村型の聚落が發達してゐるに過ぎない。

福岡縣

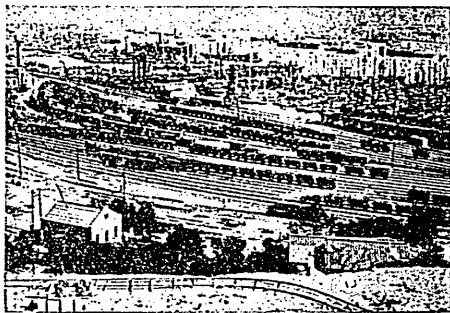
北半は帝國第一の鑛産地で、又屈指の工業地帯である。南半は、大農業地帯で著しく繁榮し、人口が稠密で、十市を有する。

洞海工業地帯 門司市は、綿絲綿布精糖・セメント・石炭の輸出、綿豆粕の輸入が多く、セメント・ビール・精糖等の大工場もある。小倉市は、城下町で鐵製品洋紙電球陶磁器を産し、陸軍の大造兵工廠もある。

福岡市 若松港

福岡市 大浦炭坑

福岡市 史蹟があるか



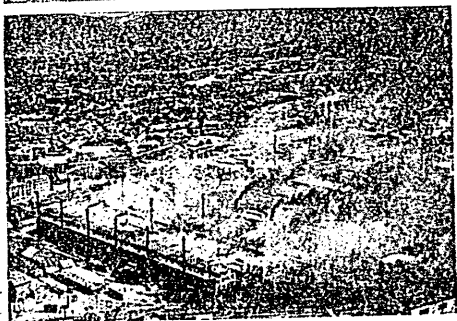
新興の戸畑市は、板ガラス・精糖・鑄物を産し、トロール漁船の根據地として下關に對抗する。若松市は、石炭の輸出（筑豊炭田）が多い。八幡市は大製鐵所（從業員四萬三千）の所在地で、製釘・化學工藝品セメントの工場もある。筑豊炭田地方、本邦最大の炭田で、大浦・三井田・川・二瀬等の炭坑があつて、直方市・飯塚市・後藤寺等の都市を發達せしめた。福岡市は、九州帝國大學の所在地、博多・織博多人形の產地である。昔、大陸に渡る



福岡市 宮崎八幡宮の伏敵門 中太宰府神社 下三池



要津であつたため、附近に史蹟が多い。名島に、國際飛行場・航空無線電信局がある。太宰府は、昔時、鎮西及び對外の策源地であつた。水城は、御笠川・寶満川の隘路にあつて、昔時、防壘を築いて外寇に備へた處である。筑豊平野、大農産地の中心、久留米市は、米・木蠟（第一）の取引が盛で、足袋（つちや・あ）久留米絣を出す。第十二師團司令部は、太刀洗飛行聯隊と共に、此の地方重要工業地帯の





あて場行飛上水際関るす處に局空航省信通るあに島名宇村良々多外市岡福 場行飛島名
てしと場行飛上水く少波風めたるあで海内で帯一面水り寄東灣多博は域區走沿上水 る
のもふ運に庫納格け上り吊を機行飛りよ上水で式塔定固底一は機重起の圖 るあで適最
るあで

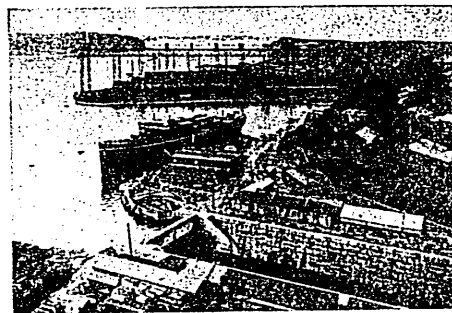


中圖 るわてし殘を説傳の多幾で地たえ榮てしと津要る渡に陸大時往は港津唐 港津唐
は山の頂平るあに景遠 島滿りは町のふ向 橋浦松は橋長たつかかにれこ川浦松は川の
す征遠に土韓が媛川佐浦松昔のそれは言もと山振市領は山鏡 るあで山鏡地臺の岩武玄
るあてれらへ傳てしと處たつなに石り餘のみし悲てつ途見を彦手狹伴大夫る

肥前一半、嵯峨、封
馬（長崎市）
面積 四、七六方
人口 三三萬人
密度 三三一人

所 立神工場て向ふに
クレイン近くにド
ックが見える

雲仙嶽



有田焼（伊萬里）の産地で、伊萬里の名邑もある。

長崎縣

變入が多く、山勝で甘藷の畑作が著しい。天恵
の薄い爲縣人は海外に移住し、又漁民として活動する。從
つて漁獲高は他府縣に冠絶する。

半島部 佐世保市は、第

三海軍區の軍港（鎮守府・海軍工廠所在地）

で、大村に海軍航空隊がある。長崎市は鎖國時

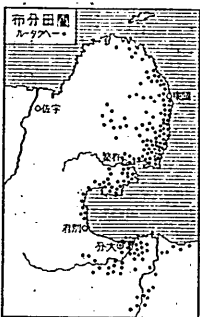
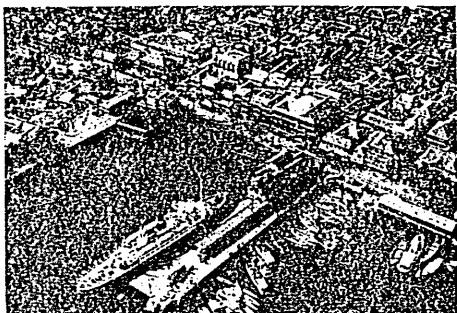
代に西洋文化輸入の唯

一の門戸であつたが、今は繁榮を福岡門司に
奪はれた。リアス式の良港と、高島炭田とは長
崎造船所を起した。雲仙嶽は、眺望に秀で、地
獄巡りの奇花、木霧氷の美で、内外人に歎稱さ



【下】耶馬溪
集塊岩のトンネル
の向ふに羅漢寺が
見える

豊前(半・豊後)
(大分市)
面積 六、三〇〇方
人口 五、四八
密度 一、九八
【上】別府の棧
橋



大分縣 周防灘斜面
中津市は豊前米綿絲木
材を集散する。山國川
の上流には集塊岩の侵
蝕谷耶馬溪の奇勝がある。

別府灣斜面 國東半島
では七島蔦を栽培し、
築は七島表を集散する。
別府市は理想的の温泉



【上】佐賀の
製錬所の大煙突
肥後(熊本市)
面積 七、四〇〇方
人口 二、三〇八
密度 一、二八

【中】田原坂四
南役記念碑 下
熊本市水前寺公園



港三角があ
る。隈府は、
菊池氏勤王
の地で蔦を
集散する。
球磨川流域



熊本縣 熊本・平野 米甘諸粟の産が多く、養
蠶が行はれる。平野の中心は、城下町の熊本
市(令部所在)で、入口に古戦場田原坂出口に開

都である。大分市は、綿絲を産し、阪神地方に
米を積出す。
豊後水道方面 佐賀、關は鑛業地で、南方リア
ス式の灣内に、臼杵・佐伯の漁港がある。

1. 岡中に日奈久斷層崖が顯著に表れてゐるが、どれか
 2. 鹿兒島街道は何故崖下についたか
 3. 八代町は扇狀地のどんな所に發達したか
 4. 扇狀地は今何になつてゐるか
 5. 扇狀地の何々島といふ小山はどうして出来たか
 6. 三角洲に捕へられそうなる島を言へ
 7. 文政・郡架の村名はなぜついたか
 8. 郡架村を隔てて松高村の飛地がなぜあるか
 9. 岡に鹿兒島線を肥薩線と書いてあるのは何故か



山地は、木材・椎茸・薪炭を産し、人吉は、其の中心市場である。球磨川の三角洲上にある八代には、セメント・洋紙製材の工業が行はれる。水俣は、窒素肥料の製造が盛である。

天草島は、上島・下島に分れ、丘陵臺地が多い。甘藷を栽培し、陶土・無煙炭を産出する。

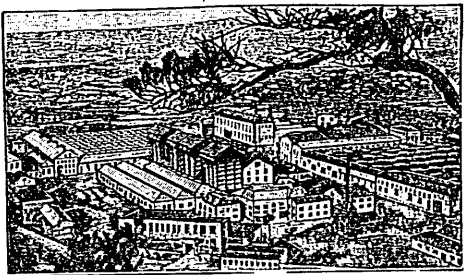
宮崎縣 日向・平野

日向 (宮崎市)
 面積 七、七〇〇平方
 人口 五、五〇〇人
 密度 七、二八

宮崎縣 延岡の窒素肥料工場
 宮崎神社

岡市は、窒素肥料・人絹を産し、細島は、舟泊によい。宮崎市は、宮崎神社の所在地で、附近に、野菜の産がある。

霧島・山麓 都城市は、蘭茶を産する。小林は、高千穂平野の主邑で、茶種



大隅・薩摩(鹿兒島市)
面積 九、三〇〇方軒
人口 二五萬人
密度 二七一人

を産出する。

鹿兒島縣 火山灰に掩はれた輕石層臺地が廣く、甘藷、煙草の栽培と、牛馬豚の飼育とが行はれてゐるが、未開拓地が今も尙廣い。

大隅 肝屬平野の笠野原は、大農式の移住開墾地で、國分は、垂水と共に煙草を産する。

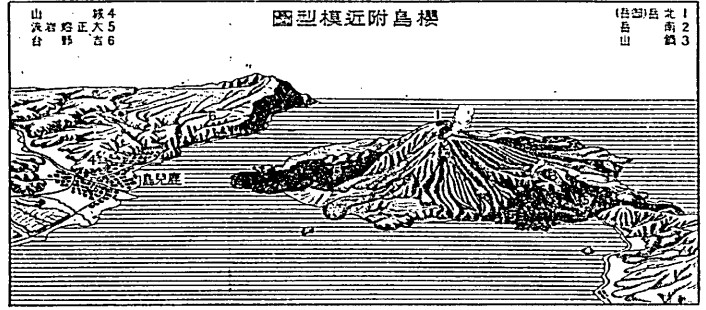
薩摩 鹿兒島市は、櫻島をひかへ、風光のよい城下町で、薩摩緋薩摩焼を産し、南部唯一の開



港場である。谷山は、錫器を産し、鹿兒島に野菜を供給する。山川の陥没火口港は、枕崎と共に、沖漁業の根

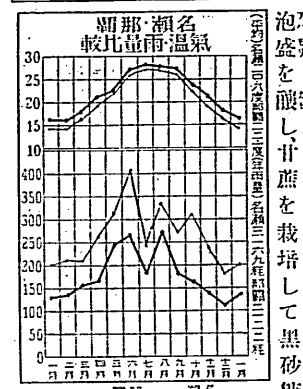
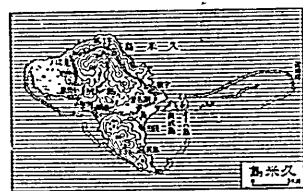
櫻島大根

鹿島附近模範型

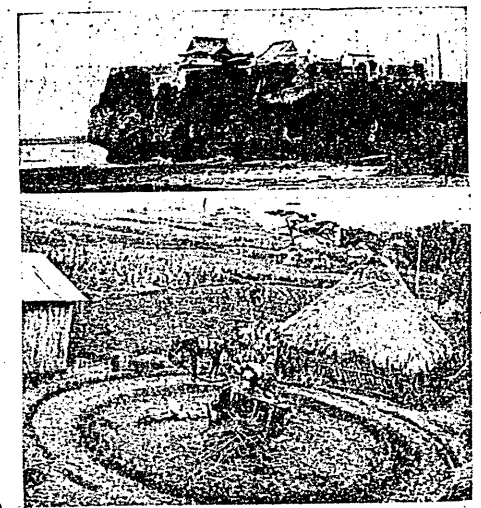


琉球(那覇市)
面積 二、三〇〇方軒
人口 二五萬人
密度 二七一人

琉球(那覇市)
面積 二、三〇〇方軒
人口 二五萬人
密度 二七一人



が原 織維 蕉の 布芭 する。



據地である。

薩南諸島 種子島は、史上に名高く、製糖牧畜が行はれる。屋久島は、杉の良材を出す。奄美諸島は、習俗が琉球に近く、大島は、大島紬を特産とし、其の積出港の名瀬には、鯉節の産もある。

沖繩縣 年平均二十度の等温線は、大島の北を通過し、榕樹蒲葵が茂り、珊瑚礁が發達してゐる。狭い山勝の島であるから、住民は甘藷を作ることが多く、米で泡盛を醸し、甘藷を栽培して黒砂糖を産する。

琉球の基

料・漆器琉球絣を産し、豚・山羊（共に内）の飼養も行はれる。颱風の害を蒙るので高い石垣で家を囲む。人口は、割合に稠密である。久しく日支の間に立つて半獨立の有様であつた。言語は我が國の古語に似た點が多く、大いに墳墓を営む風もある。今は海外に移住し又は内地に出稼

する等縣外に活躍する者が多くなつた。

沖繩諸島 那覇市は、

隆起珊瑚礁上にある

開港で、絣・上布・芭蕉布

砂糖・夏帽子・琉球塗を産する。首里市は、臺地

上に位し、舊王城の所在地である。

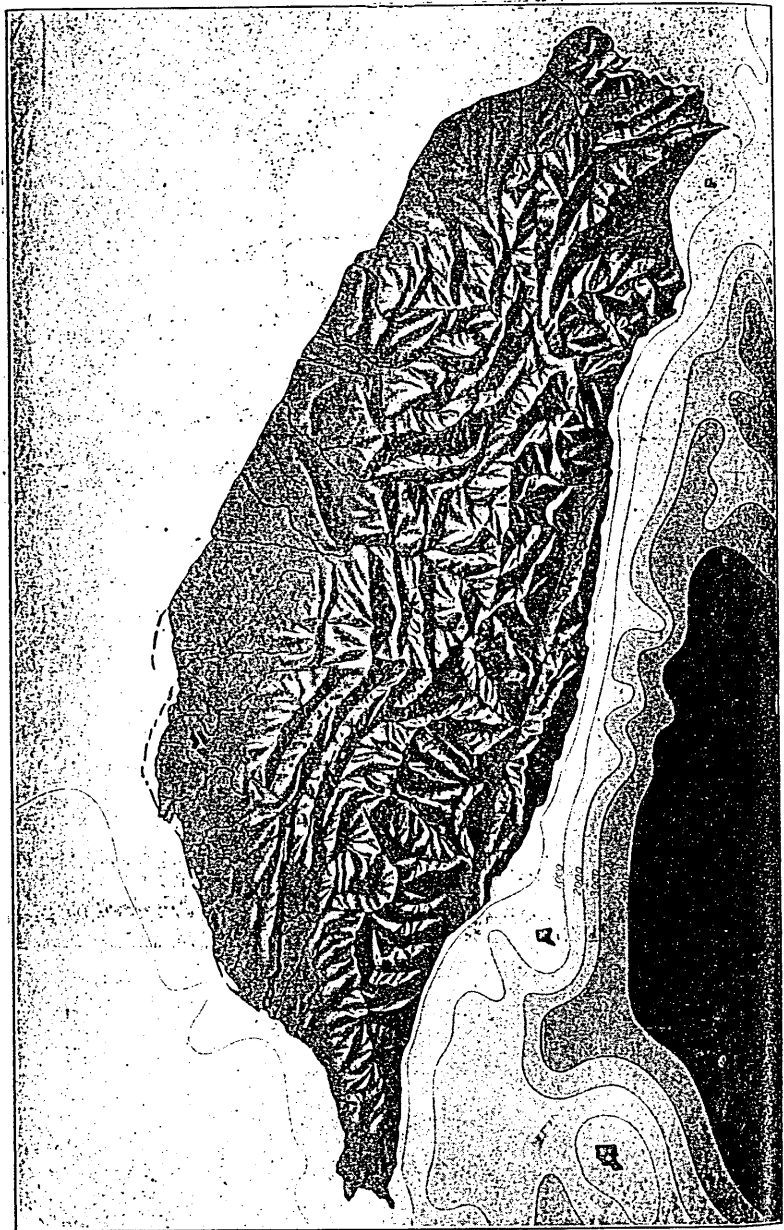
先島諸島 宮古・八重山二群島に分れ、時にマラリア病が流

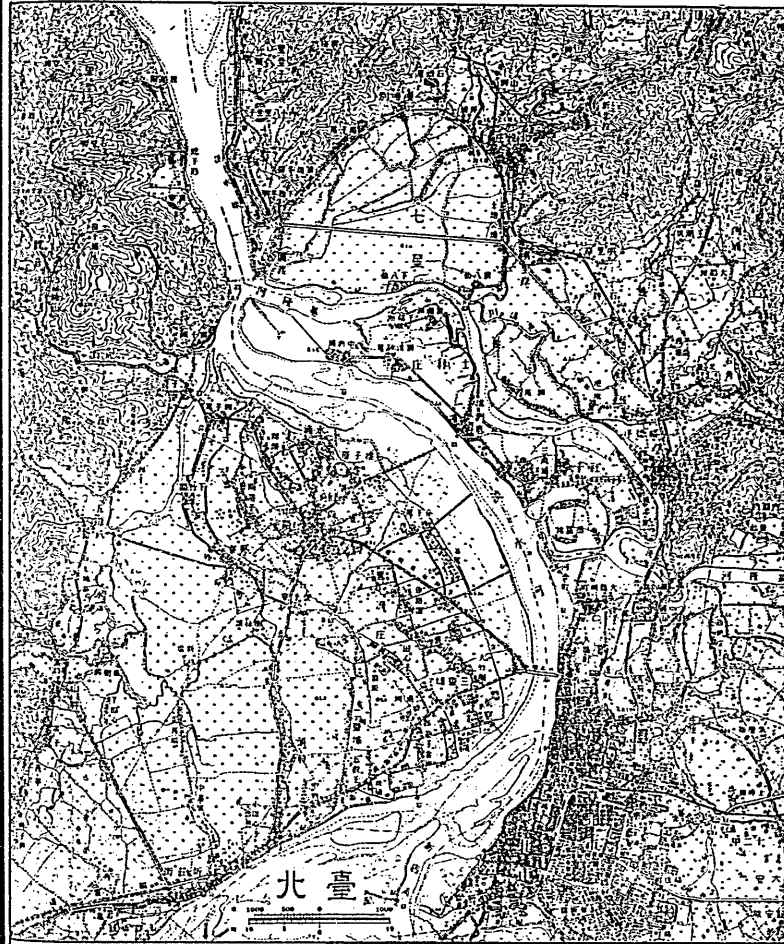
行する。八重山群島は、更に石垣・西表二群島に分れて良質

の上布を産する。



王城
上 首里の舊





第八章 臺灣地方

面積 三六、〇〇〇 平方千米
人口 二、〇〇〇 萬人
人口密度 三八人

一 概観

④ 國家が他國に小地盤を獲得しその勢力伸張の策源地とする所を成長尖端といふ我が國の成長尖端はどんな所か

中央山地北端の斷崖



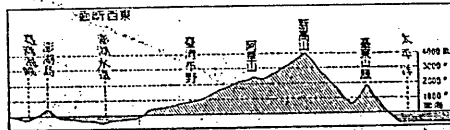
帝國の南西端に位し、パシフィック海峡を渡れば米領のフィリピン、臺灣海峡を越えれば支那の福建省で、頗る形勝の位置にある。日清戦役の結果我が領土となつた處で、南西方に於ける我が重要な生長尖端である。低緯度地方にあつて種々の特徴を有し、我が植民地中最も經濟が豊かで夙に財政が獨立した。

二 地體氣候と關係産業

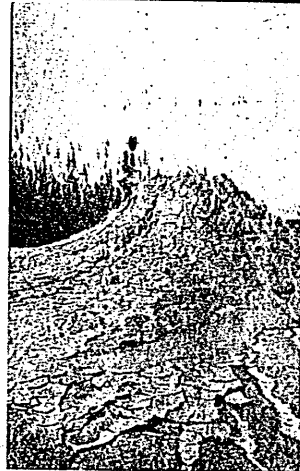
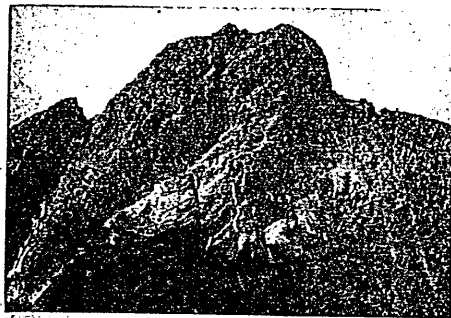
地體と關係産業 地體上、中央山地臺灣

平野臺東縱谷臺東山脈に分れる。

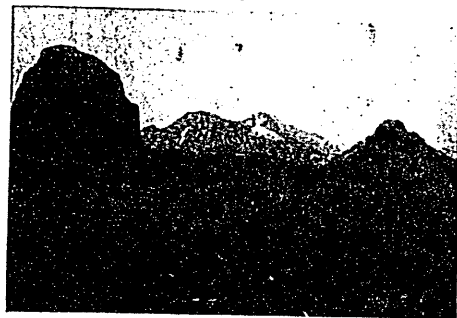
中央山地 臺灣山脈が鼻頭角・三貂角から南岬(鶯鵲鼻)にかけ、東に偏つて島軸を形成する。北部には、稀な



● 新高山
● 大刺尖山と次高山
● 臺中 含油層地に多い泥火山



斷層崖と宜蘭濁水溪の造つた宜蘭平野とがある。脈中には本邦の最高峰新高山（明治天皇、御命名）第二位の次高山（今上天皇、御命名）を始め、三千米以上の高峰二十四座を數へる。此の高山性山脈の西には、淡水河上流埔里盆地、日月潭、濁水溪上流下淡水溪屏東平野等の低地を隔て、中山性の蕃界嶺山脈（阿里山、前山）がをなし、漸次西方に低下して臺灣平野となり、遂に陸棚性の臺灣海峡に移つて蕃界嶺山脈は若い

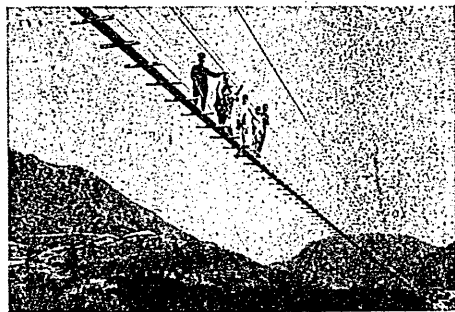


● 臺灣山地の交通



北端に、大屯火山群（大屯山、七星山、觀音山等）が噴起し、蕃界嶺山脈との間に、臺北湖底盆地を挟み、山中に北投溫泉がある。臺灣海峡内に、海蝕を受けた玄武岩の澎湖諸

地層で含油層が多く、出磺坑は、その主産地である。基隆附近では石炭を産する。臺灣平野 淡水、大甲濁水、西螺下淡水の諸河は、臺灣蕃界嶺兩山脈間の縦谷から、蕃界嶺の横谷を出て、土砂を放流して臺灣平野を造つてゐる。臺灣海峡は、百米以下の浅海で、隆起海岸に珊瑚礁さへ分布して、良港がない。砂嘴や潟湖が多く、虱目魚、魷牡蠣を養殖す。



標 上 大屯火山
群中の一火山
七星山の寄生火山
たる紗帽山で様式
的トロイデである

標 下 北回歸線
嘉義市の南方四軒
の水上庄にある石
造で三面とも北緯
二十三度二十七分
四秒五、東經百二
十度二十四分四十
六秒五と彫刻して
ある



島がある。

臺東縱谷・臺東山脈 臺灣山脈の東側は、懸崖となつて臺東縱谷（臺東地）に下り、その東に、地壘の臺東山脈があつて、深さ數千米の太平洋に急斜し、龜山島・火烧島・紅頭嶼と共に、火山岩が噴出し、又金瓜石で金・銀・銅、瑞芳で銀・銅が採掘される。臺東縱谷は、荖萊溪（荖萊溪）秀姑巒溪、卑南溪等が、

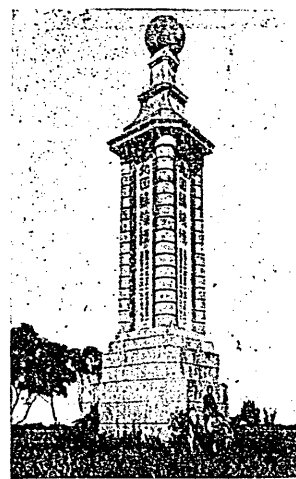
斷層線に沿

うて水蝕し、荖萊溪の下流では、砂

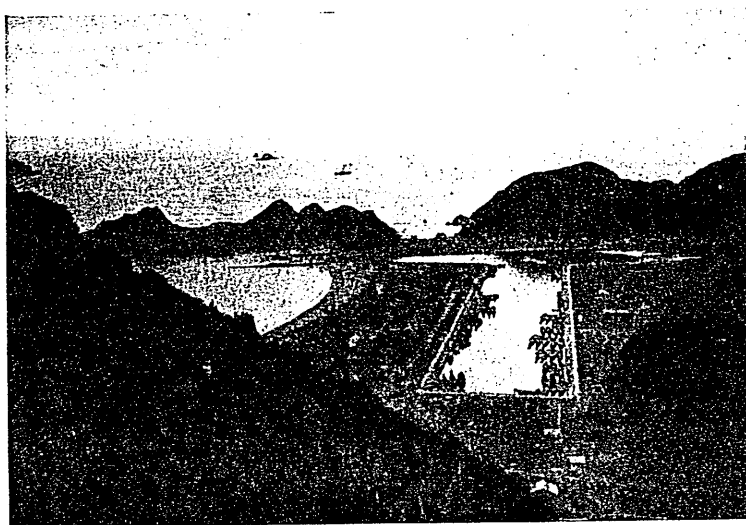
金を産する。

氣候と關係産業 北回歸線が略

中央を横ぎり、氣候は、亞・熱・帶・性・氣



るれき栽培く廣に地臺の州兩竹新北臺で一の品要重最中品出輸海臺は茶 摘茶の海臺
てゑ植てつ従 るすを入手てつ行を耕深は期冬に特しなを耕牛回數年論勿は肥施は園茶
れは行回六五十年は葉摘 るれら得を獲收のく多も最で年八七茶出が葉摘は後年三らか
るすと茶種包は又茶龍烏を之



二西東は港 るあで港良の一唯るけ於に岸海東灣臺があるあは點缺るれ荒に風東 港澳蘇
間のと港蓮花で點地一の要重上通交がいなれば言はとい廣 米〇二深水軒五・二北南軒
るあも船汽（絡聯又）通を路車動自はに



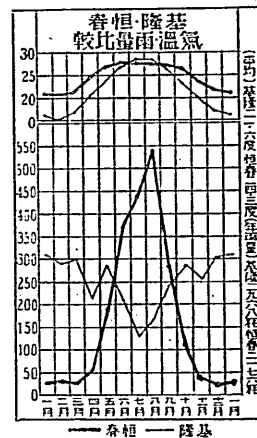
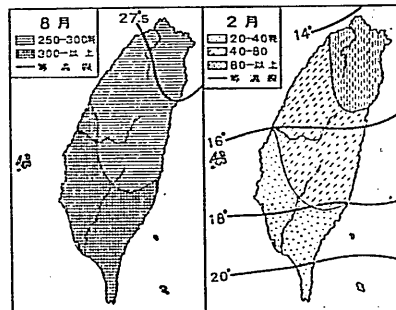
法方一の通交るけに山地山淵臺
族家で景情の族家く赴に許の人主るす務勤に地奥は圖
きしかつな 人夫る遮に傘日の本一を光強の射直 るあで族砂高はるへ負背を物荷び及
るあでのるれさば及に島全てつよに々人るゝかは化皇 女少るす伴の母てつきを郷故



あが道鐵便輕軒八十四約方東の驛水二線貫縦で湖沒陷るあに地高の米百七拔海 潭月日
戸十三二岸湖 るあが名のこてとるゐてしを形の月は一形の日は一形に部二は湖 る
蔭ふ掩を岸湖 舟木丸ぶ浮に潭碧の谷幽 る作を榮殺に畔湖りとを魚に中湖は族砂高の
中事工所電發大 るめしらあ思のつ斷を腸てしを子遊は歌の人土るすまだこ 林密の界

〔註〕氣候圖
其陸附近の火燒寮
は本邦の最多雨地
で年雨量毫毛耗に
及ぶ氣候の濕潤高
温は健康に過せず
マラリア・赤痢が
流行したが今は都
會地では殆どない

〔註〕嘉南大圳
灌漑面積四百平方
里工費三億餘圓
埤・圳は臺灣平野
の灌漑に必要で統
一の大圳完成の爲米
産が三倍になった
實例がある

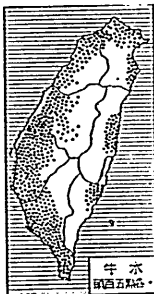
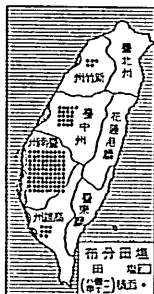


の變化は、内地ほど強くない。
北東の季節風が吹くが風向が、山脈の走向と
同じなので、山脈

によつて氣候區が分れない。夏に、風
上となる南部は雨季、風下になる北部
は乾季となり、冬は、之に反する。

臺灣平野の中部は最も雨量が少い爲多數の灌漑
用埤(池沼)圳(水路)を作つて米作に便する。中部南部





の沿岸に、天日製鹽が發達したのも、日照が強く、且つ遠淺なる上に、雨量が少ない爲である。初秋には、展駒風が通過して被害が多く、澎湖島には喬木を見ない程である。

生物帶

植物の分布は垂直的變化が著しく、低地には榕樹、樟樹、椰子、木瓜、バナナ、パイナップル、木瓜、瓜がよく生育し、茄子、蕃椒は多年生である。動物に、水牛、黄牛、豚等の家畜、穿山甲がある。阿里山に溫帯性の檜、紅檜の美林があり、新高山頂に、寒帶的植物がある。

臺灣の檜
樹林
高砂族の
持てるバナナと穿
山甲

農が主産業で、

米(年二回収穫内地米改良の蓬萊米が多い)は、臺中平

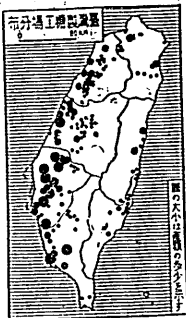
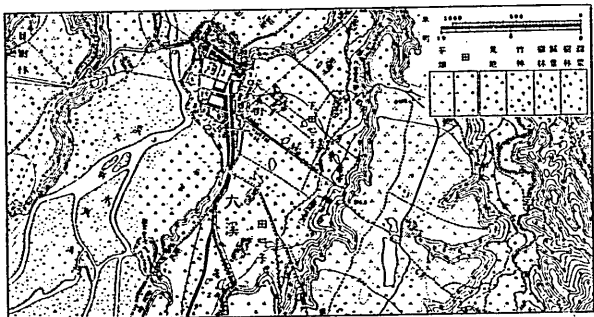


桃園南方茶園のある大溪臺地

1. 淡水河はどれ位の幅の荒地を造つてゐるか
2. 右岸に幾段の段丘があるか左岸にはどうか
3. 大溪街はどんな所に發達したか
4. 茶園・水田はどんな所にあるか

甘藷畑

輸入のハワイ種で夏雨の多い中部以南の平野特に濁水溪・曾文溪の土石交りの地に産する



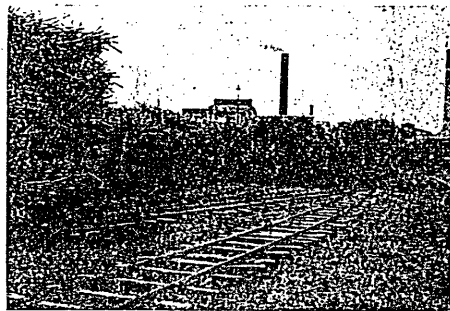
(年十數回摘葉)は、北部の丘陵(桃園・臺北)に作られ、基隆はその輸出港で、中にも烏龍茶はアメリカに、包種茶は南洋に送られる。

甘藷は、平野の中部以南に適し、嘉義、鳳山及び屏東には、大製糖工場がある。甘藷は、米に次ぐ常食物で、酒精原料飼



圖上 臺灣製糖工場
近年輸入粗糖で精製するに至り砂糖は本島第一の産物となつた

圖下 樟樹粗製
樟樹を細かく切り山地の小屋で蒸溜した粗製樟腦は平地に送られて精製され世界需要の過半を充つ併し近年獨逸の人造樟腦が大敵となつた



で移出額が多い。彰化以南には鳳梨の罐詰工業が起つた。
低地の林投樹葉麻大甲蘭

豚料澱粉原料となり季節と所とを選ばず栽培され特に南部平野に多く米茶甘蔗と共に本島の四大農産物である。落花生麻類バナナ・文旦・鳳梨・龍眼肉の産も多くバナナ（臺中州は全産額の五五）は盛に内地に送

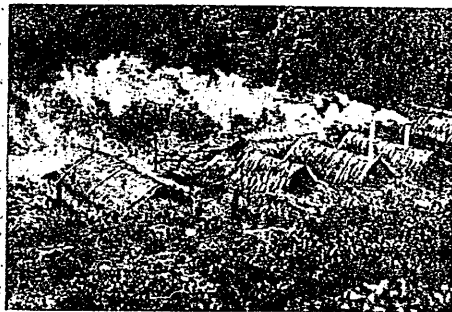
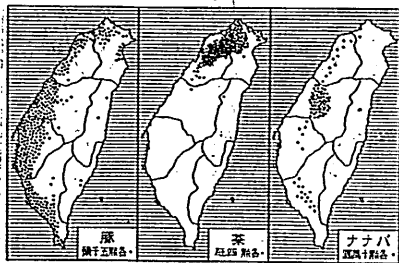


圖 阿里山の樟
阿里山上海拔三、四米の所に王者の如く立てる紅樟の巨木で周囲二、三千年を経た神木である

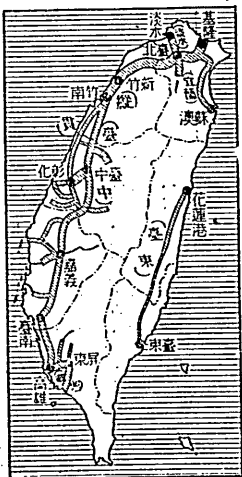


里山八仙山で伐採し嘉義は製材が盛である。その他酒の醸造煙草の製造も近時勃興して來た。陸棚の多い北方の海には乾季に

漁業（鰹・鰯・鯖）が行はれ、遠洋漁業も近年盛となつた。鰹節は基隆で製造され過去十年間に産額が百倍以上となつた。

三 交通・商業

交通 地形平坦、人文發達せる臺灣平野に發



圖説 僻地の交通
に用ひる臺車
何故西岸・河川
に竹筏が用ひられ
るか

達し、臺灣縦貫線(基隆)を幹線として、宜蘭(蘇澳)淡水(臺北)臺中(彰化)潮州(高州)の諸線があり、林業地、製糖地に、多くの輕鐵がある。東部には、臺東縱谷利用の臺東線(花蓮)があるのみである。基隆・高雄は、航路の二大中心で、西岸河川では竹筏が用ひられる。

海底電線は長崎・琉球・福州に通じ、無線電信局は各所(基隆、鳳山、臺南、澎湖、嘉義、高雄)に設けられ、臺北・臺南にラヂオ放送局がある。

商業 輸移出入は基隆・淡水・安平・高雄の四開港で行はれ、特に基隆・高雄は、築港完成して、本島貿易額の九五%を占める。西岸には、特に支那型船に限つて入港を許す特別開港場(高雄、基隆)がある。

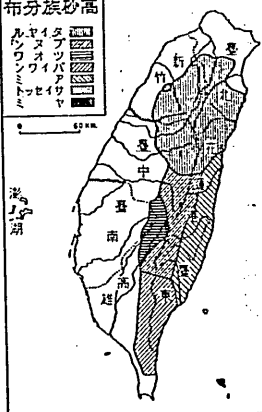
輸出品 茶石、炭、綿織物、酒精、樟腦、移出品 砂糖、米、バナナ、鳳梨、鑛石、帽子、酒精、樟腦、油



の市南臺でのもたい築が人ダンラオ年〇五六一曆西 れはいと城ンディグロブ元 樓炭赤し理修に後は物建 るあてせは合接で灰の蠣牡てし用使を瓦煉は工事礎基 るあに央中るれらめさおに内の望一を街市南臺はらか上樓め極を麗壯は美の青丹がるあでのもた



け着が鈴のく多はに足 のもたつ作で羽の子雛は冠たけ着に頭 牛水と族ミアたし装盛るあでのもる飾着と晴を日今に際の見接の官大・祭祝の村 るあて



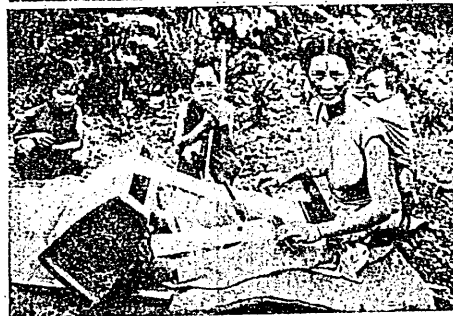
族 七種の族に分れ本島
人の感化内地人の
敬導農耕に従事
する熟蕃と然らざ
る生蕃とに生
蕃は山間に住み粗
衣跣足で狩獵に従
事しタイヤル族を
始め首狩をする惡
習があるが今は漸
く改まつた

住民 原住民の高砂族
したので、東部山地に避
稍慄慄ひやひやで、閩族が都市に
住んで、商業に従事し、經
濟的勢力の強きに反し

四 住民政治聚落

輸入品 豆粕肥料大豆

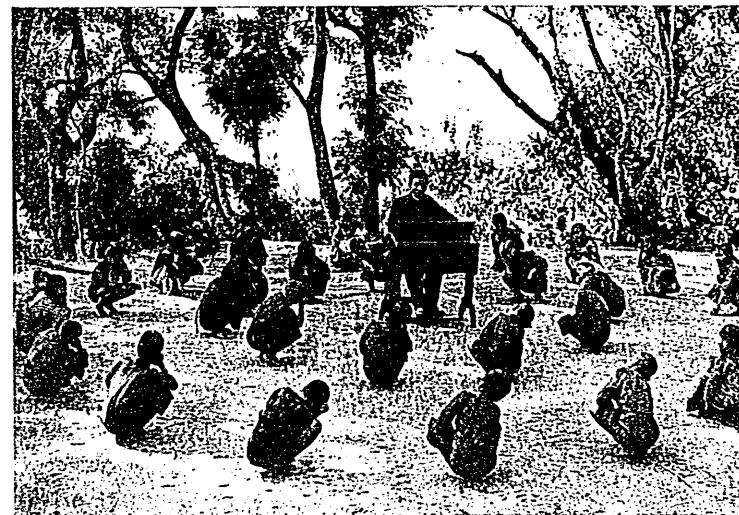
移入品
綿布絹布肥料鐵木材紙



其の後廣東から來た粵族は、性質が



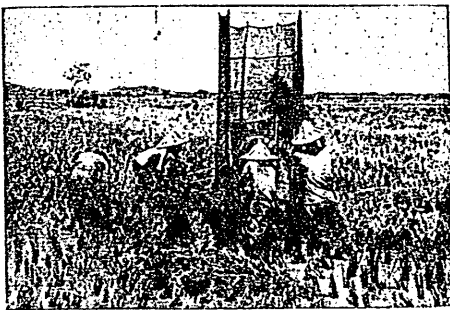
山のらちわは族ルヤイタ がる作を落部てし團集は族ミヤ・族ミア 落部の族ルヤイタ
に上の崖の丈十数には中 い多かなかなが合場るゐてし在點に風ふいと下崖のらちこ腹
れら造てし合集的較比に地斜傾の山は圓 るあも事るゐでん仕てし立孤にうやの巢の燕
るあで所るすり泊寝が若い若の婚未で所會集年昔は槽い高でのた



五約童兒學就　で好良は合歩學就りなと盛年近は業事化教の族砂高　育教の童兒族砂高
もたつ入に等學中地内・校學業工・校學範師・校學女等高・校學林農　人千一生業卒　人千
るあが等婦護君・官寮警・員教・師醫はに中生業卒　く多もの

● 閩・上 本島人の稲の收穫
本島人（漢族）は住民の九割以上で漸次内地化するも尙阿片を吸ふ者がある日本國籍民として廈門・福州方面に住み商業に従事する者もある

● 閩・中・下 二十年前の臺北市街と現今の臺北市街



北のりが備に守隊があ

臺灣軍司令官が軍事を統べてゐる。
臺北帝國大學等の學校があり、本島人の爲には、公學校があつて教育の普及に努めてゐる。



後移住し、之等の諸族を誘導する位置にある。政治 臺北に、臺灣總督府があつて、全島を統轄し、其の下に、五州三廳がある。

州の下に市郡（其の下に街（町））廳の下に支廳がある。臺北臺南

● 基隆が發展するのには何故か位置交通附近の鐵道等から考へよ
● 臺灣神社 本島唯一の官幣大社で大國魂命・大己貴命・少彥名命・能久親王を祀る

州・廳名	廳所在地
臺北州	臺北市
新竹州	新竹市
臺中州	臺中市
臺南州	臺南市
高雄州	高雄市
臺東廳	臺東街
花蓮港廳	花蓮港街
澎湖廳	馬公街

の取引が多く、米・茶・樟腦・果實の積出が多い。

臺北市は、盆地の中央に位し、政治（府）軍事（司令部）學術（大學）商工業（市内大商埠は茶の精製が盛ん）の中心で、臺灣

神社がある。淡水河口の開港淡水はもと本島最大の要津であつたが、河口が浅く、支那と

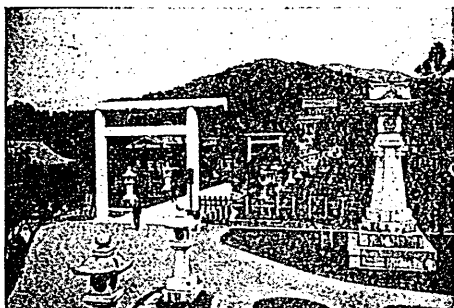
聚落 都市は多く臺灣平野に集まり、文化の進むと共に、支那風が日本風に移り、臺東平野にも内地人の聚落を見るに至つた。

臺灣平野 北中南の三部に分れる。

北・部 基隆市は、本島北門の開港で、内地と



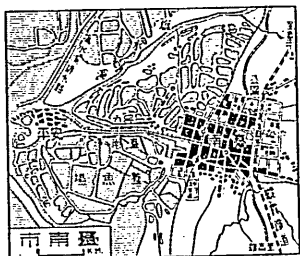
臺灣都會の分布 丸の大小は人口の多少を示す



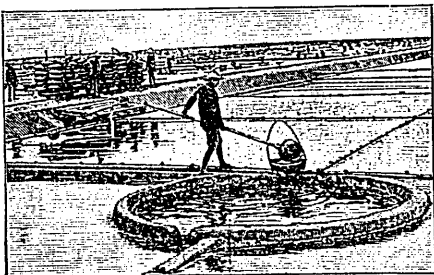


散し、苗栗は砂糖、樟腦を産する。

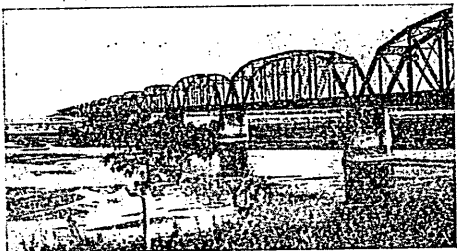
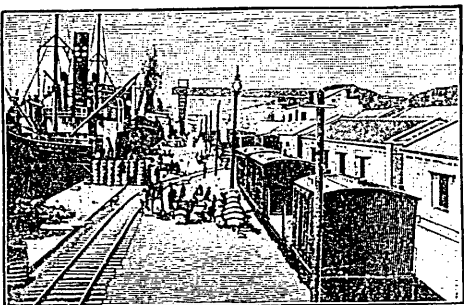
宜。蘭。平。野。米、黄麻を産し中心の宜。蘭。は附近に移住内地人が多くて、農産物、木材の取引が行はれる。蘇澳は、其の門戸で、内地よりの漁業移民が多く、鯨節を産する。



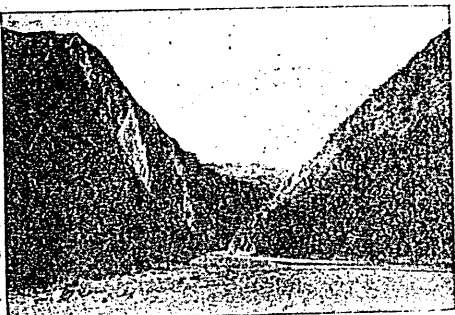
中部。大甲は大甲帽、大甲錠を産する。臺中市は、内地風の都市で、バナナの取引が多く、彰化市と共に、米、甘藷、落花生を集散する。鹿港附近には、天日製鹽が行はれる。



高雄市
中下淡水溪鐵橋
下石門、明治七
年臺灣征伐の際の
激戦地で、牡丹社に
近い



南部。斗六斗六は、樟腦を集散する。嘉義市は、阿里山運材鐵道の起點で、製材、製糖で榮える。布袋、北門附近は、



蟬が行はれる。臺南市は、本島の古都(開山神社、赤崁樓、關帝廟がある)製糖の中心で、安平は、其の外港である。高雄市は、本島の南門で、南支南洋への發航地である。此の地方は、純然たる熱帯栽培農業。

● 一覽気候温雨量比較圖を見て恒春の年平均気温を郷土の気温と比較せよ

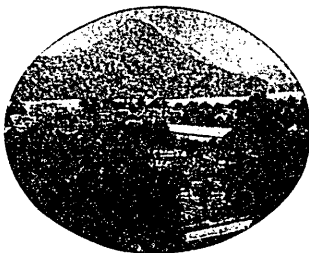
屏東

屏東 屏東地溝の一部
断層崖が東・西向合ひ中央を秀姑巒溪が北流してゐる地溝は幅約一軒て右下に大断層崖がある西の断層崖下の河畔も広い荒地で断層地の一部が僅に耕地となり内地人の聚村があるかかる荒地を美田にするのが國民の使命である

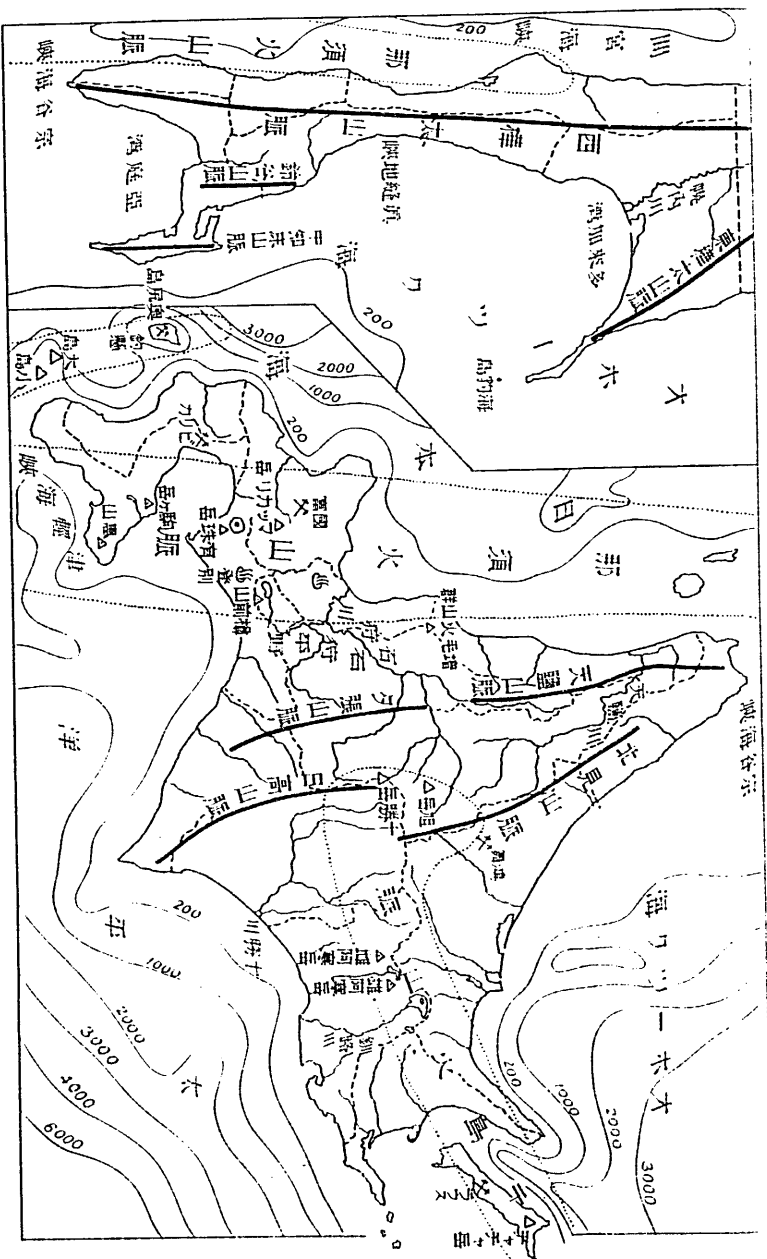
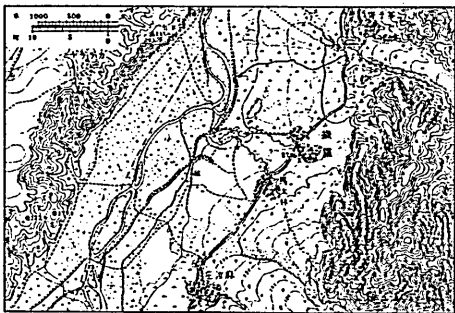
地となり、鳳山は鳳梨の一大市場である。又屏東市は東洋一の製糖場の所在地で、陸軍の飛行聯隊もある。恒春は、本島最南の都市である。

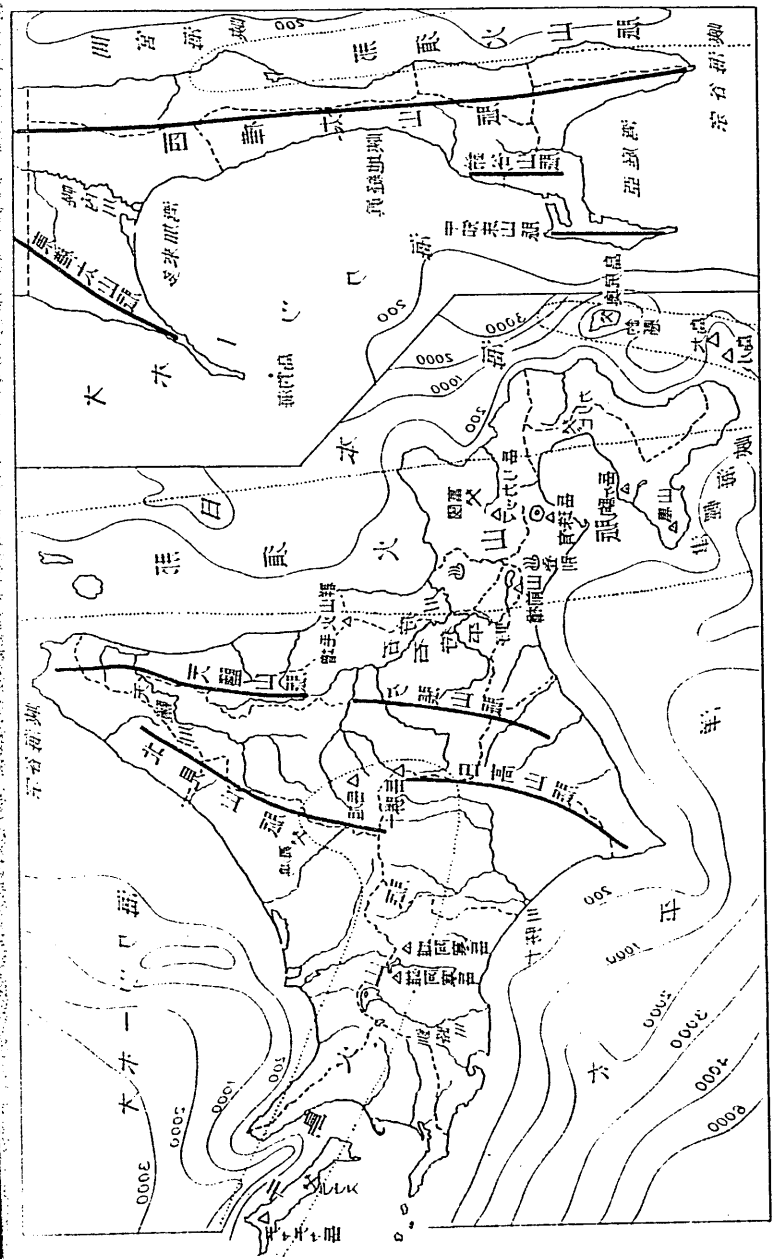
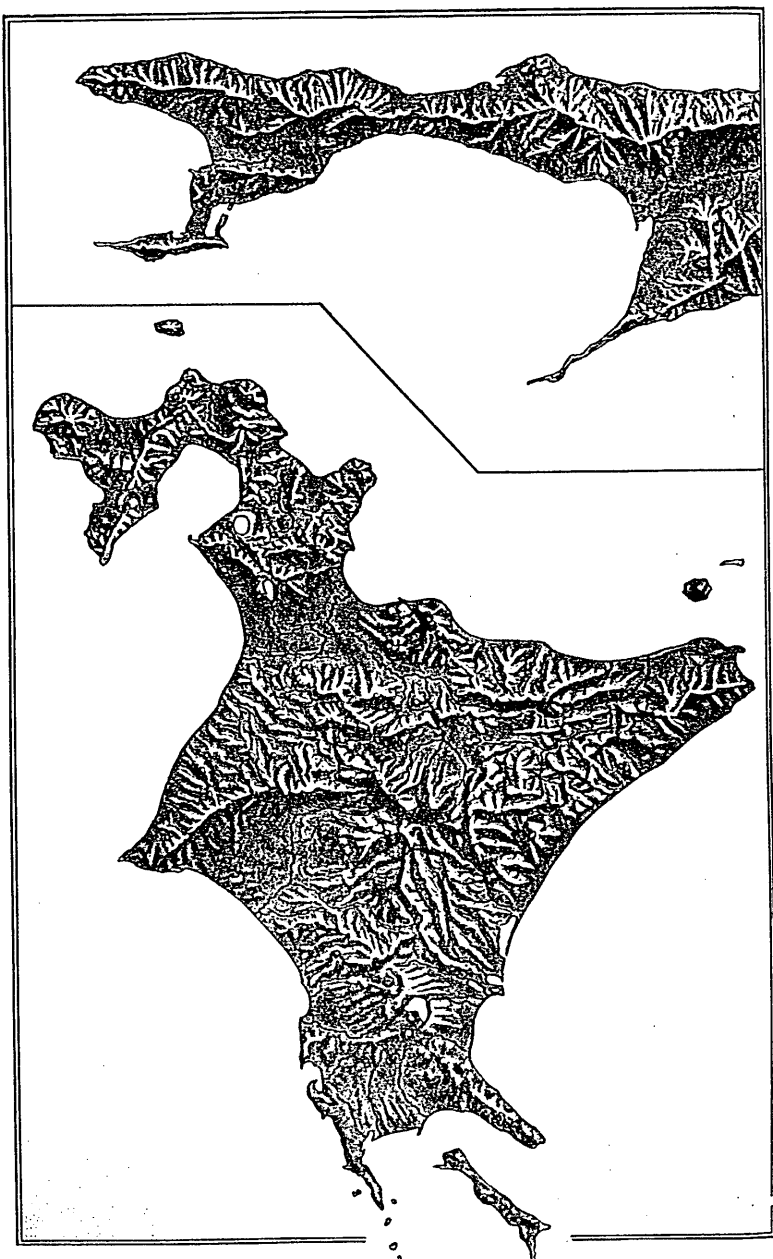
澎湖・諸島 臺灣海峡を扼し、花嶼は本邦の最西端である。平均

二十米の低い島で、最高點も五十米を出でない。沿岸は珊瑚礁で寄泊が困難であるが馬公のみは、自然の良灣をなし、海軍の要港である。



東部 蕃族の居住地に過ぎなかつたが、近年内地移住民が漸次臺東平野を開拓し、米甘蔗を栽培する。卑南平野の臺東、奇萊平野の花蓮港は、其の門戸である。





昭和四年 正十年 正元年

農業 34% 工業 27% 商業 21% 雑種 10%

農業 34% 工業 29% 商業 25% 雑種 12%

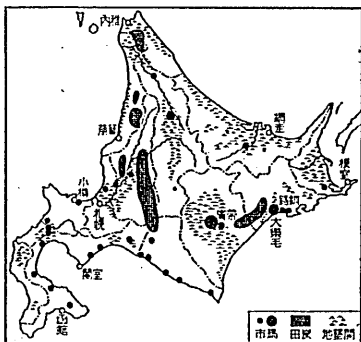
農業 34% 工業 34% 商業 29% 雑種 3%

1924年 1930年 1945年

北海道の生産物

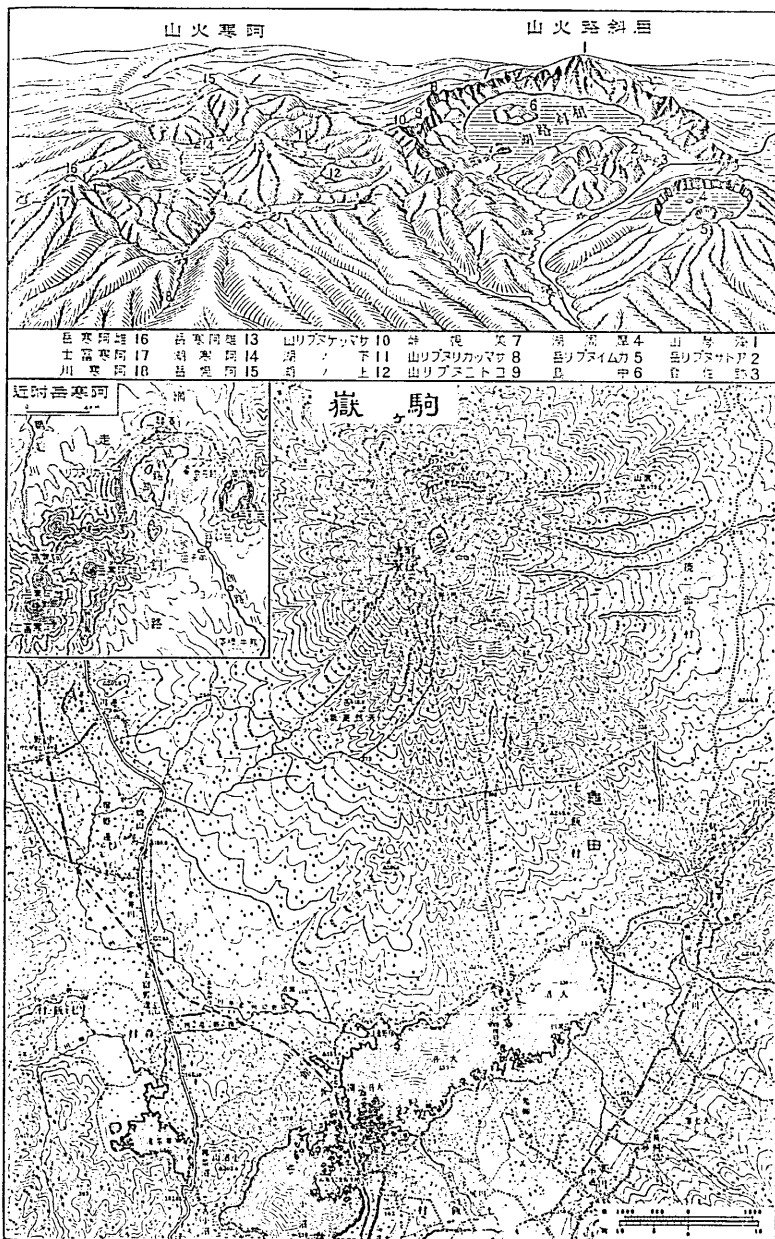
面積六、七五方軒
人口二萬人
人口密度三人

北海道本島(函島を合む)、千島列島から成る昔の蝦夷の地で、徳川末期まで重んぜられなかつたが今は北方の策源地として頗る重要である。早く來た植民はよく其の使命を自覺して、輸入作物の^{*}氣候化に成功し、その開拓カイタクに成る水産陸産が豊かで、正に本道は我が國の重要寶庫の一である。



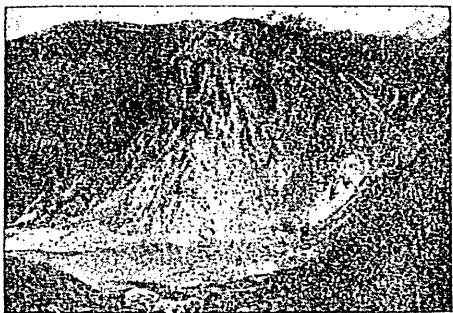
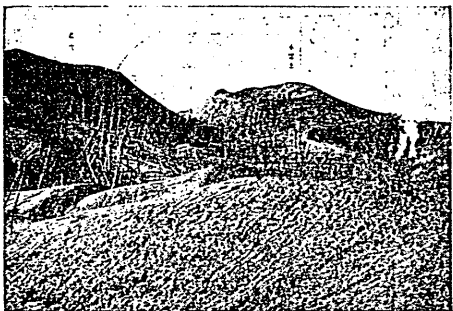
地體上、半島部・中央低地・^ク嶺・^{カン}幹部・^ブ千島列島の四區に分れる。

マツカリ(山羊蹄)・有珠・樽前・駒の諸岳・登別・定山溪の温泉・支



④ 上 有珠岳
中 登別温泉湯ノ湖

⑤ 下 洞爺湖
ら見たマツカリ岳

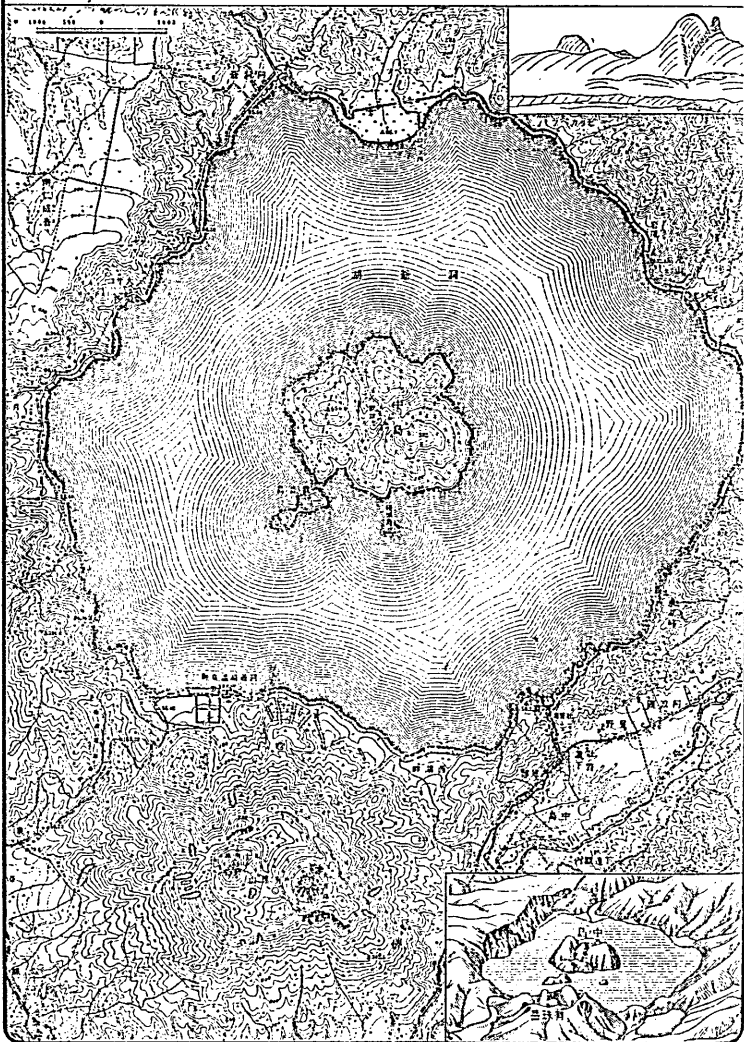


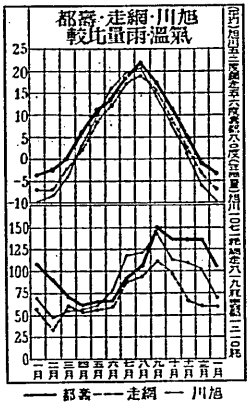
てゐる。津輕海峡内浦灣・小樽灣の陥没は、積丹・渡島・二半島、函館・室蘭・小樽の良港を造つた。西には、島海火山脈に屬する奥尻島がある。國富の銀銅、美利加の滿鐵幌別の硫黄は、半島部の山地から採



勞洞爺等の陥没火口湖・大沼・小沼の堰塞湖は、皆那須火山脈活動の結果で、その噴出岩

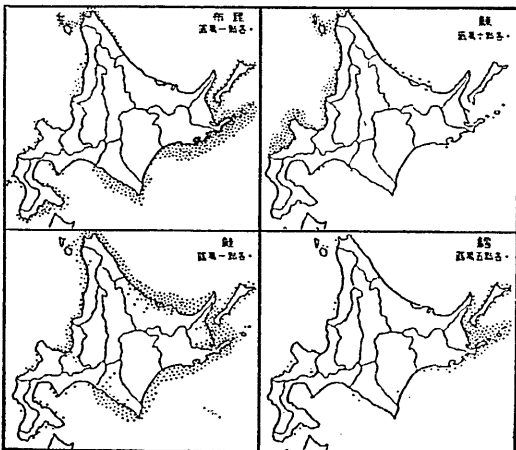
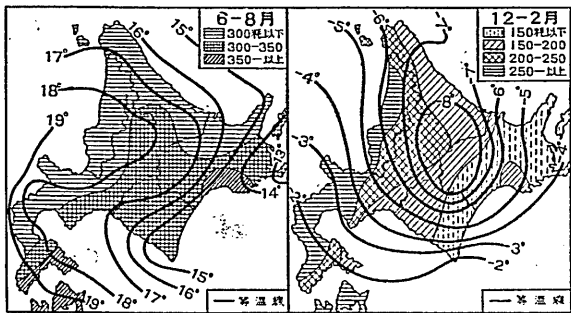
- ⑥ 洞爺湖
1. 洞爺湖の直徑を計れ
 2. こんな圓形の湖はどうして出来たか
 3. 有珠山・岳はどうして出来たか
 4. 有珠山・岳は火山か、右下の島嶼圖、右上の室蘭方面からの見取圖等と比較して考へよ
 5. 有珠山・岳麓に火口が見えるそれは有珠山に對してどんな關係にある山か
 6. 湖岸の土地はどんなに利用されてゐるか





氣候圖
旭川では明治三十一年零下四十一度に降り大正九年三十五度に上った

れて名高い。即ち其の以北には殆ど杉がなく蝦夷松・松が多い。動物は、猿猪が居ないで鹿がある。
南西方の海には對馬海流、南東の海には千島海流が流れ、烏賊・鯖・鯨等の漁利が多く、火

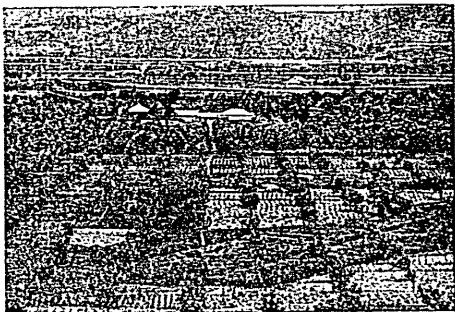


取される。
津軽海峡は本地方と本州とを隔てて、生物の分布上、フライングストーン線といは

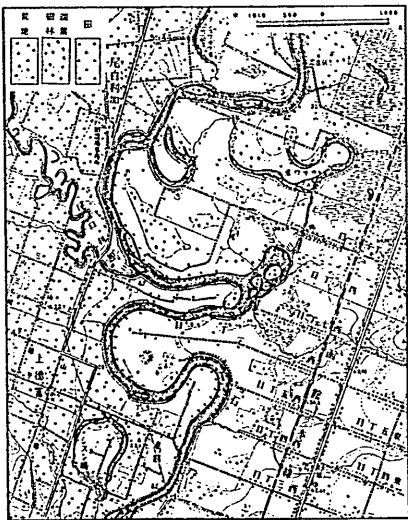
● 昆布はどんな所に生えるか

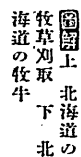
● 余市の苹果

● 石狩平野の一部
石狩川の蛇行と大規模な計畫を立てての大平野の折衷に注意せよ



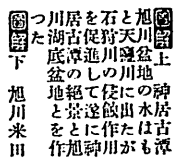
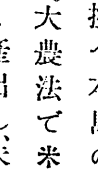
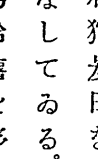
山岩は、よい昆布礁となつてゐる。函館は南西、南東兩方面の中心部に位し、北洋漁業の根據地で、水産製造が起つてゐる。農業は、山地が多い爲に不振であるが、肥沃な俱知安盆地のみは、米・麥・大豆・馬鈴薯が作られ、余市附近は、苹果を産する。
中央低地
元本島を
兩斷してゐた陥没部で、廣い石狩・膽振兩平野である。石狩川は、石狩平野を蛇行し、多くの河跡湖を作つて小樽灣に入る。流





域は、石狩炭田を控へ、本島の主要生産地をなしてゐる。大農法で米・豌豆・麥・玉米を多しめてゐる。大農法で米・豌豆・麥・玉米を多しめてゐる。

蜀黍・馬鈴薯を多く産出し、未墾地が極めて廣く、牧場（ツルグ）に利用されて、牛・馬・豚が多い。



A black and white photograph showing a vast, flat landscape, possibly a rice paddy field. The foreground is filled with a dense, textured pattern of crops. In the middle ground, a line of trees and several buildings are visible against a bright, overexposed sky. The overall scene is rural and expansive.

蝦夷の山系は、那須火山脈が縦走して、増毛火山群、焼尻島、利尻島等を噴出して、遠く樺太島の西部に及んでゐる。千島火山脈は、千島から



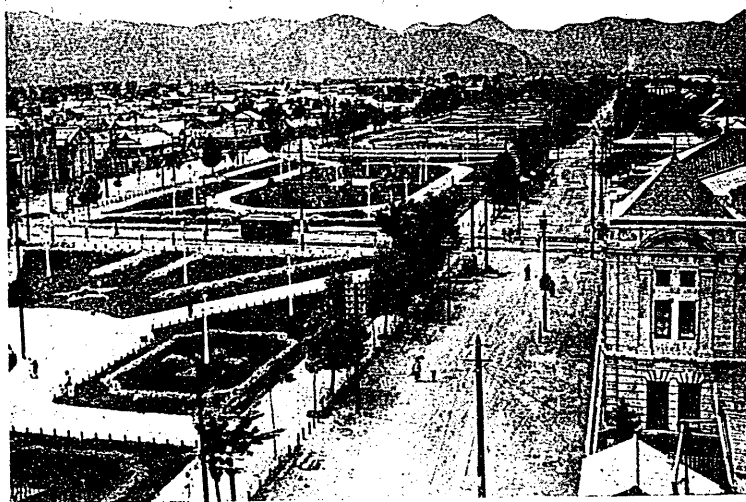
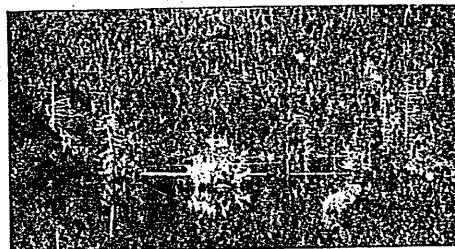
千島弧は國の如く屈行(ミ字)形構造をなして蝦夷山系に會合する

上阿寒湖下十勝岳 帝國中で放射形の河系を有する處はどこか

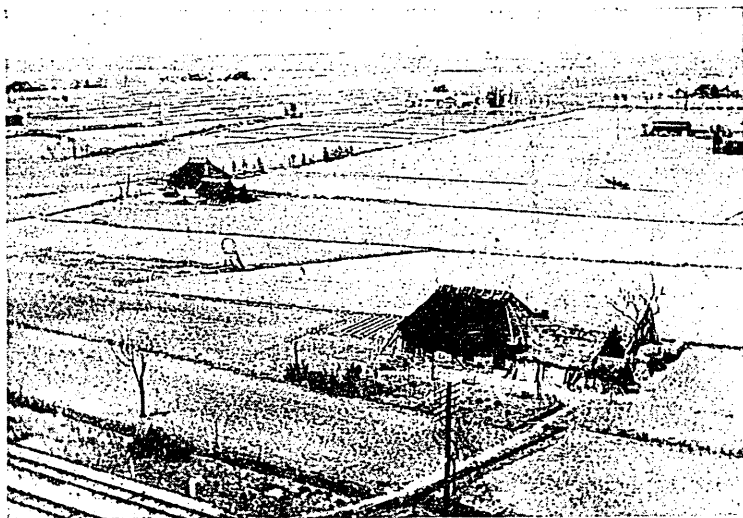


來つて、雄阿寒岳雌阿寒岳屈斜路阿寒の二大火山原湖を作り、蝦夷山系の中央部に會合する。此の會點附近は所謂北海道の屋根で、本島最高の大雪山(旭嶽を)や、十勝岳石狩岳が聳え、有

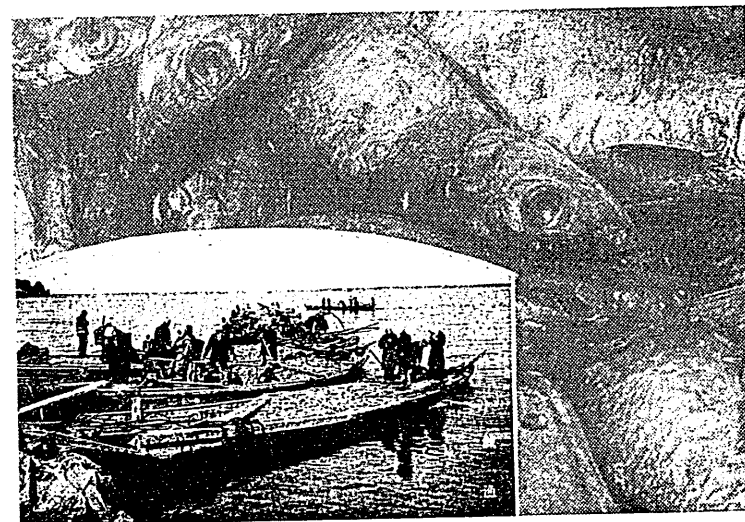
名な層雲
峡の絶勝もこゝにある。
本道の河川も、こゝから放射形に流出してゐる。網走、別、常呂の諸川は北流して北見海岸平野を作り、西別、釧路、阿寒、十勝の諸川は、南流して隆起臺地性の



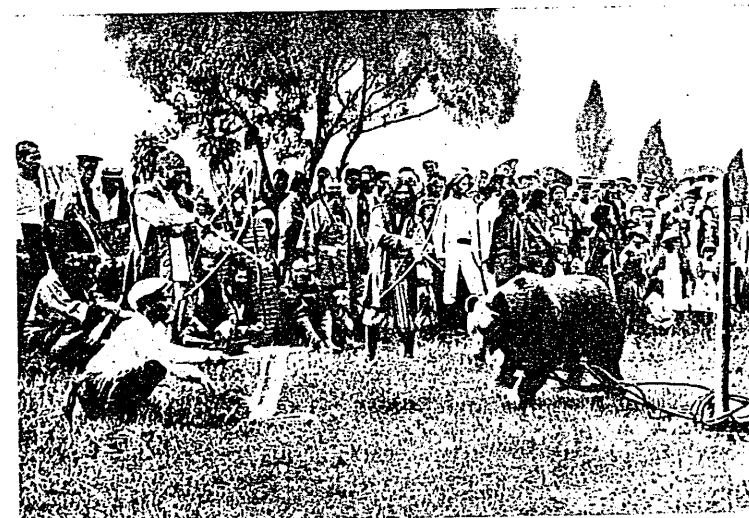
で街市たれさ設建に上地狀扇の川平豊てつよに使拓開年二治明は市幌札 通大の幌札るれば言とのもたじ轉らか(意の川なき大たい乾)「ツペロボトサ」語ヌイアはと幌札に千は穴壑の居住民住先たれさ見發に近附くしらたつあが落部大の族ヌイア元は邊のこるあで通大たれさ化園公の市は園 い近



次てつよに用作積埋の川狩石と用作起陸の地のこが溝地大狩石古は野平狩石 野平狩石「ツペリカシイ」語ヌイアはと川狩石 るす行蛇を野平のこは川狩石てのもたし化陸に第並のラブボ抵大は家農 け開が落聚の型村散はに野平きなしては るあで意の(川流回)るあで業兼牧耕てれま園に木

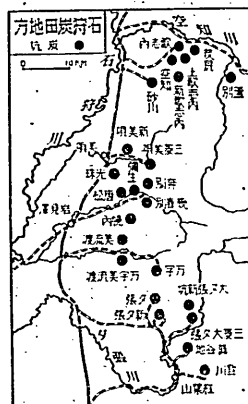


るび帯を氣活に俄は村漁の國北とるれ訪が春ながらがほてけあが冬い永 漁鯨の道海北
せよき潜くしま勇聲けか 女男の冠類・巻録るすを揚陸の鯨くよ氣元ら乍きめざさひ笑
るれば疑とか山の銀は鯨たれ積く高堆に中船る

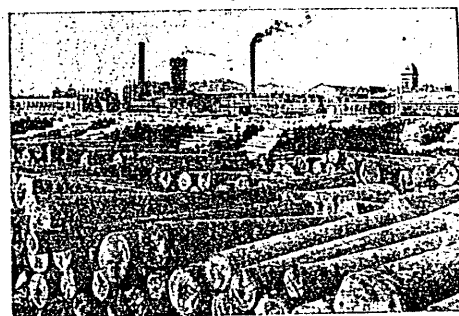


れ晴秋ばれなくき大が熊 るげあて育く如の子が我は女婦とる捕生を熊がヌイア 祭熊
の者若るけつを度仕てし出らか擧を熊るす呼聲 するすを祭熊な大盛でん還を日一の
に族民く行てし少減 ヌイア老す倒すせさて立も群矢一只を熊強んか碎もを岩 さ壯勇
るあがのもるめしらは見を目てめしは恩をしりあ昔たつあで盛も

苦小牧の製
紙工場



若い地層には、石炭が多く、夕張山脈西麓の石
狩炭田(夕張新夕張萬宇内)は、九州に次ぐ大炭山で、
この石炭は、小樽・室蘭釧路より積出される。
室蘭の製鐵・製鋼、函館の造船、札幌の麥酒醸造、
澱粉製造、製麻、旭川の酒精醸造、上磯のセメン
ト製造、苦小牧江別の製紙は、此の燃料と本道
産の原料として發達した。
オホーツク海方面には、冬期(五月中旬)に、流水(大)



根室・釧路・十勝・三平野を侵蝕してゐる。
鴻舞の金は、この軀幹部に産し、尙これ
等の山地は、蝦夷松・榎松・刺楸・檜の天然
林が深い。
諸山脈の周囲の

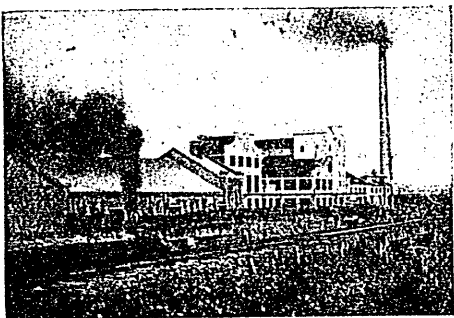
- ④ 野付岬
1. こんな性質のものを何といふか
 2. どうして出来たか
 3. 將來どうなるか
 4. これて海流の方向を考へて見よ

⑤ 帶廣市の甜菜糖工場



なのは本(面上六米)が襲來して、航海を妨げる。對馬海流は、西岸を北上し、宗谷海峽から南下して、根室海峽に入る。北見の平直砂濱、猿澗、網走、風連の三潟湖は、之が一原因となつて生じたものである。又野付岬の鈎狀砂嘴も、早晩、一潟湖とならう。又北見海岸が、太平洋岸よりも氣溫が高く、馬鈴薯・甜菜・大豆・薄荷米を産するの、之が爲である。

太平洋岸には、千島海流(水温三・五度)が流れて、氣溫を低くする上、春夏の交、濃霧を生じて、甚しく航海を妨げ、又日射を遮つて、作物の發育を妨げる。併し帶廣盆地は、夏季高溫で、甜菜・亞麻・大豆・馬鈴薯・麥米を産する。水産は、釧路花咲の



⑥ 何故岩石海岸で昆布がとれるか

⑦ 釧路上 四別川の鮭の遡上

⑧ 釧路下 大樂毛の馬市

東西二十軒南北八軒の草原中に大樂毛が開けた毎年八月及び十一月の馬市には出馬馬二千に及ぶ

⑨ 鐵道の焦點はどこか又何故焦點



岩石海岸に昆布、根室海峽方面に鱈・鮭が多い。寒冷少雨の地帯で、原野が廣いから、新冠白糠を始め牧馬が盛で、大樂毛は馬市で世に名高い。

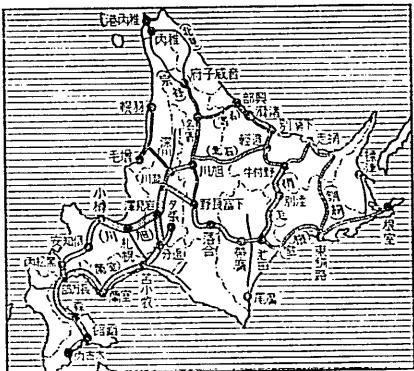
三 交通・商業

交通 道路鐵道は、主に開拓を目的として設けられたものである。鐵道の函館線(館)・旭・根室線(根室)は略東西に、宗谷線(旭内)・室蘭線(室蘭)は略南北に通じて、主要幹線をなし、外に、名寄(名寄)・石北(旭川)・網走(網走)・釧網(釧路)の諸線及び數多の炭坑線がある。交通



となつたか

鐵道圖



不便な釧路根室兩平野の地方では、尙驛エキが残つてゐる。

海上交通は、早く開けたが、良港灣が少く、氣候が不良の爲、發達が遅い。沿岸内地樺太への舟運の要地たる函館・小樽・室蘭は、半島部にある。函館・小樽は、ウラヂヲストクに航路を通じ、函館には青函連絡船、稚内には稚泊連絡船が發着する。

海底電線は、本州樺太に通じ、函館・札幌・落石・幌筵モツチに無線電信局、札幌・函館・旭川にラヂオ放送局がある。

商業 札幌は、道内商業の中心である。小樽函館は、東京・大阪・樺太・シベリア・支那と取引し、室蘭釧路根室と共に開港である。

四 住民政治聚落

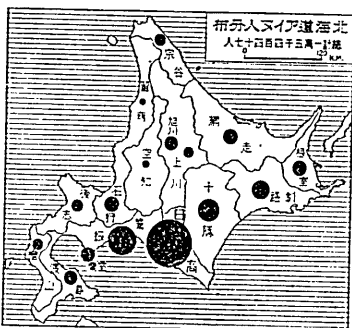
◎故減少アイヌ族は何
の人口増加するか日本
の百と比べ何と
考へるか
◎何故奥羽・北陸
よりの移住者が多
いか

アイヌ人
アイヌは體毛が深く
骨路が逞しい有

るのすなのののの性し教豊呈芥冬機摩夫くア
保つたき風普賢てなにはつをの骨ノ
護のたふ俗及て祝く營住は毛アす婦路メ
にて人全がに沮祭熊むぬ莖皮アする女がは
は努政口く頼つ和にを一農條をツ檢は逞體
め府が死れて用懐定并芥着シの口し毛
ては誦語音聞致の性のやのを皮邊いが
が共滅と語有育とと宗漁ノ草着てに有深

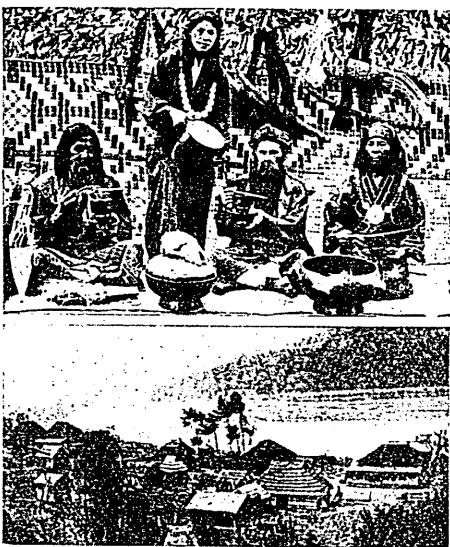
住民 アイヌ人の故地であるが、明治維新以後、政府の奨励によつて、奥羽・北陸等よりの移住者が多く、今や人口三百萬に及んだ。

政治 十一國に分れてゐた



が、今は行政上、七市十四支廳に分れ、北海道廳長官が之を治める。地方は、自治制が布かれ殆ど内地と異つた處がない。

聚落 聚落は開發に伴つて起つたもので、先づ海岸に

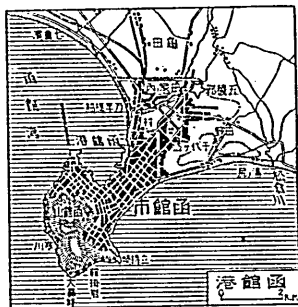


【圖】下 北海道の規則正しい耕地と聚落

1. 左上の旭川の市街の特色をいへ
2. 盆地の広い平坦な地は海抜何米位か
3. 耕地は何故規則正しいか
4. 平野の聚落はどんな形か

【圖】上 函館港

1. 函館はどんな土地に発達したか
2. 函館山はどんな利益を與へるか



半島部

函館市は本島の南門

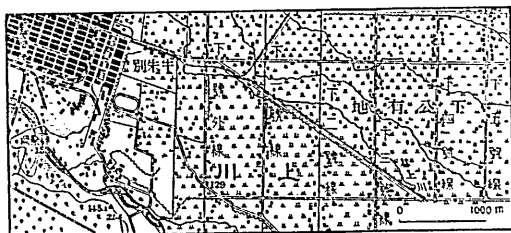
漁村が出来た。次に内陸の廣野に、大規模な直交式の計畫を施して開拓を進めたので聚落も之に支配せられて規則正しい散村となり、主要都市は、何れも街區が井然としてゐる。人口の九割は西部の平地にある。

南門で、水

産物の輸出が多く、造船業も盛である。

五稜郭は史上に名高く、採水が行はれる。福山は、本島の最古都で、松前氏の城下町、本島の舊渡頭である。大沼は、駒ヶ岳山下

支廳(管轄區域)	支廳所在地
渡島支廳	渡島市
檜山支廳	檜山町
後志支廳	倶知安
釧路支廳	釧路市
石狩支廳	札幌市
空知支廳	岩見沢市
日高支廳	浦河町
上川支廳	旭川市
留萌支廳	留萌市
宗谷支廳	網走市
十勝支廳	帯広市
釧路支廳	釧路市
根室支廳	根室市
網走支廳	網走市

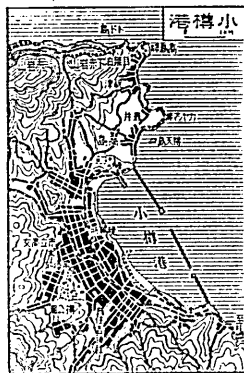


沼 駒ヶ岳と大

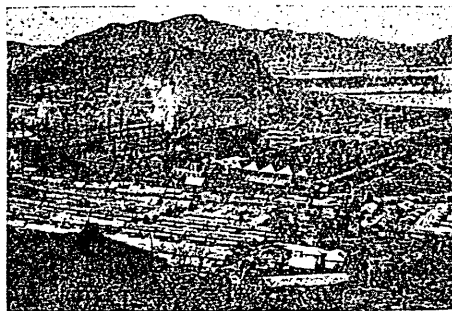


室蘭市は、石炭木材の輸移出地で、壯大な製鋼製鐵所があり、本州との間に青蘭連絡船を通ずる。

登別には怪烟渦巻く地獄の爆裂火口、硫泥たぎる熱湖がある。



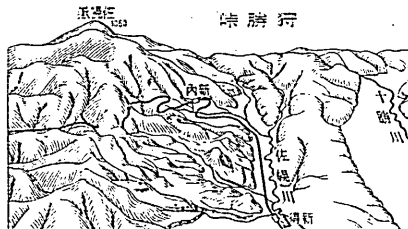
所 圖 室蘭の製鋼



第七師團司令部は旭川に置かれたか

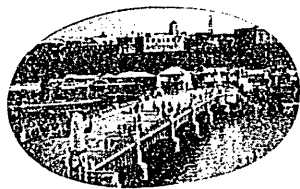
中央低地 白老にアイヌ部落がある。 釧路
地方は炭田に近く、苫小牧(支笏湖の水電利用の製紙業)追分(ス製造)
の工業市がある。 札幌市は豊平川の扇状地
に、直交式に建設された新式都市で、木島文化
の中心をなし、北海道帝國大學がある。 麦酒廠
麥粉澱粉の工業が盛で、附近に、定山溪温泉が
ある。 江別は、農産製紙で著れ、岩見澤、龍川、砂
川は農産の中心、交通の要地である。
樺幹部 石狩炭田は、空知、美瑛、夕張の三炭田
に分れ、水力の豊富と共に、本道の前途に一大光明を與へる。 留萌
は、鯨漁の根據地である。 名寄は、交通の要地で、釀造が行はれる。
旭川市は、上川盆地中樞の直交式市街で、交通の中心に當り、第七師
團司令部がある。 米、材木の集散、酒精釀造、製麻、製粉で名高い。 落合

上 釧路市



下 釧路市

に、原生保存林がある。 釧路
勝峠は、眺望が雄大で、大陸
的景觀を呈する。 帶廣市
は、甜菜糖池田はバルブを
産する。 釧路市は、東部第
一の良港で、昆布を積出し、
製材、製紙が盛である。 厚
岸は、牡蠣を
養殖し、又沃土鹽化加里をも産
し、海軍重油タンクがある。 根室は、北洋漁業の根據
地で、海面の凍る冬季には、背面の花咲が補助港とな
る。 網走は北見第一の鎢地、商工業市で、野付牛は、交
通便利にして、薄荷、木材の集散地である。 稚内は稚

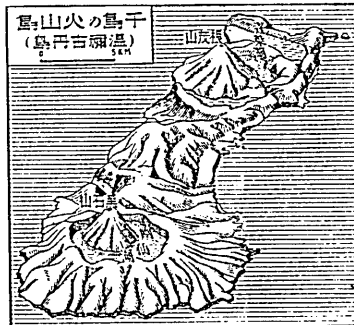




名四下以一健島大佐大兵砲軍陸は國が我とるす立成が約條スマツボ 定劃の界境太樺
兩 たせら當に議商てし命任に員委定劃界境を名五下以キスンセルクスノウは國露を
しう全を務任のそに遂てし排を難萬に迄る至に月十年翌らか月六年九十三治明は員委國
德聖宮神治明は國原りなに筆の伯尚稔田安でのもたい描を様有の定劃界境のそは國 た
標界境測天け設を空林の米十幅軒二十三百西東は線境國 るゐてれらげ掲に館畫繪念記
るあてい置を個七十標界境間中個四

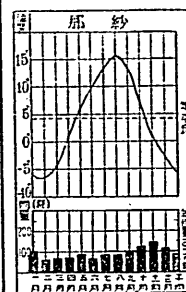
泊稚斗の連絡地である。

千島列島 褶曲山脈に火山を伴へる三十餘の島嶼で、外側に、タスカロラ海淵(米三)を有する日本海溝がある。面積は四國位であるが、人口は、一萬五千に過ぎない。



農耕は有望でないが、鯨、海獣が豊富で、季節的移住の内地人が少くない。近年に至り、養狐も行はれるやうになつた。擇捉島の紗那が列島の主邑である。

得撫以北は明治八年千島樺太の交換によつて我が領土と確定した處で、最北の占守島と露領カムチャツカとは、千島海峡によつて相隔たり、僅に十三軒に過ぎない。近時全列島は國際上、航空上、特に重要となつた。



● 明治八年どん
な事から千島・樺
太を交換したか

● 樺原の官幣
大社 樺太神社



第十章 樺太地方

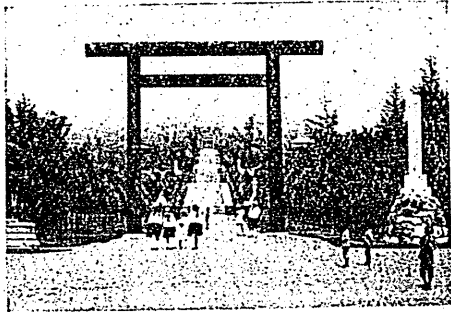
一 概観

明治八年露領と確定してから、ロシアの流人島となつたが、日露戦役の結果南半は再び我が手に歸つた。我が領有當初の人口は僅に一萬餘であつたが二十數年で二十餘倍となり、その發達は、北樺太の寂しさと好い對照で、世界をして我が植民地經營の手腕を激賞せしめてゐる。

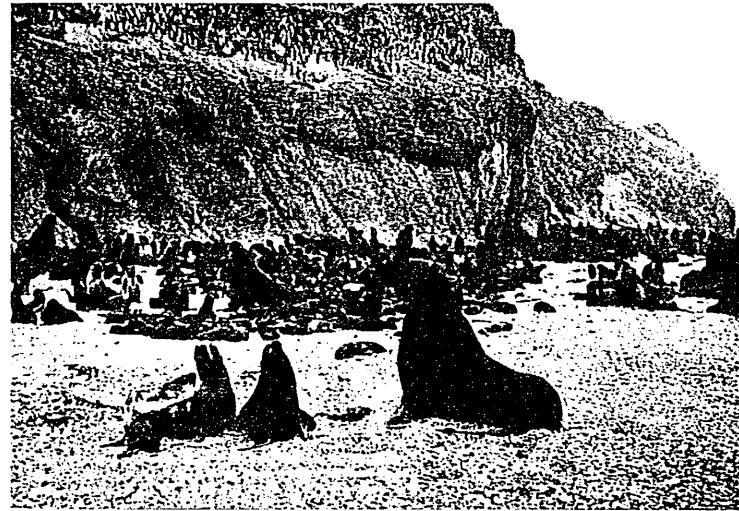
二 地體氣候と關係産業

地形上、西樺太山地、東部山地、中央低地の三区に分れる。

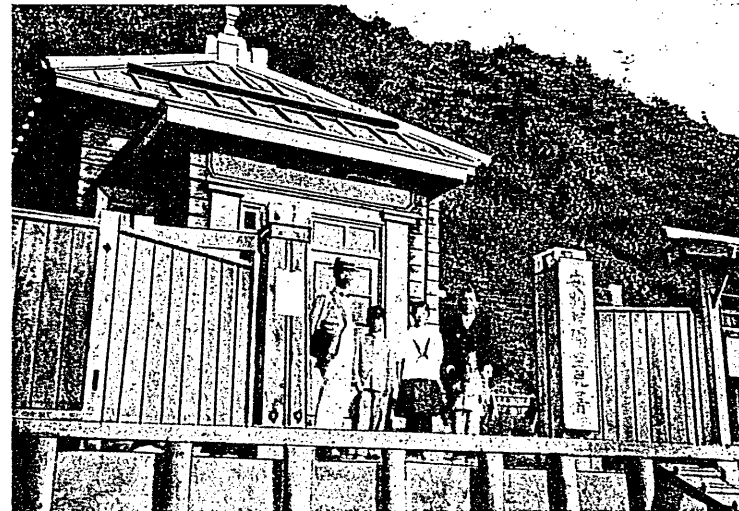
西樺太山地 低い山地で、眞縫地峽によつて、南北の二部に分れ、西



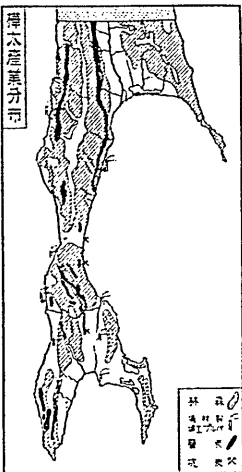
面積 三〇、九〇〇平方千米
人口 三〇、九〇〇人
人口密度 八人



蝕海の米〇〇七、長さ米〇七、幅米三二、高さ米三二、島嶼海 島ンベッロと獸納臘の島嶼海 繁てし陸上が獸納臘の（頭千八萬二數陸上多最年三和昭）頭萬數初月五年毎で地臺へ從を獸化の頭十數は獸壯がい強で獸納臘たつ作を（庭家）ムレーハは圖るす殖るえ見が島ンベッロの萬十數るす存共と獸納臘はに上崖るゐて



安落部の戸十三二るす對にオレビ領露たけ開に下の山境國岸海西太樺 關稅別安るあてり限い存そこ胞同つ立に線一第の邊北るす絶杜通交間年半季冬るあに別



能登呂岬に至つて終る。鵜城山、海馬島を噴出した那須火山脈は、之に沿うて縦走してゐる。主軸の兩側に發達した若い地層の土地には石炭

が多く（概算）川上惠須取で探掘してゐる。

東部山地 北に東樺太山脈、南に鈴谷中知床

二山脈があり、多來加灣の陥没によつて分離

した。鈴谷中知床の二山脈間には、沈降した

富内凹地帯があつて、富内遠淵の二潟湖を湛

へてゐる。

中央低地 東西兩山地間には、北に幌内平野、

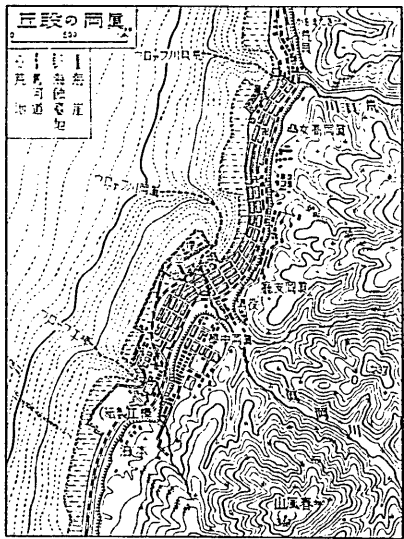
南に内淵鈴谷二川の埋積した通谷がある。



眞岡市街

1. 陸地に幾段の段丘が認められるか
2. 市街はどんな處に發達してゐるか
3. 幾米位の沖まで海蝕臺地があるか
4. 何故海蝕臺地は諸處が切れてゐるか
5. フアロウ（河底と河の關係を見又段丘と併せ考へてこの邊の地形の生成を考へよ
6. フアロウを利用して何を造つてゐるか
7. 眞岡附近の土地はどんなに利用されてゐるか

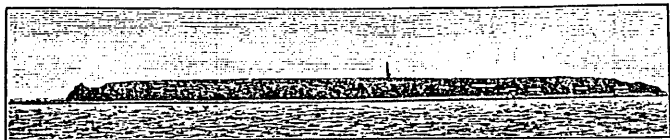
海狗島



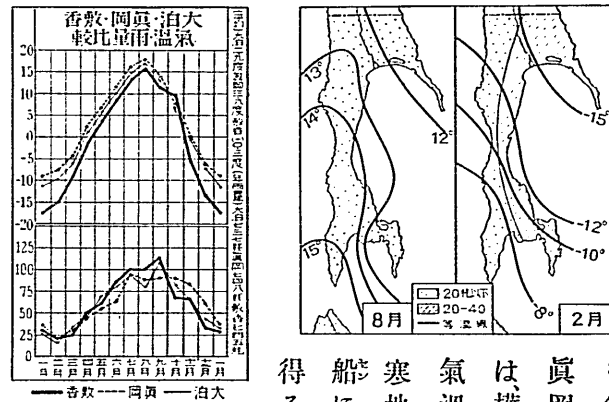
幌内平野は、幌内（アイヌ語）河の埋積したもので、低濕なツンドラをなし、一二米の泥炭層上に蘚苔類が密生してゐる。地下は年中凍結し、盛夏に表面一米許が僅に解ける。ニクブン（ギリアイク）オロツコの少數民族が、こゝに馴鹿を放牧してゐる。

本島の地は、北海道の軀幹部と相應じ、亞庭灣宗谷海峡の陥没で分離したものである。一般に著しい隆起を示し、河岸海岸に、數段の段丘が發達してゐる。海狗島は、隆起した海蝕臺地で、鰐鰐獸の繁殖地である。

氣候 西海岸は、對馬海流が北上するので、國境の安別で

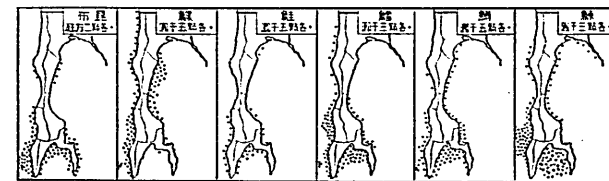


氣候圖



をなし、解氷期になれば、内地漁民の渡來に活氣を呈する、殊に鰯は

も、年平均氣溫一三度で、本斗眞岡は、不凍港である。東岸は、樺太海流が南下するので、氣溫が低く、敷香は、帝國の最寒地、平均で、大泊は、冬期、碎氷船により、辛うじて船を入れ得る。冬、春期は流水、夏季は濃霧に苦しめられる、特に東岸亞庭灣方面が甚しい。



西岸と亞庭灣に、鮭、鱈、鰻、鰺、鰈、昆布は地峽部以南の海に、鰯は東西兩海岸に多い、林業は、水産及び石炭と共に、本島に



樺太の森
上、樺太の森
中、山火下
養狐

三大富源と稱せられ、蝦松、蝦夷松、落葉松、白楊の原生林が、全島の八割を占め、山火に焼けたのも多いが、蓄積量五億石に及んで、パルプ製造に利用され、豊原、眞岡、野田、知取、恵須取等には、製紙、パルプの大工場がある、森林には、毛皮獸が棲み、近年各地で、養狐が盛となつた。



⑤ 米の出来ない
樺太ではどんな農
業を経営すべきか
⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮 㼯 㼰 㼱 㼲 㼳 㼴 㼵 㼶 㼷 㼸 㼹 㼺 㼻 㼼 㼽 㼾 㼿 㽀 㽁 㽂 㽃 㽄 㽅 㽆 㽇 㽈 㽉 㽊 㽋 㽌 㽍 㽎 㽏 㽐 㽑 㽒 㽓 㽔 㽕 㽖 㽗 㽘 㽙 㽚 㽛 㽜 㽝 㽞 㽟 㽠 㽡 㽢 㽣 㽤 㽥 㽦 㽧 㽨 㽩 㽪 㽫 㽬 㽭 㽮 㽯 㽰 㽱 㽲 㽳 㽴 㽵 㽶 㽷 㽸 㽹 㽺 㽻 㽼 㽽 㽾 㽿 㿀 㿁 㿂 㿃 㿄 㿅 㿆 㿇 㿈 㿉 㿊 㿋 㿌 㿍 㿎 㿏 㿐 㿑 㿒 㿓 㿔 㿕 㿖 㿗 㿘 㿙 㿚 㿛 㿜 㿝 㿞 㿟 㿠 㿡 㿢 㿣 㿤 㿥 㿦 㿧 㿨 㿩 㿪 㿫 㿬 㿭 㿮 㿯 㿰 㿱 㿲 㿳 㿴 㿵 㿶 㿷 㿸 㿹 㿺 㿻 㿼 㿽 㿾 㿿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌

図上 大泊の築港棧橋

図下 泊居のバルブ工場

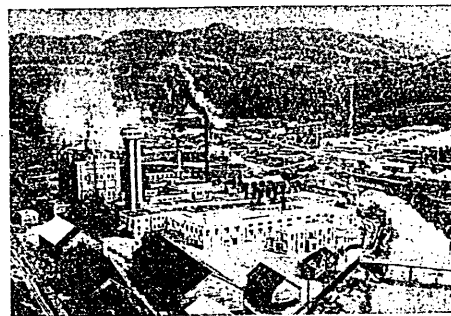
バルブ工場は大泊豊原にもある



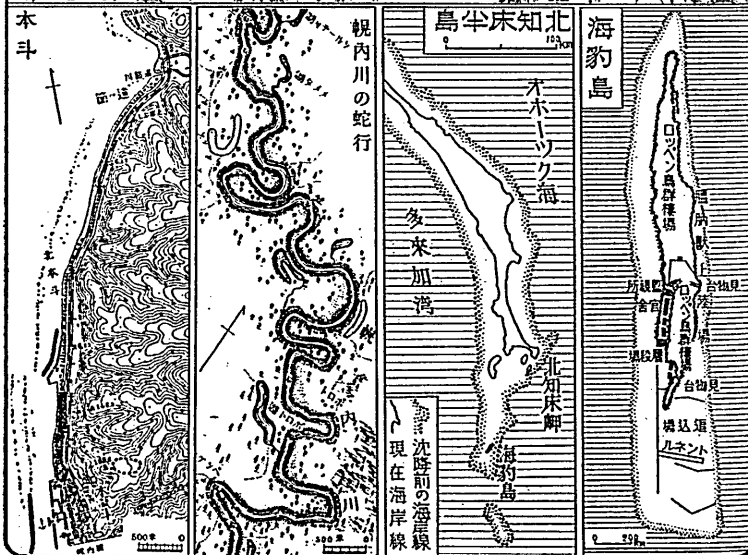
支廳があつて政務を司つてゐる。
聚落 先づ漁業の聚落次ぎにバルブの工業地が起り、漸次北方に新興都市が出来今は人口一萬以上の都市が八個に及んだ。平地の聚落は多くは直交式で大規模である。

南中央低地帯 開港大泊は、本島の南門で、木材水産物を集散し、養狐が行はれる。豊原は、鈴谷平野中央の新市街で、本島文化の中心である。小沼に農事試験場、落合にバルブ工場がある。榮濱は、漁港である。

北中央低地帯 知取は、バルブ工業の新興都市である。敷香は、毛皮、鱈を集散し、新工業都



- 図上 豊原
1. 豊原市街のある鈴谷平野に東西から等高線がせまつて來てゐるのは何故か。
 2. 平野の利用状態はどうか。なぜ耕地がないか。
 3. 豊原の町並にはどんな特色があるか。
- 図下 本斗
1. 海岸には何段の段丘が見えるか。
 2. 海岸から四五百メートル先に岩礁が見えるのは何故か。
 3. 本斗の防波堤は何を利用して造つてあるか。
 4. 海蝕臺地はどうして出来たものか。
 5. 遠方の海蝕臺地が切れてゐるのは何故か。

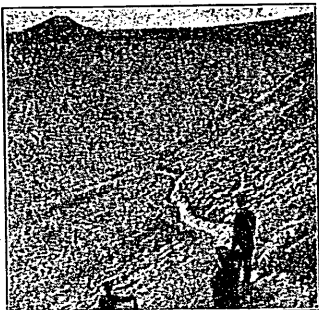


圖解上樺太國境

警官の立つ所が北緯五十度の境界線で前方に見える小半島は丸山であるその頸部に露國警備員駐在所がある

◎ ロシアが北極
太・シベリア間を
埋め立てるとの噂
が屢あつた若し之
が實現したら日本
にどんな影響があ
るか

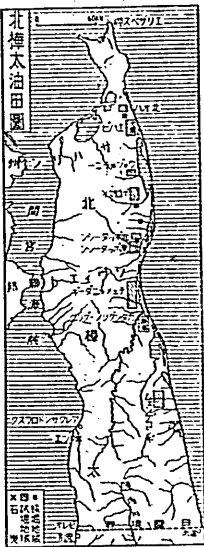
圖解 下才八油田

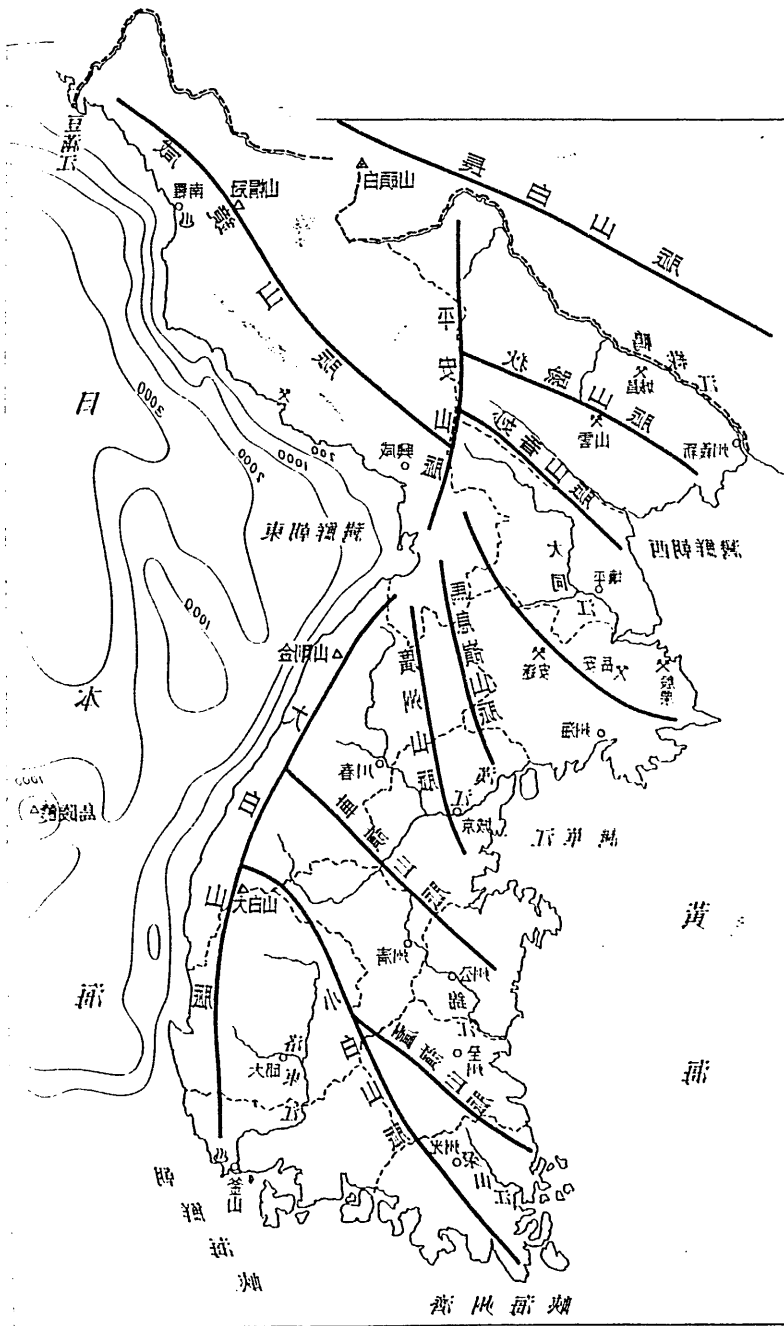
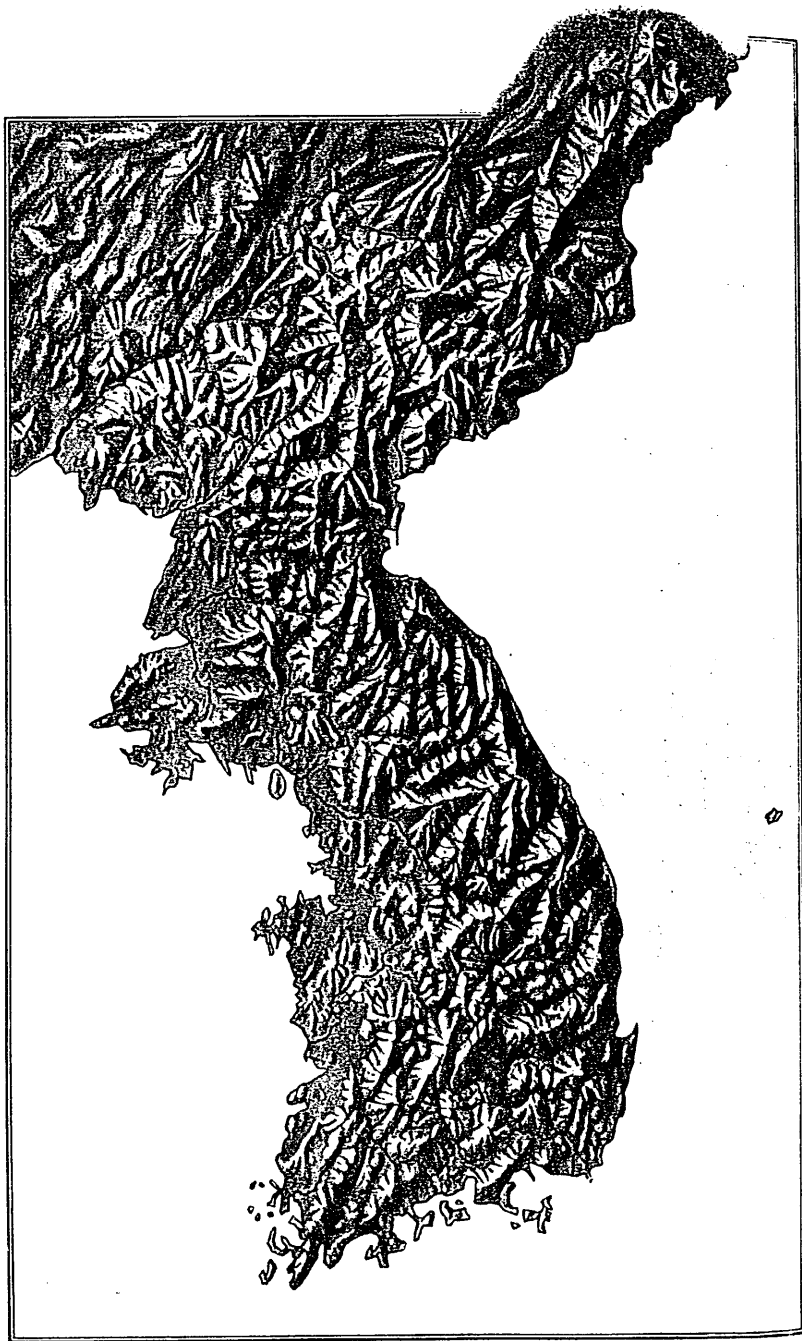


市(ハルブ)として活氣を呈してゐる。
西部海岸地方 惠須取泊居(トウリキ)は炭田を控へた
バルブ工業地である。開港眞岡(マナカ)は漁業の中
心で、バルブ洋紙を産する。本斗(ホト)は水産物の
集散地で築港が完成し、稚斗(サト)連絡船を通じて
ゐる。

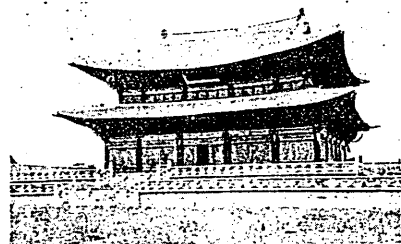
北樺太 キロシヤ 領で、南樺太よりも稍廣く、一層低溫である。人口密度も亦小さい。近海は水産物が多く、陸には、木材、毛皮、獸、石炭、石油の産が多い。

の採掘權が我が國に歸し、一千五百人の邦人が之に従業してゐる。アレクサンドロフスクは其の主邑で、我が領事館があり、オハに其の分館がある。






 京城にある
 舊王城の勤政殿

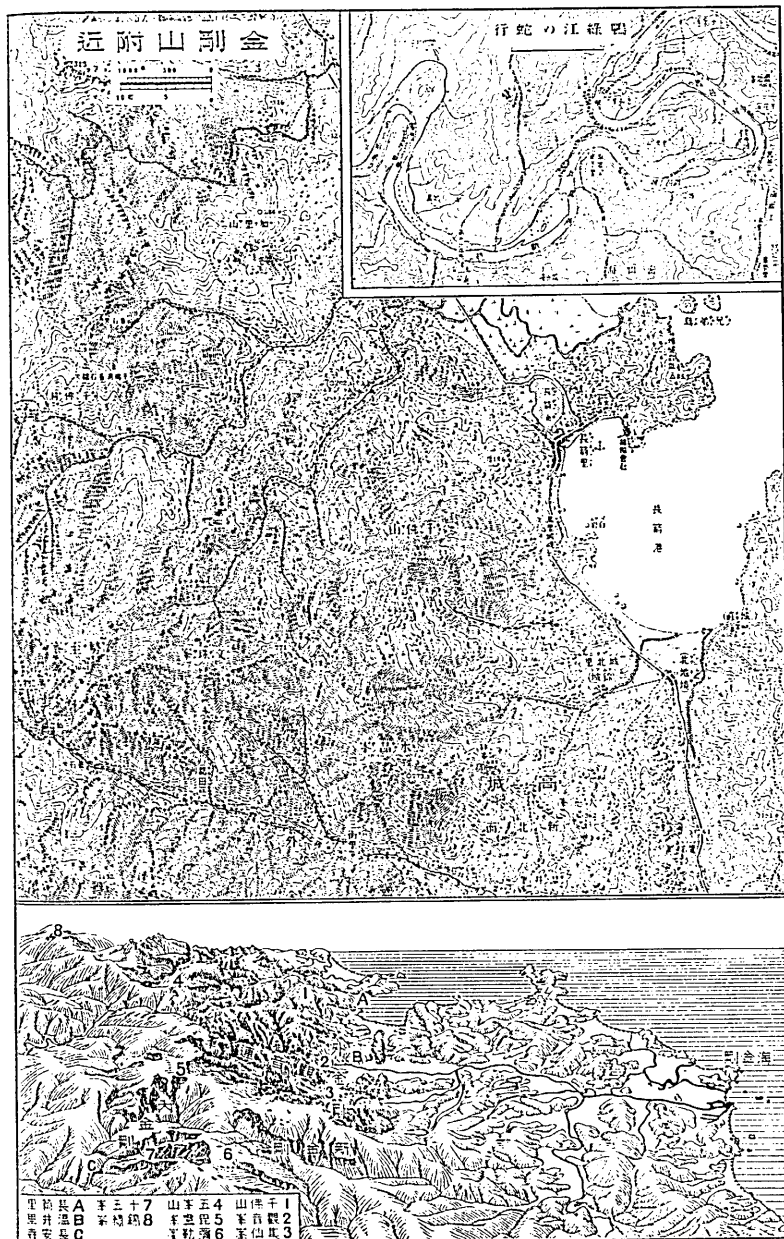


面積 三〇、七二方軒
人口 三、六萬人
人口密度 九五人

日本海・黄海間の大半島で、僅々六十軒の朝鮮海峡を隔てゝ對馬と相望み、神代^{*}の昔から内地と關係が深い。北が大陸諸國に接してゐる爲、常に外交問題が起つてゐたが、遂に

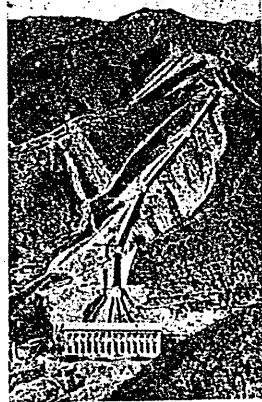
古い地體で、日本海朝鮮海峽、黃海の陥没、沈降によつて出來た。長白、南嶺、兩山系の接合せる地峽部、即ち東朝鮮、澇江、華瀾間に、竹駕嶺地溝があつて、北朝鮮に分れる。又大白、平安兩斷層山脈によつて、表朝鮮裏朝鮮にも分れる。

朝鮮 馬息嶺以北の地で、主軸の平安山脈は、之

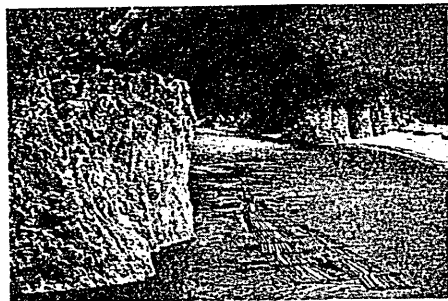


を二分して地文人文の相違を作り、咸鏡山脈と、狄踰妙香二山脈とを兩翼としてゐる。本邦の最長流鴨綠江及び豆滿(圖)江は、此の山脈と長白山脈(滿)との間を蛇行してゐる。國境の白頭山は、火口湖龍王潭(池)を戴いて、兩河の分水嶺となり、蓋馬高臺と共に、廣大な熔岩臺地を作つてゐる。

咸鏡山脈の日



電所 赴戰江發
圖上 鴨綠江の
上流 赴戰江の附
近圖



鐵所 兼二浦の製

本海に逼る所は、壯大な斷層崖をなしてゐる。

東洋一を誇る赴戰江長津江の大發電所は、かゝる高原と斷層崖とを利用して造つたものである。

西部は、平原狀の山地で清川江、大同江が、平壤平野を作り、金産地の昌城、雲山及び遂安、鐵産地の利原、載寧及び殷栗、黑鉛産地の長興は、ここにゐる。寺洞は、煉炭に適する無煙炭を産

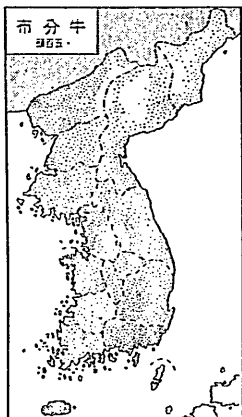
し、徳山の海軍燃料廠に移送する。



又兼二浦には、製鐵業が起つた。森林は、廣い山地(全鮮の七割は森林地)を掩ひ、鐵産と共に、一大富源である。特に鴨綠豆滿の河谷は、紅松、唐檜、落葉松の伐採

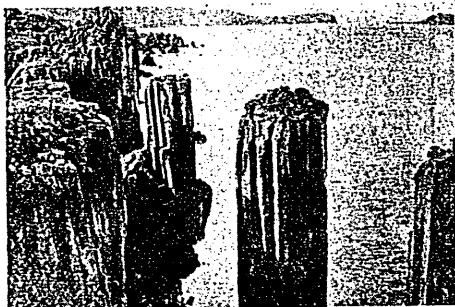


④ 海金剛附近の勝景
金剛山は日本海岸の急斜面を下る激流に侵蝕された花崗岩の勝地で海内、新の四金剛に分れる所謂秀峯一萬二千の壯奇華麗は幾多の巨利傳説と相俟つて全鮮第一の景勝である。圖は海金剛附近岩石亭の絶勝である。



が盛で、新義州に製材・製紙が發達した。原野が廣いので、南鮮と共に、牧牛(每戸十頭乃)が行はれ、内地に、生牛・牛皮を供給する。

南鮮 大白山

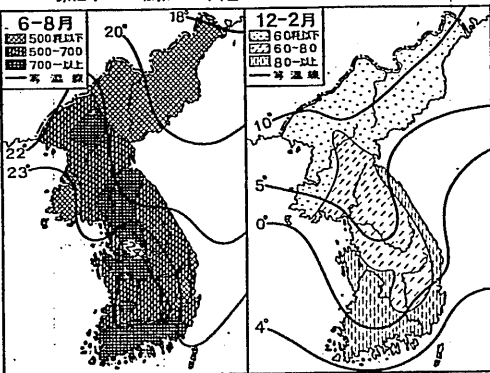
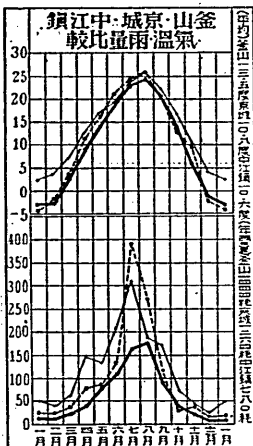


脈は、古い地層の地壘で、大白山・金剛山がある。其の斷層崖を向ける日本海岸には、永興灣・迎日灣の外、出入が少い。鬱陵島(松)、濟州島(漢口、數百)は、陥沒部に噴出したものである。西には、斷層や水蝕て出来た廣州車嶺、蘆嶺、小白等の丘陵性の支脈があつて、其の先端は、沈降して遠淺の多島海となつてゐる。従つて漢江・錦江・洛東江は、下流に、廣い平野を作り、三角江をなし

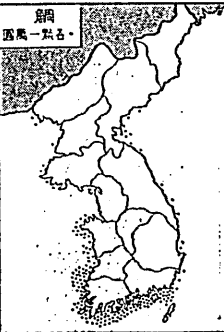
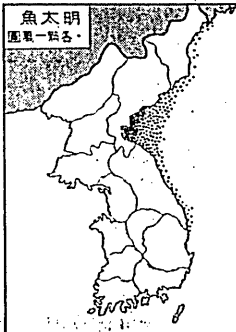
⑤ 何故潮汐干満の差は、朝鮮西海岸に著大で、日本海岸面に少いか

てゐる。

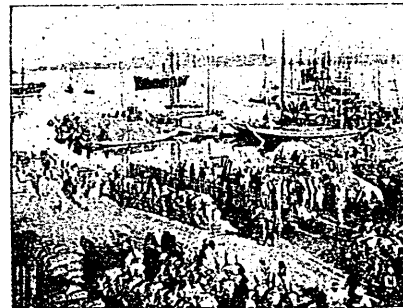
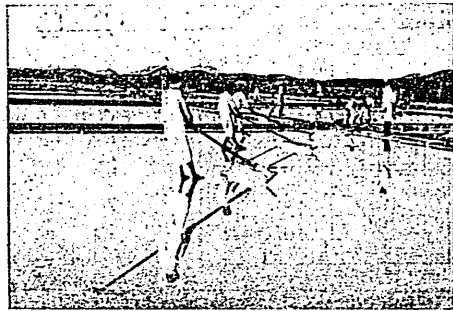
潮汐干満の差は、西海岸が著大で、十米に及ぶが、日本海方面は、三十裡に過ぎない。リマン海流は東の近海を、對馬海流は南及び西の近海を流れ、特に南部は、七八月の頃濃霧が多いが、氣温は、中國



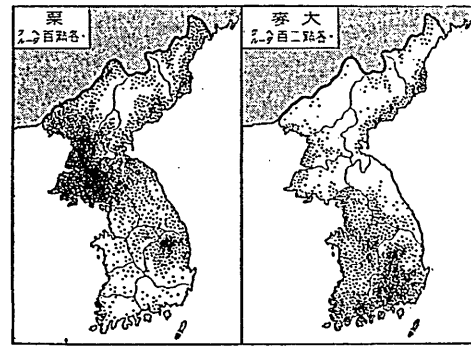
北九州に似て暖い。従つて寒暖二流の水産が豊かで、日本海方面に明太魚・鯨・黄海方



廣梁灣の
天日製鹽
圖上
圖下 群山の米
の積出



面に石首魚(明太魚と共に朝鮮人の好物)朝鮮海峽方面に鯛鱈鯨の漁利があり内地人の出漁する者が多い。北鮮は著しく大陸の影

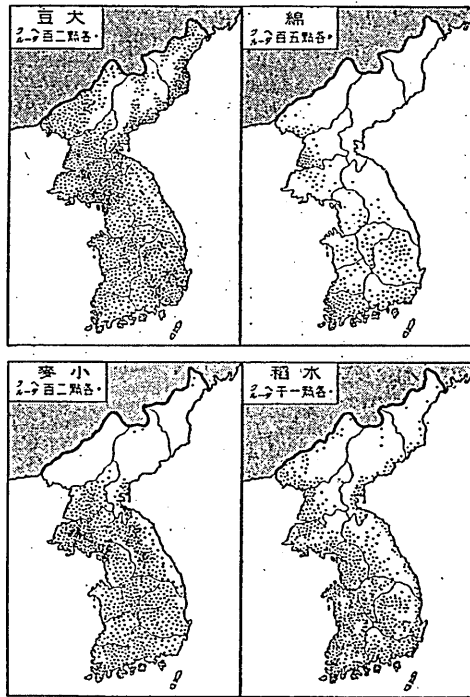


響を受けて、冬季河海は凍結して車馬糧を通ずる。雨量は一般に少い。南東季節風の吹く夏は、東部南部が雨季となるが、北東季節風の吹く冬季は、全半島が乾季となる。

砂防工事
前方のハゲ山に階段状に砂防工事が施されてゐる

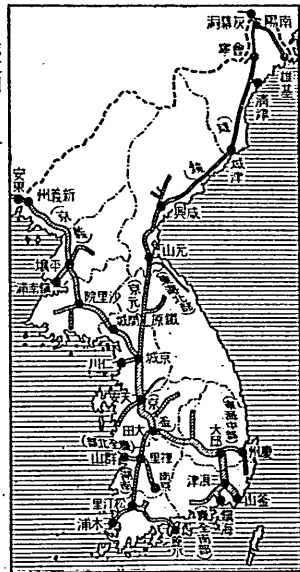


廣梁灣地方に、天日製鹽が行はれるのは此のため、米、綿、大麥、煙草、梨が南鮮に多く、小麥、大豆、粟、甜菜、蘋果が北鮮に多いのも、



亦一は此の氣候の爲である。南鮮に密林のないのは、地質と採暖法(突温)と林政不備との結果で、爲に荒川が多く、屢洪水の害が起る。

温突 石や粘土で固めた床下に數條の煙道を作り紙で床をはつてゐる。

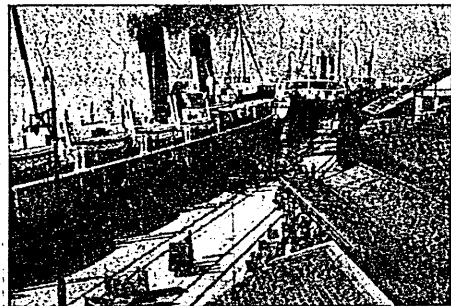


三 交通商業

一日に數度焚口で薪を燃せば煙は各煙道を通り、反對側の煙突から出て其の間に火氣が石や粘土に移り床の上を程よく温める。炊事をまかねるので、兩得の方法である。此の燃料採取の爲、南鮮の森林を荒したが、今は植林が普及した。

交通 近來、道路

が整備し、自動車が從來の轎に代りつつある。鐵道は標準軌道(四呎八)が多く、京釜(京城・釜山)京義(京城・元山)二線が、先づ表朝鮮に通じ、關釜連絡船(龍山・安東)に連つて、世界交通の幹線をなし、竹駕嶺(八時)に連つて、世界交通の幹線をなし、竹駕嶺地溝を利用した京元線(元山)は、咸鏡線(元山)と共に裏朝鮮の開発に貢獻してゐる。其の他、湖南平野の湖南線(大田)裏朝鮮海岸の圖們線



鐵道圖

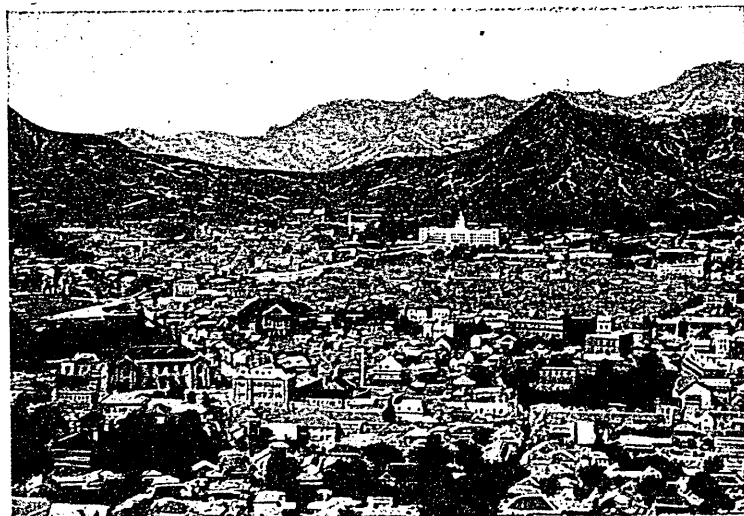
關釜連絡船

圖上 京城驛
圖下 清津港
長春より鐵道全通
した發展が豫想さ
れたが羅津其の他
に地位を奪はれそ
うだ

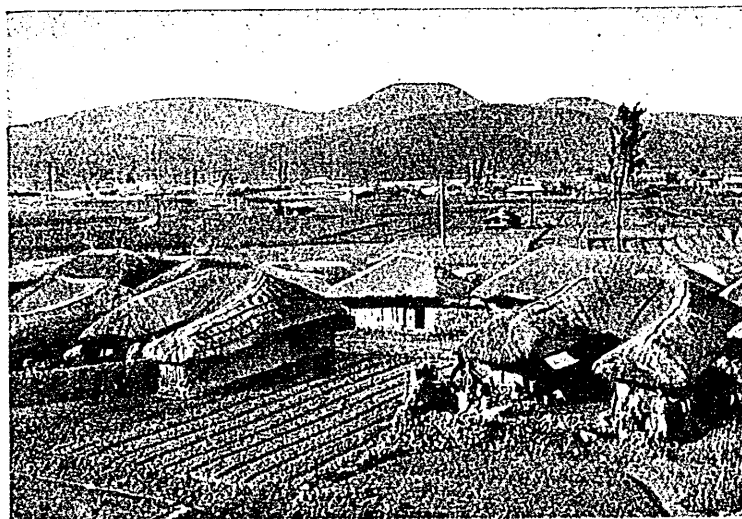
(雄基)東海線(大邱・蔚山・慶州・元山)慶全線(三浪・津浦・全州)がある。豆満江や表朝鮮の河川は、良好な水路で、鴨綠江(中江)大同江漢江は、汽船を通じてゐる。釜山・仁川・雄基・羅津・清津・元山は、内地シベリア・支那への海上交通の要地である。



航空路は、福岡・蔚山・京城(釜山)平壤・新義州を連ねて大連に達する。又新義州から奉天に至るものもある。海底電線は、關釜・開元・山島・根半島間に通じ、無線電信局は、木浦・濟州島・釜山・蔚山(航空)・鎮南浦・清津・京城に、ラヂオ放送局は京城にある。

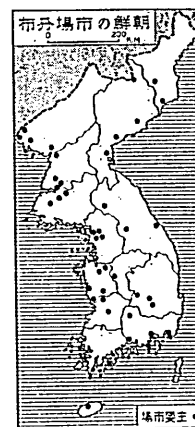


白で岳白つ持を説傳の秘神は峰尖の前の其部一の山漢北はる煙に紫く遠 觀大の城京
るえ見に方左に僅が宮壽徳部一の城皇舊 るあで府督總は物築建るた々堂の麓岳



の藁たしら廻を塀土ラブホなれ衰たれさ落打を枝山なからだないの木 里村の鮮朝
きを物着の青や赤り入見に車汽が人鮮の衣白たしを管煙へはくほに下軒 家の葺草な様
るあで村農な和平の近附原水は闊 るあでん遊が供子いしら愛な

朝鮮族
古い定住民で内地との關係が深い内地人・滿洲人に似てゐる内地語に似た文法を用ひ幼時は下げ髪を結ぶ一般に白衣を着男子は外出する時馬毛で作つた笠子を戴く近年内地化して米を主食し大麥・粟・燕麥・小豆を加へる市街地以外の



浦群山新義州龍巖浦木浦元山城津清津雄基開市場に京城平壤大邱がある。

四 住民政治聚落

住民 大部は朝鮮族で、五十萬の内地人、五萬の支那人を加へて總數二千百萬に達する。

政治 總督は、京城



商業 大都市以外では、常設の商店が少くて、所々に、定期市が開かれる。取引は、内地相手が主で、滿支米英が之に次ぐ。貿易港に釜山仁川鎮南

朝鮮總督府

三人

A black and white photograph of the New Mexico State Capitol building. The building is a large, neoclassical structure with a prominent central dome and multiple wings. It is situated in front of a mountain range. The foreground shows a paved area and some landscaping.

三南地方は

慶尚南道

絲·綢·布·雜貨

て米・水産

慶尙北道

一九

書求

九・三

其

愛人館

にゐて政務を統轄し、地方を十三道に分けて知事を置く。道の下に府郡（其の下は司馬）がある。朝鮮軍司令官は軍事を統べてゐる。

聚落 人口の密度は南鮮表鮮が大で、北鮮裏鮮が小である。従つて聚落は南部と西海岸とに多い。人口の七割七分が農民であるから、商工都市が少く、都市は概ね農産物の小集散市場である。従來の城郭都市は、その發展につれて、多く城郭を取り去られた。

南鮮 慶尙忠清全羅の六道即ち

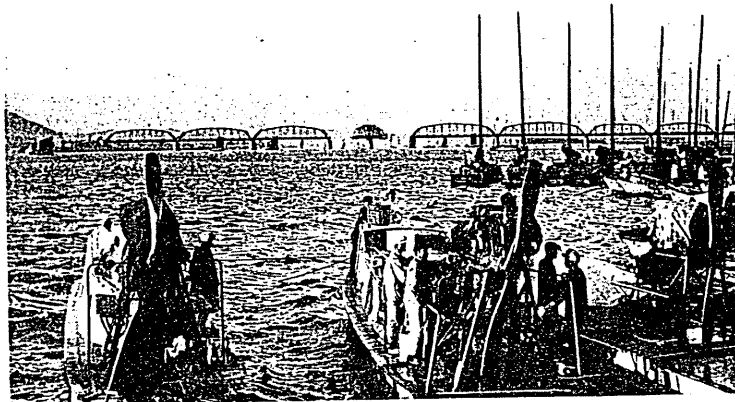
諺
△ホシロロ△

南
鮮

諺
△オ
レ
ロ
ト
レ

A black and white photograph showing a vintage car, possibly a Ford Model T, driving on a dirt road. The car is positioned in the lower right quadrant of the frame, moving towards the left. The road is unpaved and appears to be a dirt or gravel path. To the left of the road is a large, open field with a textured surface, possibly a field of low-lying plants or a recently plowed area. In the background, a dense line of trees and foliage stretches across the horizon, creating a dark, wooded backdrop. The overall scene suggests a rural or semi-rural setting from the early 20th century.

接密來古 み臨相河山出て臨を峽海鮮朝の水を帯び衣一糸はと鮮朝と地内 山頭牛の川春
すさを鮮朝び及地内 は原海たれらめ治の尊鳴爰素るふ傳に史古が我 たつあが係關な
尸々竹り渡に羅新は尊鳴爰素に史古が我 るゐてれば言とたつあで邦同は鮮内 での
るゐてれらへ傳とるあで地震のこは山頭牛の岡 がるあてい書とたれら居に利・茂・



〇〇七路水航可 杆〇九七に賀長流は江縁鴨るれ流てせ乗を説傳・話史の多幾 江縁鴨
米四四九長延のそで橋鐵な名有はのるえ見に央中の圖 るあで流長の一第國が我 杆
側鮮朝連二十桁橋 るあでのたし成完てし費をと子日の年ケ二と費工の圓萬十四百二
るす橋開間時一回毎回三日一てしと式閉開を目連九てへ敷りよ

(光州)
面積 三、六方軒
人口 三三萬人
密度 二、八人

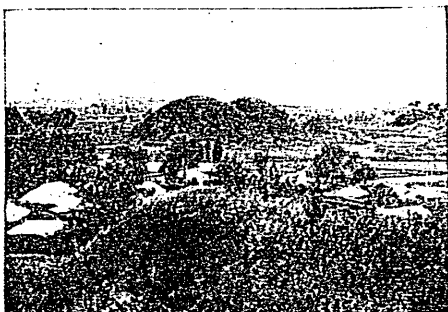
慶州の古
墳群

(全州)
面積 八、五方軒
人口 二五萬人
密度 一、八人

慶水港

どんな農産があるか

(大田)
面積 八、四万軒
人口 二五萬人
密度 一、七人



全羅・南道 米綿(米國種)の大産地たる榮山江の流域があ
つて農業經營の内地人が多い。
木浦府は米水産物の積出港で、新に製綿精米
が興つた。光州は農産の中心市場で、麗水は、
下關に連絡船を通じて
る。濟州島は、牧牛が
盛で、水産の利も多い。
全羅北道 全州、裡里は、
湖南平野の中心で、群山
府は、米の積出港である。
忠清・南道 扶餘は百濟の舊都、大田(内地人)は
交通の要地である。成歡は、美味の聞え高い
西瓜を産し、戦史に著れる。



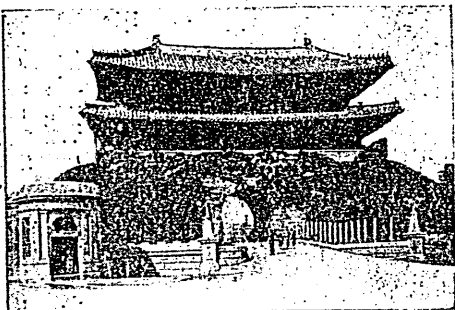
(清州)
面積 七、四万軒
人口 二五萬人
密度 一、三三

(京城府)
面積 三、八七方軒
人口 三六萬人
密度 一、六人

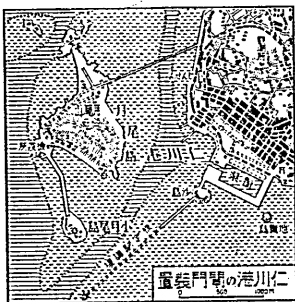
京城の南
大門

人蔘の栽培

(春川)
面積 三、五方軒
人口 一四萬人
密度 一、七人



府は、高麗の舊都で、人
蔘の特産がある。
江原道 春川には、素
戔鳴尊の遺蹟と言は



忠清・北道 清州は、風光明媚の勝地で知られ
忠州は米煙草の集産地である。
京畿道 水原は、農事試験場の所在地である。
京城府は、全半島の政治學術經濟軍事(龍山に第
部司令)交通の中心である。
仁川府は、京城の外港で、
對支取引が多い。開城

(海州)
面積 一六七五方軒
人口 一五萬人
密度 九人

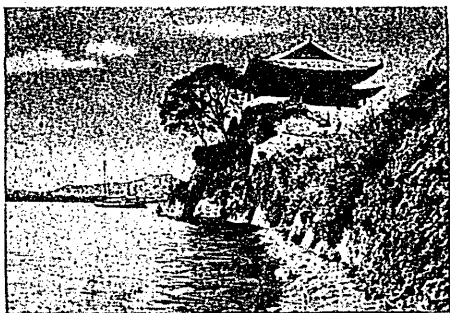
(平壤府)
面積 一四〇五方軒
人口 一三萬人
密度 九人

(新義州)
面積 一四〇五方軒
人口 一三萬人
密度 九人

(咸興府)
面積 一四〇五方軒
人口 一三萬人
密度 九人

(咸興府)
面積 一四〇五方軒
人口 一三萬人
密度 九人

れる牛頭山がある。長笛は、漁港である。
北鮮 黃海道 鐵の戰車、殷栗安岳、金の迷安
等、鑛産地が多く、兼二浦に、製鐵所がある。
平安南道 寺洞は炭坑地、古都平壤府は工業
市(兵器砂糖造)、鎮南浦府は鐵石炭の積出港、廣梁
灣は、溺谷に發達した天日製鹽地である。
平安北道 山地は、金産が多い。鴨綠江の上



流は森林が廣く、
下流の新義州府
は木材バルブ、燐寸軸木の製造が盛で
ある。龍巖浦は、木材を集散し、上流の
中江鎮は、流筏の起點である。
咸鏡南道 元山府は、裏鮮第一の開港



新義州

國境の摩擦面にある
咸興府は、農産物(米、大豆、牛)の新
興市場である。城川江の上流には、赴戰
江の水を引いた大發電所があつて、興南
に、大窒素肥料工場を起してゐる。

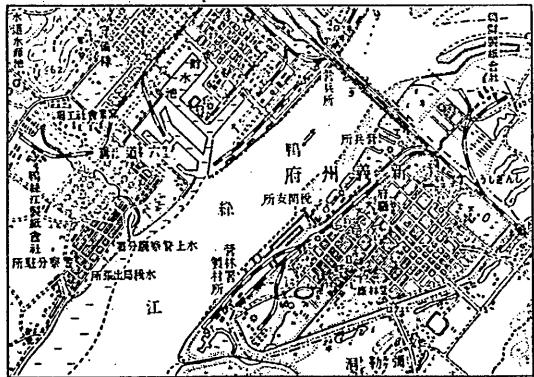
咸鏡北道 新京からの鐵道が開通した
爲、日滿交通の要衝地となり、羅津・清津府
城津・雄基は競争の地位にある。羅南盆

(羅南府)
面積 一四〇五方軒
人口 一三萬人
密度 九人

(咸興府)
面積 一四〇五方軒
人口 一三萬人
密度 九人



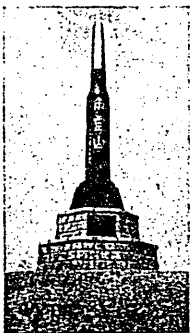
地は、第十九師團司令部のある最新式
放射形都市で、會寧は、間島に對
する國境の要地である。



第十二章 關東州地方

面積 三〇〇〇平方千米
人口 九六萬人
人口密度 三二六人

一 概観



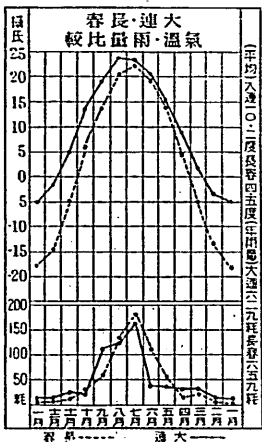
關東州忠魂碑
關東州忠魂碑

我が國は日清媾和後三國干渉の爲遼東半島全部を還附した。然るにロシアは其の南西端を租借して極東活躍の根據地とした。我が國は日露戰役によつて其の租借權を受けつぎ大正四年更に租借期限を一九九七年まで延ばした。此の地は渤海灣の喉元に當り滿洲國の關門で我が大陸進展の生長尖端として重要である。北隣に中立地帯がある。

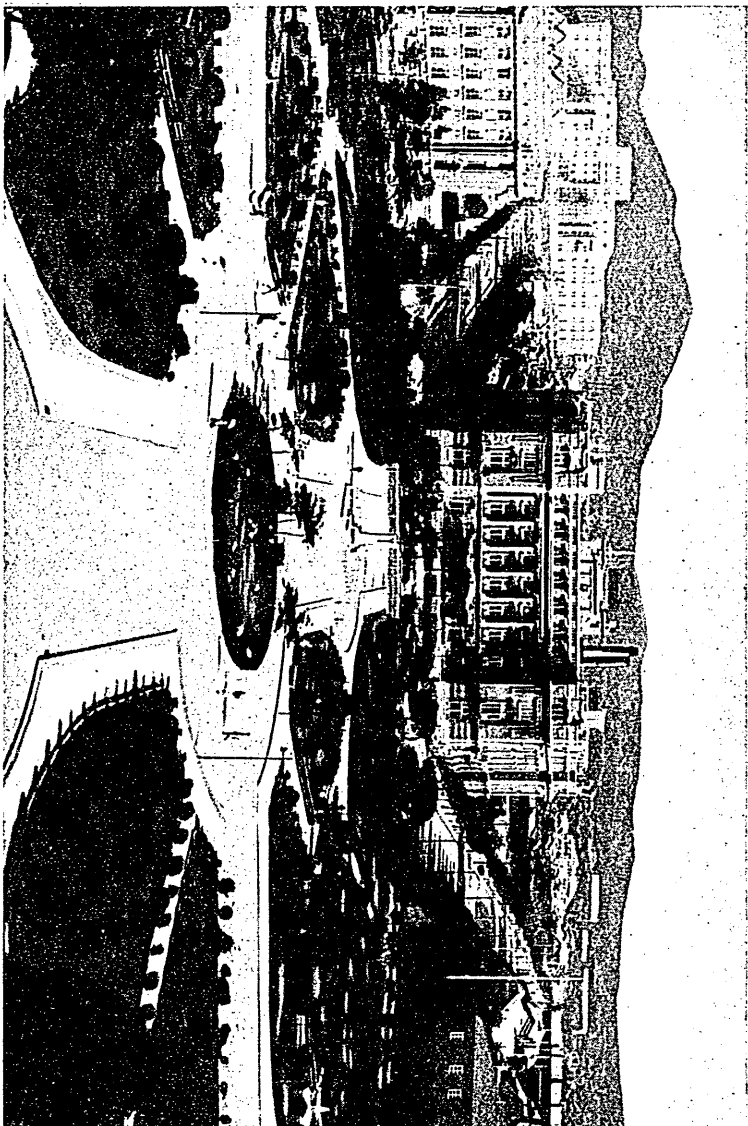
關東州は海を環らしてゐるにかかはらず何故寒暑の差が甚しいか

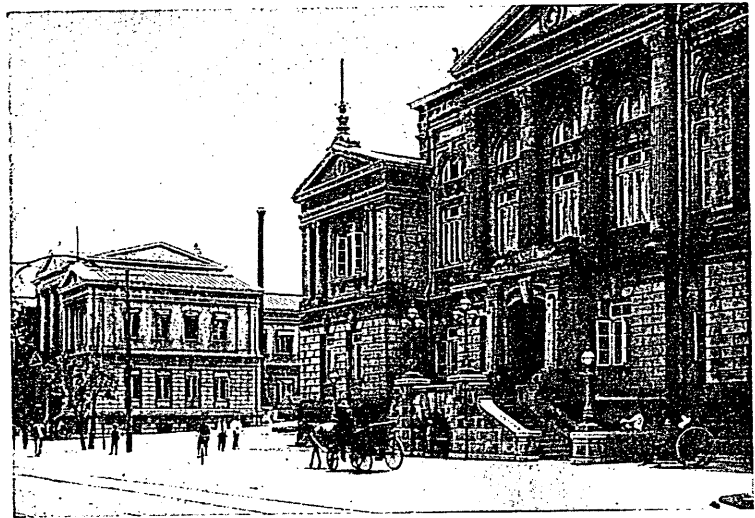
二 地體氣候と關係産業

丘陵性の滿洲本幹山脈の餘脈が連り、金州・大連・二灣の陷沒によつて金州地峽を生じ、割合に、海岸線が長い。氣候は大陸の影響を受けて寒暑の

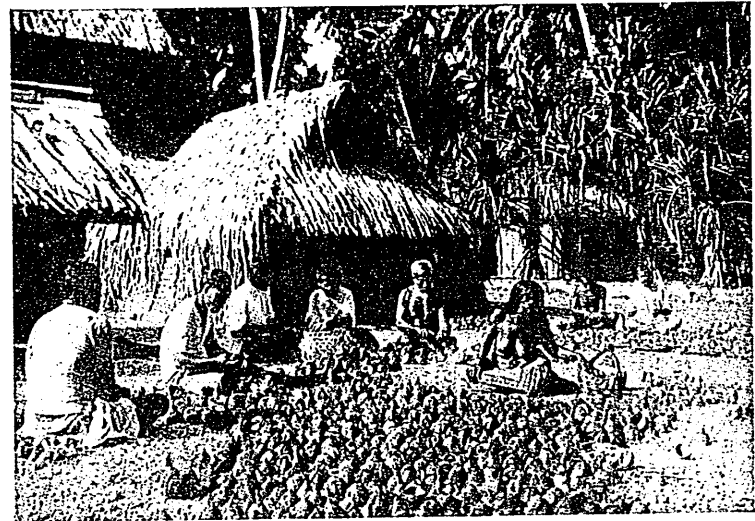


大連市大連場 大連埠頭に上陸するものは先づ其の依拠に務められる 特に大連場の美観は流石に我が大陸への旺盛な生長尖端にある都市となつてゐる 正面は大連埠頭、左端は市役所の一部 其の後方遠くに見える大連病院である





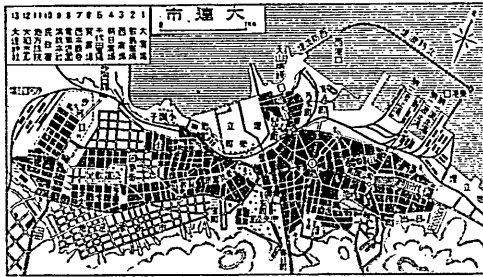
たれらせ立設て以を圓萬千四億四金本資年八十三治明は社會式株道鐵洲滿南 社本鐵滿
後發勃作事洲滿年七和昭がため極を損不も業事は頃たあてみ試を日排にりきしが良學張
圖 たつなと社會大の圓億八金本資躍一 でのたし行斷を資増てし返り盛を力勢に頓は
るあに京東は社支で様有の社本るあに連大は



材のどな一タバや鹼石てついとラブコはらか實果は子椰ココ 造製ラブコの島トールヤ
はで業れらが資重に等柱床は幹に具用除掃は維織の皮外に器容の常日は殻外れらとが料
る作を等子帽・籠き茸を根屋

國圖 雙島灣の鹽
の山

國圖 大連市
1.どんな所が放射
形の中心になつて
ゐるか
2.放射形の街路は
どんな姿がある



差が甚しく冬季は、概ね港灣が凍る。雨量は
七八九の三月間のみが稍多い。
支那人は、よく土地を耕して、大豆・高粱・玉蜀黍
を産する。都市附近は蔬
菜栽培、丘陵は養蠶が發達
して來た。漁業は、黄海渤
海の二區に分れ、魚介の利
が多い。強風と少雨との
爲、天日製鹽（龍子島普蘭）が盛
に行はれる。

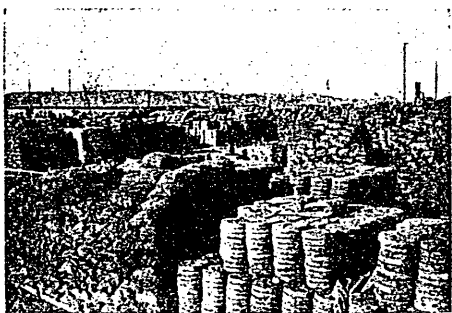
三 交通・工業・商業

大連は滿洲交通の要地、連京線（大連奉天新京奉）の起點で、航
路も、放射狀に内地、朝鮮、支那本部に通じてゐる。



圖上 大連埠頭の大豆・豆粕の山
自由港とは何か

圖下 旅順工科大学



豆油豆粕の製造が盛大で、内陸出荷の大豆豆粕・豆油・石炭・小豆と共に輸出する。又硝子・煉瓦・セメント(周本)綿絲(州金)を産出して、輸入の綿布・煙草・機械・金屬製品と共に、内陸に供給する。中繼貿易が多いから、自由港制が布かれ、營口を壓倒して、滿洲商圏の中心となった。

があり、大連には、ラチオ放送局がある。

内地から朝鮮を経て来る空路

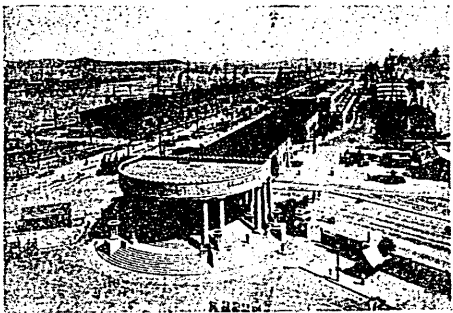
四 住民政治聚落

帝國の統治以來、支那禍亂の外に立つて、滿支に對する文明の放電塔となつたから、漢族の



圖 大連の埠頭

旅順が軍港として、最好條件を備へてゐるといはれるのは何故か



來住が相次ぎ、人口は、百萬(内地人十二萬)に近づいた。

旅順に關東廳があつて、その下に、五民政署(大連旅順金州)がある。又旅順に、關東軍司令部(東郷子高善閣店)がある。軍司令官關東廳長官(駐滿全權大使が兼任)がある。海面は關東州海軍區(佐世保鎮守府所管)に屬し、旅順に要港部がある。

聚落 大連市は、露國が建設し、日本が完成した新式都市で、南滿洲鐵道株式會社がある西

郊に、滿鐵の大工場があり、沙河口の工業聚落が發達、

した。旅順市は、二〇三高地等の丘陵に圍まれた要害地で、日清日露兩役に、我が軍の奮戦した所である。東港は海軍の要港、西港は大連の補充貿易港で、關東廳高等法院工科大學がある。



● 我が南洋諸島の面積は内地のどの府縣位か

● 我が南洋諸島の東西南北は各幾何位あるか又東端と西端と日本列島の經度とを比較せよ

● 南洋羣

第十三章 南洋諸島地方

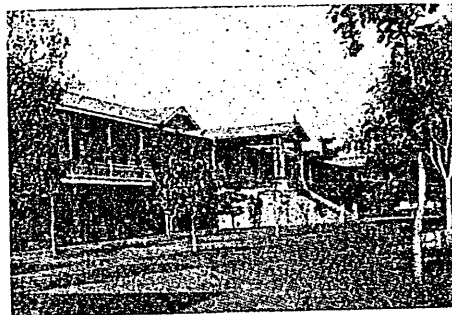
面積三、四萬平方
人口七、六萬人 人口密度 三人

一 概観

元のドイツ領ミクロネシア（小島）の大部で赤道以北の太平洋上に散在し、千五百有餘の小島から成り、世界大戰の結果我が國の委任統治地となつた。南洋廳設置（大正十）後十年にして財政は獨立し、土民の教化も著しい。軍備施設を禁ぜられ、大富源も望まれないが太平洋問題の喧しい今日我が國の南方に於ける成長尖端として極めて大切である。

二 地體氣候と關係産業

地體 マリアナ・ヤップ・パラオの弧狀列島は、マリアナ扇狀海先端の海中山脈が、海上に現れた部分と、之を基盤とした火山島及び珊瑚島とで、其の外側に、マリアナ海溝（深さ六、四米のネ）が

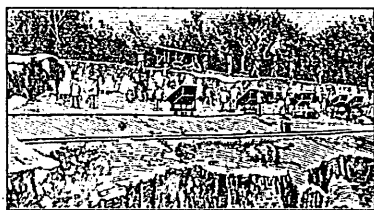
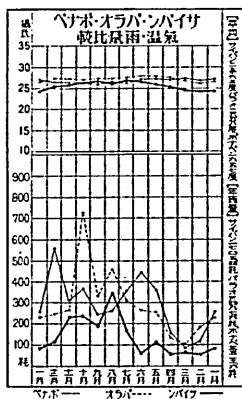


ある。カロリン諸島の大部及びマーシャル諸島は、オーストラリア大陸を中心とした弧狀列（圖參照）の一で、その背面に發達した火山及び珊瑚礁から成る。火山島は高島、珊瑚島は低島をなしてゐる。

氣候 熱帶海洋性氣候で、北東貿易風帶にあるのと、毎日の驟雨との爲凌ぎ易い。

四季の變化がなく（年中云）殆ど晝夜の長短もない。

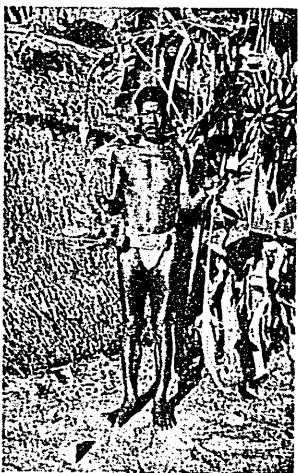
産業 土地の瘠せた小島で、殆ど著しい産物がない。各地に、ココ椰子を栽培し、近年サイパン島地



● 下掲氣溫雨量圖に郷土の氣溫を書き入れその差異の起る理由を述べよ

● 土人集會所 下 アンガウル島の機織採取

南洋の土人 海岸島嶼種族に属し、パンの木の實、タロ芋を常食し、従順で椰子の葉蔭に舞踏、雑談、午睡にふける者が多い。カナカ族は五萬人以下で、未開である。チモロ族はカナカ族と白人との混血種といはれ、舊教を信じて開化し、マリアナ諸島に住み、洋装をする。スベイン領時代に減少して、今は三人居る。圖はカナカ族で、右手に椰子、左手に大トカゲを持つてゐる。



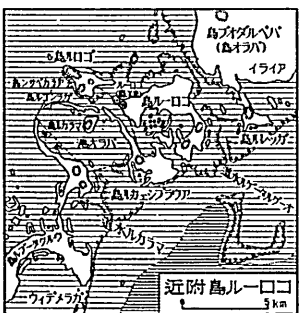
方で、沖繩よりの移民が甘蔗を栽培してゐる。従つてコブラ、砂糖が主産物である。水産に少量の貝殻（ボタン）海參がある。アンガウル島の燐礦は唯一の礦産である。

三 交通・貿易・住民政治

交通・貿易 サイパン・パラオ・ヤップ・ヤルト・アンガウルは、開港で、我が定期航路船は横濱とこれ等諸港との間を連れ、取引も、横濱との間に行はれる。

住民 土人は、カナカ・チモロの二族に分れ、その数が五萬ある。内地人は、二萬六千人に及び、沖繩縣よりの移民が多い。

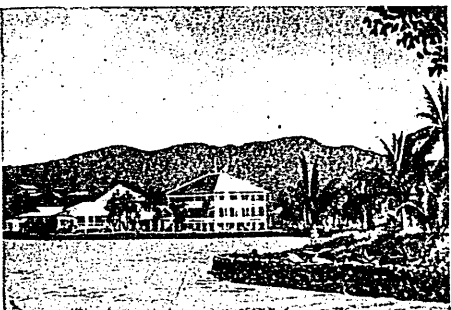
政治 コロール島に南洋廳を置き、管下をサ



圖上 ヤップ島

古い岩石の遺跡、島で高島である。圖は無線電信所の景で、日（ヤップ・琉球・米）（ヤップ・メナム）の海底電線が集まつてゐる。
面積 五萬方呎
人口 二萬人

圖下 パラオ島 若者の踊



イバン・パラオ・ヤップ・トラック・ボナベ・ヤルトの六支應に分けて統治してゐる。

四 處誌

マリアナ諸島 北部は火山島（活火山）がある。サイパン島以南は珊瑚島で、甘蔗の栽培が行はれる。グアム島 米領で、海底電線の一中心をなし、米國海軍の要港である。

パラオ諸島 火山岩と隆起珊瑚礁と

から成り、コロール島は好錨地である。アンガウル島（高米）は、層厚三米乃至六米の燐礦を有する。チニアン島は、砂糖が有望である。



圖下 ヤップ島の石貨 上 ヤールの礁湖の南にある環礁の一部で長さ三軒幅迄米低島(好例である)

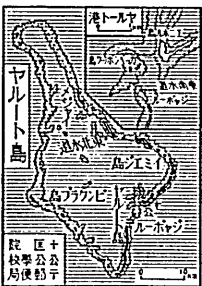


カロリン諸島 ヤップ島は遺跡島で、海底電信の要地に當り、土人は、今も

石貨・貝貨を用ひる。トラック島は、七曜四季の二諸島から成り、ボナベクサイエの二島と共に、水蝕を受けた玄武岩



地で、周圍に堡礁がある。
マーシャル諸島 二列の低平な珊瑚島で、其の礁湖は、大船を入れることが出来る。ヤールト島に、ジャボールの樂園がある。



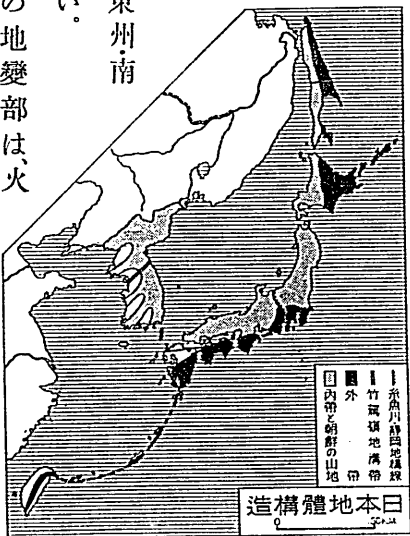
第三編 總括

第一章 自然地理

第一節 地形

山脈・地體構造 日本列島は、アジア大陸の東邊に、弧狀を呈する一大褶曲山系である。中央構造線(長崎三角地、吉野、紀伊、豊後、別府、谷)によつて内帶・外帶に、富士火山脈を境として北彎・南彎に分れる。

朝鮮半島は、殆ど高原性で、關東南洋諸島には、著しい山脈がない。火山脈 山脈の脊部、其の他の地變部は、火

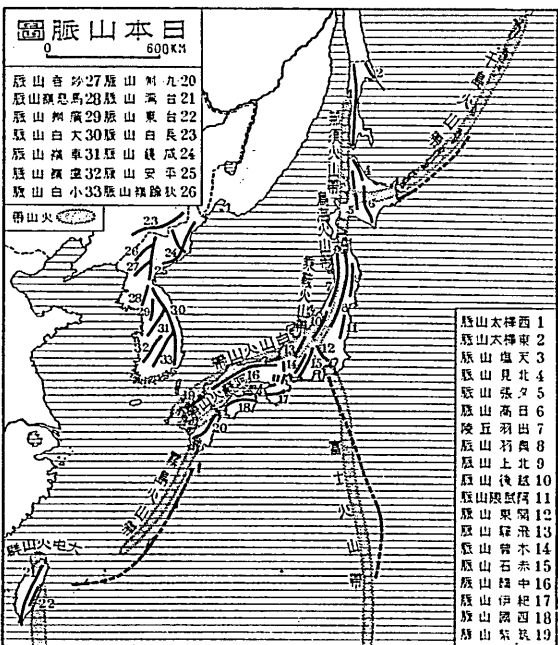


山脈を伴ひて、火山の數、二百を算し、其の内の四十餘は、現に活動してゐる。

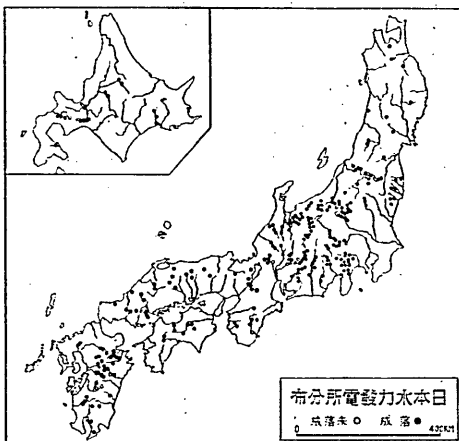


溫泉 概ね火
山脈に
湧出し
て、單純
泉と鑛
泉とに
分れ、其
はれた。

千島松輪島
の火山芙蓉岩



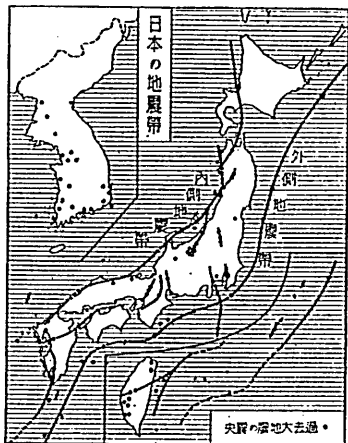
湖の種類をあげよ



地震 土地の構造が複雑であるから、地震が多く（古来大地震三百十餘回）、特に内外兩地震帶の斷層地震は、被害が大きい。河川 地形の關係上、概して短く且

つ急
流で、
水運
の便が少く、水害を來す憂があるが、
灌漑發電に利用せられる。朝鮮半
島の河川は、稍大きく且つ流れが緩
やかで、水運の便がある。

湖沼 其の種類及び數が多く、大抵
は、淡水の小湖である。近年、各方面



④ 我が國の湖沼はどんなに利用されてゐるか其の例をあげよ

に利用されて來た。

平地 山地が多くて、平地は、河岸海岸にのみ存し、又山間に盆地が多い。平地盆地の小さい結果として、農業形態も小規模である。

海岸線 海岸線はよく發達して、良港灣に富んでゐる。特に九州が著しい。

屬島 列島の驅幹たる六大島以外に、離島(佐渡、對馬、列島(千島、伊豆、小笠原、南琉球、マリア)群島(瀬戸内海、九州、北西)がある。

第二節 海洋

近海 太平洋方面は深く、殊に日本海溝は、世界の海溝中で最も廣く、最深點が九四三五米に及ぶ。尚マリアナ・パラオ・琉球の海溝などがある。縁海は、扇狀を呈し、日本海オホーツク



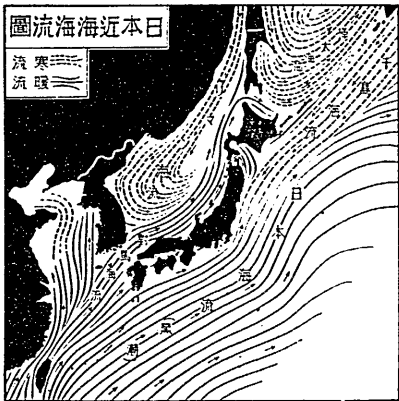
海は、割合に深く、三千米以上の深所もあるが、黄海東支那海は、大部が百米以下、瀬戸内海は、大部が五十米以下である。

海流 暖流に日本對馬の二海流、寒流に千島樺太リマンの三海流がある。これ等は我が國の氣溫雨量に影響し、且つ水産業を發達せしめてゐる。

潮汐 潮汐干満の差は、黄

海岸(仁川、附)有明海岸(三池、太平洋岸に多く、日本海岸(佐賀)は、著しく少い。

潮流 海峡では、潮汐が進退する毎に、急激な潮流が起つて、航海を妨げる。鳴門(時速)下關、來島三海峡は特に著しい。



⑤ 潮汐干満の差が仁川・有明海に大きいのは何故か

第三節 氣候

◎各氣候式の特
色をあげよ

臺灣式(亞熱)
表日本式裏日本式
戸内海式(大陸)
朝鮮式(大陸)
裏南洋式(熱帶海)

れる。

氣温 大陸の

影響を受けて、

島國の割合には、氣温の變化が多い。琉球小笠原は年平均

二十度を超えるが、樺太北東部では零度以下である。

風 季節風は、夏は太平洋冬は大陸より来る。其の交替期

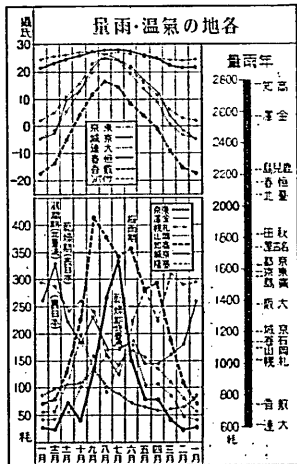
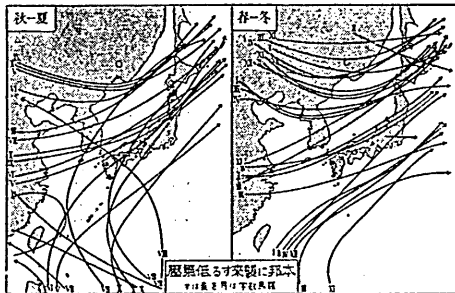
(九月)には、低氣壓が襲来して旋風が起る。二百十日前後

の颱風は、主に南洋より来る旋風で、農家や漁業家が最も警

戒する。

濃霧 寒暖二海流上の空氣が接觸すると、濃霧が起り、航

海を妨げる。北海道の太平洋岸は、之が最も著しい。



◎旋風地帯と火
山地帯とでなく
は文明國は起ら
ないといふ人がある
何故か

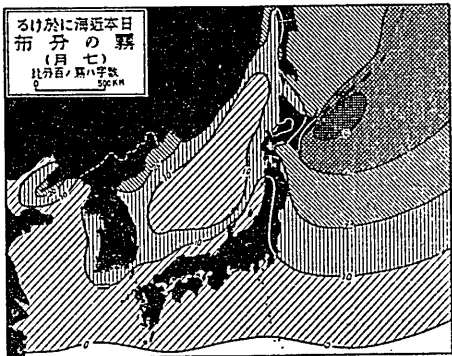
雨量 一般に多く、緯度の關係上、臺灣(火地帯)南洋は
多雨で、樺太北朝鮮關東州(底地帯)は少雨である。又風
向山脈の關係で、本州四國九州の南岸朝鮮の南部は、
夏に雨が多く、本州の日本海岸は、冬に雨雪が多い。
東北地方以南では、初夏一ヶ月間梅雨がある。

第四節 生物

氣候が多様であるから、生物の種類が甚
だ多い。

植物 臺灣琉球小笠原には、熱帶植物(榕樹、林投樹、
が生え、臺灣山地、薩南諸島九州四國本州南部、朝鮮

北海道本島の南半、朝鮮の山地には、落葉闊葉樹



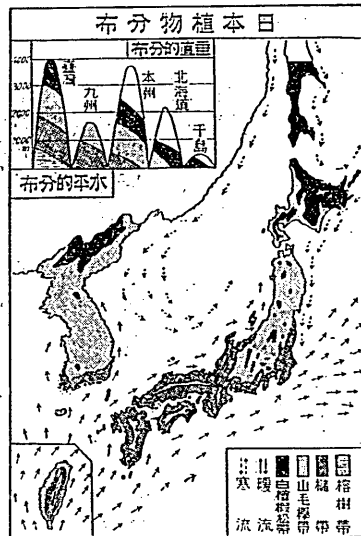
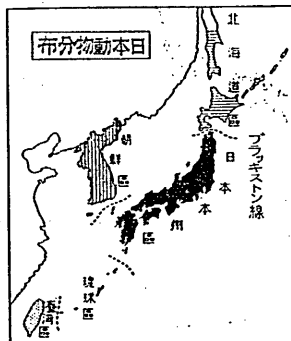
には、落葉樹(槲)針葉樹(赤松)が多い。
(槲)針葉樹(杉)の混合林がある。

動物 溫帶性動物が多く、本州西部の鯨小笠原諸島の海龜、沖
繩諸島のハブ、臺灣の水牛、北海道本島の羅樺太の臘腸獸、朝鮮
の虎、獐は、各その地方の特有動物である。



◎臺北市の杭
物岡にある林投樹

國華



名稱	區	域	代表的植物
熱帶林 (榕樹帶)	南洋諸島、臺灣、 沖繩、南半、小笠 原諸島	榕樹、林投樹、椰子 樹、欖欖樹、木生羊 齒南類	
暖帶林 (櫟樹帶)	沖繩、南半、本州 中部以南	櫟、椎、樟その他常 緑闊葉樹	
溫帶林 (樺樹帶)	本州、北半、北海 道、大分、朝鮮中 部	落葉闊葉樹、白樺その他 落葉樹、松、杉、 松、落葉松等の如 き針葉樹	
寒帶林 (白樺、根松 帶)	北海道、北東部、 千島、樺太、朝鮮 北部	白樺、根松の如き 針葉樹	

分布區域	代表的動物
北海道區	熊、えぞいたち、馴鹿(樺太のみ)、山猫 (樺太のみ)、樺太リス(樺太のみ)、え ぞらいてう、しんきふくろう、樺太らい てう(樺太のみ)
本州區	日本熊、いたち、かもしか、猿、野兔、き じ、山鳥、せんせうを
朝鮮區	鹿、はりねずみ、はげし、かうらいき じ、あかはらが(るのろ)
琉球區	あまみのくろうさぎ、はぶ
臺灣區	穿山甲

第二章 人文地理

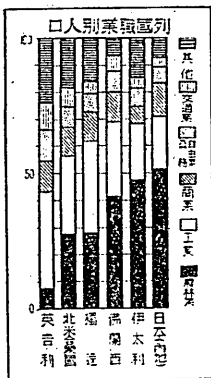
第一節 産業

一、農業

古來、農を立國の大本とし、明治維新以來政府は、土地の開墾、湖海の埋立、干拓を獎勵して、耕地を増加した上に、品種、農具、肥料の改良進歩、農業知識の向上があつて、農業は、急激に進歩した。

耕地 耕地は、土地の傾斜三十度を限度とするから、我が地形上、面積に比して廣くない。水田は沖積層の低地に、畑は洪積層の臺地に多い。

農業者 國民の約五割を占め、農家一戸の平均耕地は、僅に一ヘクタールに過ぎないから、集約的農業が行はれる



但し北海道は概して粗放的農法である。

主要農産物 農産物は多種多様で總額約二十五億圓(内地)に及び、その收穫の多少は直に國家經濟に大影響を與へる。

米は最重要の農産物で年額一億圓(内地)に及ぶ。臺灣朝鮮にも産額が多く、年々内地へ多量に移出する。

大麥は關東朝鮮に多く産して主食料品となる。稗麥は中國、四國、九州に産する。小麥は關東、九州朝鮮に多く輸入も少くない。大豆は朝鮮、北海道、甘藷は臺灣、九州、甘藷は臺灣が主産地である。茶は輸出農産物の首位で、静岡縣を最多とし、京都、鹿兒島、埼玉、三重の諸府縣に多く、綠茶を主とし、臺灣では烏龍茶、包種茶を産する。

二 養蠶業

養蠶は遠く神代から行はれ、一時徳川幕府の禁絹主義で衰へたが、海外販路が開けてから盛となり、今や世界一の養蠶國となつた。

産地 空氣が乾燥し、土質が桑樹の栽培に適してゐる地方即ち奥羽濃尾平野間の地帯が特に隆盛である。

産額 繭産額は三億圓に近く、主産地は長野縣が第一で、群馬、愛知、埼玉、岐阜、山梨、三重、福岡の諸縣が之に次ぐ。

三 牧畜業

古來、氣候其の他の關係で、牧畜業は振はない。

牧馬は北海道を始め、岩手、福島、鹿兒島、熊本の諸縣、牧牛は鹿兒島、兵庫の諸縣に盛である。豚は臺灣と沖縄、鹿兒島二縣とに多い。朝鮮は牧畜が盛で、牛、豚の頭数は内地よりも多い。雞は愛知、千葉、鹿兒島、茨城の諸縣に多く、朝鮮、臺灣にも多い。牧羊は、言ふべき程のものなく、従つて羊毛の輸入が莫大である。

四 林業

山地が廣く雨量が多いから、森林の繁茂が著しい。木材は、古來自給自足してゐたが、近年、開墾による伐採、製紙工業の盛大建築物の激増によつて不足をつけ、北米、シベリア等から輸入してゐる。

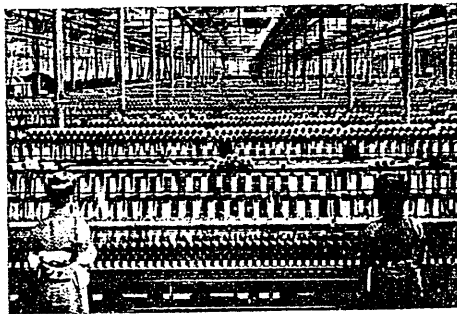
森林の利益 森林は、木材、薪炭、樟腦、木蠟、茸類を供する外、氣候、河水を調節し、土壤を保護し、更に自然美の一要素をなすものである。

輸出する。主な市場は、下關、函館、青森、長崎である。
製鹽 瀬戸内海に臨める十州鹽田が盛で、臺灣、關東州の製鹽は内地の需要に應じてゐる。

七 工業

大阪の綿絲紡績工場

④ 四大工業地帯は各どんな理由で發達したか
⑤ 今後發達すべき工業地はどこか



國民は手工業に長じてゐるが、明治維新以來、西洋文化の輸入と共に、大工業が發達して、原料輸出、製品輸入本位から一躍して原料輸入、製品輸出本位と化し、今や西歐諸國、北米東岸と共に、世界有數の工業地區となつた。
工業地 阪神(紡績、造船、化學工業)、京濱(日用工業)、北九州(製鐵、セメント)
名古屋(機械工業)の四大工業地帯がある。
主要工業物 生絲は長野縣を主とし、中部奥羽の諸縣に産して、その多くは輸出される。織物は、我が屈指の工業品で、

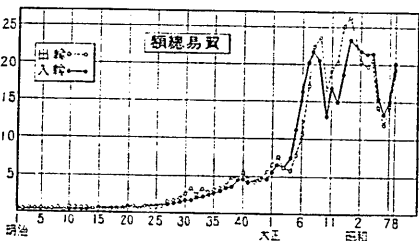
綿織物、絹織物を主とする。綿織物は、近畿、東海、瀬戸内海岸地方に産し、愛知縣(二分)、大阪府の産額が特に多く、綿絲紡績は、大阪(二分)、愛知、兵庫の諸府縣が盛である。絹織物は、京都(絹織)を主とし、福井(羽二重)、群馬(銘仙)、石川(羽二重)の三縣之に次ぎ、近時人絹織物も著しく發達してきた。絹綿交織物は、京都、愛知、新潟、滋賀、麻織物、麻交織物は、大阪、滋賀、富山、晒染物は、大阪、京都、東京、メリヤスは、大阪、東京、愛知、兵庫等の諸府縣を主産地とする。窯業中、陶磁器は、愛知(五)、岐阜、京都、三重、佐賀、瓦煉瓦は、愛知(六)、岡山、兵庫、硝子製品は、大阪(三)、福岡、東京、神奈川の諸府縣から産する。漆器は、京都、愛知、和歌山、石川、肥料は、東京、兵庫、大阪、福岡の諸府縣を主産地とする。酒類は、兵庫(四分)、福岡、京都、広島、砂糖は、臺灣を主産地とする。

八 商業

商業の種類 未開時代の商業は物々交換で、稍文化が進むと市が發達する。我が國には、定期市が各所に開かれる。尙商業は、内國商業と外國商業(貿易)とに分れる。

商圈 我が國は、二大商圈に分れ、東京は北日本、大阪は南日本の中

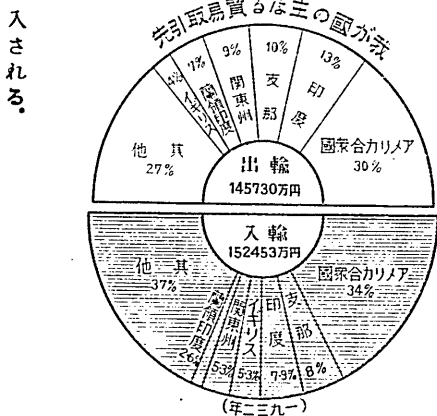
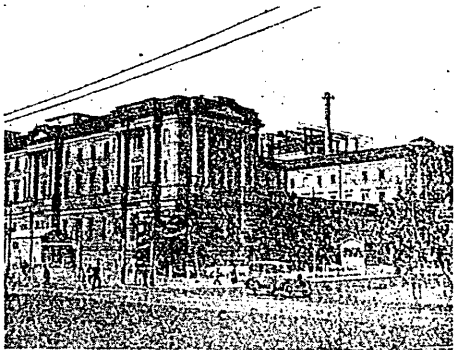
本銀行 在東京の日



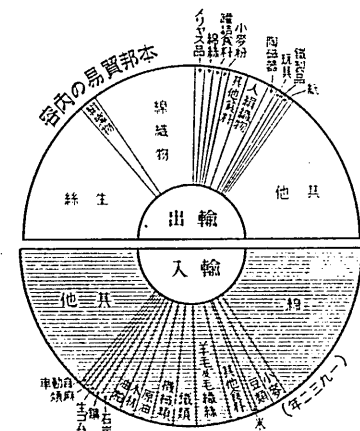
心である。東京は其の商圏が、大阪の商圏に及ばないが、政治の中心であるから、大銀行・大會社が多く、經濟上の勢力は、却つて大阪の上にある。

外國貿易 産物の増加交通機關の進歩國威の發揚につれて著しく發達したが、世界大戰後は稍不振の状態にある。現今貿易額は年三十億圓であつて、約七割を神戸横濱で取引する。開港は、此の外内地に三十七個、樺太に二個、臺灣に八個、朝鮮に十一個、南洋に五個、關東州に二個ある。

輸出 米國(三割)・印度(三割)・支那(一割)を顧客とする。生絲は輸出品の首位で、輸出總額の二割六分を占め、その九割五分は米國に向けられる。綿織物・絹織物・人絹織物・メリヤス製品・石炭等が之に



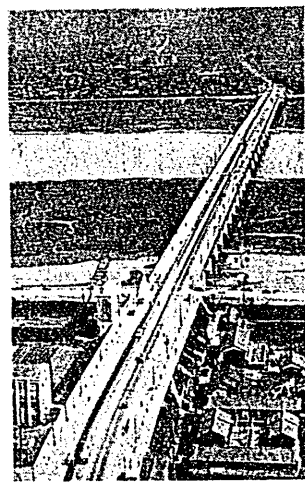
つぐ。綿織物は支那・印度・關東州・印度に、絹人絹織物は印度・臺灣・關東州・印度に、メリヤス製品は印度に、石炭紙類は支那に、陶磁器は米國に輸出される。輸入 米國(三割)・支那(八割)・印度(八割)との取引が主である。實綿線綿は輸入品の第一位で、大部は米國・印度から輸入される。鉄鐵は印度・關東州・支那、その他の鉄材は米國・羊毛は臺灣・木材は米國・機械は米英二國から輸入される。



第二節 交通
一 道路
道路 道路に、自然的道路(原始的)と人工的道路(石・木材・土・瀝青・煉瓦)とがある。

新澁川大橋
阪神國道の橋で長
さ三米幅三米あ
る

我が國の道路は、鐵道の發達と共に、一時閉却されたが、近年自動車
の發達と共に、再び重要となつた。
特に市街地に於ては、道路の中央
又は兩側に植樹され中には、公園
化されたものもある。



二 鐵道

我が國は鐵道國有主義を採り、内地の鐵道は狹軌式
(三呎)であるが、朝鮮のものは標準式(四呎八)
道の總延長三萬九千九百八十二里(内地二萬二千九百八十二里、植民地八千九百八十二里)に及んでゐるが、尙、こ
れが敷設を要望する地方が多い。

鐵道の分布 内地の幹線鐵道は東京を中心として、東北函館宗谷根
室東海道山陽山陰鹿兒島等の幹線がある。臺灣には縱貫線朝鮮には

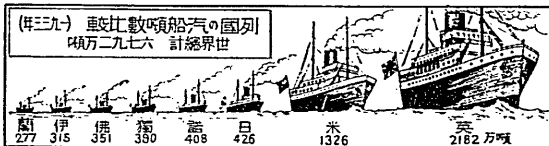
年	鐵道發達比較
明治20年	1000H
明治30年	4700H
大正元年	9000H
大正13年	17000H
昭和7年	20,400H

京釜・京義の二幹線鐵道がある。

關東近畿の平地、北九州の炭業地、臺灣平野の糖業地は、線路網が最も密で、大都市には高
架鐵道、地下鐵道が敷設せられた所がある。

三 水運

日本・表日
本連絡の運河を開
くとすれば何處に
したらよいか

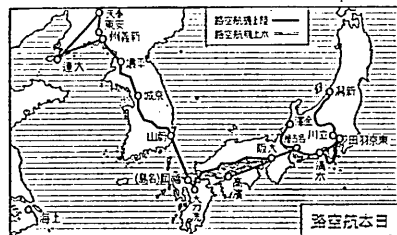
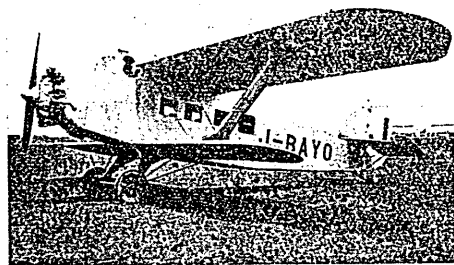


* 内陸水路は不便であるが、海上航路は頗る盛で、今や世
界屈指の海運國となつた。
海港の種類 軍港、商港、漁港に分れる。軍港は、港とし
て必要な條件を備へるばかりでなく、一國攻防の見地
から、位置の適當なるを要する。商港は、物資取引の船
舶が出入するから、海上陸上の設備は勿論、金融機關の
如きまで遺憾なきを要し、横濱・神戸はその模範的なも
のである。漁港は、漁獲物の處理、漁船の碇泊に便なる
を要し、概ね地方的小港で、銚子・下田等が之である。

【注意】下の汽船は百噸未満のものを除いてある



旅客機



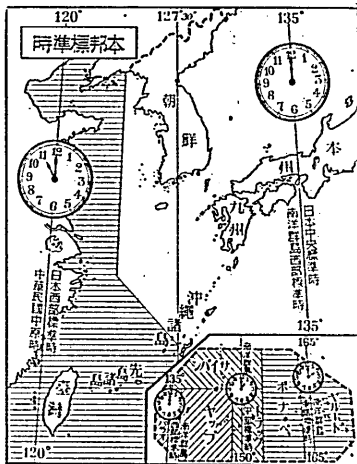
汽船噸數會社航路 内地の汽船は一七〇〇隻(三九〇)で、帆船は二〇〇〇隻(二九〇)で、世界第五位の海運國である。
 之等の船舶は、日本郵船大坂商船の二大會社を始め、日清國際川崎山下等の汽船會社の所有が多く、横濱神戸大阪を起點とし、内外の諸港に定期航路を開いてゐる。
 海外航路は、北はウラチヤストク、西は印度のカラチに至る大陸沿岸諸港及び揚子江岸に至るもの、馬來諸島に至るもの、濠洲に至るもの、スエズ運河を経由してヨーロッパに至るもの、印度大西兩洋を横ぎつて南米北米の東岸に至るもの、太平洋を横斷して兩米の西岸に至るもの等がある。

四 空 運

航空機は、飛行機と飛行船とに分れ、最短距離を進み得ること、速力の大なることゝが特徴である。

明石市にある中央標準時子午線標

鴨綠江を渡つて滿洲に入る人は時計をどうするか



箱根・龜

山等には、航空無電局がある。

交通と時間 經度十五度を隔てると一時間の差異がある。我が國では、中央標準時(東百三十度)と西部標準時(二十度)との二つを使用し、南洋諸島には三つの標準時がある。

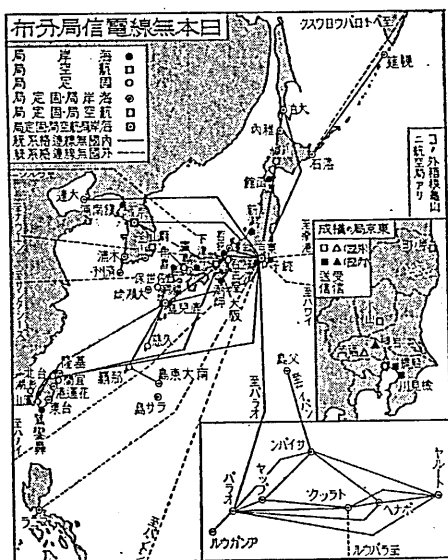
五 郵 便

明治初年に郵便制度を創設し、同十年萬國郵便聯合に加盟し、今やその發達は歐米諸國に比して劣つてゐない。特に急を要するも

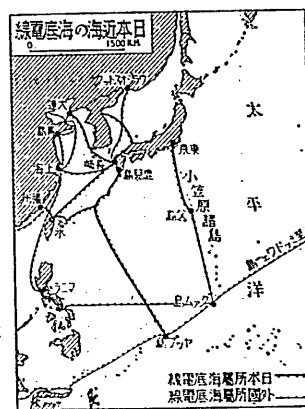
のには、飛行郵便がある。

六 電信

明治二年東京横濱間に初めて電信を通じ、明治十二年には、萬國電信條約に



加盟した。海底電線は東京父島(こゝで米國の太)間の小笠原線と、長崎上海(こゝで歐洲間の上海線とが、最も利用されてゐる。近年無線電信の發達が著しく、東京名古屋の兩局は、海外諸國と通信を交換し

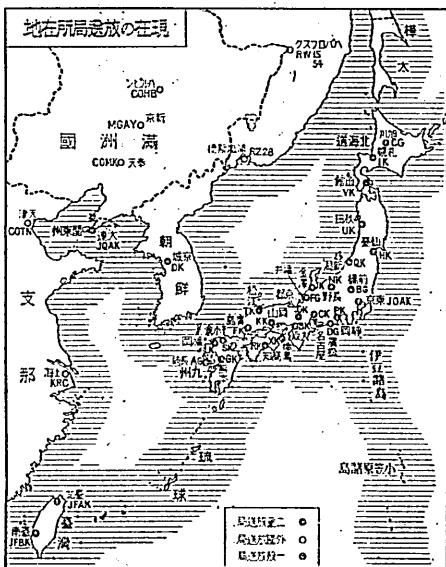


てゐる。

無線電信局は其他近距離通信を目的とする海岸局が各地にあつて船舶との間に通信してゐる。

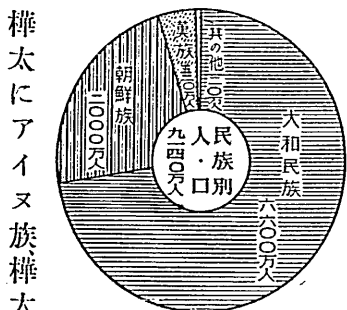
七 電話

電話は、明治二十三年に創設せられ、有線無線に分れる。有線電話は著しく發達し、尙加入申込が殺到するも、經費の關係上、その要求を充たし得ない。最近無線電話が盛となり、放送局も約三十個を數ふるに至つた。



第三節 住民

一 種族



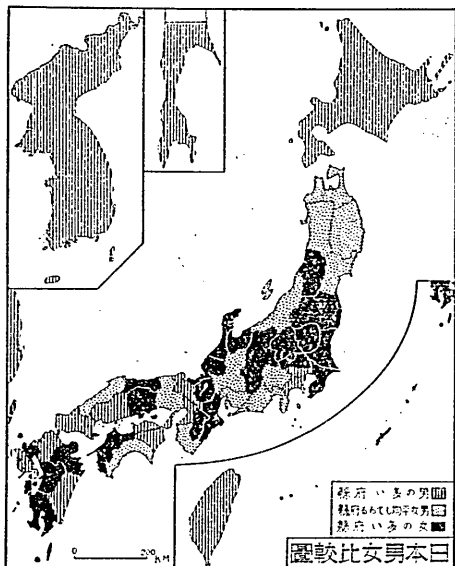
大和族は、住民の約八割を占め、忠君愛國の念が強く、團結が堅く、世界の優等民族として、特有の美風を有する。その他朝鮮に朝鮮族、臺灣關東州に漢族があるが、よく大和族に同化して、忠良な國民となりつつある。その他臺灣に高砂族、南洋諸島にミクロネシア族、北海道にアイヌ族、樺太にニクブン・オロコ族があるが、其の数が少い。

二 人口

國勢調査 近年、國勢調査を行つて人口の狀態を知り、施政上の基本とするに至つた。第一回は、大正九年十月一日、第二回は昭和五年(十明)に行はれた。

◎我が國の人口密度の最も大きい處と小さい處とを、舉げその理由を説明せよ

◎下の圖を見て左の問に答へよ
1. 男の多いのはどこか
2. 女の多いのはどこか
3. それぞれ何故か

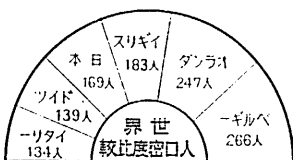


人口と密度 人口總數は九千百萬を超え、一方、料の密度百三十四人、内地のみの密度は百六十九人である。男女の割合 内地の人口を男女別に觀察すれば、女一〇〇に對し、男一〇一で、略平均されてゐる。

人口増加 全版圖内の人口

増加は年百萬で、人口問題、食糧問題の考慮が必要であると共に、移民植民が急を要することゝなつた。

人口増加の二要素 人口の増加には、自然的増加(出生が死亡)と、社会的増加(來住者が多い)との二が



ある。我が國の自然的増加は人口千に對し一四・四で列強に比して少くない。社會的増加は樺太の百三十五人(千人に付)を第一とし關東州の七十九人臺灣の三人内地の一人などが之に次ぐ。

移民 植民地に移住する内地人の數は約百萬

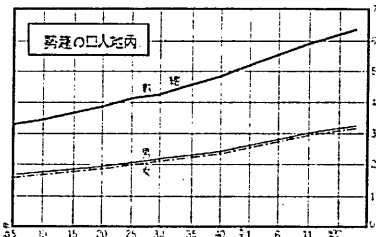
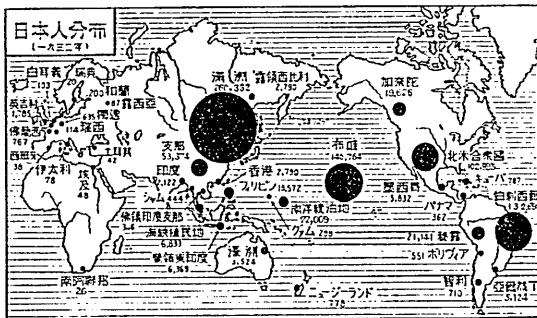
で總人口の三分五厘に過ぎない。海外移住者は七十六萬人で、滿洲・支那・

米國・ハワイ・ブラジルに多い。近年、南米滿洲への移住者が急増して來た。移民よりの送金高も年々増加して來た。

三 言語

國語と國家 國語の統一は、國家の統治と

國語はどんな



方法によれば統一が出来るか

南洋學堂の

密接な關係がある。

我が國の方言 徳川幕府が政策上の見地から關所を設けて殊更に交通を不便にした爲各地特有の方言を生ずるに至つた。沖繩・辯兒島・辯土・佐辯・大阪・辯仙臺・辯出雲・辯等は、互に理解するに困難なことがある。

少年團 弥栄
日本臣民コウイチ

國語の普及 現今國語の外、朝鮮語・支那語等があるが、交通の發達・教育の普及によつて、標準語に統一されて來た。

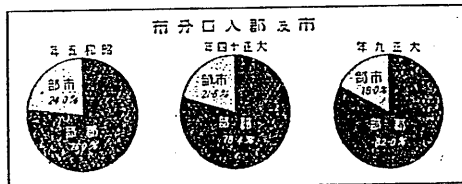
第四節 都市

都市は、城下町として發達したものが多く、近年、人口が都市に集中する傾向が著しく、京都・名古屋・神戸・横濱は、人口五十萬以上となり、大阪は二百萬を超え、東京は五百萬となつた。

都市計畫 都市の膨脹につれて、都市生活の害も多

人口が都市に集中するのは都市から昔へば自然的増加か社會的增加か又この現象を如何に感ずるか

都市生活にはどんな害があるか



どんな利があるか

くなつた。その害を除き、福利を増進する爲に、街路を整備し、商業工業住宅等の地域制を施行し、交通、衛生、保安、經濟に關する適當な設備をするのが都市計畫である。

街路 都市計畫中最も重要なのは道路系統である。街路は通行の便、衛生上の障害を

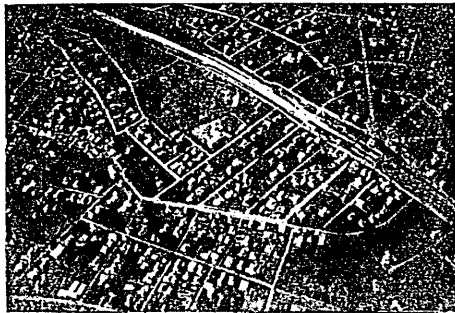
除くばかりでなく、美觀を必要とする。復興した東京市の街路中には、之を目的とした公園式道路がある。

田園都市 都市の住民は最も文化的な生活を営み得るけれども、濁つた空氣と喧噪な雑音との爲に、身體がよはり、神經過敏になり易い。それで都市を田園化しようとするのが即ち田園都市の試みで、近年大都市の郊外に續々出來つつある。

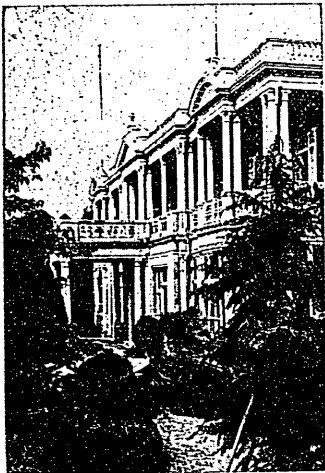
第五節 政治

國體 我が國は、萬世一系の天皇を戴き、世界絶美の君主國である。

東京市田園都市の調布



東京にある
獨逸大使館



政體 立憲政體で、天皇は、大權を統べ給ひ、その下に、立法、行政、司法の三機關がある。
領域 僅に六十八萬方呎に過ぎないが、南北五千呎の間に廣がり、更に遠く太平洋中に委任統治地を有する。而して土地の割合に人口が多く、その爲には廣く國外に發展することが必要であり、且つ我國の位置が大陸の縁邊にある事は、大陸方面に經濟的勢力を伸すに便利である。

外交 條約國は四十有餘で、殆ど世界の主要國を網羅し、大使、公使を派遣して外交を修め、又各國の要地に總領事領事を駐在せしめてゐる。尙、新興の滿洲國とは防衛同盟を結んでゐる。

第六節 軍 備

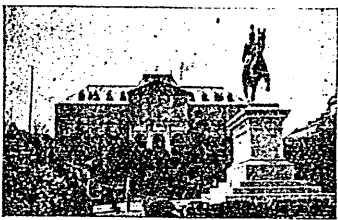
陸軍・海軍に分れ、全國の壯丁をして兵役に服させ、天皇親しく之を統率し給ふ。近時の情勢は、特に軍備の完整を要望する。

陸軍 内地を十四師管區に分ち、各師管區に師團がある。外に東京に近衛師團、朝鮮

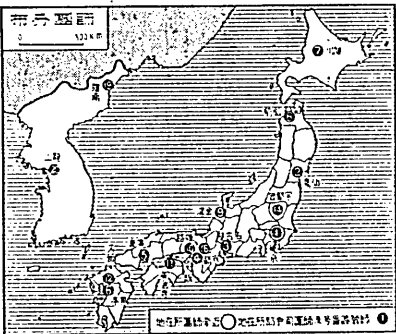
に二箇師團、臺灣に守備隊があり、滿洲にも守備隊を

派遣してゐる。全國の各要害地に要塞、各地に飛行聯隊がある。參謀本部は、國防用兵を司る。

海軍 軍艦は、列強と協定して主力艦十隻(戰艦六隻、巡洋艦四隻)、三十一萬一千噸と補助艦二百六十二隻とがある。全國の海岸海面を三海軍區に分ち、横須賀、吳、佐世



參謀本部



海軍軍令部



保の各鎮守府が之を管轄し、各區に軍港がある。又要害地に要港(大湊、舞鶴、下関)がある。海軍軍令部は、國防用兵を掌る。

空軍 我が空軍は、未だ獨立せずして、陸・海軍に分屬し、列強に比して著しく遜色がある。

第七節 財 政

歳出入 歳入・歳出とは、一財政年度内に、國家が收入及び支出する金額を指すもので、經常と臨時との二部に分れる。歳入は、租税(酒税、所得税、地租、營業稅、關稅、砂糖稅、消費稅等)、官業收入(郵便、電信、官有財産收入)が主な財源である。歳出は、行政費が五五%を占めてゐる。

國債 歳入が歳出に満たない場合には、國債を募集して支辨する。近年、歳入不足、滿洲事變、地方救濟等の爲、國債が著しく増加した。

國債は大正十年には四十一億であつたが、昭和八年三月には六十二億四千萬に達した。當り何程であるか。

第八節 教 育

又この國債の増加についてどう考へるか

教育と國家 教育の隆否は、一國の消長と密接な關係がある。

普佛戰爭に敗れた佛國は、之を母の罪なりと戒め、獨逸はその勝因を小學校教員の功績なりと讃へた。又日露戰爭の我が勝因は、教育勅語に基づく教育にありとせられる。

教育機關 小學校(児童数は九〇〇萬で米國につぎ世界第二位)は、到る處に設けられて、國民教育を施す。一萬八千の中等學校(實業補習學校を含む)は、二百三十萬の子女に、普通教育又は實業教育を施し、帝國大學を始め、官立私立の大學專門學校は二百八十校で、十五萬四千の學生に、高等專門の學術を教へてゐる。

第九節 神社と宗教

神社 神社は皇室の御先祖をはじめ、氏族の祖先忠臣賢士の靈を祀り、永くその徳を敬慕するもので、總數十一萬餘、近畿地方に多い。
宗教 國民は信教の自由を有し、神道(十三萬神、信徒五十七萬)、佛教(十二宗、五十萬、僧徒四萬)、基督教(三教、信徒二十五萬、會堂七萬)等が行はれてゐる。

第四編 結論

我が國は、建國以來三千年、世界最美の國家を形成して、堂々列強に伍し、亞細亞民族を代表して、世界に氣を吐いてゐる。是れ皇室の御稜威と、國民の優秀なる素質と、既に述べた地理的原因とに依るのである。

太平洋時代 物質文明が發達すると、必ず原料不足、生産過多、資本過剩、人口増加の現象が起る。今や何れの文明國も、之に苦惱してゐるが、特に我が國は、地積狭小な島國の常として、一層切實悲痛なものがある。而して上記の諸問題解決の爲に、世界に遺された唯一の地帯は、太平洋に洗はれる土地のみである。近年列國が、太平洋に向つて殺到するのは、かかる人類生活上必然の要求から來たもので、避くべからざることである。獨人カールリッテルは言つた。「文化は河川文明から内海文明に進み更に大洋文明に達する」と。ナイル地中海の文明に次いだ大西洋を中心とした文化は、大洋文明の前期で、今や時代は太平洋文明に移らんとしてゐる。太平洋問題は、地上の人類を擧げて、その

抗争に参加せしめ以て東西の文明を合一し究極的文化を創造せんとする最後の争覇戦であらう。

茲に至つて我が國は漸く列強と利害の相反するものがある。日英同盟の廢棄國際聯盟の脱退等皆太平洋争覇戦の序曲と見得るものである。

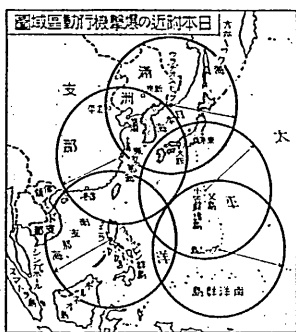
太平洋の勝者 太平洋は渺茫たる海洋である。この洋上制覇の鍵は、即ち海上権である。海上権は間接には國力の富強と洋上の各地に民族的進出(民植)を試みることにより、又直接には海軍(軍艦、海運船)の隆盛によつて得られる。軍艦は戦時に於ては國防の

第五國艦隊勢力比較表 (在現日一月一五五五五)									
國名	主力艦	航空母艦	通入時艦	八吋砲以上艦	驅逐艦	潛水艦	伊太利	佛蘭西	日本
英國	二〇 五五八	八 二二七	一九 二八六	四 二九〇	七 一八五	七〇 六八九	四 八九	九 一九五	一〇 二九二
米國	一八 五二八	四 八三	八 八〇	三 三三三	二 六八九	三 三八七	一 五	二 三三	三 六二
日本	一〇 二九二	三 六二	二 〇八	三 二八	二 三三	七 七八	四 四〇	五 五〇	三 六二
佛蘭西	九 一九五	三 三三	五 五〇	二 三三	二 三三	二 三三	九 九四	八 八九	九 一九五
伊太利	四 八九	一 五	四 四〇	二 六	九 九四	九 九四	三 六	三 六	三 六

第一線に立ち平時に於ては、交通貿易の保護者である。商船は貿易交通文化の傳達に従ひ戦時に於ては、軍艦の補助となる。日本海軍に敵艦見ゆの第一報を送つて、赫々たる武勳を立てた哨艦信濃丸運送船として悲壯な最後を遂げた常陸丸はこの適例である。

ジュネーヴ會議(昭和二年海軍縮小會議)に於て英國が巡洋艦に六吋砲までの搭載を主張したのは、其の所有商船を有事の日に巡洋艦に改裝せんが爲で米國が八吋砲搭載を主張して之に反對し遂に會議が決裂したのは英國の大形商船の改裝を不可能にする米國の術策であつたと謂はれる。かくの如く列國が渾身の精力を傾けて意を海上の問題に致すのは、一に太平洋上の争覇に備へる爲である。

海國日本 古來歴史に盛名を遺してゐる國は、殆ど海上の制覇に成功して、ここに自由に活躍した國民である。我が國は、自然的人文的には、海上發展の天恵が多いが、大小の物資を海外に仰ぎ、多くの製品を外國に賣り、又年々増殖する百萬の人口を適當に始末せねば、自滅の外なき國なのである。爰に於て太平洋問題に處するの道は、退いて自滅するか進んで最後の勝利者となるかの二途あるのみである。故に吾人は、唯まつしぐらに、軍備に、通商に、



植民にはた國家の富強にあらん限りの力を致し、以て太平洋の覇權を確立し來るべき太平洋文明を大成しなければならぬ。國民の覺悟、今や我が國は十七世紀以來白人の勢力下にあへぐ亞細亞諸國の間に立つて、自主獨往の大幟を翻した。然るに願みれば、國富産業科學に於ては、列國に比して遺憾なる點が少くない。國民たる者高遠なる國家の理想を體し、宇内の狀勢を究めて、自己の進路を認識し、仁慈至高なる皇室を奉じて、各自の業務にいそしみ、又一方には、海外に對して、國家百年の經綸を施し、以て君國の發展に貢獻しなければならぬ。

みたみわれ いけるしるしあり あめつちの

さかゆるときに あへらくおもへば

(萬葉集 海犬養宿禰岡麻呂)

附 録

(一) 日本 の 地 體 構 造

(二) 日 本 地 理 統 計

△中央破綻線ともいふ

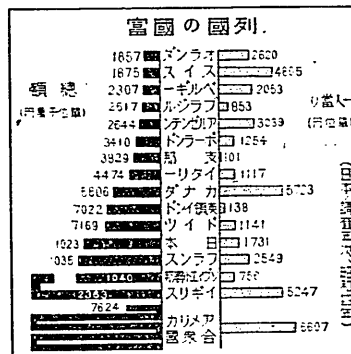
日本列島は、アジア大陸の東縁にある比較的新しい一大褶曲山脈である。中央構造線[△]、長崎三角地、言野紀伊田列によつて、内外二帯に分れ、富士火山脈の地帯を境として、北彎、南彎の二山系に分れる。南彎山系は臺灣から琉球列島を經、南九州・四國近畿南部を過ぎて、本州中部地方の赤石山脈に達するものを外帶とし、北九州・中國近畿・北西部を經て本州中部地方に入り、飛驒山脈に達するものを内帶とする。北彎山系では、樺太東部の山脈より、蝦夷山系中の北見・日高の二山地を通じて、關東の山地に連絡するものが外帶をなし、西樺太山脈より、北海道の西半部を過ぎ、北上・阿武隈・出羽諸山脈を通じて、本州中部・北東部に至るものを内帶とする。

日本列島の地體構造に關して、ナウマン氏は、これを大褶曲山脈であるとし、

ナウマ
Nauman

を大褶曲山脈であるとし、

財政問題



268A 7 一戦
 247 33 だろ
 183 12 スギ
 173 14 本
 134 12
 105 12 ツイ
 104 15 リア
 44 12 勝
 75 26 スラ
 26 26 対
 16 カ
 8 ト
 24 期
 3 勝
 26 勝
 26 勝

の國利
 度密口人
 (行方一)

盤 本
 士 全

(円単位) 国別 対外純債権・負債

対外純債権・負債

国別	対外純債権・負債 (円単位)
米国	150
日本	64
ドイツ	93
フランス	25
イタリア	793
スペイン	315
カリメタ	7470
スリギ	1620

平加増然自
(人自創) (年十)

24 スラ 10

51 スギ 23

65 ツイト 42

54 キルベ 44

12.6 リタ 52

76 コルマ 67

14.5 経業会 111

95.6 シ 43

数加増残自
(人風自創)

(西暦) 西暦	(西暦) 西暦	(西暦) 西暦
60	236	コルト
66	236	カリフォルニア
68	236	ギルバ
70	236	アニマル
72	236	ドン・ドン
74	236	アソ・アソ
76	236	ダナ・カ
78	236	リ・リ
80	236	本・日
82	236	スラ・ス
84	236	スラ・ス
86	236	スラ・ス
88	236	スラ・ス
90	236	スラ・ス
92	236	スラ・ス
94	236	スラ・ス
96	236	スラ・ス
98	236	スラ・ス
00	236	スラ・ス

(戦後第1回調査)
(人頭1人あたり)

年次	人頭1人あたり
昭和21年	0.00
昭和22年	0.01
昭和23年	0.02
昭和24年	0.03
昭和25年	0.04
昭和26年	0.05
昭和27年	0.06
昭和28年	0.07
昭和29年	0.08
昭和30年	0.09
昭和31年	0.10
昭和32年	0.11
昭和33年	0.12
昭和34年	0.13
昭和35年	0.14
昭和36年	0.15
昭和37年	0.16
昭和38年	0.17
昭和39年	0.18
昭和40年	0.19
昭和41年	0.20
昭和42年	0.21
昭和43年	0.22
昭和44年	0.23
昭和45年	0.24
昭和46年	0.25
昭和47年	0.26
昭和48年	0.27
昭和49年	0.28
昭和50年	0.29
昭和51年	0.30
昭和52年	0.31
昭和53年	0.32
昭和54年	0.33
昭和55年	0.34
昭和56年	0.35
昭和57年	0.36
昭和58年	0.37
昭和59年	0.38
昭和60年	0.39
昭和61年	0.40
昭和62年	0.41
昭和63年	0.42
昭和64年	0.43
昭和65年	0.44
昭和66年	0.45
昭和67年	0.46
昭和68年	0.47
昭和69年	0.48
昭和70年	0.49
昭和71年	0.50
昭和72年	0.51
昭和73年	0.52
昭和74年	0.53
昭和75年	0.54
昭和76年	0.55
昭和77年	0.56
昭和78年	0.57
昭和79年	0.58
昭和80年	0.59
昭和81年	0.60
昭和82年	0.61
昭和83年	0.62
昭和84年	0.63
昭和85年	0.64
昭和86年	0.65
昭和87年	0.66
昭和88年	0.67
昭和89年	0.68
昭和90年	0.69
昭和91年	0.70
昭和92年	0.71
昭和93年	0.72
昭和94年	0.73
昭和95年	0.74
昭和96年	0.75
昭和97年	0.76
昭和98年	0.77
昭和99年	0.78
昭和100年	0.79

×所謂糸魚川・静岡構造線で富士火山帯の部分に當る
▲理學博士原田登吉岡山縣人
*獨逸人ハンブルグ大學助教授

大地裂帶^{グランドリフト}を以て、南北日本の境界とし、更に、中央構造線によつて、内外の二帶に分つた。原田博士は、大地裂帶を富士破裂帶と呼び、これによつて、本州弧を二分して、千島北日本・南日本琉球の四大弧とした。その後、小藤矢部小川諸博士の研究によつて、その構造が次第に明かにされた。近時^{Wegener}ツゲネル氏の大陸漂移説によつて、日本列島は、アジア大陸の西漸によつて取殘されたものであると主張する學者がある。

日本列島は、火山・地震の頻繁な活動の結果、地體構造が極めて複雑で、多數の大小構造線が縦横に走つてゐる爲、無數の小地塊の集合體となつてゐる。これに反して、朝鮮半島は、構造が割合に簡單で、大規模の地塊が多い。

△もと連絡してゐたが、浦賀水道の陥没によつて分離した

〔關東地方〕阿武隈帝釋三國の諸山脈及び關東山地は、何れも古い時代の褶曲作用によつて生じ、那須富士の二火山帶は、土地の裂目に沿うて噴出した。關東平野の大部分は、昔の淺海底でもと相模灣・東京灣・浦等^{ウラ}は、相連絡し、三浦房總^{ミナト}・二半島は、島嶼をなしてゐたが、土地の隆起と河流の運搬した土砂の堆積とによつて陸化したものである。

〔奥羽地方〕奥羽地方は、北彎山系に屬する地帶で、著しい二列の大低地帶がある。阿武隈北上の二山脈は、甚だ古い褶曲山脈が大いに侵蝕された高原狀の山地で、仙臺灣の陥没によつて分離した。奥羽山脈は、新しい褶曲山脈で、その裂縫^{シワ}上に、那須火山帶の諸火山が噴出した。奥羽山脈西麓の低地帶は、昔の湖沼の名殘で、そこに、米澤・新庄・横手・大館等の盆地が生じた。太平洋沿岸は、概ね沈降性海岸で、北上山麓のリアス式海岸や、松島の多島海は、土地沈降の爲に生じた。日本海岸は、概ね隆起性で、男鹿半島の陸繋島や、砂丘及び海岸段丘の發達が著しい。

〔中部地方〕中部地方は、南彎北彎兩山系及び富士火山帶の相接合する地域で、多くの峻岳や高原があり、又糸魚川・静岡間の大構造線が通じて、我が國に於て、最も複雑な地體構造をなしてゐる。飛驒山脈は、大構造線の斷層に沿うて、飛驒高原の東部が隆起したものである。木曾・赤石山脈は、新しい褶曲山脈で、伊勢海は、陥没によつて生じた。

〔近畿地方〕近畿地方は、斷層作用が、激しく働いた結果がよく残つてゐて、伊吹・鈴鹿・比叡・笠置・金剛の諸山脈は、地壘をなし、その間に地溝盆地が多い。琵琶

△斷層以東は陷落

琵琶湖は、斷層盆地の一に水を湛へたものである。紀、川から、高見峠を経て、櫛田川の谷に至る低地は、日本の中央構造線に當り、東は天龍川の谷西は四國の吉野川の谷に連なつてゐる。

〔中國地方〕中國地方は、古い褶曲山脈が永年の侵蝕を受け、殆ど準平原となり、後、隆起して現今の如く高原化した。瀬戸内海は、中國、四國間の低地帯が激烈な陷落をなし、これに大海の水が侵入して生じた、而して高地の尖頂が、島嶼として残つて多島海となつた。

〔四國地方〕四國山系は、褶曲山脈である。その方向に、並行する構造線があつて、河谷は多くこれに支配されてゐる。吉野川地溝帯から、松山に至る低地帯は、東は紀、川の谷、西は、九州伊萬里に連絡するもので、重要な地體構造線である。

〔九州地方〕中國山脈の系統をひく、筑紫山脈は、北九州を作り、四國山脈に續く九州山脈は、南九州の骨骼をなしてゐる。その中間は、阿蘇霧島兩火山帯の活動によつて生じた火山山地の爲、連續し、霧島火山帯は、更に南に延びて火山島嶼を作つてゐる。中國北九州はもと陸續きであつたが、下關海峡の

△主として新しい
水成岩から成る

陷沒によつて分離した。

〔臺灣地方〕臺灣山脈は、新しい褶曲山脈である。その東麓には、臺東構造線があり、西側には、宜蘭濁水溪から、大甲溪濁水溪の上流、阿里山附近を経て、淡水溪に至る南北の縱谷線があつて、これ亦、重要な構造線をなしてゐる。

火山活動は、少く、恒春附近の海岸から、高雄臺南地方にかけて、隆起珊瑚礁の發達が著しい。

〔北海道地方〕北海道は、奥羽地方に連續してゐたが、津輕海峡の陷落によつて離れ、又内浦灣と、小樽灣も、陷落によつて生じた。小樽灣から膽振海に至る中央低地帯は、昔、海峡であつたが、隆起と土砂の沈積とによつて陸地となつたものである。蝦夷山系は、縱谷性の盆地を中にして、東半は外帶、西半は内帶に屬する。十勝釧路の平野は、海底の隆起によつて生じたもので、海岸には、段丘の發達が著しい。

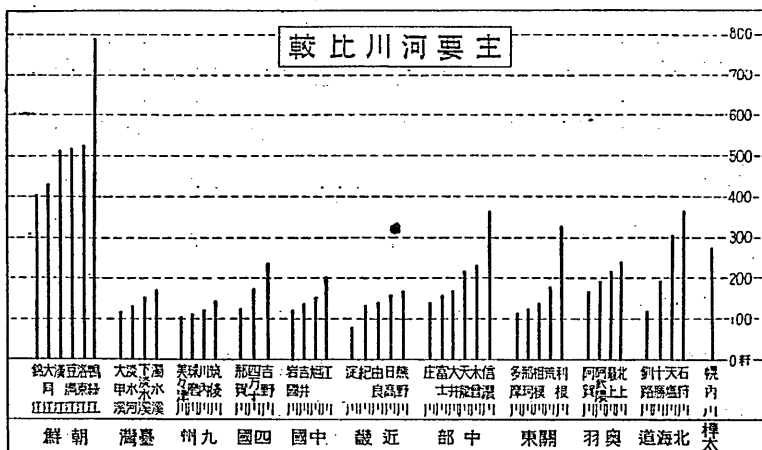
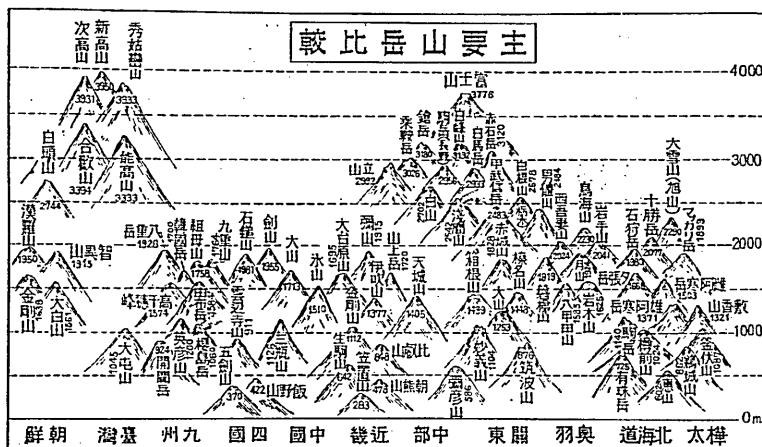
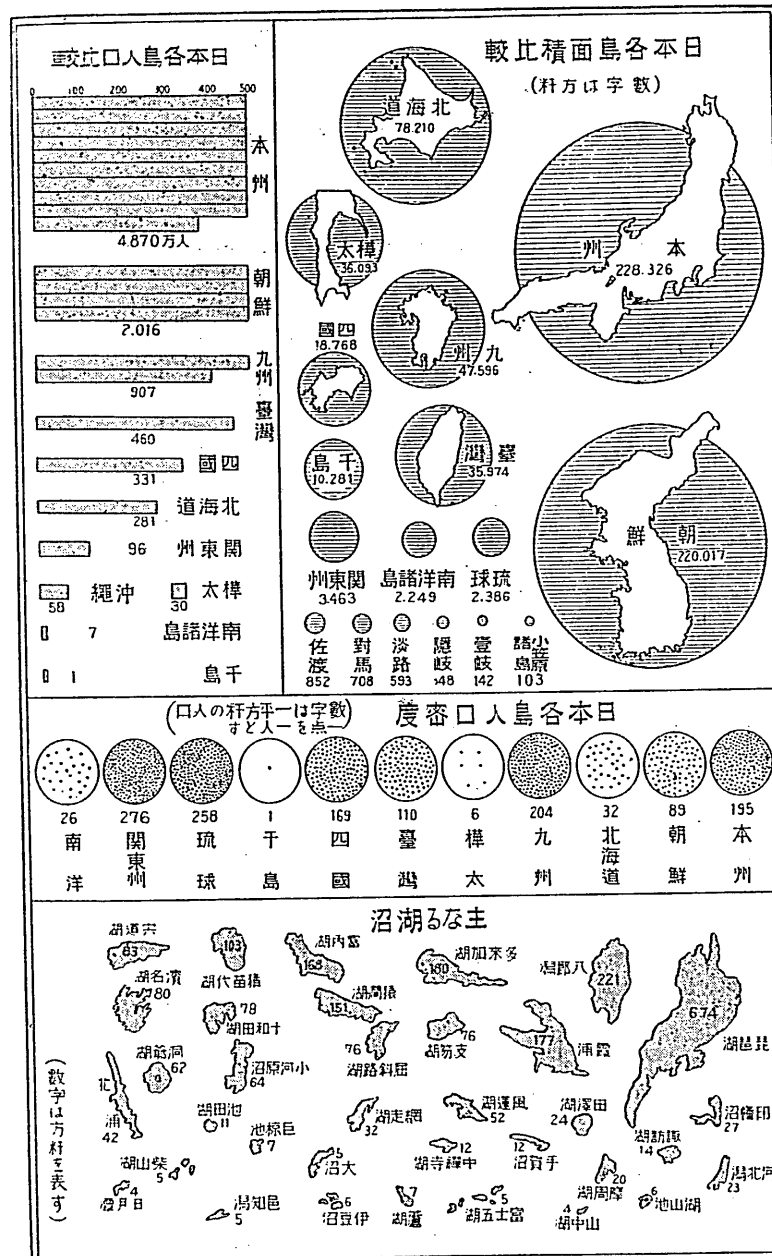
〔樺太地方〕樺太は、北彎山系の起る所でも、と北海道の胴體部に連續してゐたが、宗谷海峡の陷沒によつて分離した。東西兩山脈間の縱谷低地帯は、日本の中央構造線の北端である。海岸は、概ね隆起性で、特に眞岡附近には、明

瞭な數段の海岸段丘がある。

〔朝鮮地方〕朝鮮は竹筴嶺^{ハチカレイ}地溝帶によつて、南北の二部に分れてゐる。北朝鮮の地體は、支那山東半島の系統をひく山脈群で、その間に蓋馬^xの熔岩臺地があり、半島中で最も高峻である。南朝鮮は、南支那より續く地體で、侵蝕によつて、丘陵化した所が多い。日本海岸は隆起性で、且つ大白、咸鏡の二大斷層山脈が、その大斷層面を向けてゐるので、出入が乏しく、兩者の會點に、北朝鮮灣がある。黃海岸は、沈降性で、山谷が溺れて、リアス式海岸と、多島海とを作つてゐる。

表 計 統 理 地 本 日

[illegible]

[illegible]

日本地理統計表

[illegible]

五

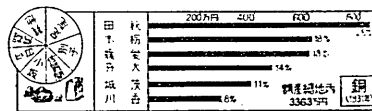
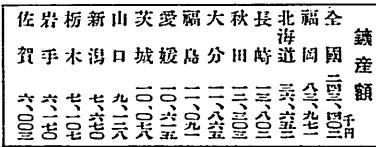
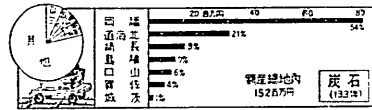
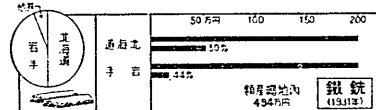
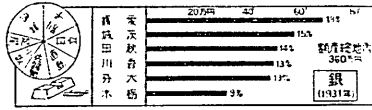
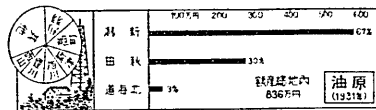
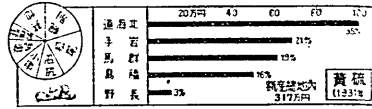
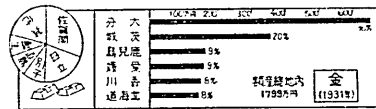
地名	平均者	最 早	平均 最 早	最 晚
大奉恒盛仁釜城那福鹿熊松高廣陵陶大京湖金名松沼新東入水父秋山青石富爾札根鈔大敗	一〇二 六二五	一九七 二二五	一〇一 二二五	一九四 元〇
連天奉北山川津朝岡島本山知島山阪都柳澤屋本津湯京島戶島田形森卷古館梶室那泊香	一三三 八三八	一九九 二四二	一三三 二九二	一九九 元九
兒	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
島	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
山	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
阪	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
都	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
柳	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
澤	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
屋	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
本	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
津	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
湯	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
京	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
島	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
戶	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
島	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
田	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
形	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
森	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
卷	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
古	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
館	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
梶	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
室	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
那	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
泊	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九
香	一三一 三三五	一九八 二四二	一三一 二四六	一九九 元九

[illegible][illegible]

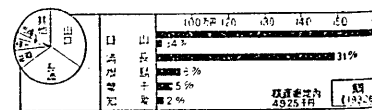
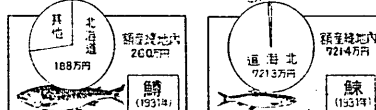
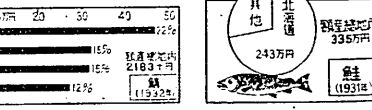
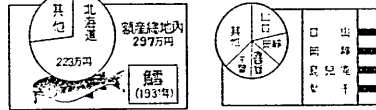
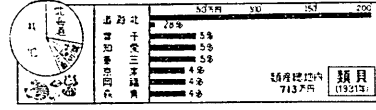
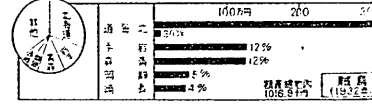
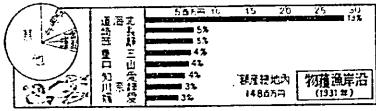
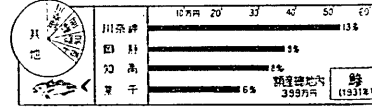
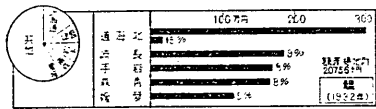
(下點米八下) 溫 氣 均 平

[illegible]

物産



物産



最高・最低気温

地名	最高気温	最低気温
大坂	22.2	9.3
京都	21.8	8.9
東京	21.5	8.6
大阪	21.2	8.3
名古屋	20.9	8.0
福岡	20.6	7.7
札幌	20.3	7.4
仙台	20.0	7.1
新潟	19.7	6.8
長野	19.4	6.5
山梨	19.1	6.2
群馬	18.8	5.9
茨城	18.5	5.6
栃木	18.2	5.3
群馬	17.9	5.0
山梨	17.6	4.7
長野	17.3	4.4
山梨	17.0	4.1
長野	16.7	3.8
山梨	16.4	3.5
長野	16.1	3.2
山梨	15.8	2.9
長野	15.5	2.6
山梨	15.2	2.3
長野	14.9	2.0
山梨	14.6	1.7
長野	14.3	1.4
山梨	14.0	1.1
長野	13.7	0.8
山梨	13.4	0.5
長野	13.1	0.2
山梨	12.8	-0.1
長野	12.5	-0.4
山梨	12.2	-0.7
長野	11.9	-1.0
山梨	11.6	-1.3
長野	11.3	-1.6
山梨	11.0	-1.9
長野	10.7	-2.2
山梨	10.4	-2.5
長野	10.1	-2.8
山梨	9.8	-3.1
長野	9.5	-3.4
山梨	9.2	-3.7
長野	8.9	-4.0
山梨	8.6	-4.3
長野	8.3	-4.6
山梨	8.0	-4.9
長野	7.7	-5.2
山梨	7.4	-5.5
長野	7.1	-5.8
山梨	6.8	-6.1
長野	6.5	-6.4
山梨	6.2	-6.7
長野	5.9	-7.0
山梨	5.6	-7.3
長野	5.3	-7.6
山梨	5.0	-7.9
長野	4.7	-8.2
山梨	4.4	-8.5
長野	4.1	-8.8
山梨	3.8	-9.1
長野	3.5	-9.4
山梨	3.2	-9.7
長野	2.9	-10.0
山梨	2.6	-10.3
長野	2.3	-10.6
山梨	2.0	-10.9
長野	1.7	-11.2
山梨	1.4	-11.5
長野	1.1	-11.8
山梨	0.8	-12.1
長野	0.5	-12.4
山梨	0.2	-12.7
長野	-0.1	-13.0
山梨	-0.4	-13.3
長野	-0.7	-13.6
山梨	-1.0	-13.9
長野	-1.3	-14.2
山梨	-1.6	-14.5
長野	-1.9	-14.8
山梨	-2.2	-15.1
長野	-2.5	-15.4
山梨	-2.8	-15.7
長野	-3.1	-16.0
山梨	-3.4	-16.3
長野	-3.7	-16.6
山梨	-4.0	-16.9
長野	-4.3	-17.2
山梨	-4.6	-17.5
長野	-4.9	-17.8
山梨	-5.2	-18.1
長野	-5.5	-18.4
山梨	-5.8	-18.7
長野	-6.1	-19.0
山梨	-6.4	-19.3
長野	-6.7	-19.6
山梨	-7.0	-19.9
長野	-7.3	-20.2
山梨	-7.6	-20.5
長野	-7.9	-20.8
山梨	-8.2	-21.1
長野	-8.5	-21.4
山梨	-8.8	-21.7
長野	-9.1	-22.0
山梨	-9.4	-22.3
長野	-9.7	-22.6
山梨	-10.0	-22.9
長野	-10.3	-23.2
山梨	-10.6	-23.5
長野	-10.9	-23.8
山梨	-11.2	-24.1
長野	-11.5	-24.4
山梨	-11.8	-24.7
長野	-12.1	-25.0
山梨	-12.4	-25.3
長野	-12.7	-25.6
山梨	-13.0	-25.9
長野	-13.3	-26.2
山梨	-13.6	-26.5
長野	-13.9	-26.8
山梨	-14.2	-27.1
長野	-14.5	-27.4
山梨	-14.8	-27.7
長野	-15.1	-28.0
山梨	-15.4	-28.3
長野	-15.7	-28.6
山梨	-16.0	-28.9
長野	-16.3	-29.2
山梨	-16.6	-29.5
長野	-16.9	-29.8
山梨	-17.2	-30.1
長野	-17.5	-30.4
山梨	-17.8	-30.7
長野	-18.1	-31.0
山梨	-18.4	-31.3
長野	-18.7	-31.6
山梨	-19.0	-31.9
長野	-19.3	-32.2
山梨	-19.6	-32.5
長野	-19.9	-32.8
山梨	-20.2	-33.1
長野	-20.5	-33.4
山梨	-20.8	-33.7
長野	-21.1	-34.0
山梨	-21.4	-34.3
長野	-21.7	-34.6
山梨	-22.0	-34.9
長野	-22.3	-35.2
山梨	-22.6	-35.5
長野	-22.9	-35.8
山梨	-23.2	-36.1
長野	-23.5	-36.4
山梨	-23.8	-36.7
長野	-24.1	-37.0
山梨	-24.4	-37.3
長野	-24.7	-37.6
山梨	-25.0	-37.9
長野	-25.3	-38.2
山梨	-25.6	-38.5
長野	-25.9	-38.8
山梨	-26.2	-39.1
長野	-26.5	-39.4
山梨	-26.8	-39.7
長野	-27.1	-40.0
山梨	-27.4	-40.3
長野	-27.7	-40.6
山梨	-28.0	-40.9
長野	-28.3	-41.2
山梨	-28.6	-41.5
長野	-28.9	-41.8
山梨	-29.2	-42.1
長野	-29.5	-42.4
山梨	-29.8	-42.7
長野	-30.1	-43.0
山梨	-30.4	-43.3
長野	-30.7	-43.6
山梨	-31.0	-43.9
長野	-31.3	-44.2
山梨	-31.6	-44.5
長野	-31.9	-44.8
山梨	-32.2	-45.1
長野	-32.5	-45.4
山梨	-32.8	-45.7
長野	-33.1	-46.0
山梨	-33.4	-46.3
長野	-33.7	-46.6
山梨	-34.0	-46.9
長野	-34.3	-47.2
山梨	-34.6	-47.5
長野	-34.9	-47.8
山梨	-35.2	-48.1
長野	-35.5	-48.4
山梨	-35.8	-48.7
長野	-36.1	-49.0
山梨	-36.4	-49.3
長野	-36.7	-49.6
山梨	-37.0	-49.9
長野	-37.3	-50.2
山梨	-37.6	-50.5
長野	-37.9	-50.8
山梨	-38.2	-51.1
長野	-38.5	-51.4
山梨	-38.8	-51.7
長野	-39.1	-52.0
山梨	-39.4	-52.3
長野	-39.7	-52.6
山梨	-40.0	-52.9
長野	-40.3	-53.2
山梨	-40.6	-53.5
長野	-40.9	-53.8
山梨	-41.2	-54.1
長野	-41.5	-54.4
山梨	-41.8	-54.7
長野	-42.1	-55.0
山梨	-42.4	-55.3
長野	-42.7	-55.6
山梨	-43.0	-55.9
長野	-43.3	-56.2
山梨	-43.6	-56.5
長野	-43.9	-56.8
山梨	-44.2	-57.1
長野	-44.5	-57.4
山梨	-44.8	-57.7
長野	-45.1	-58.0
山梨	-45.4	-58.3
長野	-45.7	-58.6
山梨	-46.0	-58.9
長野	-46.3	-59.2
山梨	-46.6	-59.5
長野	-46.9	-59.8
山梨	-47.2	-60.1
長野	-47.5	-60.4
山梨	-47.8	-60.7
長野	-48.1	-61.0
山梨	-48.4	-61.3
長野	-48.7	-61.6
山梨	-49.0	-61.9
長野	-49.3	-62.2
山梨	-49.6	-62.5
長野	-49.9	-62.8
山梨	-50.2	-63.1
長野	-50.5	-63.4
山梨	-50.8	-63.7
長野	-51.1	-64.0
山梨	-51.4	-64.3
長野	-51.7	-64.6
山梨	-52.0	-64.9
長野	-52.3	-65.2
山梨	-52.6	-65.5
長野	-52.9	-65.8
山梨	-53.2	-66.1
長野	-53.5	-66.4
山梨	-53.8	-66.7
長野	-54.1	-67.0
山梨	-54.4	-67.3
長野	-54.7	-67.6
山梨	-55.0	-67.9
長野	-55.3	-68.2
山梨	-55.6	-68.5
長野	-55.9	-68.8
山梨	-56.2	-69.1
長野	-56.5	-69.4
山梨	-56.8	-69.7
長野	-57.1	-70.0
山梨	-57.4	-70.3
長野	-57.7	-70.6
山梨	-58.0	-70.9
長野	-58.3	-71.2
山梨	-58.6	-71.5
長野	-58.9	-71.8
山梨	-59.2	-72.1
長野	-59.5	-72.4
山梨	-59.8	-72.7
長野	-60.1	-73.0
山梨	-60.4	-73.3
長野	-60.7	-73.6
山梨	-61.0	-73.9
長野	-61.3	-74.2
山梨	-61.6	-74.5
長野	-61.9	-74.8
山梨	-62.2	-75.1
長野	-62.5	-75.4
山梨	-62.8	-75.7
長野	-63.1	-76.0
山梨	-63.4	-76.3
長野	-63.7	-76.6
山梨	-64.0	-76.9
長野	-64.3	-77.2
山梨	-64.6	-77.5
長野	-64.9	-77.8
山梨	-65.2	-78.1
長野	-65.5	-78.4
山梨	-65.8	-78.7
長野	-66.1	-79.0
山梨	-66.4	-79.3
長野	-66.7	-79.6
山梨	-67.0	-79.9
長野	-67.3	-80.2
山梨	-67.6	-80.5
長野	-67.9	-80.8
山梨	-68.2	-81.1
長野	-68.5	-81.4
山梨	-68.8	-81.7
長野	-69.1	-82.0
山梨	-69.4	-82.3
長野	-69.7	-82.6
山梨	-70.0	-82.9
長野	-70.3	-83.2
山梨	-70.6	-83.5
長野	-70.9	-83.8
山梨	-71.2	-84.1
長野	-71.5	-84.4
山梨	-71.8	-84.7
長野	-72.1	-85.0
山梨	-72.4	-85.3
長野	-72.7	-85.6
山梨	-73.0	-85.9
長野	-73.3	-86.2
山梨	-73.6	-86.5
長野	-73.9	-86.8
山梨	-74.2	-87.1
長野	-74.5	-87.4
山梨	-74.8	-87.7
長野	-75.1	-88.0
山梨	-75.4	-88.3
長野	-75.7	-88.6
山梨	-76.0	-88.9
長野	-76.3	-89.2
山梨	-76.6	-89.5
長野	-76.9	-89.8
山梨	-77.2	-90.1
長野	-77.5	-90.4
山梨	-77.8	-90.7
長野	-78.1	-91.0
山梨	-78.4	-91.3
長野	-78.7	-91.6
山梨	-79.0	-91.9
長野	-79.3	-92.2
山梨	-79.6	-92.5
長野	-79.9	-92.8
山梨	-80.2	-93.1
長野	-80.5	-93.4
山梨	-80.8	-93.7
長野	-81.1	-94.0
山梨	-81.4	-94.3
長野	-81.7	-94.6
山梨	-82.0	-94.9
長野	-82.3	-95.2
山梨	-82.6	-95.5
長野	-82.9	-95.8
山梨	-83.2	-96.1
長野	-83.5	-96.4
山梨	-83.8	-96.7
長野	-84.1	-97.0
山梨	-84.4	-97.3
長野	-84.7	-97.6
山梨	-85.0	-97.9
長野	-85.3	-98.2
山梨	-85.6	-98.5
長野	-85.9	-98.8
山梨	-86.2	-99.1
長野	-86.5	-99.4
山梨	-86.8	-99.7
長野	-87.1	-100.0

主要海溝

名稱(所在地)	最深
エムデン海溝(ミンダナオ島沖)	11,037m
同 (同)	10,175
グアム海溝(太平洋中)	9,840
フィリピン(ミンダナオ島沖)	9,840
日本海溝 (太平洋中)	9,840
ケルマデック (同)	9,840
トンガ (同)	9,840
ニューブリテン (同)	9,840
ボルネトリコ(西印度沖)	8,835
バラオ(太平洋中)	8,835
南サンドウィチ海溝(大西洋)	8,835
ヤップ(太平洋中)	8,835
アタカマ(チリ沖)	8,835
琉球(太平洋中)	8,835
スンダ(マレー群島外側)	7,620
アレウト(アレウト列島沖)	7,620
ローマンシ(大西洋中)	7,620
タラウト(マレー群島間)	7,620
ケイ(マレー群島間)	7,620
サイマン(カリブ海中)	7,620

(一) 九〇元年 エムデン號普羅測深

(二) 九〇〇三年 スネリウス號普羅測深

11,037m

10,175

9,840

9,840

9,840

9,840

9,840

9,840

9,840

8,835

8,835

8,835

8,835

8,835

8,835

7,620

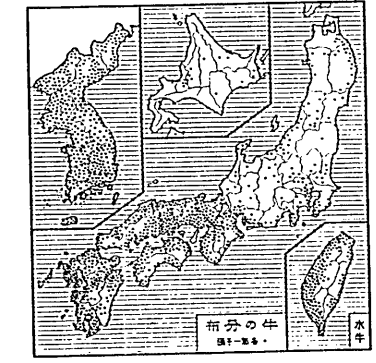
7,620

7,620

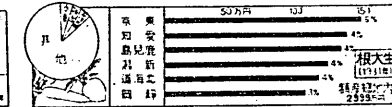
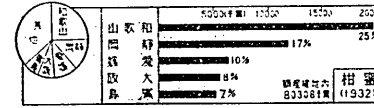
7,620

7,620

7,620



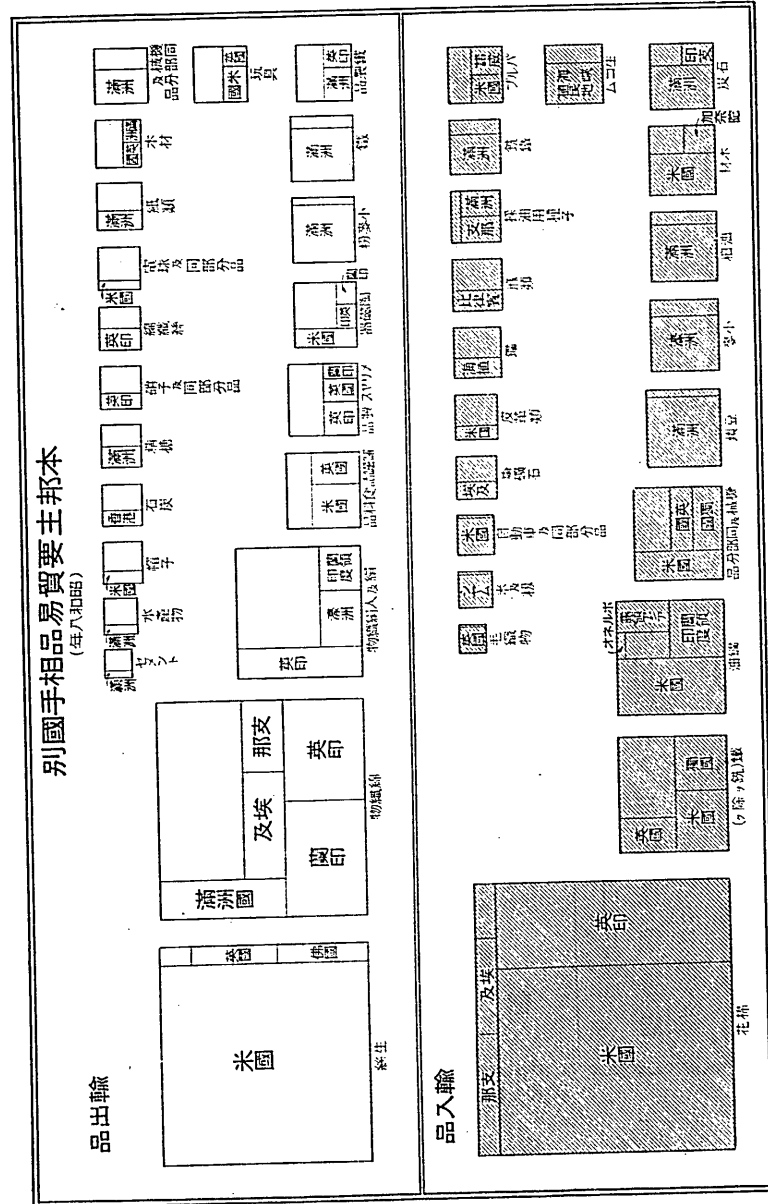
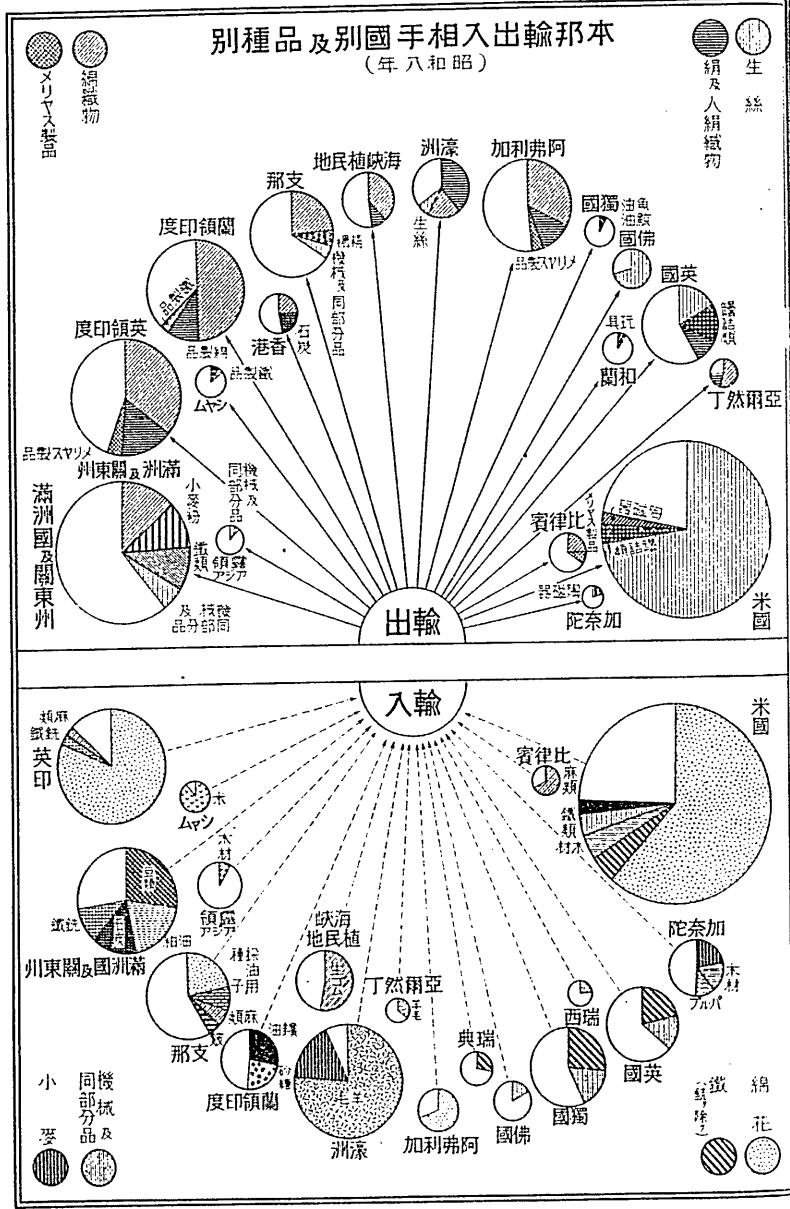
—



0

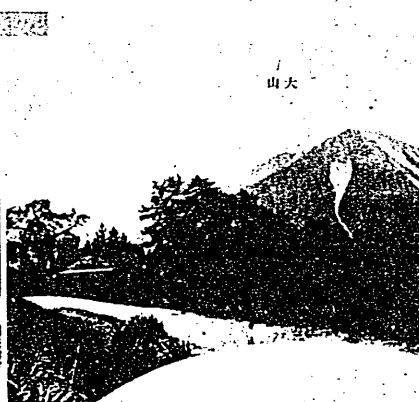
日本地理統計表

船川	七三	二	七〇	魚本	三	鹿兒島	三三	靜岡	三六
根室	六七六	二一	四六五	愛媛	五九	鹿兒島	三三	鳥取	三六
住ノ江	五八二	五八二	一七	新潟	三	長野	三八	山梨	一
萩	四八〇	三六三	一一七	三重	一五	長崎	二五		
大泊	三六四	三四三	二一	一壺		長崎	二五		
真岡	二二	一九	二〇二	總數	二二〇、四〇〇	斐伊比	二〇、四三	キューバ	一、九
宮津	一六九	一六九	一六九	アジャツ	八七、九	及グアム島	二〇、四三	バナマ	三〇
口ノ津	一四六	八九	五七	滿洲國	六六六	布哇	二、九七	南アフリカ	一四
濱原	一〇七	四一	六六	中華民國	三、二	漆洲新西蘭	三、九	リカメ	二
田	四七	五	四二	極東露領	三、二	大洋洲諸島	三、九	コロンビア	二、四
移	二五	二五	一	香港	一、四八	アフリカ洲	一、二	ペルー	三、四
				シヤム	三、二	英領東アフリカ	一、二	チリ	三、四
				佛支那	三、二	英領東アフリカ	一、二	ブラジル	三、四
				印度支那	三、二	南アフリカ聯邦	一、二	アルゼンチン	三、四
				英領馬來	三、二	北アメリカ洲	一、二	ウルグアイ	三、四
				英領北ボルネ	三、二	アメリカ	一、二	パラグアイ	三、四
				オーストラリア	三、二	合衆國	一、二	ヴェネズエラ	三、四
				ベルシヤ	三、二	カナダ	一、二	ヨロツパ	三、四
				印度及錫蘭	一、五七	メキシコ	一、五	カナダ	一、五
				蘭領東印度	七、四六	北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
				(註) 昭和七年海外在留本邦人中ニハ内地人ノ外朝鮮人臺灣人ヲ含ム		ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
				在外日本人送金額 總額一七、九一四 千圓(昭和七年)		オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英領印度	二、〇
						北米合衆國	九、八	ハワイ	四、〇
						ファイリビン	二、〇	オーストラリア	二、〇
						オーストラリア	二、〇	英及海峽植民地	二、〇
						アルゼンチン	二、〇	英領印度	二、〇
						ソウイェト邦聯	二、〇	英領北ボルネ	二、〇
						英領東印度	二、〇	英領印度	二、〇
						蘭領東印度	二、〇	英領印度	二、〇





望景の島屋



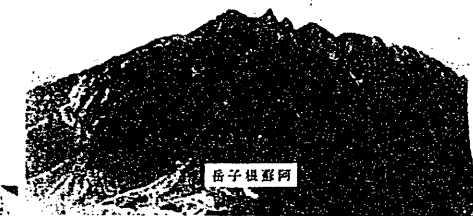
山大



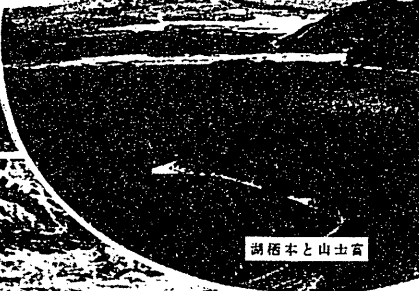
湖周座



雲衣羽山雪大



岳子棋野阿



湖栖本と山土富



川瀬入奥湖田和十



河流峽山北



仙御山島野



山火仙雲



池大馬白



湖ノ清光日

திரு. அ. ச. சிவசுந்தரம்